富山県文化振興財団
埋蔵文化財発掘調査報告第25集

富山県射水郡小杉町

黒河尺目遺跡・黒河中老田遺跡
発掘調査報告

―― 主要地方道小杉婦中線臨時道路交付金事業に伴う埋蔵文化財発掘報告 ――

２００４年

財団法人 富山県文化振興財団
埋蔵文化財調査事務所

遺跡遠景(南から)

黒河尺目遺跡(縄文時代)　粘土採掘坑（北から）

黒河尺目遺跡(古代)　掘立柱建物（南から）

黒河尺目遺跡(縄文時代)　縄文土器

黒河尺目遺跡(縄文時代)　土偶

黒河中老田遺跡（古墳時代・古代）　北地区全景（南から）

黒河中老田遺跡（古墳時代）　南地区粘土採掘坑（北から）

黒河中老田遺跡（古墳時代）　土師器

黒河中老田遺跡(古代)　須恵器

黒河中老田遺跡（古代）　叩き板

富山県射水郡小杉町

黒河尺目遺跡・黒河中老田遺跡
発掘調査報告

―― 主要地方道小杉婦中線臨時道路交付金事業
に伴う埋蔵文化財発掘報告 ――

２００４年

財団法人 富山県文化振興財団
埋 蔵 文 化 財 調 査 事 務 所

序

黒河尺目遺跡と黒河中老田遺跡の所在する小杉町黒河地区は，射水丘陵と平野部が接する地域にあたり，県内でも有数の遺跡密集地域として知られています。

本書は主要地方道小杉婦中線建設に伴い，平成12年度に調査を実施した黒河尺目遺跡と黒河中老田遺跡の発掘調査報告書です。

黒河尺目遺跡は過去にも５度の調査が行われ，奈良・平安時代の集落として知られてきました。今回の調査では，縄文時代及び古代末から中世前半の遺構・遺物が検出され，舌状に延びた丘陵先端部いっぱいに広がる集落形態が明らかになり，貴重な資料を得ることができました。

黒河中老田遺跡では，古墳時代と古代の遺構・遺物が検出されました。古墳時代では，旧河道において粘土採掘を行う作業場，古代では自然堤防上を利用した小規模な集落形態が確認されました。遺物では，須恵器制作に用いた木製の叩き板や，「黒川」と書かれた墨書土器などが注目されました。

また，両遺跡から検出した粘土採掘坑は，この地域での粘土利用が古くは縄文時代にはじまり，現代にまで連綿と引き継がれてきたことを示しています。

これらの発掘調査の成果が，文字には現れない人々の生活を解明する一助となり，今後の調査・研究に活用されれば幸いです。

本書をまとめるにあたり，関係機関や団体また諸氏のご指導，ご協力をいただき厚く感謝いたします。

平成16年12月

財団法人富山県文化振興財団
埋蔵文化財調査事務所
所長　桃野真晃

例　言

1　本書は富山県射水郡小杉町黒河地内に所在する黒河尺目遺跡，黒河・中老田遺跡（本書では黒河中老田遺跡とする）の発掘調査報告書である。

2　調査は富山県土木部道路課，高岡土木センター（旧高岡土木事務所）の委託を受けて，財団法人富山県文化振興財団が行った。

3　本遺跡の発掘調査期間と本書刊行までの整理期間は下記のとおりである。

調査期間　　平成12（2000）年７月17日～12月22日

整理期間　　平成15（2003）年３月28日～平成17（2005）年３月30日

4　本書の編集・執筆は，金三津道子，町田尚美が担当し，執筆分担は文末に記した。

5　本遺跡出土石器について津幡町教育委員会　戸谷邦隆氏より玉稿を賜った。

6　遺物の写真撮影は，いろは写房（代表　稲野彰子）及び楠華堂（代表　内田真紀子）に委託した。

7　自然科学的な分析は，以下の諸機関に委託し，その成果について報文を得た。

木製品樹種同定	財団法人　元興寺文化財研究所
木製品放射性炭素年代測定	株式会社古環境研究所
金属分析	川鉄テクノリサーチ株式会社
石材鑑定及び属性分析，使用痕分析	株式会社アルカ

8　発掘調査から本書の作成に至るまで，下記の方々から多大な御教示・御協力を得た。記して謝意を表したい。（敬省略，五十音順）

赤澤徳明，池野正男，稲垣尚美，上野　章，酒井重洋，須原　拓，高橋浩二，戸谷邦隆，原田義範，平川　南，松田　潔，黒河土地改良区，小杉町教育委員会，新湊市博物館，富山県教育委員会，富山県埋蔵文化財センター

凡　例

1　本書には本文，挿図及び表，自然科学的分析と写真図版を掲載する。

2　時期別に検出した主な遺構・出土遺物の内容については，文末に一覧で掲載している。

3　時代区分は以下のように分けた。

黒河尺目遺跡　　縄文時代，古代・中世

黒河中老田遺跡　　古墳時代，古代

4　本書で示す方位は全て真北である。

5　挿図の縮尺は次の率を基本とし，各図の下に縮尺率を示す。遺物出土状況図にはレベル値（標高）を付した。遺物写真図版の縮尺は統一していない。

遺構　建物：1/100，溝：1/40・1/200，井戸：1/40，土坑1/40，遺物出土状況：1/20・1/40

遺物　土器・陶磁器：1/3・1/4，土製品1/2・1/3，木製品：1/4・1/6・1/8，石製品：2/3・1/3，金属製品：1/3

6　遺構の略号は以下のとおりである。

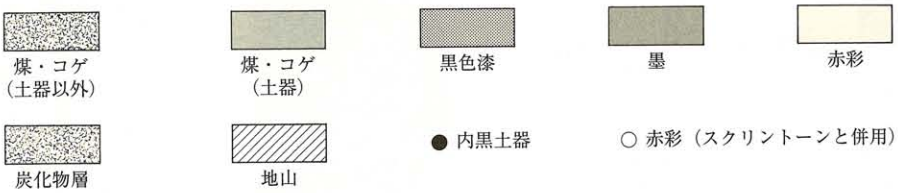
ＳＢ：建物，ＳＤ：溝，ＳＥ：井戸，ＳＫ：土坑，ＳＰ：柱穴，ＳＸ：その他

7　遺構番号は，調査時に遺跡毎に付した番号で，遺跡毎に1から付してある。遺構の種類に関わらず連番号とし，黒河尺目遺跡の建物には新たに番号を付した。

8　遺物の番号は遺跡毎に連番を付す。遺物番号は遺物観察表及び挿図図版，写真図版中の遺物番号と一致する。なお，遺構出土のものでも混入品と判断したものは包含層扱いとしている。

9　施釉陶器等の釉の掛かる範囲は1点破線で示した。2種類以上の釉が掛かる場合や絵付けがされている場合はトレースの濃淡で示した。

10　遺物の煤付着部分及び赤彩部分等，遺構図中の地山及び炭化物層等はスクリーントーンで示す。以下に図示したもの以外については，それぞれの図・文を参照されたい。



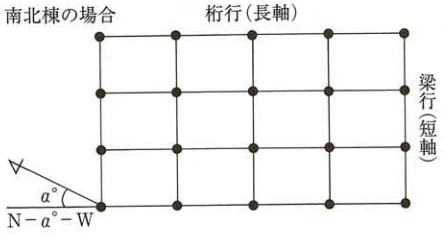
11　遺跡の略号は，黒河尺目遺跡が「22ＫＪ－Ａ」，黒河中老田遺跡が「22ＫＮ－Ａ」で，遺物の注記には略号を用いた。

12　遺構一覧及び本文中で用いる遺構の用語・数値等は以下のとおりとする。

掘立柱建物：用語は「平城宮発掘調査報告Ⅶ」を参考とし，以下のように定義付ける。

①　柱間や胸方向に関わらず建物の平面図の長軸を「桁行」，短軸を「梁行」とし，桁行（間）×梁行（間）の順に表記する。

②　建物の棟方位は，真北から建物の長軸の方位を測る。その角度から建物を「東西棟」と「南北棟」に分けた。



③　建物の面積は長軸に短軸をかけた数値である。

④　「柱穴」とは柱位置に遺存する穴の総称とする。

⑤　「柱掘形」とは，掘立柱を据え付けるための穴のことで，「掘形埋土」とは柱根を固定するために柱掘形に入れた土のことである。

⑥　「柱根」とは，遺存している柱自体の下部のことであり，「柱痕跡」とは柱掘形の中の柱根が立ったまま腐り消えて空洞になり，そこに土が流れ込んだもので，ここでは柱根が抜き取られたものも含む。

⑦　柱穴の規模は，遺構確認面から測った数値である。

遺構一覧・遺物一覧：観察表の凡例は以下のとおりである。

①　遺構の埋土に切り合い関係がある場合は，備考欄に新＞古のように記号で示す。

②　遺構の規模はm単位で示す。

③　遺物の法量はcm単位で示す。

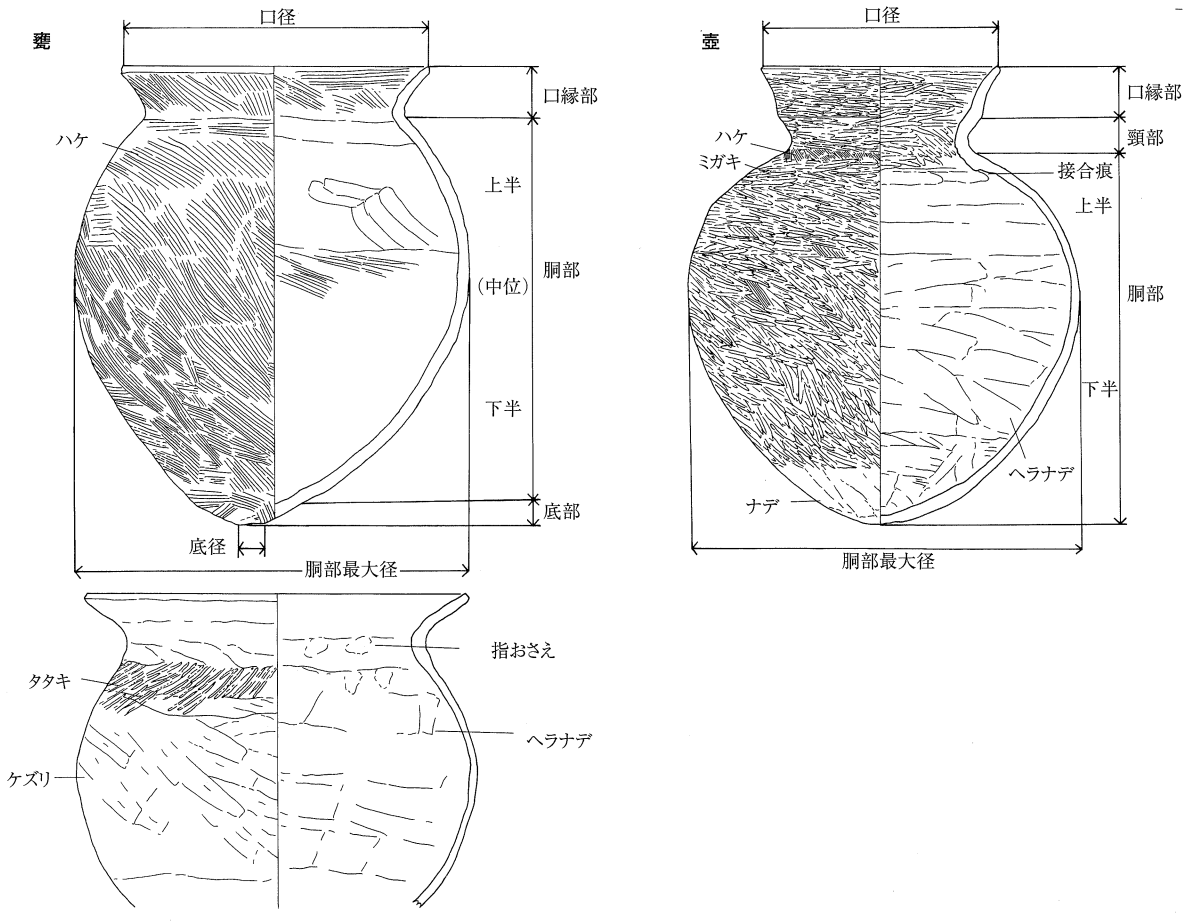
④　重量はｇ単位で示す。計測は大きさにより台秤と電子秤を使い分けた。

⑤　色調・釉調は農林水産省農林水産技術会議事務局監修　財団法人日本色彩研究所色票監修「新版標準土色帖」・財団法人日本規格協会「標準色票　光沢版」を使用し，釉調の和名は小学館『色の手帖』より似たものを使用した。なお，陶磁器のうち複数の色が見られる場合は，最も多く使用されている色を記し，その他は備考欄に記す。但し透明釉の場合は記入しない。

⑥　黒河中老田遺跡の古墳時代の土器については調整方法を以下の部位に分けて記す。

外口頸：外面口縁部及び頸部，外胴上：外面胴部上半，外胴下：外面胴部下半

内口頸：内面口縁部及び頸部，内胴上：内面胴部上半，内胴下：内面胴部下半



目　次

第Ⅰ章　調査経緯 …… 1
1　調査に至る経緯 …… 1
A　調査の契機 …… 1　B　過去の調査 …… 1
C　試掘調査 …… 1　D　本調査 …… 3
2　調査経過 …… 4
A　調査方法 …… 4　B　調査の経過 …… 4
C　調査体制 …… 6　D　現地説明会 …… 6
E　整理の経過 …… 7　F　整理体制 …… 7

第Ⅱ章　立地と歴史的環境 …… 8
1　立地 …… 8
2　歴史的環境 …… 8

第Ⅲ章　黒河尺目遺跡 …… 13
1　遺跡の概要 …… 13
A　概要 …… 13　B　土層 …… 13
2　遺構・遺物 …… 14
A　縄文時代 …… 14　B　古代・中世 …… 54
3　まとめ …… 131
A　遺構 …… 131　B　遺物 …… 133

第Ⅳ章　黒河中老田遺跡 …… 169
1　遺跡の概要 …… 169
A　概要 …… 169　B　土層 …… 169
2　遺構・遺物 …… 170
A　古墳時代 …… 170　B　古代 …… 210
C　包含層出土遺物 …… 227
3　まとめ …… 233
A　遺構 …… 233　B　遺物 …… 235

第Ⅴ章　考察 …… 251
1　黒河尺目遺跡の掘立柱建物について …… 251
2　粘土採掘坑について …… 263
3　弥生時代後期後半以降の石製土掘り具 …… 275

第Ⅵ章　結語 …… 283

自然科学的分析 …… 285
Ⅰ　黒河中老田遺跡樹種鑑定報告書 …… 287
Ⅱ　富山県、黒河中老田遺跡における放射性炭素年代測定 …… 295
Ⅲ　黒河尺目遺跡出土鉄滓等分析調査 …… 301
Ⅳ　黒河中老田遺跡・黒河尺目遺跡から出土した石器群について …… 339
Ⅴ　黒河中老田遺跡・黒河尺目遺跡から出土した打製石斧の低倍率使用痕分析 …… 373

巻首図版目次

巻首図版１　遺跡遠景
巻首図版２　黒河尺目遺跡　（縄文時代）粘土採掘坑　（古代）掘立柱建物
巻首図版３　黒河尺目遺跡　（縄文時代）縄文土器　土偶
巻首図版４　黒河中老田遺跡　（古墳時代・古代）北地区全景　（古墳時代）南地区粘土採掘坑
巻首図版５　黒河中老田遺跡　（古墳時代）土師器
巻首図版６　黒河中老田遺跡　（古代）須恵器　叩き板

図版目次

図版１　遺跡遠景
図版２　航空写真　1966年撮影
図版３　航空写真　1997年撮影
図版４　黒河尺目遺跡　遺跡全景
図版５　黒河尺目遺跡　土坑(縄文時代)　土坑群全景　ＳＫ366～ＳＫ369
図版６　黒河尺目遺跡　土坑・遺物出土状況(縄文時代)　ＳＫ262　ＳＸ360　ＳＸ364　ＳＫ369　ＳＫ411　ＳＫ481
図版７　黒河尺目遺跡　土坑・遺物出土状況(縄文時代)　ＳＫ1526　ＳＸ1528　ＳＫ1530　ＳＫ1532　ＳＫ1542～ＳＫ1544
図版８　黒河尺目遺跡　遺構全景（古代・中世）　遺構全景　北半分
図版９　黒河尺目遺跡　遺構全景・掘立柱建物（古代・中世）　南半分　ＳＢ１～ＳＢ４
図版10　黒河尺目遺跡　掘立柱建物（古代）　ＳＢ２　ＳＢ３
図版11　黒河尺目遺跡　掘立柱建物（古代・中世）　ＳＢ４　ＳＢ８　ＳＢ９
図版12　黒河尺目遺跡　掘立柱建物（古代・中世）　ＳＢ６　ＳＢ17～ＳＢ20　ＳＢ31
図版13　黒河尺目遺跡　掘立柱建物（古代・中世）　ＳＢ22　ＳＢ24～ＳＢ27
図版14　黒河尺目遺跡　掘立柱建物（古代・中世）　ＳＢ37　ＳＢ38　ＳＢ40　ＳＢ41
図版15　黒河尺目遺跡　柱穴（古代・中世）　ＳＰ88　ＳＰ664　ＳＰ742～ＳＰ745　ＳＰ1299　ＳＰ1315
図版16　黒河尺目遺跡　溝（古代・中世）　ＳＤ２　ＳＤ11　ＳＤ330　ＳＤ656　ＳＤ795　ＳＤ875
図版17　黒河尺目遺跡　柵群・井戸（古代・中世）　ＳＡ１　ＳＥ43　ＳＥ165　ＳＥ167　ＳＥ260
図版18　黒河尺目遺跡　井戸・土坑（古代・中世）　ＳＥ486　ＳＥ781　ＳＥ1408　ＳＸ８　ＳＸ９　ＳＫ371　ＳＫ421　ＳＫ591　ＳＫ1259
図版19　黒河尺目遺跡　掘立柱建物・土坑（古代・中世）　ＳＢ35　ＳＸ1344
図版20　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（縄文時代）　ＳＫ262　ＳＫ326　ＳＸ364　ＳＸ1035
図版21　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（縄文時代）　ＳＫ369　ＳＸ1145　ＳＸ1528　ＳＫ1529
図版22　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（縄文時代）　ＳＸ1528　ＳＫ1530　ＳＫ1535　包含層
図版23　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（縄文時代）　ＳＸ９　ＳＸ360　ＳＫ411　包含層
図版24　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（縄文時代）　ＳＫ262　ＳＸ364
図版25　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（縄文時代）　ＳＫ366～ＳＫ369　ＳＫ384
図版26　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（縄文時代）　ＳＸ1035　ＳＸ1145　ＳＸ1146　ＳＸ1523　ＳＫ1524　ＳＫ1526　ＳＫ1527
図版27　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（縄文時代）　ＳＸ1528
図版28　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（縄文時代）　ＳＸ1528　ＳＫ1531～ＳＫ1534　ＳＫ1538　ＳＫ1547
図版29　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（縄文時代）　ＳＫ1529　ＳＫ1537　ＳＫ1539

図版30　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（縄文時代）　ＳＫ1529　包含層
図版31　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（縄文時代）　包含層
図版32　黒河尺目遺跡　出土遺物　土製品（縄文時代）　ＳＸ364　ＳＫ1527　ＳＸ1528　ＳＫ1529　包含層
図版33　黒河尺目遺跡　出土遺物　土製品（縄文時代）　包含層
図版34　黒河尺目遺跡　出土遺物　土製品（縄文時代）　ＳＫ1529　包含層
図版35　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　ＳＤ２　ＳＤ11　ＳＤ656　ＳＤ795　ＳＥ167
ＳＫ159　ＳＫ371　ＳＫ732　ＳＫ1055
ＳＫ1259　包含層
図版36　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　ＳＤ10　ＳＤ656　ＳＤ669　ＳＤ795　ＳＥ850
ＳＸ８　ＳＫ315　ＳＫ591　ＳＫ1259
ＳＸ1486　包含層
図版37　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　ＳＫ1259　ＳＫ1545　包含層
図版38　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　ＳＤ656　ＳＤ795　ＳＥ167　ＳＥ853
ＳＥ1179　ＳＫ933　ＳＫ1259　包含層
図版39　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　包含層
図版40　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　ＳＫ431　包含層
図版41　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　ＳＰ1447　ＳＫ371　ＳＰ454　ＳＫ1289
図版42　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　ＳＫ1259
図版43　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　包含層
図版44　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　ＳＰ439　ＳＫ371　ＳＫ1259　ＳＫ1398
図版45　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　ＳＥ43　ＳＸ1344
図版46　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　ＳＤ795　ＳＥ43　ＳＥ486　ＳＥ1179　ＳＫ３
ＳＫ６　ＳＫ562　包含層
図版47　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　ＳＤ656　ＳＥ486　ＳＥ1179　ＳＫ６　ＳＫ800
ＳＫ825　ＳＸ1344　包含層
図版48　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　ＳＰ600　ＳＤ875　ＳＥ167　ＳＥ1179　ＳＫ６
ＳＫ591　ＳＫ668　ＳＫ800　ＳＸ1344
ＳＫ1498　包含層
図版49　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器・陶磁器（古代・中世）　ＳＰ1159　ＳＤ656　ＳＤ669
ＳＤ795　ＳＥ781　ＳＫ３　ＳＫ591
ＳＫ846　ＳＸ1344　包含層
図版50　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　ＳＰ128　ＳＰ1198　ＳＰ1207　ＳＤ２
ＳＤ11　ＳＤ656　ＳＤ875　ＳＸ1344
図版51　黒河尺目遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　包含層
図版52　黒河尺目遺跡　出土遺物　石製品（縄文時代）　ＳＸ９　ＳＫ368　包含層
図版53　黒河尺目遺跡　出土遺物　石製品（縄文時代）　包含層
図版54　黒河尺目遺跡　出土遺物　石製品（縄文時代）　包含層
図版55　黒河尺目遺跡　出土遺物　石製品（縄文時代）　ＳＸ1528　ＳＫ1529　ＳＫ1532　ＳＫ1533
包含層
図版56　黒河尺目遺跡　出土遺物　石製品（縄文時代）　包含層
図版57　黒河尺目遺跡　出土遺物　石製品（縄文時代）　包含層
図版58　黒河尺目遺跡・黒河中老田遺跡　出土遺物　石製品（縄文時代）　包含層
図版59　黒河尺目遺跡・黒河中老田遺跡　出土遺物　石製品（縄文時代）　黒河尺目　ＳＸ1146　包含層
黒河中老田 包含層
図版60　黒河尺目遺跡・黒河中老田遺跡　出土遺物　石製品（縄文時代）　包含層

図版61　黒河尺目遺跡・黒河中老田遺跡　出土遺物　石製品（縄文・古墳・古代・中世）
黒河尺目　ＳＥ165　ＳＥ260　包含層
黒河中老田　ＳＫ54・ＳＫ55　包含層
図版62　黒河尺目遺跡・黒河中老田遺跡　出土遺物　金属製品（古代・中世）
黒河尺目　ＳＤ２　ＳＤ656　ＳＤ795　ＳＸ８　ＳＫ70　ＳＫ136　ＳＫ371
ＳＫ800　ＳＫ1193　包含層
黒河中老田　ＳＫ193　包含層
図版63　黒河尺目遺跡・黒河中老田遺跡　出土遺物　金属製品・土製品（古代・中世）
黒河尺目　ＳＤ11　ＳＤ656　ＳＤ795　ＳＥ167　ＳＥ853　包含層
黒河中老田　包含層
図版64　黒河尺目遺跡・黒河中老田遺跡　出土遺物　土製品（古代・中世）
黒河尺目　ＳＥ167　ＳＸ８　ＳＫ390　包含層
黒河中老田　包含層
図版65　黒河中老田遺跡　遺跡全景
図版66　黒河中老田遺跡　遺構全景（古墳時代）北地区　南地区
図版67　黒河中老田遺跡　土坑（古墳時代）ＳＫ17　ＳＫ27　ＳＫ60　ＳＫ123　ＳＫ124　ＳＫ127
ＳＫ148　ＳＫ152
図版68　黒河中老田遺跡　土坑（古墳時代・古代）ＳＫ105　ＳＸ161　ＳＫ165　ＳＫ170　ＳＫ180
ＳＫ295　ＳＫ296
図版69　黒河中老田遺跡　遺物出土状況（古墳時代）　ＳＫ16　ＳＫ21　ＳＫ34　ＳＫ36・ＳＫ37
ＳＫ38　ＳＫ41　ＳＫ152
図版70　黒河中老田遺跡　遺物出土状況（古墳時代・古代）　ＳＤ65　ＳＤ103　ＳＫ113　ＳＫ165
ＳＫ298
図版71　黒河中老田遺跡　遺物出土状況（古墳時代）　ＳＸ160
図版72　黒河中老田遺跡　遺物出土状況・井戸（古墳時代・古代）　ＳＸ160　ＳＫ180　ＳＫ264
ＳＥ304
図版73　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古墳時代）　ＳＫ10　ＳＸ160
図版74　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古墳時代）　ＳＫ４　ＳＸ160
図版75　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古墳時代）　ＳＫ140　ＳＸ160
図版76　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古墳時代）　ＳＤ65　ＳＫ21　ＳＫ105　ＳＫ113　ＳＫ140
図版77　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古墳時代）　ＳＫ33　ＳＫ41　ＳＫ142　ＳＸ160
図版78　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古墳時代）　ＳＤ65　ＳＫ６　ＳＫ152　ＳＸ160
図版79　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古墳時代）　ＳＫ36　ＳＫ120　ＳＫ125　ＳＸ160
図版80　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古墳時代）　ＳＤ65　ＳＫ44・ＳＫ45
図版81　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古墳時代）　ＳＸ160　ＳＸ161　ＳＫ165
図版82　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古墳時代）　ＳＤ65　ＳＤ103　ＳＸ160
図版83　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古代）　ＳＥ304　ＳＫ264　包含層
図版84　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古代）　ＳＫ180　ＳＫ193　包含層
図版85　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古代）　ＳＫ193　包含層
図版86　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古代）　包含層
図版87　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古代）　包含層
図版88　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古代）　ＳＤ131　ＳＥ304　ＳＫ180　ＳＫ193
ＳＫ241　ＳＫ306　包含層
図版89　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古代）　ＳＫ193　包含層
図版90　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古代）　ＳＸ168　ＳＫ180　包含層
図版91　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古代）　ＳＫ296　包含層

図版92　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古代）　包含層
図版93　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器・土製品（古代）　ＳＸ168　ＳＫ180　ＳＫ270　包含層
図版94　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（古代・中世）　包含層
図版95　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器・土製品（縄文時代）　包含層
図版96　黒河中老田遺跡　出土遺物　土器（縄文時代）　包含層
図版97　黒河中老田遺跡　出土遺物　陶磁器（中世）　包含層
図版98　黒河中老田遺跡　出土遺物　木製品（古代・中世以降）　ＳＫ180　包含層
図版99　黒河中老田遺跡　出土遺物　木製品（古墳時代・古代）　ＳＤ103　ＳＫ38　ＳＫ180　ＳＫ186　ＳＫ298
図版100　黒河中老田遺跡　出土遺物　木製品（古墳時代）　ＳＤ65　SD103　ＳＫ16　ＳＫ33　ＳＸ160
図版101　黒河中老田遺跡　出土遺物　石製品（縄文時代・古墳時代）　ＳＫ34　ＳＫ162　包含層
図版102　黒河中老田遺跡　出土遺物　石製品（縄文時代・古墳時代）　ＳＫ34　ＳＫ162　包含層
図版103　黒河中老田遺跡　出土遺物　石製品（縄文時代）　包含層
図版104　黒河中老田遺跡　出土遺物　石製品（縄文時代）　包含層

挿図目次

第１図　調査位置図 …… 1
第２図　過去の調査区位置図 …… 2
第３図　試掘トレンチ位置図 …… 3
第４図　調査地区区割図 …… 5
第５図　周辺遺跡位置図 …… 10
第６図　黒河尺目遺跡基本層序模式図 …… 13
第７図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（縄文時代）　ＳＸ９ …… 15
第８図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（縄文時代）　ＳＫ138　ＳＫ262　ＳＸ360　ＳＫ411　ＳＫ592 …… 16
第９図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（縄文時代）　ＳＸ364　ＳＫ481　ＳＫ484　ＳＫ485　ＳＫ492　ＳＫ493 …… 18
第10図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（縄文時代）　ＳＫ366～ＳＫ369　ＳＫ384　ＳＫ385　ＳＫ513～ＳＫ515 …… 19
第11図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（縄文時代）　ＳＸ1146 …… 22
第12図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（縄文時代）　ＳＸ1146 …… 23
第13図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（縄文時代）　ＳＸ1523 …… 24
第14図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（縄文時代）　ＳＸ1528　ＳＫ1530 …… 27
第15図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　ＳＸ９　ＳＫ262　ＳＫ326 …… 30
第16図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　ＳＸ360　ＳＸ364 …… 31
第17図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　ＳＸ364　ＳＫ366　ＳＫ367 …… 32
第18図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　ＳＫ368　ＳＫ369 …… 33
第19図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　ＳＫ384　ＳＫ411　ＳＫ481　ＳＫ952 …… 34
第20図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　ＳＸ1035　ＳＸ1145　ＳＸ1146　ＳＸ1523　ＳＫ1524　ＳＫ1526　ＳＫ1527 …… 35
第21図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　ＳＫ1526～ＳＸ1528 …… 36
第22図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　ＳＸ1528 …… 37
第23図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　ＳＸ1528　ＳＫ1529 …… 38
第24図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　ＳＫ1529～ＳＫ1535 …… 39
第25図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　ＳＫ1537～ＳＫ1539　ＳＫ1547 …… 40

第26図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　ＳＸ９　ＳＸ1146　ＳＫ1253　ＳＸ1528　ＳＫ1529
ＳＫ1532　ＳＫ1533 …… 42
第27図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……43
第28図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……44
第29図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……45
第30図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……46
第31図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　ＳＫ368　包含層……47
第32図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……48
第33図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……49
第34図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……50
第35図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……51
第36図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……52
第37図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……53
第38図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代）　ＳＢ１　ＳＢ２ ……55
第39図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代）　ＳＢ３　ＳＢ４ ……56
第40図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ５　ＳＢ７　ＳＢ８ ……59
第41図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ６ ……60
第42図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ６　ＳＢ９　ＳＢ10 ……61
第43図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ11 ……62
第44図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ12　ＳＢ13 ……63
第45図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ14～ＳＢ16　ＳＢ21 ……64
第46図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ17～ＳＢ20 ……66
第47図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ19　ＳＢ20　ＳＢ22 ……67
第48図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ24～ＳＢ27 ……69
第49図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ24 ……70
第50図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ23　ＳＢ27 ……71
第51図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ28　ＳＢ29 ……73
第52図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ30　ＳＢ31 ……74
第53図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ32　ＳＢ33 ……75
第54図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ35　ＳＸ1344　ＳＫ1345 ……77
第55図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ34　ＳＢ36 ……78
第56図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ37　ＳＢ38 ……79
第57図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ39　ＳＢ40 ……81
第58図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ41　ＳＢ43 …… 82
第59図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ42 ……83
第60図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＢ44　ＳＡ１ ……85
第61図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　ＳＰ55　ＳＰ128　ＳＰ160　ＳＰ225　ＳＰ396
ＳＰ435　ＳＰ439　ＳＰ452　ＳＰ454　ＳＰ466
ＳＰ600　ＳＰ744　ＳＰ1159　ＳＰ1198　ＳＰ1207
ＳＰ1318　ＳＰ1447 ……86
第62図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＤ11　ＳＤ330　ＳＤ450　ＳＤ488　ＳＤ669
ＳＤ722　ＳＤ751　ＳＤ875　ＳＤ876 ……88
第63図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＤ２　ＳＤ７　ＳＤ10 ……89
第64図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＤ656　ＳＤ795 ……91
第65図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　ＳＤ２　ＳＤ10　ＳＤ11　ＳＤ450　ＳＤ656
ＳＤ669　ＳＤ795　ＳＤ875……92

第66図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　ＳＤ656　ＳＤ795 ……93
第67図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＥ43　ＳＥ165　ＳＥ167　ＳＥ260　ＳＥ486
ＳＥ575……95
第68図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＥ781　ＳＥ799　ＳＥ850　ＳＥ1179　ＳＥ1327
ＳＥ1349　ＳＥ1408 ……97
第69図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　ＳＥ43　ＳＥ167　ＳＥ260　ＳＥ486　ＳＥ575
ＳＥ781　ＳＥ850　ＳＥ853　ＳＥ1179　ＳＥ1349
ＳＥ1408 ……98
第70図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　ＳＥ165　ＳＥ167　ＳＥ260　ＳＥ853 ……99
第71図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＫ３　ＳＫ４　ＳＫ６　ＳＫ17　ＳＫ19　ＳＫ21
ＳＫ44　ＳＫ60　ＳＫ63　ＳＫ127　ＳＫ156
ＳＫ174 ……103
第72図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＸ８　ＳＫ159　ＳＫ175　ＳＫ184
ＳＫ300　ＳＫ420～ＳＫ422 ……104
第73図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＤ430　ＳＫ315　ＳＸ370　ＳＫ371　ＳＫ378
ＳＫ379　ＳＫ428　ＳＫ431　ＳＫ443……106
第74図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＫ414　ＳＫ417　ＳＫ437　ＳＫ465　ＳＫ467
ＳＫ470　ＳＫ472　ＳＫ474～ＳＫ476　ＳＫ482
ＳＫ497　ＳＫ498……109
第75図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＫ551　ＳＫ562　ＳＫ585　ＳＫ591　ＳＫ628
ＳＫ636　ＳＰ637　ＳＫ659　ＳＫ668　ＳＫ758
ＳＫ729　ＳＫ732　ＳＫ782 ……111
第76図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＥ853　ＳＫ792　ＳＫ800　ＳＫ824　ＳＫ825
ＳＫ845　ＳＫ846　ＳＫ854　ＳＫ897　ＳＫ899
ＳＫ933　ＳＫ955……114
第77図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＫ1041　ＳＫ1055　ＳＫ1078　ＳＫ1097
ＳＫ1126　ＳＫ1193　ＳＫ1210　ＳＫ1226
ＳＫ1227　ＳＫ1246　ＳＫ1250　ＳＫ1259
ＳＫ1272　ＳＫ1279　ＳＫ1280……116
第78図　黒河尺目遺跡　遺構実測図（古代・中世）　ＳＫ1285　ＳＫ1289　ＳＫ1326　ＳＫ1328
ＳＫ1336　ＳＫ1337　ＳＫ1339　ＳＫ1358
ＳＫ1398　ＳＫ1412　ＳＸ1486　ＳＫ1498
ＳＫ1545……119
第79図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　ＳＫ３　ＳＫ６　ＳＸ８　ＳＫ19　ＳＫ44　ＳＫ70
ＳＫ136　ＳＫ156　ＳＫ159　ＳＫ174　ＳＫ184
ＳＫ371 ……120
第80図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　ＳＫ315　ＳＫ421　ＳＫ428　ＳＫ431　ＳＫ437
ＳＫ465　ＳＫ551　ＳＫ562　ＳＫ585　ＳＫ591
ＳＫ668　ＳＫ732　ＳＫ800　ＳＫ825　ＳＫ846
ＳＫ933　ＳＫ955　ＳＫ1055……121
第81図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　ＳＫ1193　ＳＫ1259　ＳＫ1289　ＳＸ1344　ＳＫ1398
ＳＸ1486　ＳＫ1498　ＳＫ1545 ……122
第82図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　包含層……124
第83図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　包含層……125
第84図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　包含層……126
第85図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　包含層……128

第86図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　包含層 ……129
第87図　黒河尺目遺跡　遺物実測図（古代・中世）　包含層 ……130
第88図　黒河尺目遺跡　時期別遺構分布図 ……132
第89図　黒河中老田遺跡基本層序模式図 ……169
第90図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＤ65 ……171
第91図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＤ102　ＳＤ103 ……172
第92図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＤ65 ……173
第93図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＤ102　ＳＤ103　ＳＸ160 ……174
第94図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＸ160　ＳＸ161 ……175
第95図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＸ160 ……177
第96図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＸ160 ……178
第97図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＸ160 ……179
第98図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＸ160 ……180
第99図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＫ140　ＳＸ160　ＳＫ203 ……181
第100図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＫ113　ＳＫ120　ＳＫ125　ＳＸ161　ＳＫ204 …182
第101図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＫ１～ＳＫ４　ＳＫ６　ＳＫ９ ……184
第102図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＫ10　ＳＫ12～ＳＫ14　ＳＫ16　ＳＫ21 ……186
第103図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＫ22　ＳＫ24　ＳＫ26～ＳＫ28　ＳＫ30　ＳＫ33 ……187
第104図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＫ34　ＳＫ36　ＳＫ37　ＳＫ53～ＳＫ56 ……191
第105図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＫ38～ＳＫ42　ＳＫ44　ＳＫ45　ＳＫ50 ……192
第106図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＫ38～ＳＫ42　ＳＫ44　ＳＫ45　ＳＫ50　ＳＫ58～ＳＫ60 ……193
第107図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＫ49　ＳＫ51　ＳＫ52　ＳＫ61　ＳＫ63 ……194
第108図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＫ105　ＳＫ111　ＳＫ112　ＳＫ120　ＳＫ124　ＳＫ125 ……196
第109図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＫ130　ＳＫ140　ＳＫ148 ……197
第110図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＫ142　ＳＸ144　ＳＫ152　ＳＫ165　ＳＫ170 ……199
第111図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古墳時代）　ＳＫ167　ＳＫ182　ＳＫ185　ＳＫ186　ＳＫ190 ……201
第112図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＫ１　ＳＫ４　ＳＫ６　ＳＫ10　ＳＫ14　ＳＫ21　ＳＫ24 ……203
第113図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＫ28　ＳＫ33　ＳＫ34　ＳＫ36～ＳＫ38　ＳＫ41 ……204
第114図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＫ40　ＳＫ42　ＳＫ44　ＳＫ45　ＳＫ51　ＳＫ52　ＳＫ54　ＳＫ55　ＳＫ63　ＳＫ112 ……205
第115図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＫ105　ＳＫ142　ＳＸ144　ＳＫ165　ＳＫ170　ＳＫ186　包含層 ……206
第116図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＤ65　ＳＤ103　ＳＸ160 ……207
第117図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＫ16　ＳＫ33　ＳＫ38　ＳＫ186 ……208
第118図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古墳時代）　ＳＫ3　ＳＫ11　ＳＫ33　ＳＫ34　ＳＫ54　ＳＫ55　ＳＫ162 ……209
第119図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古代）　ＳＫ104　ＳＤ131　ＳＫ193 ……211
第120図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古代）　ＳＤ131　ＳＫ193 ……212
第121図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古代）　ＳＥ304　ＳＸ168　ＳＫ180 ……213

第122図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古代）　ＳＸ168　ＳＫ180　ＳＫ270　ＳＫ296　ＳＥ304……214
第123図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古代）　ＳＫ180　ＳＫ193　ＳＫ298……215
第124図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古代）　ＳＫ212　ＳＫ215　ＳＫ220　ＳＫ224　ＳＫ227
ＳＫ239　ＳＫ240　ＳＫ242　ＳＫ245　ＳＫ247
ＳＫ249　ＳＫ309 ……217
第125図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古代）　ＳＫ241　ＳＫ260～ＳＫ264　ＳＫ270　ＳＫ271
ＳＫ275　ＳＫ282 ……220
第126図　黒河中老田遺跡　遺構実測図（古代）　ＳＫ276　ＳＫ280　ＳＫ287　ＳＫ296　ＳＫ298
ＳＫ300～ＳＫ303 ……221
第127図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古代）　ＳＫ241　ＳＫ264　SK306　包含層 ……223
第128図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古代）　包含層 ……224
第129図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古代）　包含層 ……225
第130図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（古代）　包含層 ……226
第131図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……228
第132図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……229
第133図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……230
第134図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（縄文時代）　包含層 ……231
第135図　黒河中老田遺跡　遺物実測図（中世）　包含層 ……232
第136図　黒河中老田遺跡　時期別遺構分布図 ……234
第137図　黒河中老田遺跡　古墳時代土器器種分類図 ……236
第138図　掘立柱建物変遷図①～③期 ……254
第139図　掘立柱建物変遷図④～⑥期 ……255
第140図　県内の遺跡類例（その１）……258
第141図　県内の遺跡類例（その２）……259
第142図　黒河中老田遺跡埋土別遺構図 ……263
第143図　遺跡位置図 ……265
第144図　主な粘土採掘坑 ……265
第145図　掘削道具 ……266
第146図　射水平野断面模式図 ……269
第147図　粘土採掘坑・掘削模式図 ……269
第148図　県外の主な粘土採掘坑 ……271
第149図　弥生後期後半以降の打製石斧分布図 ……275
第150図　狭鍬と広鍬と鋤 ……277
第151図　使用痕分析の結果狭鍬と判断された石器 ……277
第152図　従来の形態分類模式図 ……277
第153図　上荒屋遺跡ＳＤ40出土打製石斧 ……277
第154図　上荒屋遺跡ＳＤ40出土打製石斧模式図 ……277
第155図　刃部厚計測模式図 ……278
第156図　刃部に調整を施す一群 ……280
第157図　刃部に調整を施さない一群 ……280
第158図　刃部形模式図 ……281
第159図　黒河尺目遺跡全体図 ……283

表目次

第１表　過去の調査一覧 …… 2
第２表　調査一覧 …… 6
第３表　遺跡地名一覧 …… 11
第４表　黒河尺目遺跡　縄文時代土坑一覧 …… 134
第５表　黒河尺目遺跡　掘立柱建物一覧 …… 135
第６表　黒河尺目遺跡　柱穴一覧（1）～（7） …… 135
第７表　黒河尺目遺跡　溝一覧 …… 141
第８表　黒河尺目遺跡　井戸一覧 …… 142
第９表　黒河尺目遺跡　古代・中世土坑一覧（1）～（13） …… 142
第10表　黒河尺目遺跡　土器・土製品一覧（1）～（11） …… 155
第11表　黒河尺目遺跡　石製品一覧（1）・（2） …… 166
第12表　黒河尺目遺跡　金属製品一覧 …… 167
第13表　黒河中老田遺跡　土器分類一覧 …… 236
第14表　黒河中老田遺跡　県内土器編年の並行関係 …… 237
第15表　黒河中老田遺跡　溝一覧 …… 239
第16表　黒河中老田遺跡　井戸一覧 …… 239
第17表　黒河中老田遺跡　古墳時代土坑一覧（1）・（2） …… 239
第18表　黒河中老田遺跡　古代土坑一覧 …… 241
第19表　黒河中老田遺跡　古墳時代土器一覧（1）～（4） …… 242
第20表　黒河中老田遺跡　土器・土製品一覧（1）～（4） …… 246
第21表　黒河中老田遺跡　木製品一覧 …… 250
第22表　黒河中老田遺跡　石製品一覧 …… 250
第23表　黒河中老田遺跡　金属製品一覧 …… 250
第24表　古寺伽藍の方位と考古地磁気偏角 …… 249
第25表　県内の総柱建物類例一覧 …… 258
第26表　官衙遺跡の倉の平面形態 …… 259
第27表　県内粘土採掘坑一覧（射水丘陵周辺） …… 263
第28表　主な県外粘土採掘坑一覧 …… 271
第29表　切り合い関係の新旧 …… 275
第30表　刃部の厚さと調整の有無 …… 276
第31表　大きさと調整の有無 …… 277
第32表　刃部の形と調整の有無 …… 279

第Ⅰ章　調査経緯

1　調査に至る経緯

A　調査の契機

主要地方道小杉婦中線臨時道路交付金事業は，昭和41年４月８日に都市計画決定された都市計画街路七美・太閤山線の北部線から富山戸出小矢部線までの区間2.1㎞の整備事業を指す。工事対象区間は第１期整備区間である町道東老田高岡線から富山戸出小矢部線までの1.0㎞で，伏木富山港及び国道８号線と北陸自動車道小杉ＩＣを直結する南北の主要幹線となり，平成８年度より着手し，平成15年度に完成している。

小杉町では，高岡土木センター（旧高岡土木事務所）の依頼により平成10年11月13日に分布調査を行い，全区間で試掘調査の必要があることを確認し，平成11年７月から11月にかけて試掘調査を行った。その結果，黒河尺目遺跡で9,310㎡，黒河中老田遺跡及び針原西遺跡で9,650㎡の本調査，未買収地については試掘調査の必要があると判断した。

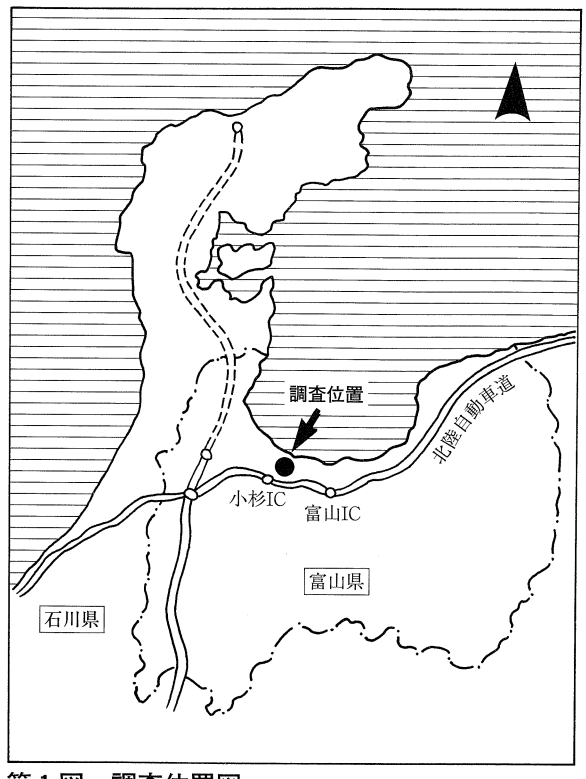
B　過去の調査

黒河尺目遺跡は，南北に長く昭和51年に都市計画街路七美・太閤山・高岡線の予定地を対象に行われた分布調査の結果，存在が明らかにされた遺跡である。この都市計画街路は高岡市西広上から小杉町太閤山を経て，新湊市七美に至る路線で，昭和61年度に小杉町黒河地内で試掘調査が行われた。その結果，多数の遺構・遺物が確認され，奈良時代の集落遺跡であることが推定されたため「黒河尺目遺跡」と名付けられた。本遺跡は，試掘調査を行って遺跡の範囲と性格を確認した結果を基に本調査を実施する方法で，既に昭和61・62年，平成２・３年に富山県埋蔵文化財センター及び小杉町教育委員会によって本調査が実施され，奈良時代を中心とした集落遺跡が確認されている。

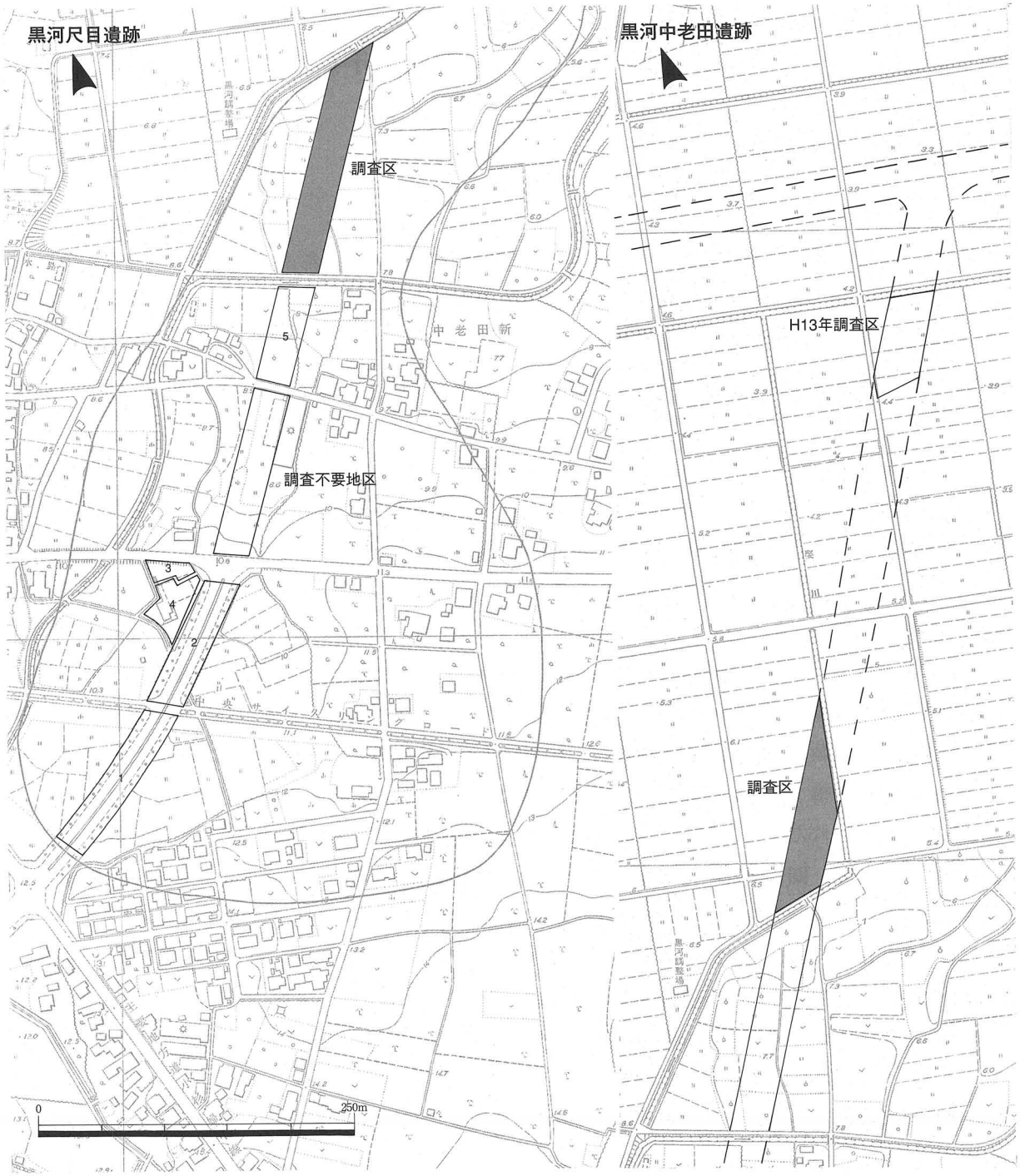
C　試掘調査

黒河尺目遺跡及び黒河中老田遺跡は主要地方道小杉婦中線臨時道路交付金事業の第１期整備区間内に位置しているため，小杉町教育委員会によって黒河尺目遺跡は平成11年７月12日から７月19日まで延べ６日間，黒河中老田遺跡は同年７月21日から11月16日まで延べ９日間の試掘調査が実施された。試掘調査は重機により，幅１ｍのトレンチを設け，壁面を人力により精査して包含層と遺構の確認を行う方法で行われた。

黒河尺目遺跡の調査対象地4,940㎡には10本のトレンチが設定された。発掘面積は約260㎡である。確認された遺構は溝と土坑で，遺物は縄文土器・須恵器・土師器・中世土師器等である。遺構の確認は非常に浅く地表から30㎝ほどで行え，対象地の南半分は攪乱が激しいとのことであった。



第１図　調査位置図



第２図　過去の調査区位置図　（1：5,000）

遺跡名	No.	調査年度	調査面積	時　代	遺　構	遺　物
黒河尺目遺跡	1	昭和61年	約3,400㎡	縄文・奈良・中世・近世	掘立柱建物・溝・土坑他	縄文土器・石器・土師器・須恵器・墨書土器・陶磁器・木製品
	2	昭和62年	約2,600㎡	縄文・奈良・中世・近世	掘立柱建物・溝・土坑他	縄文土器・土師器・須恵器・陶磁器・製鉄関連遺物
	3	平成２年	約　246㎡	縄文・奈良・中世・近世	掘立柱建物・溝・土坑他	縄文土器・土師器・須恵器・陶磁器・製鉄関連遺物
	4	平成３年	約1,000㎡	縄文・奈良・中世・近世	掘立柱建物・溝・土坑・井戸他	縄文土器・土師器・須恵器・陶磁器・木製品
	5	平成13年	約2,500㎡	縄文・奈良・平安・中世・近世	掘立柱建物・溝・土坑・井戸他	縄文土器・土師器・須恵器・内黒土器・墨書土器・陶磁器・木製品・石製品
黒河中老田遺跡		平成13年	約2,500㎡	縄文・奈良・平安・中世・近世	土坑・溝・河川跡	縄文土器・土師器・須恵器・陶磁器・木製品・石製品

第１表　過去の調査一覧

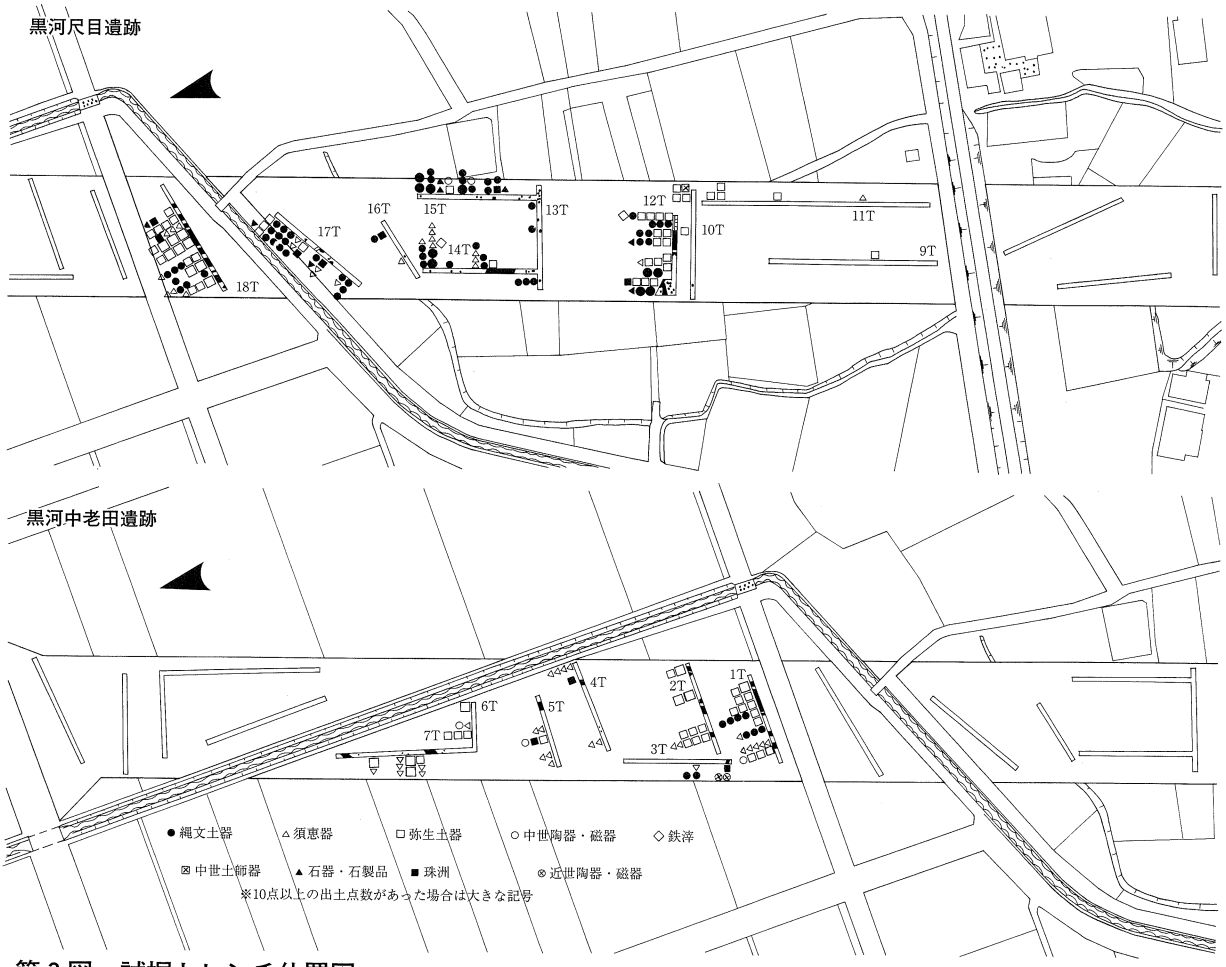
対象地は射水丘陵北端の舌状に延びた微高地と平野が接する地点に位置している。周辺のトレンチの調査結果から舌状に延びた微高地を取り巻くように旧河道が蛇行するものと考えられ，対象地は旧河道右岸の高台（自然堤防上）及び旧河道内に位置するものと考えられ，10トレンチ・12トレンチを中心とする対象地中央部に古代～中世の集落の存在が推定された。出土遺物については，黒河中老田遺跡も含め本調査の本文中で記述している。

黒河中老田遺跡の調査対象地3,292㎡には７本のトレンチが設定され，発掘面積は約180㎡である。確認された遺構は溝・土坑・井戸で，遺物は縄文土器・須恵器・土師器・木製品等である。対象地は射水平野の南端に位置し，黒河尺目遺跡とは地続きとなり，出土遺物も黒河尺目遺跡とほぼ同じ縄文・弥生～古墳・古代・中世の４時期から構成されていた。１トレンチ・２トレンチからは弥生末～古墳にかけての土器が多く出土しており，周辺に集落の存在が推定された。

D　本調査

本調査については，平成11年度の小杉町教育委員会による試掘調査中間報告の段階で，高岡土木センターから平成12年度の本調査の要望があったが，既に小杉町では町道東老田高岡線（主要地方道小杉婦中線道路整備事業第１期整備区間との交差点部分）の本調査が予定されていたため，平成11年９月に行われた小杉町教育委員会・同町都市建設課・高岡土木センター・県文化財課による協議の結果，富山県文化振興財団が本調査を受託することで合意した。

本調査は黒河尺目遺跡が平成12年７月17日から12月21日まで，黒河中老田遺跡が同年７月31日から12月22日まで実施した。



第３図　試掘トレンチ位置図

2　調査経過

A　調査方法

発掘調査の基準となるグリッドの設定に際しては国家座標を用い，＋77500，－4500をＸ０Ｙ０とし，南北方向をＸ軸，東西方向をＹ軸とした。グリッドは２ｍ方眼とし，各グリッド名は右上のＸ軸とＹ軸の座標とした。黒河尺目遺跡，黒河中老田遺跡ともに同一の基準点を使用し，連続したグリッドを用いた。それぞれの発掘範囲は黒河尺目遺跡がＸ44～Ｘ239，Ｙ63～Ｙ101，黒河中老田遺跡がＸ229～Ｘ320，Ｙ80～Ｙ107までである。両遺跡は地続きであるため，試掘調査とは異なるが，便宜上娑川で分けて南側を黒河尺目遺跡，北側を黒河中老田遺跡とし，それぞれＡ地区とした。

調査は表土・耕作土の除去，包含層の発掘，遺構確認面の精査・遺構の検出，遺構の発掘，遺構の記録，写真撮影，空中写真測量，補足作業の順で行った。

表土・耕作土の除去は，人力掘削による調査の事前準備として，調査員立ち会いのもと，試掘調査の結果を踏まえて基本層序を確認しながら，事業者側がバックホウにより行った。場所によっては，一部表土・耕作土の除去も人力で行った。

包含層の発掘はスコップ等を用い，人力で掘削した。排土はベルトコンベヤーを使用し，調査区内の端に集積し，ダンプによる調査区外への搬出は事業者側が行った。

遺構確認面の精査・遺構の検出は，遺構確認面に達するとジョレンやねじり鎌で精査し，検出した遺構にスプレーペンキ等でマーキングを行い遺構概略図を作成した。検出した遺構には遺構番号を付すが，各遺跡毎に遺構の種類に関わらず通し番号とした。

遺構の発掘は柱穴・井戸・小さい土坑は長軸に沿って半截，大きい土坑は十字またはそれ以上に，溝は適宜に間隔をあけてセクションベルトを残し，移植ゴテで発掘した。

遺構の記録は断面図を縮尺１/20で実測し，遺構によっては１/10の遺物出土状況図を作成した。黒河中老田遺跡においては遺物がまとまって出土したため，概略図に出土地点を記入して番号を付し，１/10の遺物出土状況図を作成した後，この番号を付して遺物の取り上げを行った。断面図の土層説明には『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局　監修）を用い，色調・土性・混入物の割合等を記載した。

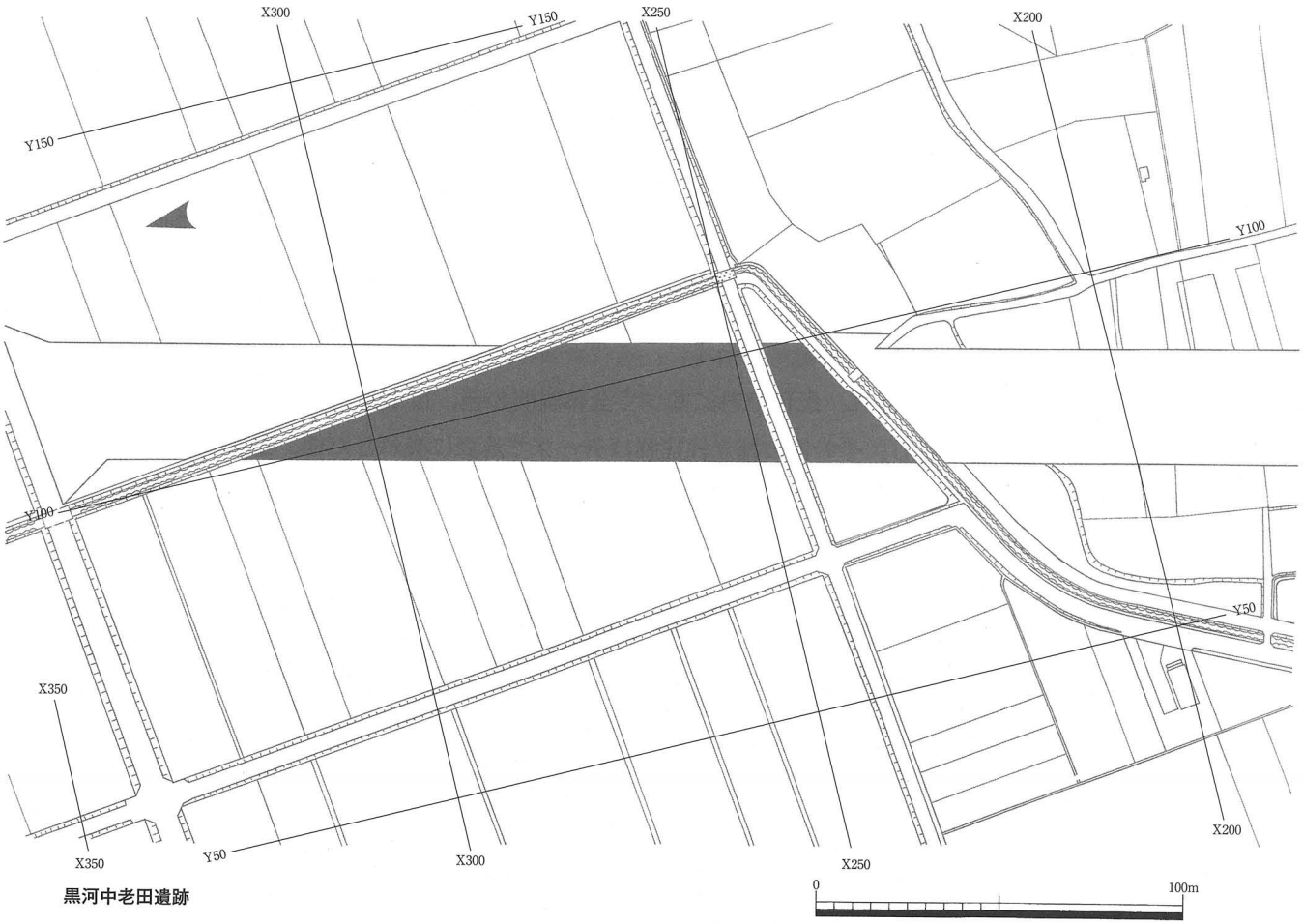
写真撮影は，各遺構の断面は35㎜カメラで，出土状況や個別の完掘写真・ブロック写真はブローニー判も併せて行った。調査区の全景写真は４×５インチ判カメラで２方向以上から撮影した。フィルムは，35㎜はカラーと白黒，ブローニー判・４×５インチ判はカラースライドと白黒を使用した。遺構の平面図作成には空中写真測量を利用し，ヘリコプターを使用した。また，空中写真測量のために残した畦等をはずして，遺構の完掘を確認するなどの補足作業を行った。

B　調査の経過

調査は平成12年度に，調査員３名２班の体制で行った。試掘調査の結果から表土の薄い黒河尺目遺跡については一部表土除去も人力で行うこととなったため，黒河尺目遺跡から調査に入った。

黒河尺目遺跡は調査前の現況が畑地及び果樹園であったため包含層が削平を受けており，表土直下が遺構検出面となった。このため表土除去の際には既に縄文から中世の遺物・遺構が露わになっており，時期別に遺構を検出することは困難であった。比較的，削平の影響が少なかった調査区中央部でのみ上層（古代・中世）と下層（縄文時代）の遺構を分離することができ，上層の調査終了後，下層の調査に入った。調査面積は4,940㎡，調査期間は７月17日～12月21日である。

黒河尺目遺跡



黒河中老田遺跡

第 4 図　調査地区区割図

黒河中老田遺跡は古墳時代と古代の2時期の遺構が検出されたが，遺構の重複が激しく，湧水もあったため，時期別に検出することは困難であった。なお，古墳時代の遺構は他遺跡との比較から粘土採掘坑群と判断したため，空中写真測量終了後に数基を人力で断ち割り，土坑の下部構造の確認を行った。調査面積は3,292㎡，調査期間は7月31日～12月22日である。

遺跡名		調査期間	延べ日数	調査面積	調査担当者	検出遺構	出土遺物
黒河尺目	古代･中世	平成12年7月17日～11月15日	61日	4,940㎡	三島道子 上田尚美 戸谷邦隆	掘立柱建物・柵・溝・井戸・土坑	須恵器・土師器・珠洲・青磁・白磁・灰釉陶器・瀬戸美濃・越中瀬戸・唐津・土製品・石製品・金属製品
	縄　文	平成12年11月16日～12月21日	20日			粘土採掘坑・土坑	縄文土器・土偶・土製品・石製品
黒河中老田	古墳･古代	平成12年7月31日～12月22日	62日	3,292㎡		溝・粘土採掘坑・土坑・井戸	須恵器・土師器・縄文土器・青磁・白磁・土製品・木製品・石製品・金属製品

第2表　調査一覧

C　調査体制

総　　括　桃野真晃　埋蔵文化財調査事務所所長
　　肥田啓章　埋蔵文化財調査事務所副所長
　　上野　章　埋蔵文化財調査事務所副所長
総　　務　竹中慎一　埋蔵文化財調査事務所総務課課長補佐
　　江本裕一　埋蔵文化財調査事務所主事
調査総括　池野正男　埋蔵文化財調査事務所調査第一課長
調 査 員　三島道子　埋蔵文化財調査事務所文化財保護主事
　　上田尚美　埋蔵文化財調査事務所文化財保護主事
　　戸谷邦隆　埋蔵文化財調査事務所文化財保護主事

D　現地説明会

発掘調査の結果を広く一般に公開するために，調査行程を検討しながら対象地区を選定して現地説明会を実施した。

平成12(2000)年10月16日　開催案内
　　10月22日　黒河尺目遺跡を会場に，古代から中世の掘立柱建物群等を公開した。

現地には約120名の見学者が訪れ，配付資料に基づく全体説明の後，自由に見学した。古代の倉庫群の柱穴には柱の模型を設置し，その他の掘立柱建物はテープで地表に表示した他，主要な遺構には調査員と解説パネルを配置して質問などに対応した。また，会場内に出土遺物や写真パネルを展示して，調査状況を公開した。

遺構の解説

出土遺物の展示解説

E　整理の経過

出土遺物は平成12年度内に可能な限り洗浄・注記・分類を行った。木製品・石製品・金属製品はメモ写真を撮影し，整理台帳を作成した。木製品は収納・管理の便宜を図るためオートシーラーと専用フィルムを用いてパックし，仮保管している。調査概要については『埋蔵文化財年報』(12)，『埋蔵文化財調査概要－平成12年度－』として刊行している。

報告書刊行に向けての本格的な整理は，平成15年４月に開始した。15年度に遺物の分類・接合・復原・実測・写真撮影及び挿図・写真図版の作成，遺構の挿図作成，原稿執筆を行い，16年度に編集，印刷を行った。

遺物の実測は土器・陶磁器・木製品を調査員及び整理作業員が行い，石製品・金属製品については業者委託による写真実測で行った。実測図は種類別の遺物カードに直接書き込むか貼り込んで整理した。遺構の実測図・写真・空中写真測量図は各台帳を作成して整理し，遺構カードとともにパーソナルコンピュータを使用してデータ入力した。挿図にある遺構・遺物のデータは観察表として報告書に掲載した。データ入力は人材派遣会社に委託し，調査員が補足した。

遺物の写真撮影は業者委託し，４×５インチ判を基本に白黒とカラースライドフィルムを使用して撮影した。写真図版には密着焼付または引き伸ばしたものを使用した。遺構写真・遺物写真のうち重要なものはプロフォトＣＤ化して保存した。

自然科学的分析は専門機関に委託し，結果報告を掲載した。

木製品のうち重要なものについては，平成13年度から平成15年度にかけて元興寺文化財研究所に委託して保存処理を行った。

F　整理体制

平成15(2003)年度

総　括	桃野真晃	埋蔵文化財調査事務所所長
	関　清	埋蔵文化財調査事務所副所長
	盛田世津子	埋蔵文化財調査事務所副所長
総　務	竹中慎一	埋蔵文化財調査事務所総務課課長補佐
	広田英貴	埋蔵文化財調査事務所主任
整理総括	宮田進一	埋蔵文化財調査事務所調査第二課長
担　当	金三津道子	埋蔵文化財調査事務所文化財保護主事

平成16(2004)年度

総　括	桃野真晃	埋蔵文化財調査事務所所長
	関　清	埋蔵文化財調査事務所副所長
	盛田世津子	埋蔵文化財調査事務所副所長
総　務	竹中慎一	埋蔵文化財調査事務所総務課課長補佐
	広田英貴	埋蔵文化財調査事務所主任
	岩田扶紀	埋蔵文化財調査事務所主任
整理総括	宮田進一	埋蔵文化財調査事務所調査第二課課長
担　当	新宅　茜	埋蔵文化財調査事務所文化財保護主事

（金三津道子）

第Ⅱ章　立地と歴史的環境

1　立地

富山県は本州のほぼ中央に位置しており，東を北アルプスに，西を両白山地及び西部丘陵に，南を飛騨高地に囲まれ，北は富山湾に面している。飛騨高地から北側に連なる音川山地，呉羽丘陵は県中央部に突出し，県を東西に二分している。小杉町は，富山県の中央部に位置し，東は富山市，南は婦中町・砺波市・高岡市，西は大門町・大島町，北は新湊市・下村に隣接している。町域は南北に長い楕円形を呈しており，南部の射水丘陵と北部の射水平野から形成され，その比率は４：６である。

射水丘陵は呉羽丘陵の南西部から西方に緩やかに伸びる丘陵で，地質は新生代第三紀の青井谷泥岩層を基盤とし，その上層には礫と砂泥からなる日ノ宮互層と太閤山火砕岩層が堆積している。太閤山火砕岩層の風化土は良質の粘土となり，古くから窯業を支えた大きな要因の一つである。射水丘陵と呉羽丘陵に挟まれた凹地には，鍛冶川を中心とする扇形の地形があり，堆積物から神通川の旧扇状地とされている。また，丘陵は鍛冶川・下条川やその支流によって樹枝状に刻まれ，谷間には池・堤・堰等とよばれる農業用水が点在する起伏に富んだ地形となっている。

北側に広がる射水平野は，東の神通川と西の庄川に挟まれた東西約11km，南北約７kmの低湿地帯である。縄文時代前期の縄文海進の頃は平野部の大半が海中に没しており，その後の気温低下に伴う海退によって，砂丘と後背湿地が形成された。この後背湿地の内陸部では埋積が進み上部泥層が堆積するが，この過程で蛇行した河川の流れが澱み，不湖（フゴ）・潟（アラワ）とよばれる沼沢地を形成した。これらの沼沢地等に泥炭が堆積して，現在の射水平野が形成されたが，海岸線一帯に埋積されずに残ったのが放生津潟（現富山新港）である。

黒河尺目遺跡，黒河中老田遺跡の両遺跡は射水郡小杉町黒河地内に所在する。黒河尺目遺跡は南北に長い遺跡で，黒河中老田遺跡はその北側に接している。両遺跡は射水丘陵の北端に位置し，神通川の旧扇状地面に点在する微高地上から北側の低地部にむかって広がる。標高は６ｍ～８ｍを測る。

2　歴史的環境

黒河尺目遺跡，黒河中老田遺跡周辺の射水丘陵一帯は，県下でも有数の遺跡集中地域で，旧石器から近世に至るまでの多くの遺跡が知られている。ここでは時代を追って主な遺跡を紹介していく。

旧石器時代には，丘陵部で約20ヶ所の散布地が確認されている。黒河尺目遺跡（１），新造池Ａ遺跡（55）などで遺物が採集されている。

縄文時代は，早期では椎土遺跡（29），南太閤山Ⅰ遺跡が確認されている。前期には縄文海進がピークを迎え，海抜５ｍ付近まで海中に没していたとされ，遺跡の所在する黒河周辺は丘陵を背に目前まで海が迫っていたと考えられる。中期は縄文時代の遺跡中最も多くの遺跡が確認されており，大半は丘陵部に位置する。中期は気温の低下によって海退がおこり，平野部の陸地化が進むが，まだ湿地帯が広がっていたと考えられ，黒河尺目遺跡，塚腰貝坪遺跡（３），白石遺跡等があるが，住居跡や炉跡等の生活の痕跡を残す遺構は検出されていない。現在の水田面下数十cmには芦や葦等の植物の腐植土が堆積していることからも，かつては湿原であったことが伺える。晩期には現在とさほど変わらないところまで陸地化が進み，平野部でも遺跡が確認されている。黒河中老田遺跡の北約１kmの針原

東遺跡（９）では溝底から晩期の遺物が出土している。

弥生時代は現在までのところ，前期の遺跡は確認されていない。中期以降は縄文時代と異なり平野部で遺跡が確認されるようになり，射水平野での稲作開始の時期とされている。後期から古墳時代前期にかけては遺跡が急激に増え，平野での水田開発が急速に行われたものと考えられる。集落遺跡では平野部にＨＳ－04遺跡（11），戸破若宮遺跡（12），小杉伊勢領遺跡（15），丘陵縁辺に県指定史跡の中山南遺跡（20）などがある。囲山遺跡（25），南太閤山Ⅰ遺跡では方形周溝墓が確認されている。

古墳時代は，呉羽丘陵から射水丘陵にかかる丘陵部は県内でも有数の古墳密集地帯である。一ツ山古墳群（18），二ツ山古墳群（19），下条川流域には変電所西古墳，五歩一古墳など多くの古墳が造営され，安定した生活基盤がある程度確立されていたものと考えられる。同時期の集落遺跡としては北野遺跡（28）などがある。

古代には最も多くの遺跡が確認されており，なかでも丘陵のほぼ全域に渡り須恵器窯・製鉄炉・炭窯などの生産遺跡が存在し，古代における一大コンビナート地帯として知られている。生産遺跡は北は大門町水戸田・小杉町黒河，南は富山市平岡，西は砺波市福山，東は富山市呉羽から古沢にかけての東西約13km，南北約12kmに渡る範囲でみられる。黒河は生産遺跡の北端に位置しており，黒河の南西約１kmの丘陵上には製鉄炉・炭窯跡からなる太閤山ランド内遺跡群（27・47～49他），さらにその西方には下条川の谷を隔てて，須恵器窯跡を中心とする小杉流通業務団地内遺跡群などがある。これらの生産遺跡で生産された物資は神楽川・下条川・鍛冶川などの舟運を利用して，放生津潟から海岸を通り高岡市伏木にあったとされる越中国府へ運ばれていたと考えられている。

古代末から中世にかけての射水丘陵一帯は在地領主層による国衙領支配が展開される一方で，平野部では荘園形成が進み，京都下鴨神社領倉垣荘などが設立され，黒河も同荘に属していた。鎌倉時代には遺跡周辺の黒河は鍛冶川の舟運を通じて守護所放生津と深く結びついていたが，国衙領の黒河保に属し，守護支配の要地でもあった。中世期の遺跡には二重に掘りを巡らせた方形館遺構の見つかった針原東遺跡（９），白石遺跡，鷲塚村中遺跡などの遺跡があり，河川の舟運を通じて運び込まれた中国製陶磁器や瀬戸・美濃などの国産陶磁器等の遺物が出土している。

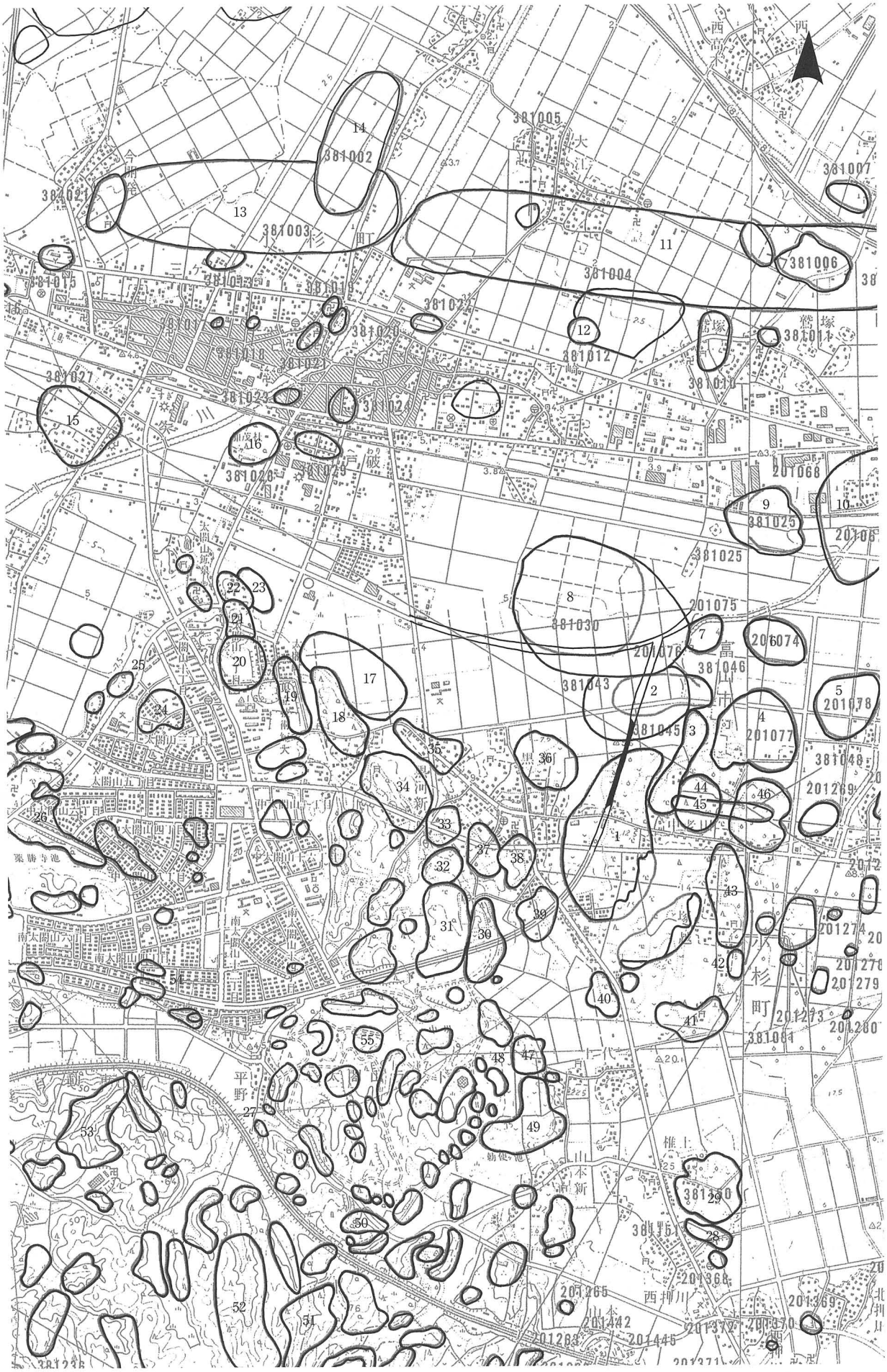
中世末には射水平野の開発が進み，丘陵部（山麓部）一帯の谷からの用水路開削や溜池灌漑施設の設立等の水利施設の整備により安定した耕地となったのは，16世紀末から17世紀初頭頃と考えられている。その後，新田開発は近世・近代と引き継がれ現在に至っている。

江戸時代（近世）には守山と富山を結ぶ初期北陸道の道筋として黒河を記載した絵図が作られており，寛文年間（1661～1672）に北陸道の道筋が変わり，脇道になった後も越中の重要都市として，高岡・富山・放生津・城端とならび黒河の名がみられる。黒河には初期北陸道の一里塚が置かれ，放生津と飛騨を結ぶ飛騨道の分岐点でもあったことからも，中世・近世を通じ交通の要衝の地として栄えていたと思われる。

（金三津道子）

参考文献

楠瀬　勝　1997　『小杉町史　通史編』小杉町役場
富山県教育委員会　1980　『富山県歴史の道調査報告書　北陸街道』



第５図　周辺遺跡位置図（1：25,000）

No.	遺　跡　名	所　在　地	種　類	時　期	文　献	備　考
1	黒河尺目遺跡	小杉町黒河字尺目	集落、散布地	旧石器・縄文・古代（奈良・平安）・中世・近世	3,4,10,14,16,17,24,36,37	
2	黒河中老田遺跡	小杉町黒河、富山市	散布地	古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）	3,5,17	
3	塚越貝坪遺跡	小杉町塚越字貝坪、中老田新	散布地、生産（製鉄）	縄文（中）・古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）	3,10,30,38	
4	畑総No.15遺跡	小杉町中老田、黒河新	散布地	古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）	3,37,38	
5	中老田Ⅱ遺跡	富山市中老田	散布地	縄文・古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）		
6	中老田Ⅴ遺跡	富山市中老田	散布地	縄文（中・後）・古墳・古代（奈良・平安）		
7	中老田Ⅵ遺跡	富山市中老田	散布地	古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）		
8	針原西遺跡	小杉町戸破字針原	散布地	弥生・古墳・古代（奈良）	3,39	
9	針原東遺跡	小杉町戸破字針原、富山市	散布地	縄文（晩）・弥生（後）・古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）	10,11,15	
10	西二俣遺跡	富山市西二俣	散布地	弥生・古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）・近世		
11	ＨＳ－04遺跡	小杉町大江、白石、戸破字神田	集落、散布地	縄文・弥生（末）・古墳（初）・古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）・近世	2,3,32,35,36,37	
12	戸破若宮遺跡	小杉町戸破字若宮	散布地	縄文・弥生・古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）・近世	11,12	
13	ＨＳ－03遺跡	小杉町三ヶ、大島町、大門町	散布地	古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）・近世（安土桃山・江戸）	35	
14	愛宕遺跡	小杉町愛宕	散布地	古代（奈良・平安）	35,36,37	
15	小杉伊勢領遺跡	小杉町三ヶ字中吉原	散布地	縄文・弥生・古代（奈良・平安）・近世	3,10,11,13,31,32,36	昭和33年町指定史跡
16	加茂社遺跡	小杉町三ヶ、戸破字加茂社・字加茂	弥生後集落、古代集落	弥生・古墳前？・古代（平安）・中世（鎌倉・室町）・近世	32,35	
17	三谷遺跡	小杉町黒河新	散布地	旧石器・弥生・古墳・古代（奈良）・中世（鎌倉・室町）	25	
18	一ツ山古墳群	小杉町黒河新	墓・古墳	弥生・古墳・古代（奈良）	25,36	
19	二ツ山古墳群	小杉町黒河、太閤町	古墳	古墳		
20	中山南遺跡	小杉町黒河	集落	弥生	26,28	昭和50年県指定史跡
21	中山中遺跡	小杉町黒河	散布地	旧石器・縄文・弥生・古墳・古代（奈良）	9,18,19,31	昭和33年町指定史跡
22	中山北Ａ遺跡	小杉町黒河	散布地	古墳（初）		
23	中山北Ｂ遺跡	小杉町戸破字元町	散布地	古墳	10,35	
24	囲山東遺跡	小杉町太閤山八丁目	生産（製鉄）	古代（奈良）		
25	囲山遺跡	小杉町太閤山八丁目	散布地、墓	縄文（前）・弥生（後）	27	平成５年町指定史跡
26	日の宮城跡	小杉町下条字日の宮	城館	中世（鎌倉・室町）		昭和33年町指定史跡
27	太閤山ランド内No.21遺跡	小杉町平野	集落、生産	旧石器・古墳（飛鳥・白鳳）・古代（奈良）・中世（鎌倉・室町）・近世	6,7	
28	北野遺跡	小杉町北野	散布地、生産（製鉄）	旧石器・縄文・古墳・古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）・近世	23	
29	椎土遺跡	小杉町椎土	散布地、生産（製鉄）	旧石器・縄文・古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）	23	
30	東山Ⅱ遺跡	小杉町黒河字東山・字金屎	散布地、生産（製鉄）	縄文・古墳・古代（奈良）	10,11,21,22,32,33	
31	東山Ⅰ遺跡	小杉町黒河字東山	生産（製鉄）	古代（奈良）	21	
32	黒河新遺跡	小杉町黒河	散布地	縄文・古代（奈良・平安）		
33	黒河竹山遺跡	小杉町黒河字竹山	散布地	縄文・古代（奈良・平安）	36	
34	黒河西山遺跡	小杉町黒河新	散布地、生産（製鉄）	古代（奈良・平安）・近世	1,10,11	
35	黒河新Ⅰ遺跡	小杉町黒河新	散布地、生産（製鉄）	古代（奈良・平安）・近世	31	
36	黒河遺跡	小杉町黒河	散布地	不明	3	
37	黒河南遺跡	小杉町黒河字尺目	散布地	縄文・弥生・古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）・近世		
38	黒河尺目西遺跡	小杉町黒河	散布地	古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）	3,11	
39	表野遺跡	小杉町黒河新字表野	集落、生産（製鉄）	旧石器・縄文・古代（奈良）	3,11,21,32	
40	畑総No.23遺跡	小杉町塚越	散布地	古代（奈良・平安）		
41	畑総No.24遺跡	小杉町塚越	散布地	縄文・古代（奈良・平安）	37	
42	塚越Ａ遺跡	小杉町塚越	生産（製鉄）	弥生・古代（奈良）	29	
43	塚越大沢遺跡	小杉町塚越	生産（製鉄）	古代（奈良・平安）	10,37	
44	畑総No.16遺跡	小杉町中老田新	散布地	古代（奈良・平安）	37	
45	黒河新三十三塚	小杉町黒河字光明寺馬渡	その他	近世	37	昭和33年町指定史跡
46	畑総No.17遺跡	小杉町中老田新	散布地	古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）	3	
47	太閤山ランド内No.19遺跡	小杉町山本新（土代）、富山市	集落	旧石器・縄文（前）・古代（奈良）	8,20	
48	石太郎Ｃ遺跡	小杉町黒河（土代字石太郎）	散布地、生産（製鉄）	旧石器・古代（奈良）	22	
49	太閤山ランド内No.26遺跡	小杉町山本新（土代）	散布地、生産（製鉄）	旧石器・縄文・古代（奈良・平安）	6	
50	赤坂遺跡	小杉町黒河、入会地字赤坂	生産（製鉄）	古代（平安）	34	
51	赤坂Ｅ遺跡	小杉町入会地字赤坂、富山市	生産（製鉄）	古代（奈良・平安）		
52	赤坂Ｃ遺跡	小杉町平野	生産（窯・製鉄）	古代（奈良・平安）		
53	天池Ｃ遺跡	小杉町入会地字天池	生産（窯・製鉄）	古墳・古代（奈良・平安）	11,31,32	
54	天池Ａ遺跡	小杉町南太閤山	生産（窯）	古代（奈良）		
55	新造池Ａ遺跡	小杉町黒河	散布地、集落	旧石器・縄文（中）・古代（奈良）	22	

第３表　遺跡地名一覧

文献

1　池野正男・宮田進一・原田義範　1989　『黒河西山遺跡発掘調査報告』小杉町教育委員会
2　稲垣尚美　1999　『ＨＳ－04遺跡発掘調査報告』小杉町教育委員会
3　稲垣尚美　2000　『小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧　1999年度』小杉町教育委員会
4　稲垣尚美・中村恭子・田所人志　2002　『黒河尺目遺跡発掘調査報告』小杉町教育委員会
5　稲垣尚美・土生朗治・小村正之　2002　『黒河・中老田遺跡発掘調査報告』小杉町教育委員会
6　上野　章・宮田進一・橋本正春・岸本雅敏・山本正敏　1983　『小杉流通業務団地内遺跡群　第５次緊急発掘調査概要』富山県教育委員会
7　上野　章・岸本雅敏・関　清・斎藤　隆　1985　『小杉流通業務団地内遺跡群　第７次緊急発掘調査概要』富山県教育委員会
8　上野　章・池野正男・関　清・松島吉信　1986　『小杉流通業務団地内遺跡群　第８次緊急発掘調査概要』富山県教育委員会
9　上野　章・原田義範・納谷守幸　1991　『小杉町中山中遺跡発掘調査概要』小杉町教育委員会
10　上野　章・原田義範　1991　『小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧　1990年度』小杉町教育委員会
11　上野　章・原田義範　1992　『小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧　1991年度』小杉町教育委員会
12　上野　章　1992　『小杉町戸破若宮遺跡発掘調査概要』小杉町教育委員会
13　上野　章・原田義範　1992　『小杉町伊勢領遺跡発掘調査概要』小杉町教育委員会
14　上野　章・原田義範　1992　『小杉町黒河尺目遺跡発掘調査概要』小杉町教育委員会
15　上野　章・原田義範・稲垣尚美・桐谷　優　1994　『小杉町針原東遺跡発掘調査報告』小杉町教育委員会
16　岸本雅敏・関　清　1987　『都市計画街路七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査概要（５）』富山県教育委員会
17　財団法人富山県文化振興財団　2001　『埋蔵文化財調査概要　平成12年度』
18　財団法人富山県文化振興財団　2002　『富山県小杉町中山中遺跡発掘調査レポート』
19　財団法人富山県文化振興財団　2003　『勅使塚古墳・永代遺跡・安居窯跡群・中山中遺跡発掘調査報告』
20　酒井重洋・島田修一　1989　『小杉流通業務団地内遺跡群　第９次発掘調査概要』富山県埋蔵文化財センター
21　関　清・池野正男・神保孝造・宮田進一・斎藤　隆　1983　『都市計画街路七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査概要』富山県教育委員会
22　関　清・山本正敏・久々忠義　1983　『県民公園太閤山ランド内遺跡群調査報告（２）』富山県教育委員会
23　関　清・山本正敏・酒井重洋・島田修一・北川美佐子　1987　『富山県小杉町　北野遺跡・椎土遺跡緊急発掘調査概要』小杉町教育委員会
24　関　清・安念幹倫　1988　『都市計画街路七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査概要（６）』富山県教育委員会
25　関　清・酒井重洋　1989　『三谷遺跡・一ツ山古墳群』富山県埋蔵文化財センター
26　富山県教育委員会　1965　『太閤山遺跡調査報告書（上）』
27　富山県教育委員会　1970　『小杉町囲山遺跡緊急発掘調査報告』
28　富山県教育委員会　1971　『小杉町中山南遺跡調査報告書』
29　富山県埋蔵文化財センター　1992　『古沢バイパス関連遺跡発掘調査報告　中老田Ｃ遺跡・塚越Ａ遺跡』
30　原田義範・納谷守幸　1989　『塚越貝坪遺跡・塚越大沢Ⅱ遺跡発掘調査概要』小杉町教育委員会
31　原田義範・稲垣尚美　1993　『小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧　1992年度』小杉町教育委員会
32　原田義範・稲垣尚美　1994　『小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧　1993年度』小杉町教育委員会
33　原田義範・肥田順一　1995　『小杉町東山Ⅱ遺跡発掘調査報告』小杉町教育委員会
34　原田義範・稲垣尚美　1996　『赤坂遺跡発掘調査報告』小杉町教育委員会
35　原田義範・稲垣尚美　1997　『小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧　1996年度』小杉町教育委員会
36　原田義範・稲垣尚美　1998　『小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧　1997年度』小杉町教育委員会
37　原田義範・稲垣尚美　1999　『小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧　1998年度』小杉町教育委員会
38　原田義範　2000　『塚越貝坪遺跡，畑総№15遺跡発掘調査概要』小杉町教育委員会
39　原田義範・宮塚義人　2002　『針原西遺跡発掘調査報告』小杉町教育委員会

第Ⅲ章　黒河尺目遺跡

1　遺跡の概要

A　概要

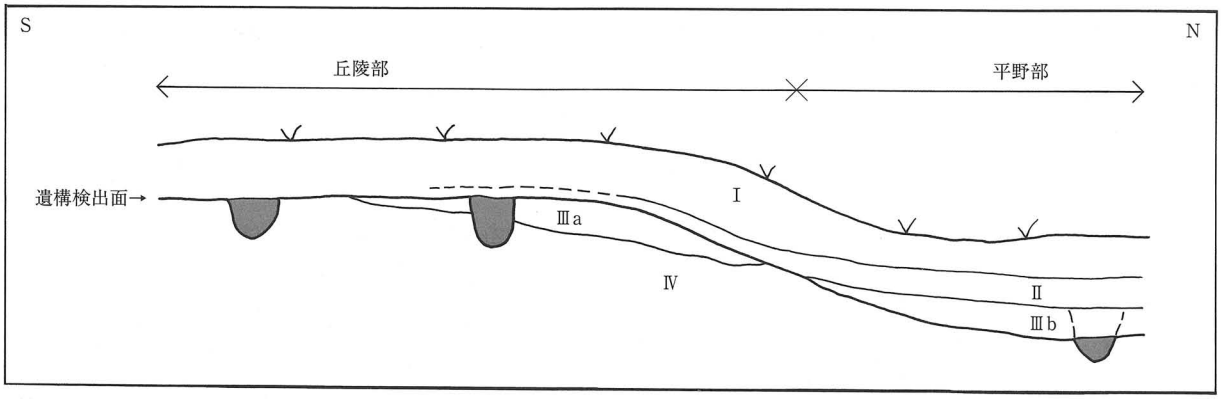
黒河尺目遺跡は南北に長い遺跡で，調査区はその北端に位置している。黒河中老田遺跡とは地続きで，便宜上娶川を境として南側を黒河尺目遺跡とした。調査区は射水丘陵が舌状に延びた部分と平野が接する地点にあり，調査区北側に落差0.6mほどの段差がある。標高は段下で6.2m～5.6m，段上で7.6m～6.5mを測り，遺構の大半はこの段上で確認している。遺構の時期は縄文時代及び古代・中世があり，以下，各時代の様相をまとめて記述する。なお，遺物は遺構出土であっても混入と判断されるものについては包含層扱いとし，各遺物の該当する時代の項で扱うものとする。

縄文時代　調査区は近年まで畑地及び果樹園であったため，包含層が削平を受けており，Ⅰ層直下で既に縄文～中世の遺物・遺構が露わになっていた。このため時期別に検出することは困難であったが，比較的削平の影響が少なかった調査区中央部から北側にかけてのみ，分離して検出した。縄文時代の遺構は土坑46基を検出した。粘土採掘坑と考えられる土坑は7群36基あり，これは複数の土坑が激しく重複したもので，既存の穴を壊しながら掘り広げたものと考えられる。出土遺物は縄文中期中葉から晩期までのものがみられ，中期後葉を主体としている。

古代・中世　調査区北側の段差の上を中心に掘立柱建物44棟・柵5条・溝15条・井戸14基・土坑920基を検出した。掘立柱建物は重複関係などから最低6時期が考えられ，古代から中世前半にかけての断続的な集落であったと思われる。遺構は南側で散漫になり，東西方向の溝を挟んでほとんどみられなくなる。出土遺物は8世紀～9世紀代，10世紀代，11世紀末～12世紀，12世紀末～14世紀，15世紀以降と古代から中世にかけてのものがみられるが，8世紀後半～9世紀前半と12世紀後半～13世紀にかけてのものが量的には多く，主体はこの二時期にあると思われる。

B　土層

基本層序はⅠ層：耕作土，Ⅱ層：黒色粘質土～シルト（遺物包含層），Ⅲａ層：褐色シルト，Ⅲｂ層：灰黄色粘質土，Ⅳ層：褐色粘土～シルト・灰白色粘土（遺構検出面）となる。Ⅱ層は調査区中央部以南は削平により消失している。Ⅲａ層は北側で部分的に確認でき，南側は削平のため不明である。Ⅲｂ層は段差下のみに堆積する。Ⅲａ層は本来の古代・中世の遺構検出面にあたると思われる。縄文時代の遺構は，Ⅲａ層が確認できた部分のみ古代・中世の遺構と分離して検出した。　（金三津道子）



第6図　黒河尺目遺跡基本層序模式図

2．遺構・遺物

A　縄文時代

遺構はⅢa層の残存状況が良い調査区北半部を中心に確認した。但し，大半の遺構は後世の削平等によって上部が消失したとみられ，底部だけが痕跡を留めるに過ぎないものも存在する。遺構の種類は土坑のみであるが，このうち粘土採掘坑とみられる，複数の土坑が激しく重複した遺構については，略号にＳＸを使用したものもある。

遺物には縄文土器，土製品，石製品がある。遺構からは完形品や接合可能なものが多く出土した。時期は中期後葉（串田新Ⅰ～Ⅱ式）が量的に圧倒しており，中期前葉～中葉，後期前葉が少量混在している。また単発的に晩期も出土している。攪乱のため，遺物はⅠ層直下から既に出土しており，上層遺構にも細片が多く混入している。本稿では，上層遺構に混入したと思われる遺物を包含層出土と包括して記述する。

土坑

９号土坑（ＳＸ９，第７・15・26図，図版18・23・52）

中央東寄りに位置する。長軸5.44m，短軸3.44m，深さ0.84mを測る不整形の土坑である。検出段階では一つの土坑と考えていたが，掘り進めていく段階で大小さまざまな土坑の集合体であることが判明した。底部の凹凸から，窪みのそれぞれが粘土採掘の採掘坑と考えられるが，その前後関係は不明確である。埋土をみると，底面付近で層序が乱れる傾向があり，人為的な埋め戻しが行われたと考えられる。遺物は縄文土器（１～20），土師器，須恵器，羽口，打製石斧（240～242），叩石がある。縄文土器は小片が多く，中期中葉～後期前葉に比定される。１は波状口縁の波頂部で，内面には沈線を引く。５・６は貼付隆帯上に貝殻腹縁による押圧がみられる。７は口縁部下にＳ字状文が描かれる。２・３・12・13・15は後期前葉（気屋式）とみられる。18は底部に木葉状圧痕，20はスダレ状圧痕がある。

138号土坑（ＳＫ138，第８図）

縄文時代の遺構の中では最も南に位置する円形の土坑である。長径0.46m，短径0.44m，深さ0.20mを測る。埋土中位から縄文土器が出土している。

262号土坑（ＳＫ262，第８・15図，図版６・20・24）

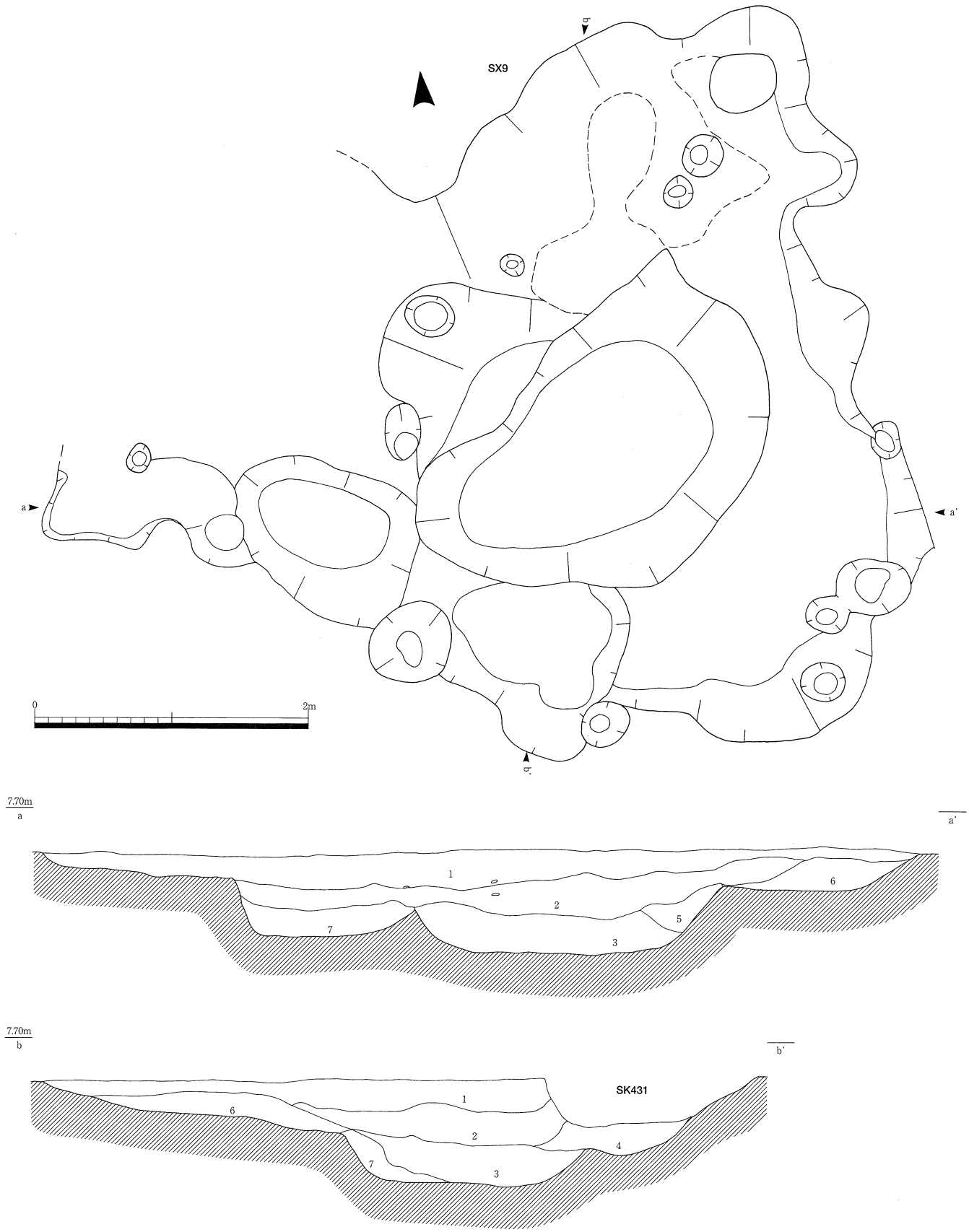
中央から南寄りに位置する円形の土坑である。長径0.39m，短径0.31m，深さ0.06mを測るが，遺構上部は後世に削平された可能性が高い。土坑の底からは晩期中葉（中屋式）に比定される縄文土器（21）が潰れた状態で出土しており，今回の調査で唯一晩期の遺構である。

326号土坑（ＳＫ326，第15図，図版20）

中央からやや南寄りに位置する円形の土坑である。長径1.22m，短径１m，深さ0.25mを測る。縄文土器（23）が出土している。平縁の口縁部に幅広の沈線が引かれ，底部には網代圧痕がみられる。中期後葉に属する。

360号土坑（ＳＸ360，第８・16図，図版６・23）

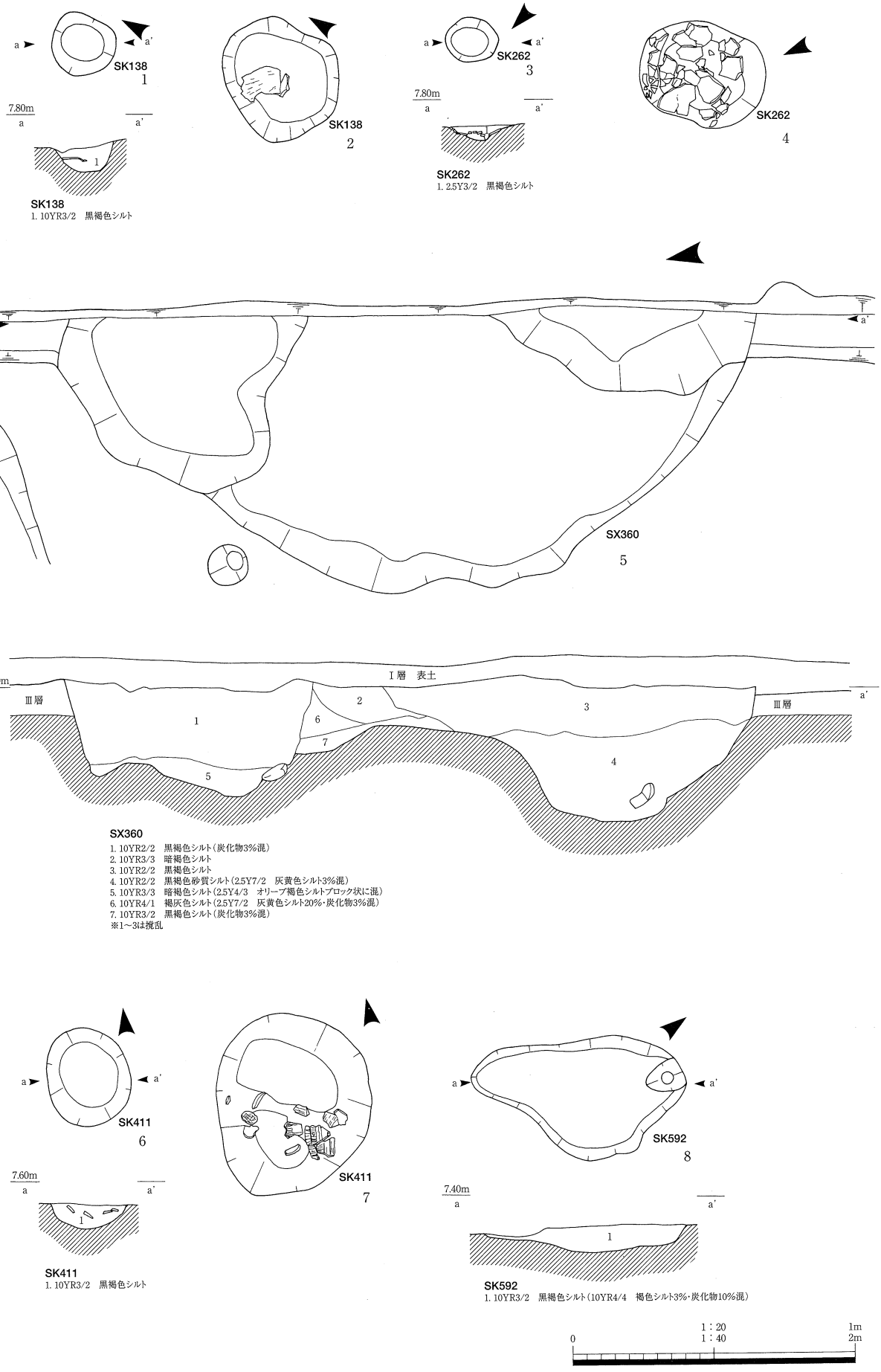
中央東端に位置し，調査区外へ続く。長軸1.6m，深さ0.73mを測る不整形の土坑集合体で，粘土採掘坑と考えられる。遺構に立木の根が入り込んでいたため，埋土は攪乱している部分がある。遺物は縄文土器（24～32），土師器，須恵器，青磁，叩石，剥片がある。29・32は中期前葉（新保・新崎式），27・28は後期前葉，それ以外は中期後葉に属する。



SX9
1. 10YR3/2　黒褐色シルト（10YR4/4　褐色シルト3%・炭化物3%混）
2. 10YR2/2　黒褐色粘質シルト（炭化物3%混）
3. 10YR3/2　黒褐色シルト（2.5Y7/2　灰黄色シルト10%・10YR4/4　褐色シルト10%ブロック状に混）
4. 7.5YR4/3　暗オリーブ色シルト（10YR2/2　黒褐色シルト3%混）
5. 10YR3/2　黒褐色粘質シルト（2.5Y7/2　灰黄色シルト1%混）
6. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト（10YR2/2　黒褐色シルト3%混）
7. 10YR3/2　黒褐色粘質シルト（2.5Y7/2　灰黄色シルト3%・炭化物1%混）

第７図　遺構実測図

SX9



第8図　遺構実測図

1. SK138　2. SK138遺物出土状況　3. SK262　4. SK262遺物出土状況　5. SX360　6. SK411　7. SK411遺物出土状況
8. SK592

364号土坑（ＳＸ364，第９・16・17図，図版６・20・24・32）

中央西端の調査区境界に位置する。長軸1.35m，深さ0.4mを測る不整形の土坑である。遺物は埋土中位から縄文土器（33～54），円板状土製品（55）がまとまって出土し，33，34はほぼ完形に復原できた。33には補修孔がある。口縁部に沈線を巡らせ，体部は縦方向に櫛状工具による条線を施す。底部には粘土接合痕，ナデが残る。34は朝顔形に体部が開く。39は波状口縁の波頂部で，細い隆帯上にはヘラ状工具による刻み，体部には櫛状工具による条線を施す。44は口縁部内面に隆帯が貼り付けられる。47の沈線は半截竹管による半隆起線文とみられ，中期中葉（上山田・天神山式）に比定される。55は，土器片を円く打ち欠いたものと考えられ，表面に縄文が残る。

366号土坑（ＳＫ366，第10・17図，図版５・25）

中央付近に位置し，後述するＳＫ367～ＳＫ369，ＳＫ384，ＳＫ385と密集する。長径1.03m，短径0.87m，深さ0.35mを測る楕円形の土坑で，切り合いからＳＫ367より古く，ＳＫ369より新しい。遺物は縄文土器（56～59）がある。57は口縁部が緩く外反し，沈線の間に列点を施す。中期後葉に属する。

367号土坑（ＳＫ367，第10・17図，図版５・25）

ＳＫ366を切り，ＳＫ368に切られる。長径1.15m，短径0.78m，深さ0.38mを測る楕円形で，埋土にはブロック状の褐色土が多く混入する。遺物は中期後葉の縄文土器（60）がある。

368号土坑（ＳＫ368，第10・18・31図，図版５・25・52）

ＳＫ367を切る。長径不明，短径0.83m，深さ0.26mの楕円形で，縄文土器（61・62），打製石斧（346）が出土している。62は２本の隆帯上に貝殻腹縁による刻みがあり，その隆帯間は太い沈線を縦引きする。中期後葉に属する。346は刃部に摩耗痕があり，使用痕分析の結果からは「掘り棒」状に装着された可能性が考えられる[注1]。

369号土坑（ＳＫ369，第10・18図，図版５・６・21・25）

中央付近に密集する土坑群のうち最も規模が大きい土坑であるが，底面の凹凸から，粘土採掘坑の集合体と考えられる。長軸2.26m，深さ0.61mの不整形で，ＳＫ367に切られ，ＳＫ385を切る。遺物は縄文土器（63～82），土器片錘（83），土師器，羽口がある。63は台付きの深鉢である。波状口縁で，波頂部にはU字状の落ち込みがある。胴部は算盤玉状に強く張り出し，底部にかけて屈曲する。体部には縦方向，口縁帯や屈曲部，台との境界には横方向の隆帯を貼り巡らす。また胴部には，隆帯間に４つの突起をもつ。台は四脚に開いた形状をもち，被熱している。こうした台付深鉢の類例は大杉谷式に散見する[注2]。64・66には口唇部４カ所に，内側への押さえがあるとみられる。67の底部にはかすかにスダレ状圧痕，68には網代圧痕がみられる。全て中期後葉に属する。83は円く打ち欠いた土器片に抉りが入る。

384号土坑（ＳＫ384，第10・19図，図版25）

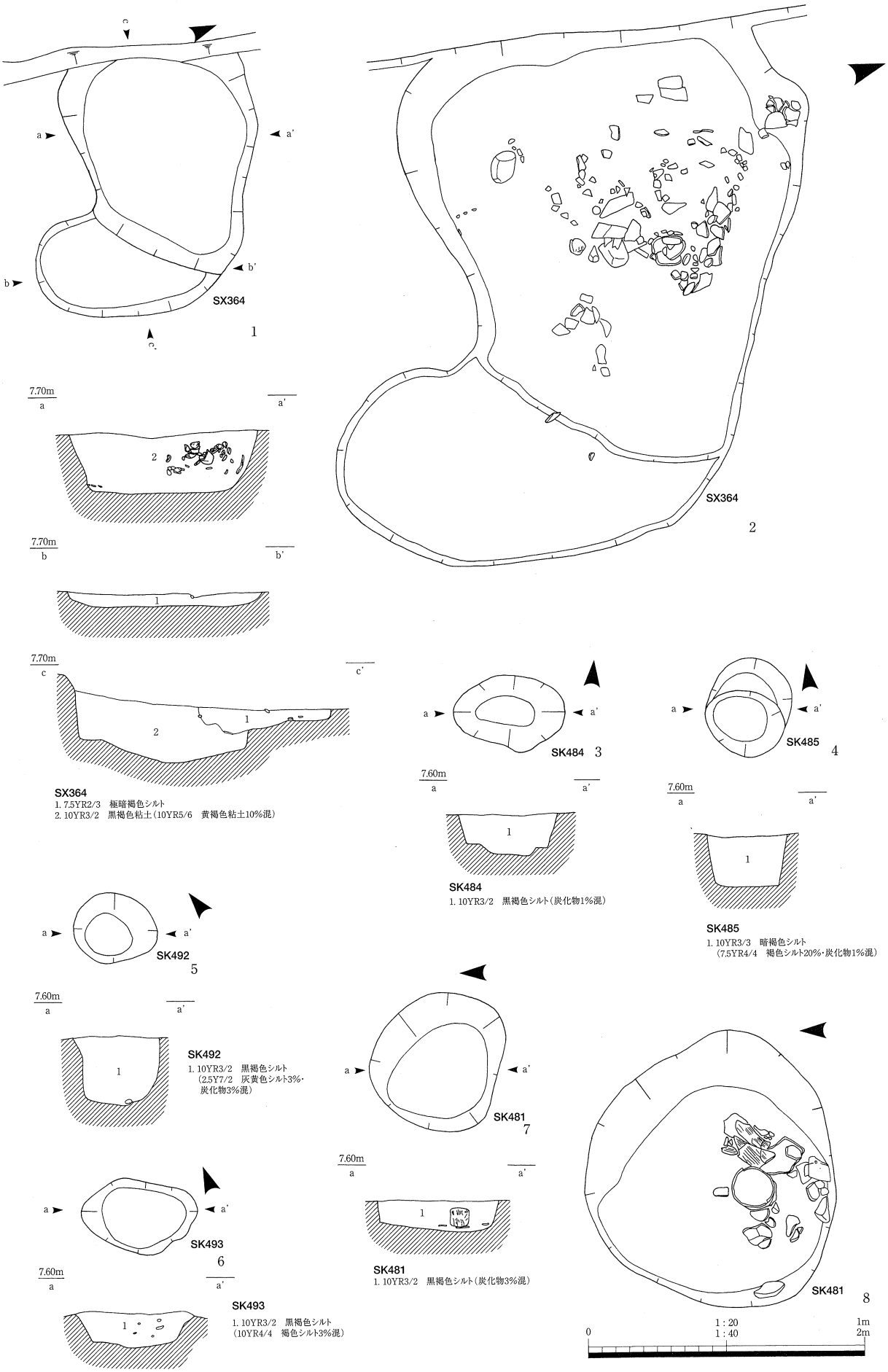
中央付近の土坑集中部にあり，ＳＫ385に切られる。長軸不明，短軸1.4m，深さ0.3mの不整形な土坑で，底部には凹凸がある。遺物は縄文土器（84～90）がある。88の口縁部では沈線間を列点で充填する。90は葉脈状文を施す。全て中期後葉に属する。

385号土坑（ＳＫ385，第10図）

ＳＫ384を切り，ＳＫ369に切られる。長軸0.82m，深さ0.42mの不整形な土坑である。断面観察から，底部は袋状に広がっていたと考えられる。遺物は縄文土器が出土している。

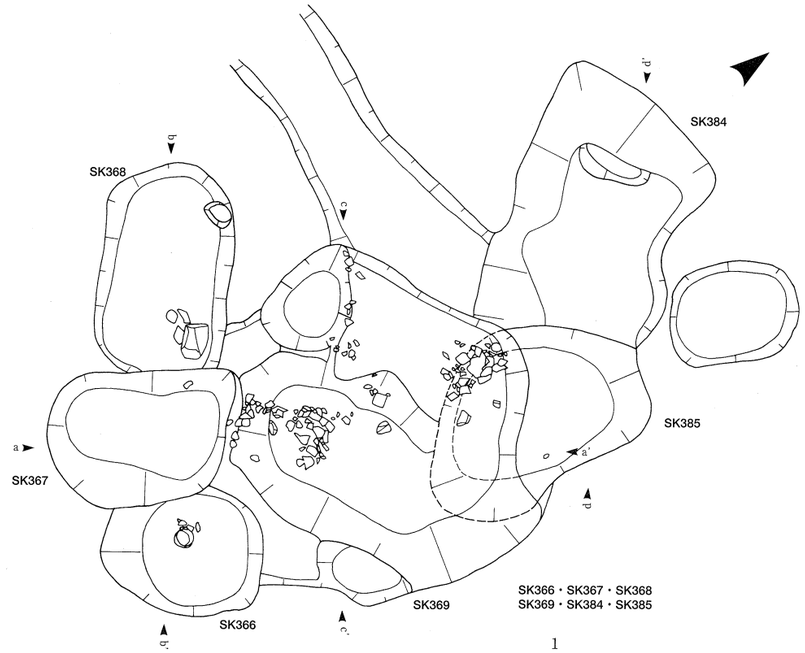
411号土坑（ＳＫ411，第８・19図，図版６・23）

中央西寄りに位置する円形の土坑で，長径0.69m，短径0.59m，深さ0.26mを測る。埋土中位から出



第9図　遺構実測図

1. SX364　2. SX364遺物出土状況　3. SK484　4. SK485　5. SK492　6. SK493　7. SK481　8. SK481遺物出土状況

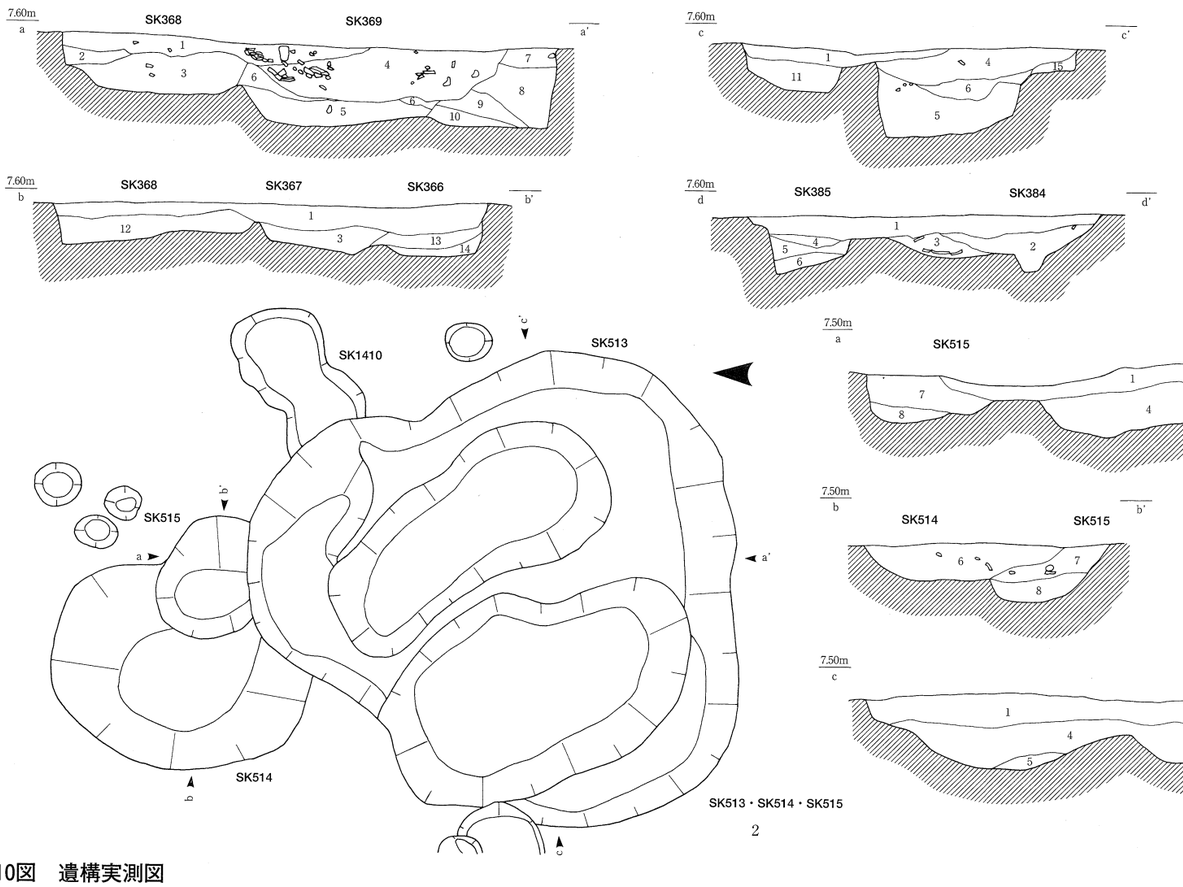


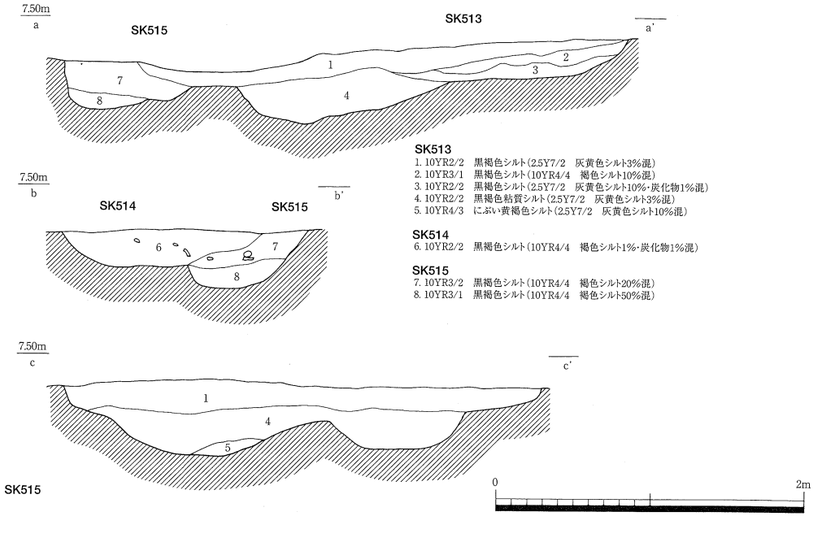
SK366・SK367・SK368・SK369

1. 10YR3/1　黒褐色シルト(10YR5/4　にぶい黄褐色シルト10%混)
2. 10YR3/2　黒褐色シルト(炭化物3%混)
3. 10YR3/2　黒褐色シルト(10YR4/4　褐色シルト20%ブロック状に混,炭化物3%混)
4. 10YR2/2　黒褐色シルト(炭化物3%混)
5. 10YR2/2　黒褐色シルト(10YR4/4　褐色シルト3%混)
6. 10YR4/1　褐灰色シルト(10YR5/6　黄褐色シルト20%ブロック状に混)
7. 10YR5/4　にぶい黄褐色粘質シルト
8. 10YR3/2　黒褐色シルト(10YR5/6　黄褐色シルト20%ブロック状に混)
9. 10YR2/2　黒褐色シルト(炭化物1%混)
10. 10YR3/3　暗褐色シルト(10YR5/6　黄褐色シルト10%混)
11. 10YR3/2　黒褐色シルト(炭化物3%混)
12. 10YR3/3　暗褐色シルト(2.5Y7/2　灰黄色シルト3%・炭化物10%混)
13. 10YR3/3　暗褐色シルト(10YR5/6　黄褐色シルト10%・炭化物3%混)
14. 10YR3/2　黒褐色シルト
15. 10YR5/4　にぶい黄褐色シルト

SK384・SK385

1. 10YR2/1　黒色シルト(炭化物3%混)
2. 10YR3/2　黒褐色シルト(炭化物1%混)
3. 10YR3/3　暗褐色シルト(10YR4/4　褐色シルト10%ブロック状に混)
4. 10YR3/2　黒褐色シルト(SK369の8層に相当)
5. 10YR3/3　暗褐色シルト(10YR4/4　褐色シルト10%ブロック状に混,SK369の8層に相当)
6. 10YR2/2　黒褐色シルト(炭化物3%混,SK369の8層に相当)





SK513

1. 10YR2/2　黒褐色シルト(2.5Y7/2　灰黄色シルト3%混)
2. 10YR3/1　黒褐色シルト(10YR4/4　褐色シルト10%混)
3. 10YR2/2　黒褐色シルト(2.5Y7/2　灰黄色シルト10%・炭化物1%混)
4. 10YR2/2　黒褐色粘質シルト(2.5Y7/2　灰黄色シルト3%混)
5. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト(2.5Y7/2　灰黄色シルト10%混)

SK514

6. 10YR2/2　黒褐色シルト(10YR4/4　褐色シルト1%・炭化物1%混)

SK515

7. 10YR3/2　黒褐色シルト(10YR4/4　褐色シルト20%混)
8. 10YR3/1　黒褐色シルト(10YR4/4　褐色シルト50%混)

第10図　遺構実測図

1. SK366・SK367・SK368・SK369・SK384・SK385　2. SK513・SK514・SK515

土した縄文土器（91）には口唇部にも沈線が引かれる。中期後葉に属する。

481号土坑（ＳＫ481，第９・19図，図版６）

中央やや西に位置する不整形な土坑で，長軸1.02m，短軸0.93m，深さ0.23mを測る。遺物は縄文土器（92～97）が大きな破片でまとまって出土した。92の体部は沈線による区画内を貝殻腹縁の施文で充填する。94は底部にスダレ状圧痕，95には網代圧痕がみられる。全て中期後葉に属する。

484号土坑（ＳＫ484，第９図）

ＳＫ481の西に位置する楕円形の土坑で，長径0.81m，短径0.54m，深さ0.33mを測る。縄文土器が出土している。

485号土坑（ＳＫ485，第９図）

ＳＫ484の西に位置する円形の土坑で，長径0.74m，短径0.62m，深さ0.42mを測る。縄文土器が出土している。

492号土坑（ＳＫ492，第９図）

ＳＫ485の北に位置する円形の土坑で，長径0.61m，短径0.51m，深さ0.47mを測る。縄文土器が出土している。

493号土坑（ＳＫ493，第９図）

ＳＫ492の東に位置する楕円形の土坑で，長径0.82m，短径0.53m，深さ0.18mを測る。縄文土器が出土している。

513号土坑（ＳＫ513，第10図）

中央東寄りに位置する不整形の土坑で，ＳＫ514・ＳＫ515を切る。長軸3.12m，短軸3.08m，深さ0.52mを測る。底面には凹凸があり，粘土採掘坑の集合体と考えられる。遺物は縄文土器，土師器，須恵器，羽口，叩石，鉄滓がある。上層遺構との重複のため，混入した遺物が多い。

514号土坑（ＳＫ514，第10図）

中央東寄りに位置する。ＳＫ515を切り，ＳＫ513に切られるが，これらはまとめて一つの粘土採掘坑の集合体と考えられる。長径1.69m，短径1.35m，深さ0.23mの楕円形の土坑で，縄文土器，土師器が出土している。

515号土坑（ＳＫ515，第10図）

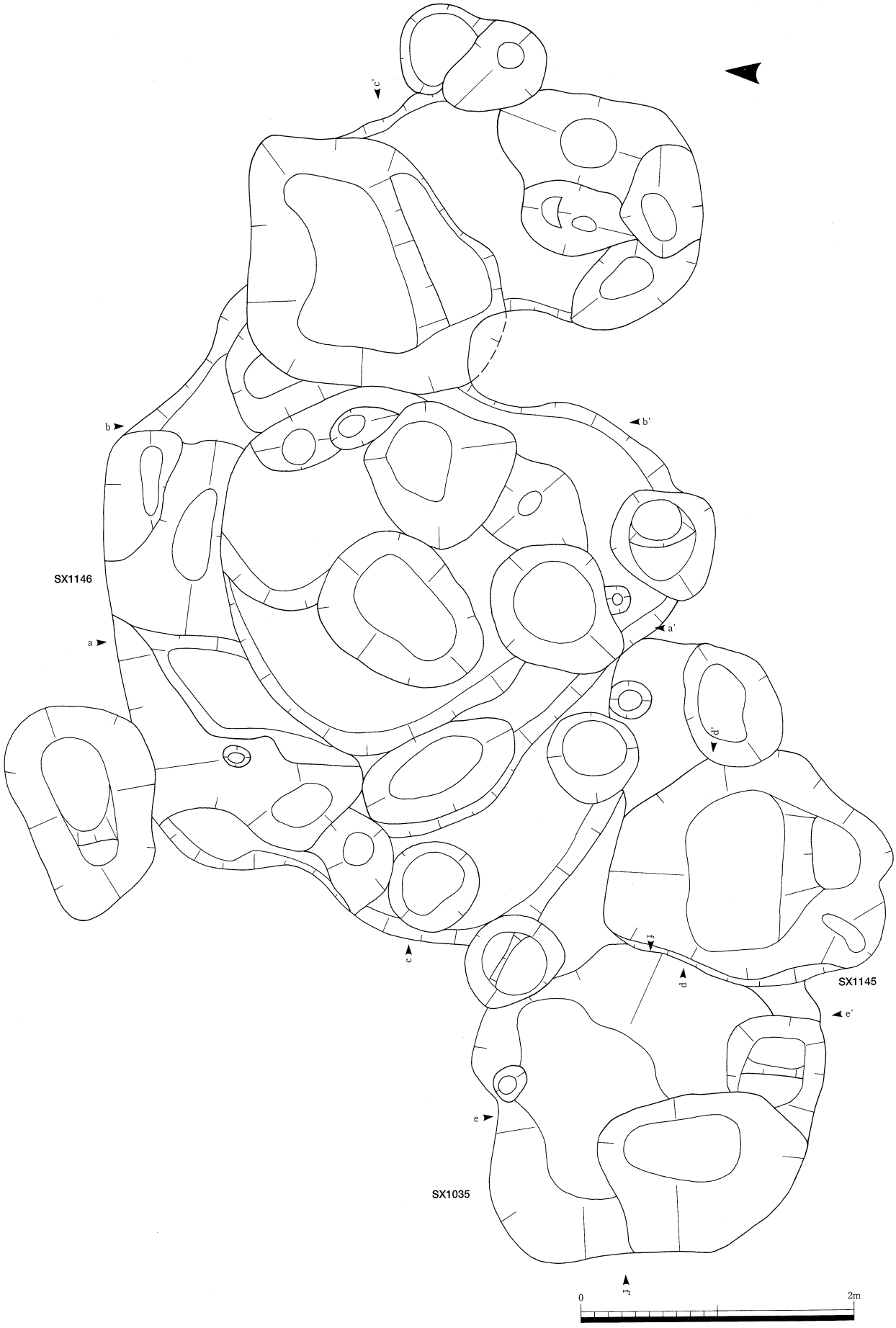
中央東寄りに位置し，ＳＫ513・ＳＫ514に切られる。径0.72m，深さ0.37mを測る楕円形の土坑で，縄文土器が出土している。

592号土坑（ＳＫ592，第８図）

北西に位置する不整形な土坑で，長軸1.53m，短軸0.86m，深さ0.19mを測る。縄文土器が出土している。

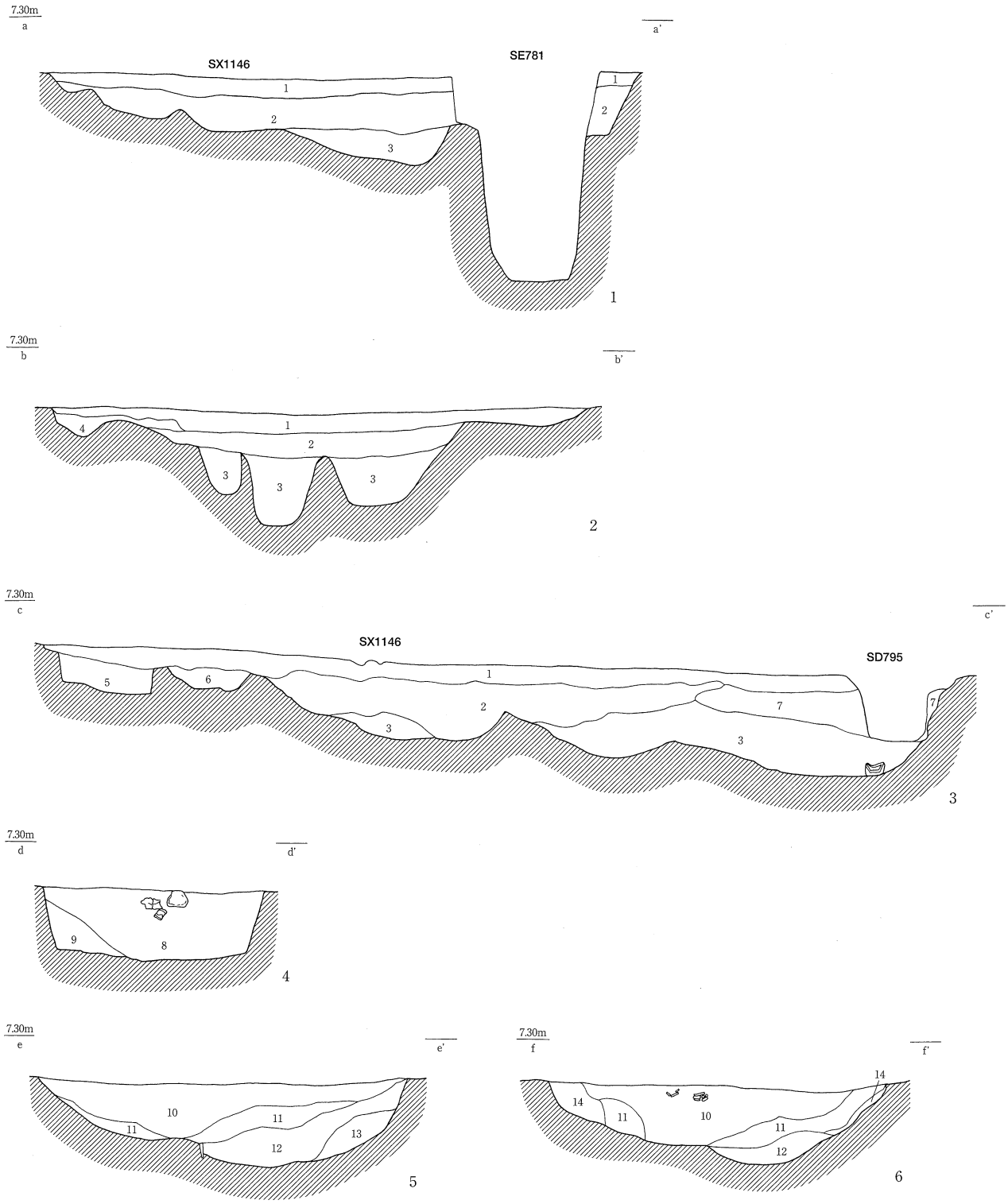
1035号土坑（ＳＸ1035，第11・12・20図，図版20・26）

北寄りに位置する不整形な土坑で，ＳＸ1145・ＳＸ1146と併せて，粘土採掘坑集合体と考えられる。長軸2.24m，短軸2.34m，深さ0.6mを測る。複数の土坑が重複しているが，粘土採掘の際，既存の採掘坑をさらに縦横に掘り進めた結果，底面の凹凸だけが残ったと考えられるため，平面上での切り合いは不明瞭であった。また採掘で生じた不必要な土を仮置きしたり，短期間内で埋め戻しを行ったとみられ，断面観察からも土坑の識別は困難であった。遺物は縄文土器（99～102）が出土している。99は無文の浅鉢で，高台状の底部から体部が開き，口縁部が直立する。100の口縁部には押さえがみられる。101は後期後葉の壺とみられ，混入と考えられる。102は口縁部が緩く外反する器形で，中期



第11図　遺構実測図

SX1146

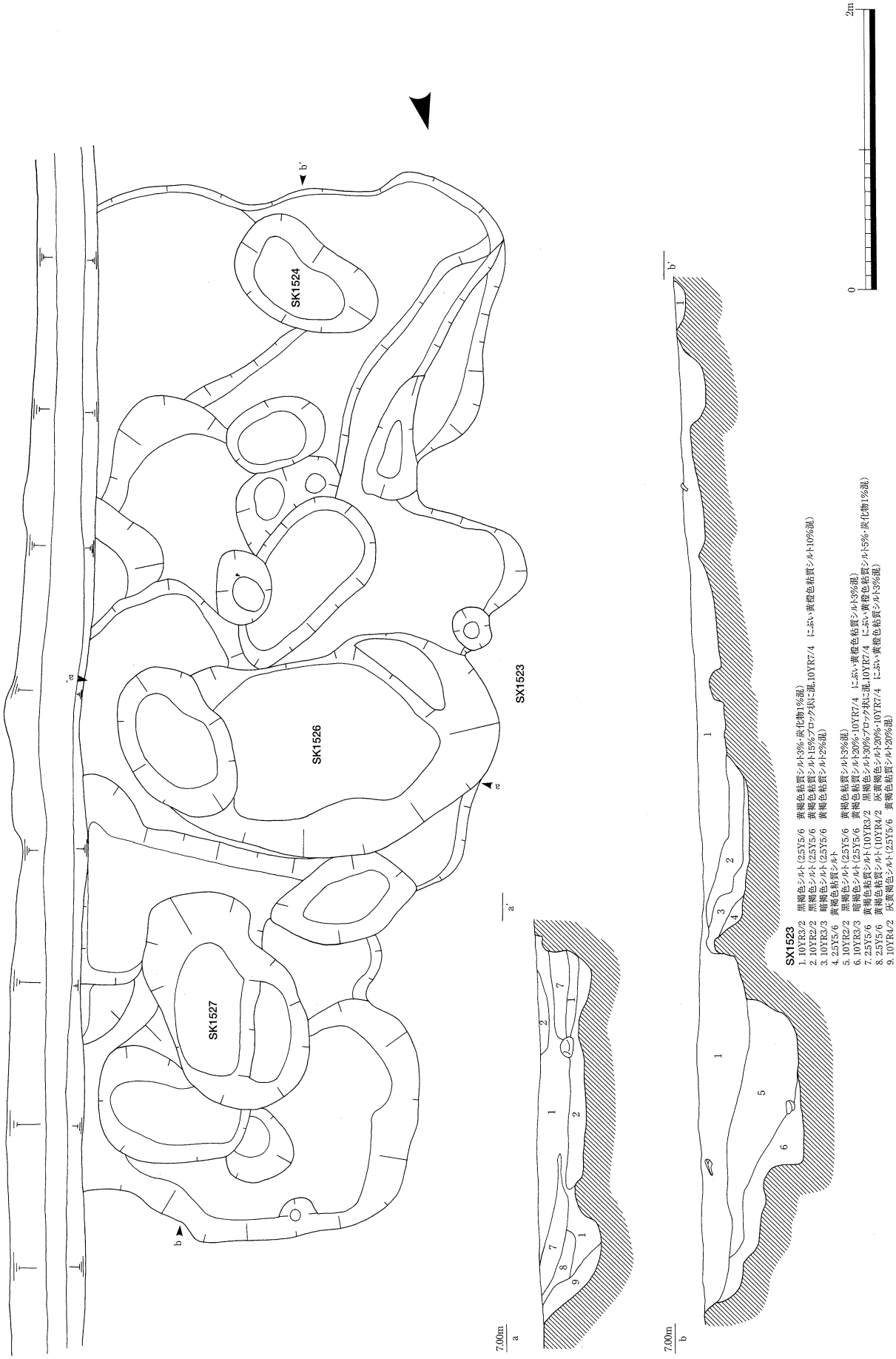


SX1146

1. 10YR3/2　黒褐色シルト（炭化物3%混）
2. 10YR2/2　黒褐色粘質シルト（10YR4/4　褐色シルト1%・炭化物5%混）
3. 10YR3/2　黒褐色粘質シルト（10YR4/4　褐色シルト10%ブロック状に混）
4. 10YR4/2　灰黄褐色シルト
5. 10YR2/2　黒褐色シルト（10YR4/4　褐色シルト3%混）
6. 10YR3/3　暗褐色シルト（10YR4/4　褐色シルト3%・炭化物3%混）
7. 10YR3/2　黒褐色シルト（10YR6/6　明黄褐色シルト3%・炭化物3%混）
8. 10YR3/2　黒褐色粘質シルト（10YR4/4　褐色シルト5%・炭化物3%混）
9. 10YR3/2　黒褐色シルト（10YR4/4　褐色シルト20%ブロック状に混）
10. 10YR2/2　黒褐色粘質シルト（10YR4/4　褐色シルト1%・炭化物1%混）
11. 10YR3/2　黒褐色シルト（10YR4/4　褐色シルト10%混）
12. 10YR2/2　黒褐色シルト（10YR6/6　明黄褐色シルト3%混）
13. 10YR3/1　黒褐色シルト（10YR4/4　褐色シルト3%混）
14. 10YR4/4　褐色シルト（Ⅳ層相当）

第12図　遺構実測図

1～6，SX1146



第13図　遺構実測図

SX1523

末の岩峅野式に多い。101以外は中期後葉の範疇に収まる。

1145号土坑（ＳＸ1145，第11・12・20図，図版21・26）

北寄りに位置する不整形な土坑で，ＳＸ1035の東に隣接する。長軸1.94m，短軸1.67m，深さ0.52mを測る。縄文土器（103・104）が出土している。103は台とみられるが，体部は不明である。中期後葉か。104は中期中葉に属する。

1146号土坑（ＳＸ1146，第11・12・20・26図，図版26・59）

北寄りに位置する粘土採掘坑群の集合体である。長軸5.2m，短軸４m，深さ0.78mを測り，複数の土坑が著しく重複している。縄文土器（105～110），石錘（244）が出土している。縄文土器は中期後葉が主体であるが，中葉に属するものも一定量あり，継続的に採掘していたか，また周辺に中葉の集落が存在した可能性が考えられる。106は波状口縁で，内面にも沈線がある。108は底部に網代圧痕がみられる。107・109が中期中葉，それ以外は中期後葉に属する。

1523号土坑（ＳＸ1523，第13・20図，図版26）

北東端の調査区境界に位置する粘土採掘坑群の集合体である。この遺構もまた，複数の土坑が著しく重複したもので，後述するＳＫ1524・ＳＫ1526・ＳＫ1527はこの土坑群に含まれる粘土採掘坑と考える。規模は南北7.48m，深さ0.88mを測る。埋土の断面からは，土の混入した痕跡が甚だしいことから，粘土採掘が活発に行われていたことが窺える。遺物は中期後葉の縄文土器（111・112）がある。

1524号土坑（ＳＫ1524，第13・20図，図版26）

ＳＸ1523に含まれる。長軸0.65m，短軸1.08m，深さ0.22mを測る不整形な土坑だが，粘土採掘坑の底部が残ったものとみてよい。遺物は中期後葉の縄文土器（113・114）が出土している。

1526号土坑（ＳＫ1526，第13・20・21図，図版７・26・32）

ＳＸ1523に含まれる。長軸2.65m，短軸1.44m，深さ0.5mを測る不整形な粘土採掘坑である。遺物は縄文土器（115～118・128）が出土している。115と116は同一個体の可能性があり，115には穿孔がある。118が中期中葉，それ以外は中期後葉に属する。

1527号土坑（ＳＫ1527，第13・20・21図，図版26・32）

ＳＸ1523に含まれる。長軸1.66m，短軸0.95m，深さ0.79mを測る不整形な粘土採掘坑である。遺物は縄文土器（119～127・129・130），円板状土製品（131）が出土している。122は縦方向の隆帯上に刻みを施す。129は波状口縁で，内面に煤が付着する。120が中期前葉，それ以外は中期後葉に属する。131は径約３㎝で，表面には櫛状工具による細沈線文がみられる。

1528号土坑（ＳＸ1528，第14・21～23・26図，図版７・21・22・27・28・32・55）

北に位置する最も規模の大きな粘土採掘坑である。また立地から，この遺構は丘陵部の最北端に位置するとみられる。長軸14.8m，短軸6.7m，深さ0.84mを測り，複数の採掘坑が激しく重複したもので，埋土は複雑に混ざり合っている。こうした採掘坑の規模や形状は一様ではないが，概して大きな土坑は連続的に採掘した痕跡とみられることから，ひとつひとつの採掘坑はさほど大きいものではないと考えられる。また特徴として，土坑の落ち際や掘削坑の底部など，わずかな平坦面で縄文土器が一括に出土したことが挙げられる。こうした縄文土器（132～134・138～201）のほか，円板状土製品（135～137），磨製石斧（245）が出土している。土器は中期後葉がほとんどであるが，ごく少量ながら中期前葉～後期前葉のものが出土している。132は口唇部に小波状の押さえがあり，口縁部には穿孔がある。138は緩く外反する口縁部に太い沈線が施される。139は筒状の胴部に沈線が描かれる。141～145は深鉢の底部で，141・142・144には網代圧痕，143には木葉状圧痕，145にはスダレ状圧痕

がみられる。148は波状口縁の波頂部に，縦横両方向の把手がつく。152は波状口縁の波頂部で，U字状の小さな落ち込みが二つある。167は内湾する口縁に連続刺突を施す。195は木目状撚糸文，196は格子目文を施す。201は有孔鍔付土器だが，欠損部が多く形状は不明である。中期前葉が192・195・196，中期中葉が147・169・180・181・194・197・201，それ以外は中期後葉に属する。245は小型で蛇紋岩製である。

1529号土坑（ＳＫ1529，第14・23・24・26図，図版21・29・30・32・34・55）

ＳＸ1528に含まれる不整形な粘土採掘坑で，長軸２ｍ，短軸0.74ｍ，深さ0.52ｍを測る。遺物は縄文土器（202～213・215・216），土偶（214），磨製石斧（246），打製石斧（247・248）が出土している。202は浅鉢で体部と口縁部の境が強く張り出し，屈曲部には面ができる。210は蓮華文を施す。212は底部に網代圧痕がある。213は口唇部を内側に押さえている。216は葉脈状文を施す。中期前葉が209・210，中期中葉が208，それ以外は中期後葉に属する。214は土偶の腕部分とみられる。246は上下端に抉りがあり，石錘に転用された可能性がある。

1530号土坑（ＳＫ1530，第14・24図，図版７・22）

ＳＸ1528に含まれる円形の粘土採掘坑で，長径1.9 ｍ，短径1.6ｍ，深さ0.43ｍを測る。この土坑の底部からは，土器が約３個体，一括で出土した（217・218）。217の胴部には沈線が描かれ，区画内を列点で埋める。218は，被熱や剥離の痕跡および内面の形態などから台付鉢の脚部と考えられ，脚裾部の隆帯にはヘラ状工具による刻みが全周する。中期後葉に属する。

1531号土坑（ＳＫ1531，第14・24図，図版28）

ＳＸ1528に含まれる円形の粘土採掘坑で，長径0.8ｍ，短径0.74ｍ，深さ0.39ｍを測る。遺物は縄文土器（219・220）が出土している。219の口縁部には，沈線の工字状区画があり，沈線間は貝殻腹縁で施文される。中期後葉に属する。

1532号土坑（ＳＫ1532，第14・24・26図，図版７・28・55）

ＳＸ1528に含まれる不整形な粘土採掘坑で，長軸1.5ｍ，深さ0.66ｍを測る。遺物は縄文土器（221～223），打製石斧（249）が出土している。223が中期前葉，それ以外は中期後葉に属する。

1533号土坑（ＳＫ1533，第14・24・26図，図版28・55）

ＳＸ1528に含まれる不整形な粘土採掘坑で，長軸1.86ｍ，深さ0.67ｍを測る。遺物は中期後葉の縄文土器（227），打製石斧（250）が出土している。

1534号土坑（ＳＫ1534，第14・24図，図版28）

ＳＸ1528に含まれる円形の粘土採掘坑で，長径1.32ｍ，短径0.8ｍ，深さ0.84ｍを測る。遺物は中期後葉の縄文土器（224～226）が出土している。

1535号土坑（ＳＫ1535，第14・24図，図版22）

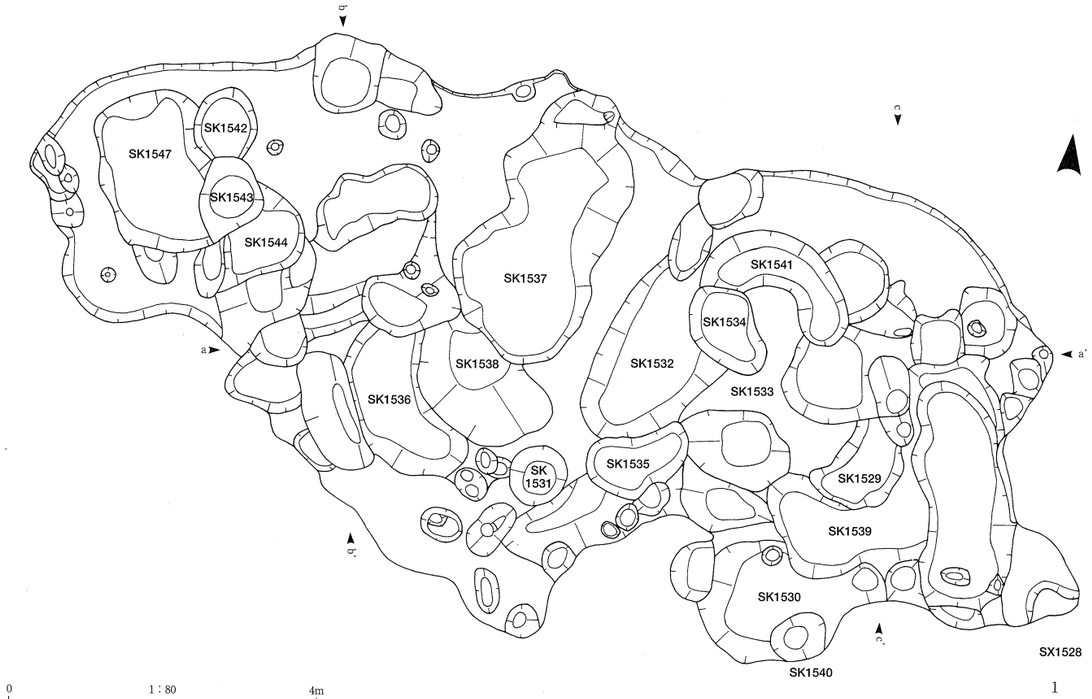
ＳＸ1528に含まれる不整形な粘土採掘坑で，長軸1.34ｍ，短軸0.68ｍ，深さ0.65ｍを測る。出土した228は小型の無文深鉢で，口唇部には４カ所で内面への押さえがみられる。中期後葉に属する。

1536号土坑（ＳＫ1536，第14図）

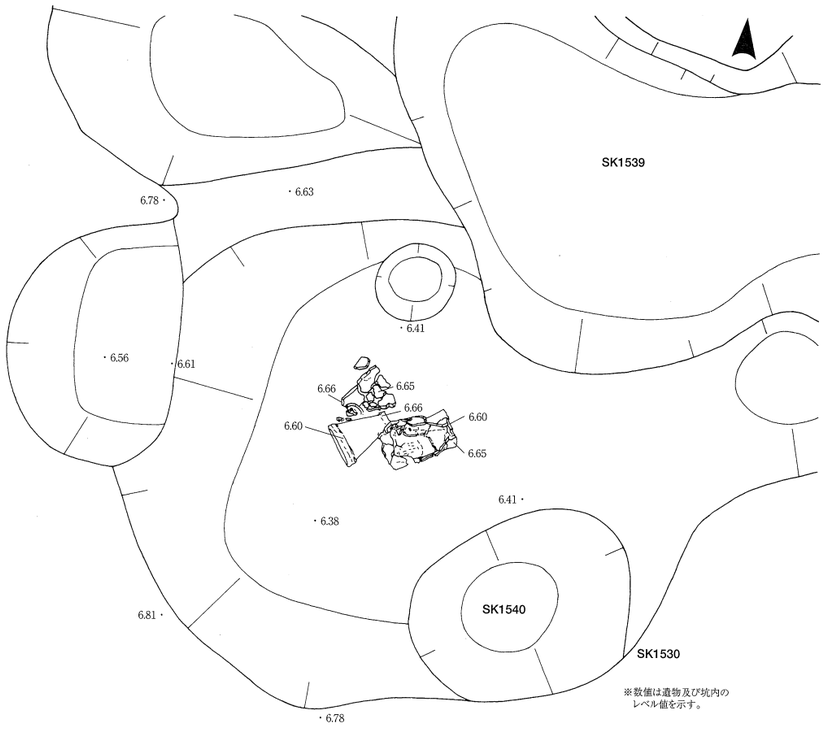
ＳＸ1528に含まれる不整形な粘土採掘坑で，長軸2.15ｍ，短軸0.9ｍ，深さ0.58ｍを測る。

1537号土坑（ＳＫ1537，第14・25図，図版29）

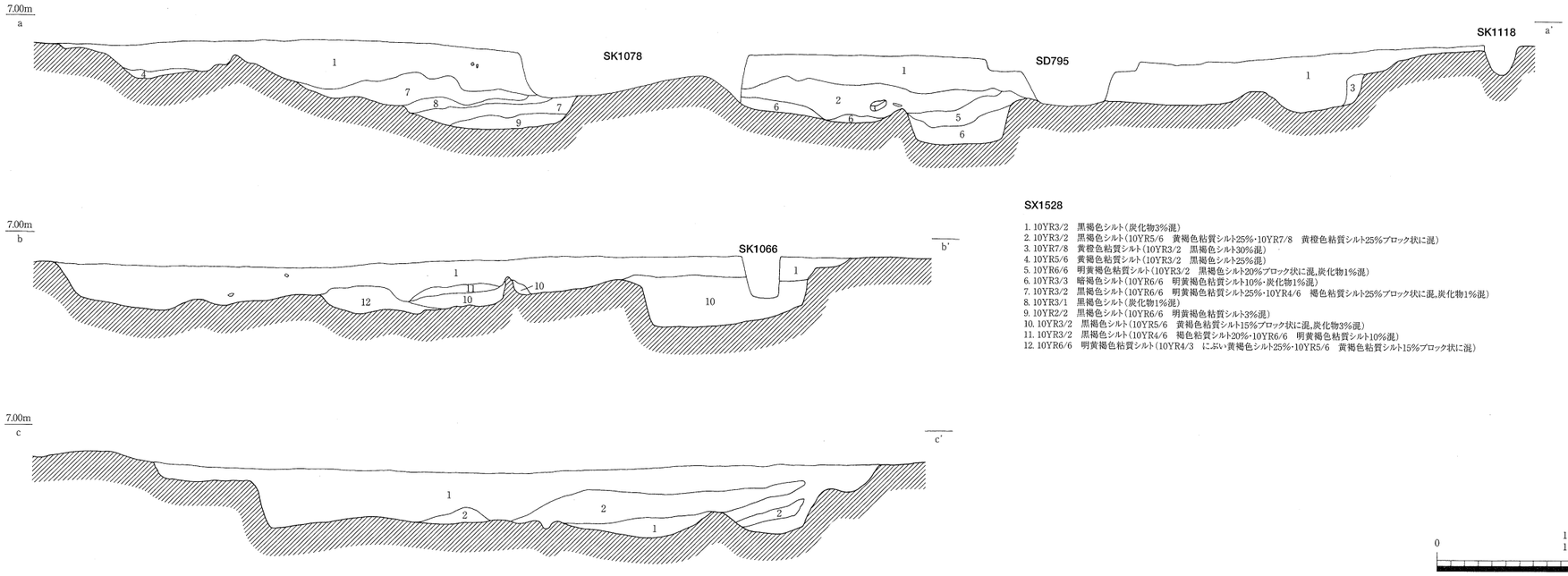
ＳＸ1528に含まれる不整形な粘土採掘坑で，長軸3.08ｍ，短軸1.44ｍ，深さ0.75ｍを測る。出土した229は無文の深鉢で，晩期に属するとみられる。



1



2



第14図　遺構実測図

1．SX1528　2．SK1530(SX1528内)遺物出土状況

1538号土坑（ＳＫ1538，第14・25図，図版28）

ＳＸ1528に含まれる不整形な粘土採掘坑で，長軸２ｍ，短軸1.25ｍ，深さ0.69ｍを測る。遺物は縄文土器（230～233）が出土している。231は葉脈状文の基部が隆帯で表現される。233が中期中葉，それ以外は中期後葉に属する。

1539号土坑（ＳＫ1539，第14・25図，図版29）

ＳＸ1528に含まれる不整形な粘土採掘坑で，長軸1.9ｍ，短軸1.24ｍ，深さ0.8ｍを測る。遺物は縄文土器（234～238）が出土している。236・238は格子目文で，中期前葉に比定される。それ以外は中期後葉に属する。

1540号土坑（ＳＫ1540，第14図）

ＳＸ1528に含まれる円形の粘土採掘坑で，長径0.74ｍ，短径0.6ｍ，深さ0.53ｍを測る。

1541号土坑（ＳＫ1541，第14図）

ＳＸ1528に含まれる不整形な粘土採掘坑で，長軸２ｍ，短軸0.67ｍ，深さ0.57ｍを測る。

1542号土坑（ＳＫ1542，第14図，図版７）

ＳＸ1528に含まれる円形の粘土採掘坑で，径0.88ｍを測る。縄文土器が出土している。

1543号土坑（ＳＫ1528，第14図，図版７）

ＳＸ1528に含まれる円形の粘土採掘坑で，長径1.16ｍ，短径0.84ｍ，深さ0.48ｍを測る。縄文土器が出土している。

1544号土坑（ＳＫ1544，第14図，図版７）

ＳＸ1528に含まれる円形の粘土採掘坑で，長径1.48ｍ，短径１ｍ，深さ0.39ｍを測る。縄文土器が出土している。

1547号土坑（ＳＫ1547，第14・25図，図版28）

ＳＸ1528に含まれる不整形な粘土採掘坑で，長軸1.07ｍ，短軸0.65ｍ，深さ0.53ｍを測る。中期中葉（上山田・天神山式）の縄文土器（239）が出土している。

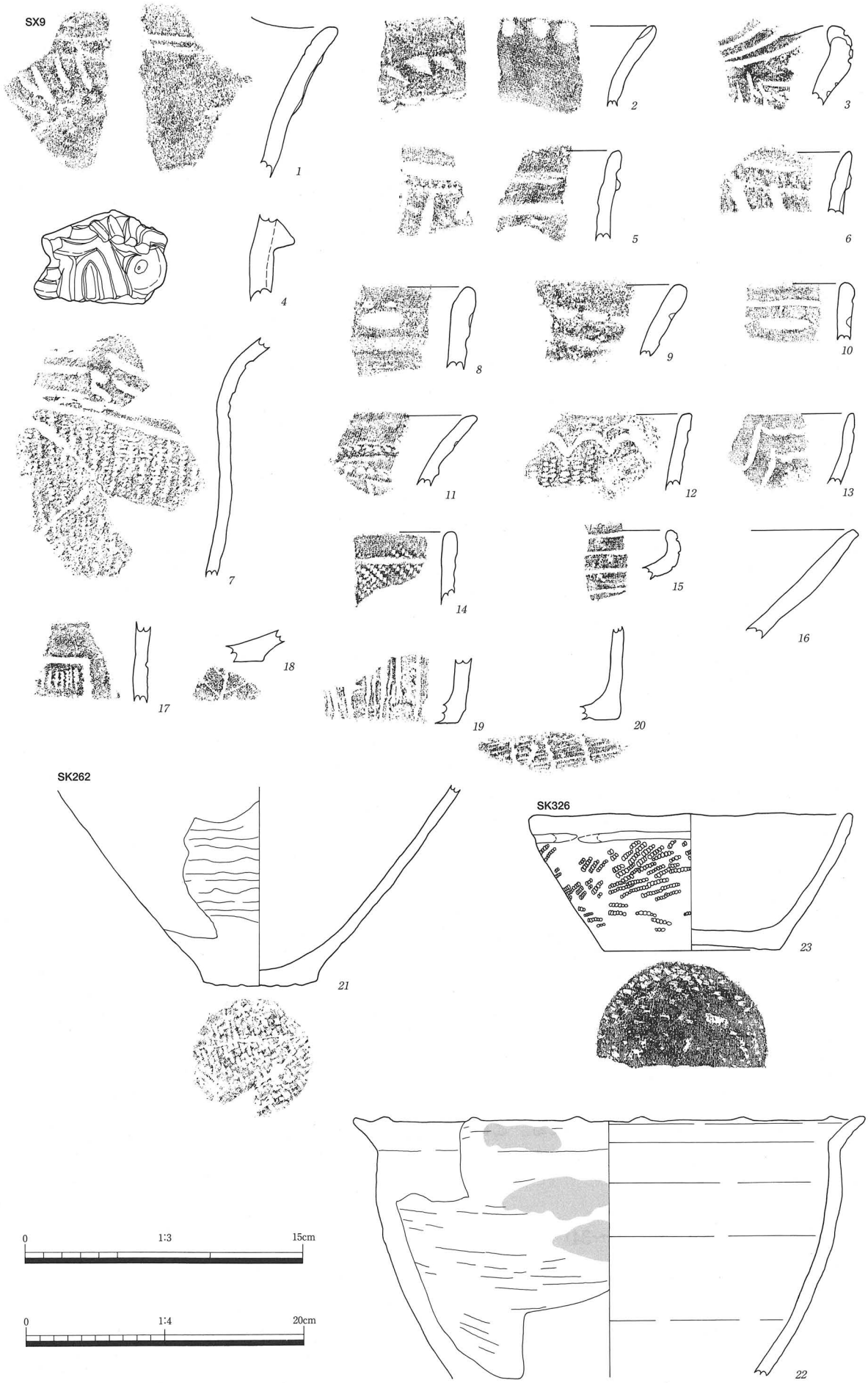
包含層出土遺物

縄文土器[注3]（第27・28図，図版22・23・30・31）

Ⅰ層直下から上層遺構まで，調査区全体に混入して出土した。これらはほとんどが細片で，接合できるものはごく僅かである。時期は遺構出土遺物と同様，中期後葉に主体がある。以下，時期別にみると，中期前葉～中葉は264・283・285・288～290・294・297・300・302・319・320である。319は器台とみられ，上面には漆が付着する。後期前葉は252・259・260・292である。252の口縁部は内側からの押さえにより，小波状を成す。晩期中葉は307で，口唇部には押さえがみられる。この他は全て中期中葉とみられる。文様は，太い沈線で横位，縦位に区画し，斜行文，列点文のほか縄文，貝殻腹縁文，刺突文を施すものが多くみられる。この他，櫛状工具による条線文，葉脈状文などがある。また深鉢には，波状口縁，小波状をなす口縁，平縁口縁が緩く外反するものなど，型式は混在しているようである。

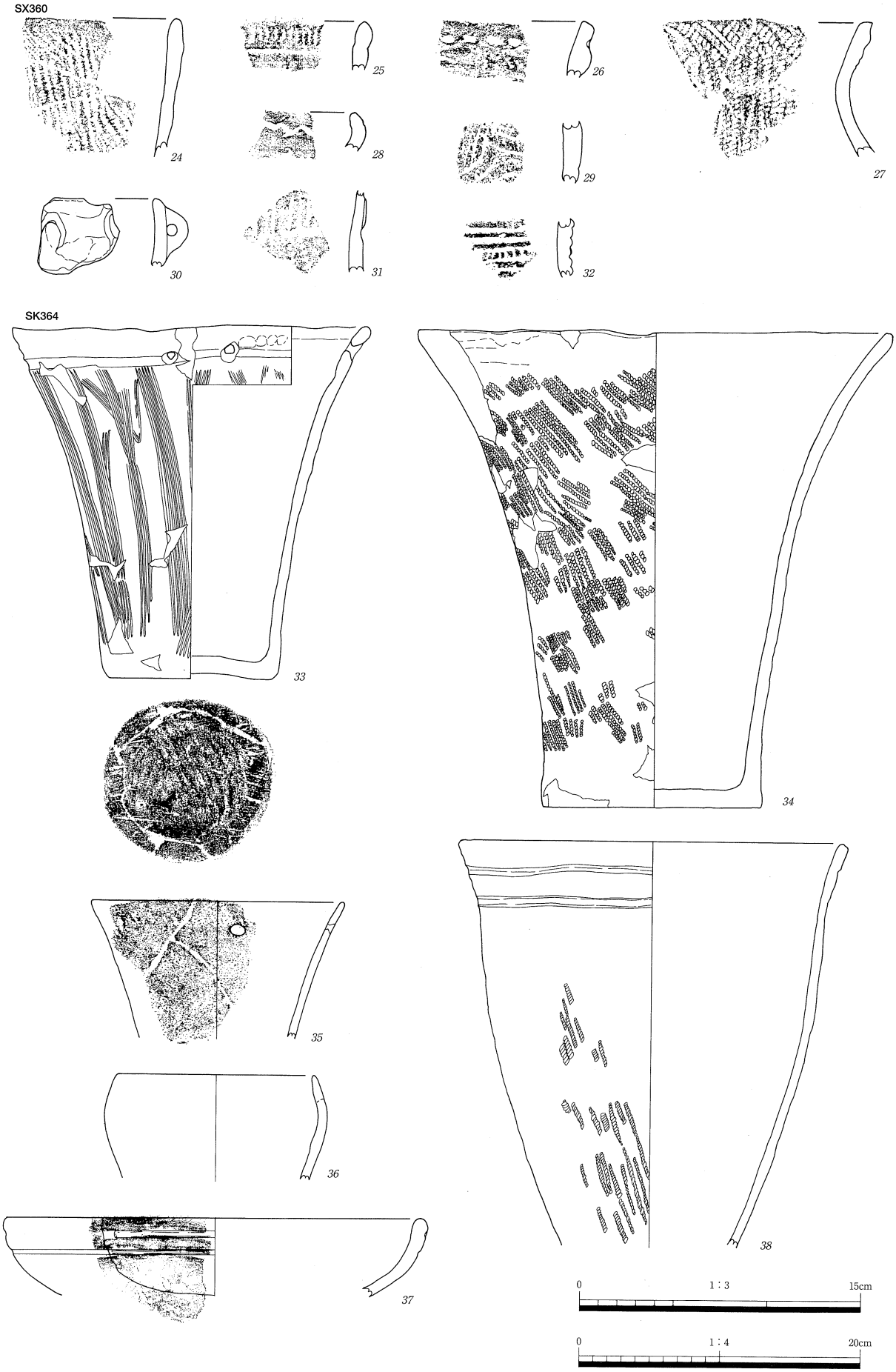
土製品（第27・29図，図版32～34）

円板状土製品（273～275），土偶（321～325），三角壕形土製品（326）がある。円板状土製品は土器片を円く打ち欠いたもので，274には縄文，275には条線文がみられる。土偶は出土した５点のうち，321以外は中期後葉に属する。321は中期前葉の有脚土偶の臀部である。大きく膨らんだ腹部には臍と，欠損しているが腹部を抱くような腕の表現がみられる。また下腹部には横位の玉抱き三叉文を施す。

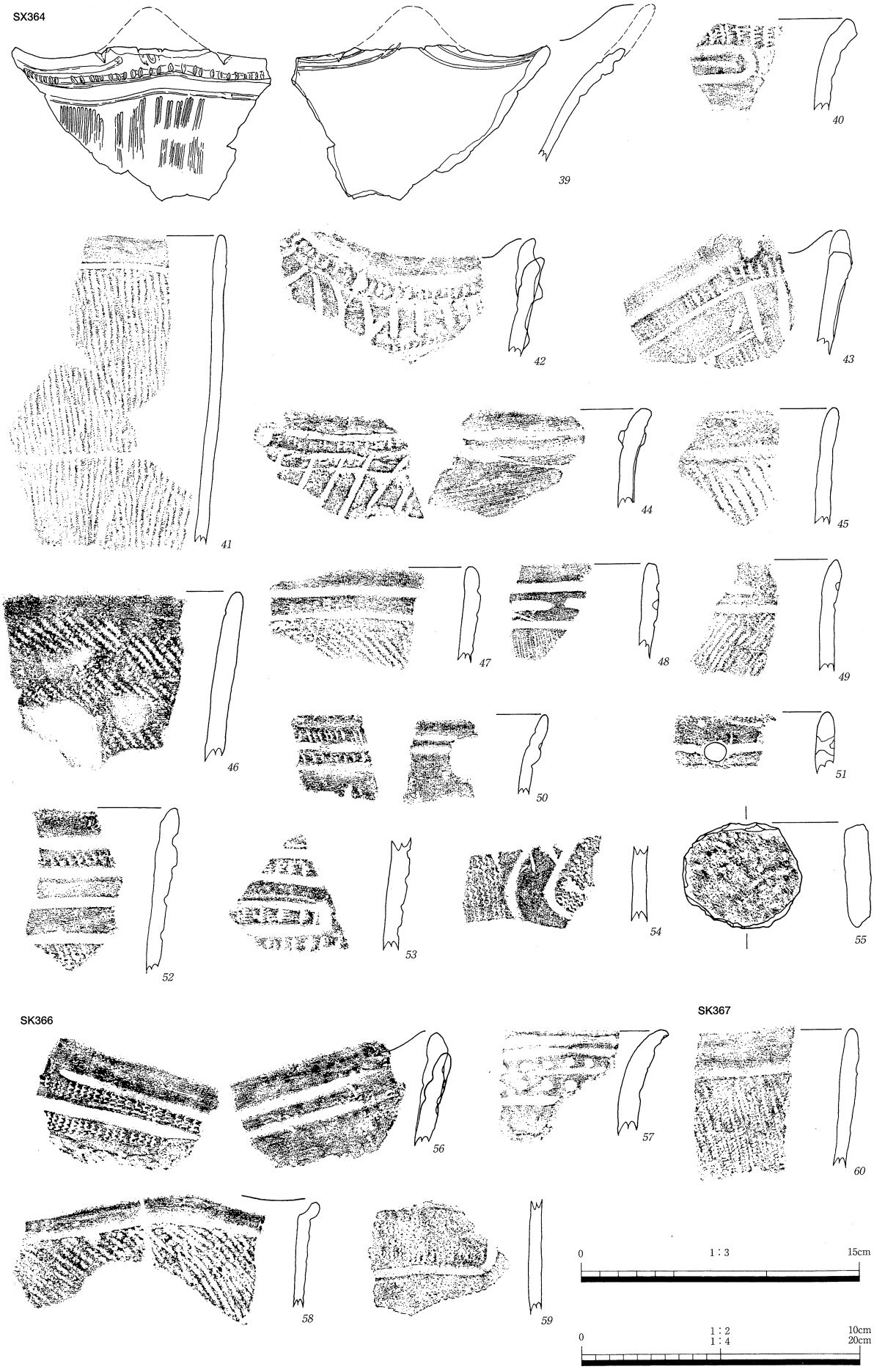


第15図　遺物実測図　（*1～20*　1/3，*21～23*　1/4）

SX9（*1～20*）　SK262（*21・22*）　SK326（*23*）

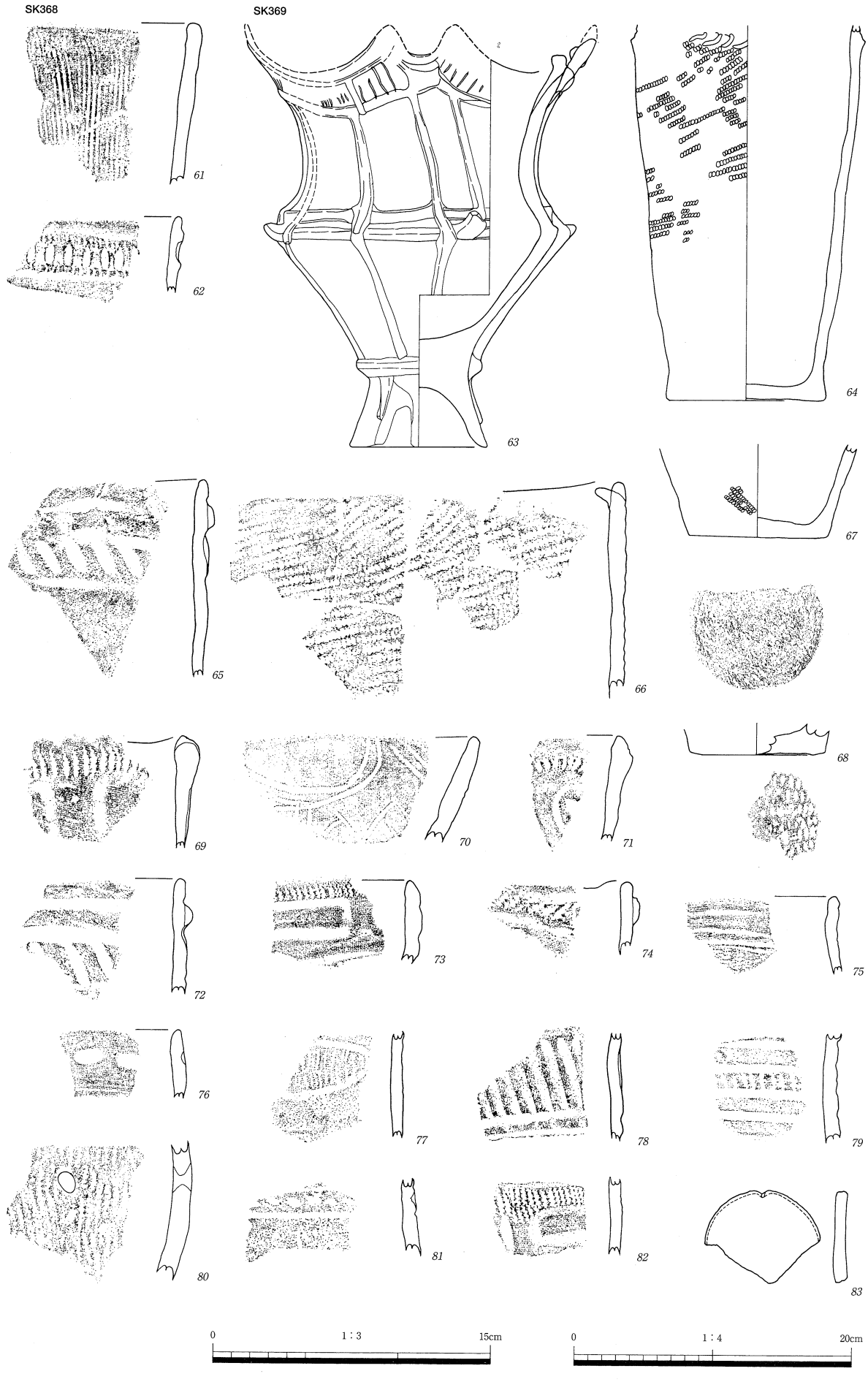


第16図　遺物実測図　(*24～32*　1/3，*33～38*　1/4)
SX360(*24～32*)　SK364(*33～38*)

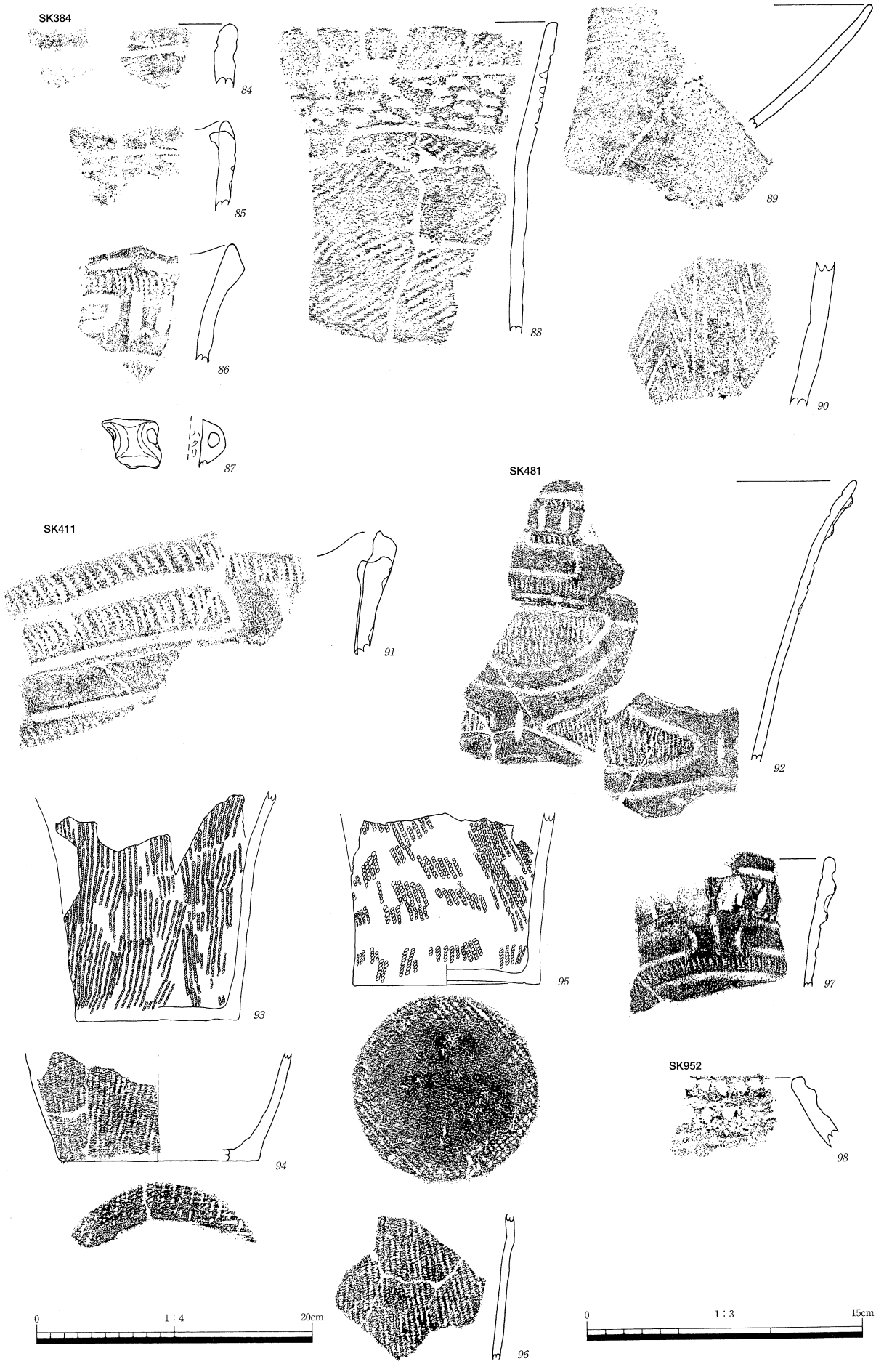


第17図　遺物実測図　（*55*　1/2，*40～54・56～60*　1/3，*39*　1/4）

SX364（*39～55*）　SK366（*56～59*）　SK367（*60*）

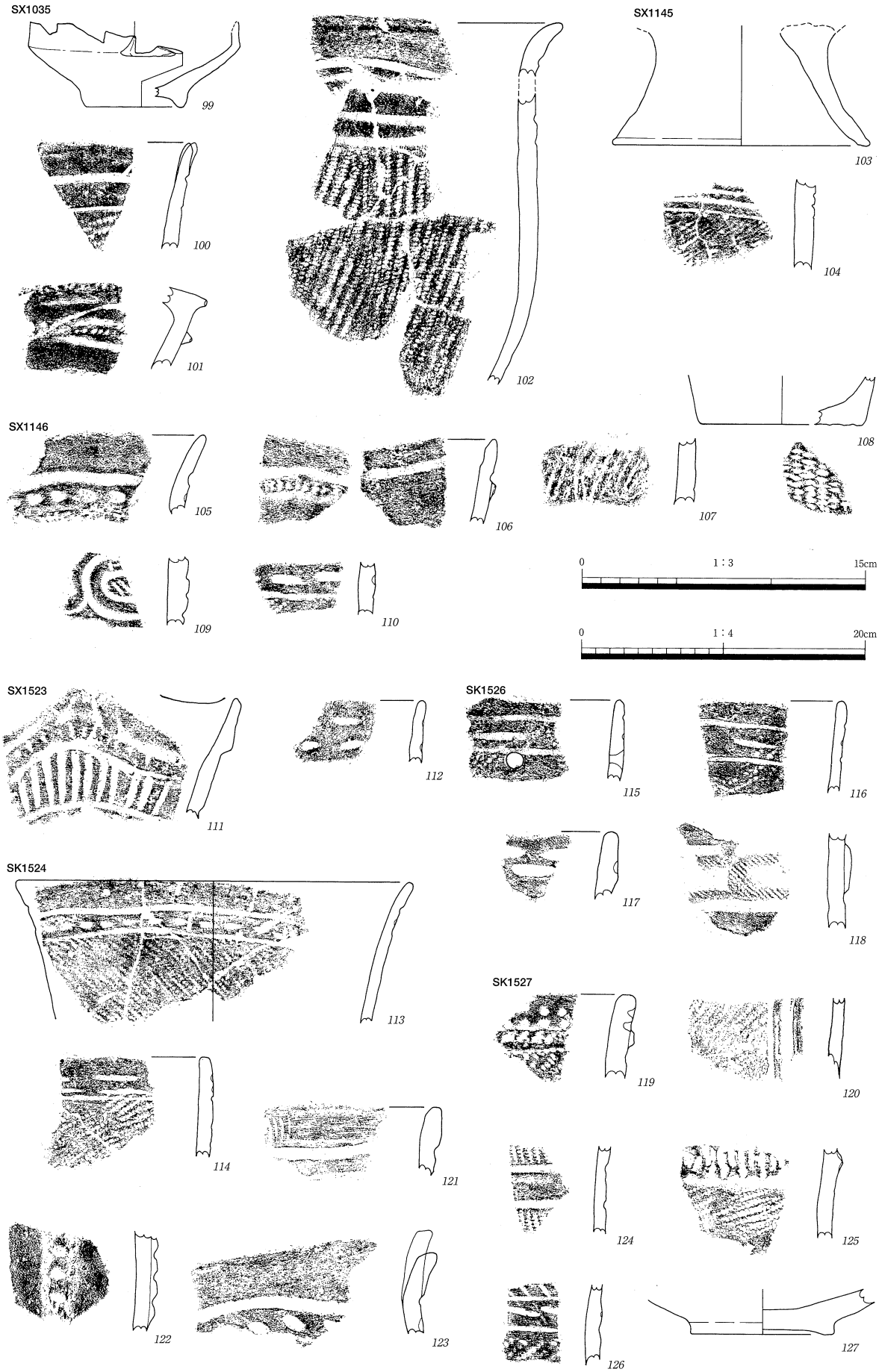


第18図　遺物実測図（*61・62・65・66・69～83*　1/3，*63・64・67・68*　1/4）
SK368（*61・62*）　SK369（*63～83*）



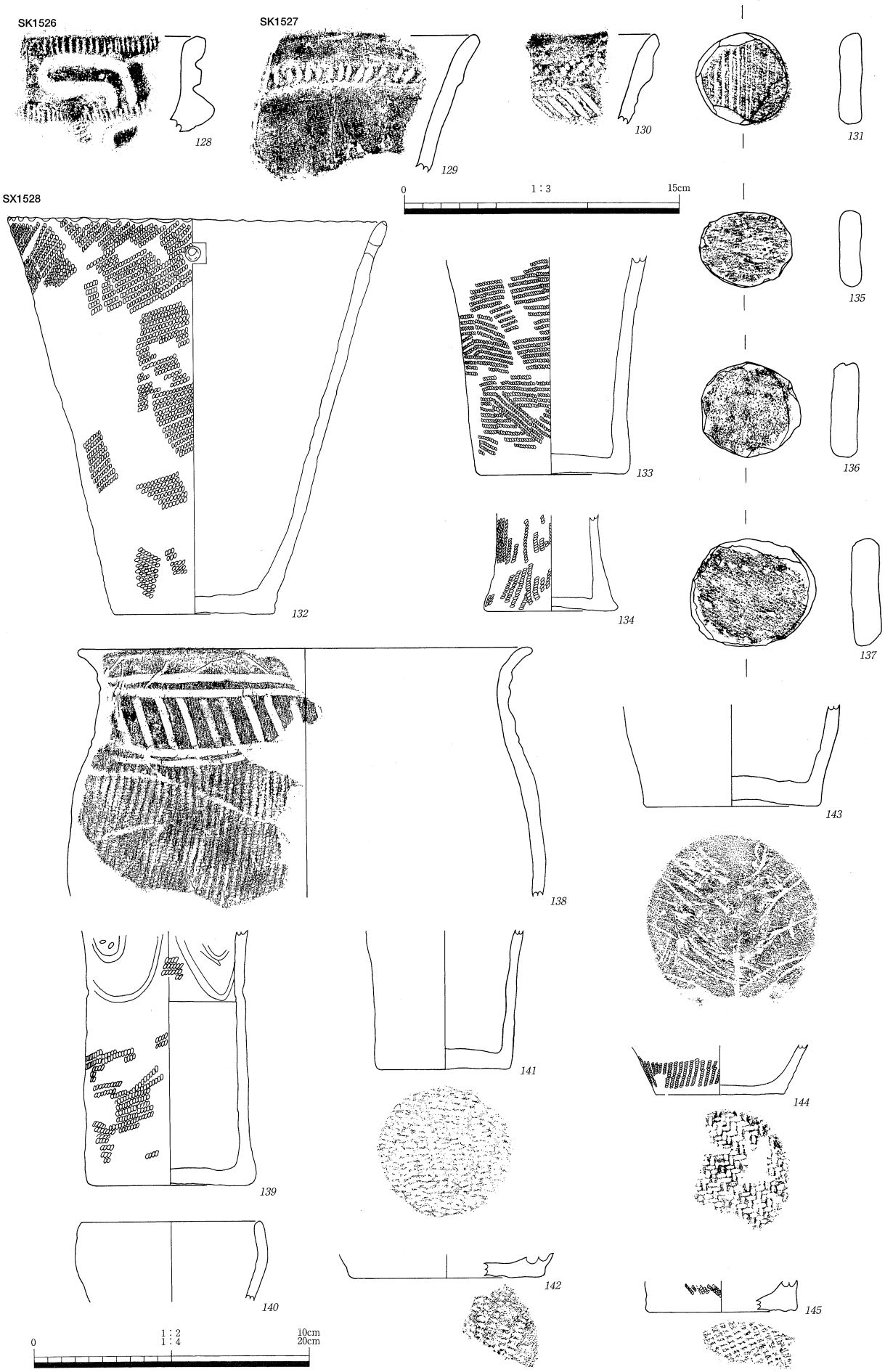
第19図　遺物実測図　(*84～91・98*　1/3，*92～97*　1/4)

SK384(*84～90*)　SK411(*91*)　SK481(*92～97*)　SK952(*98*)



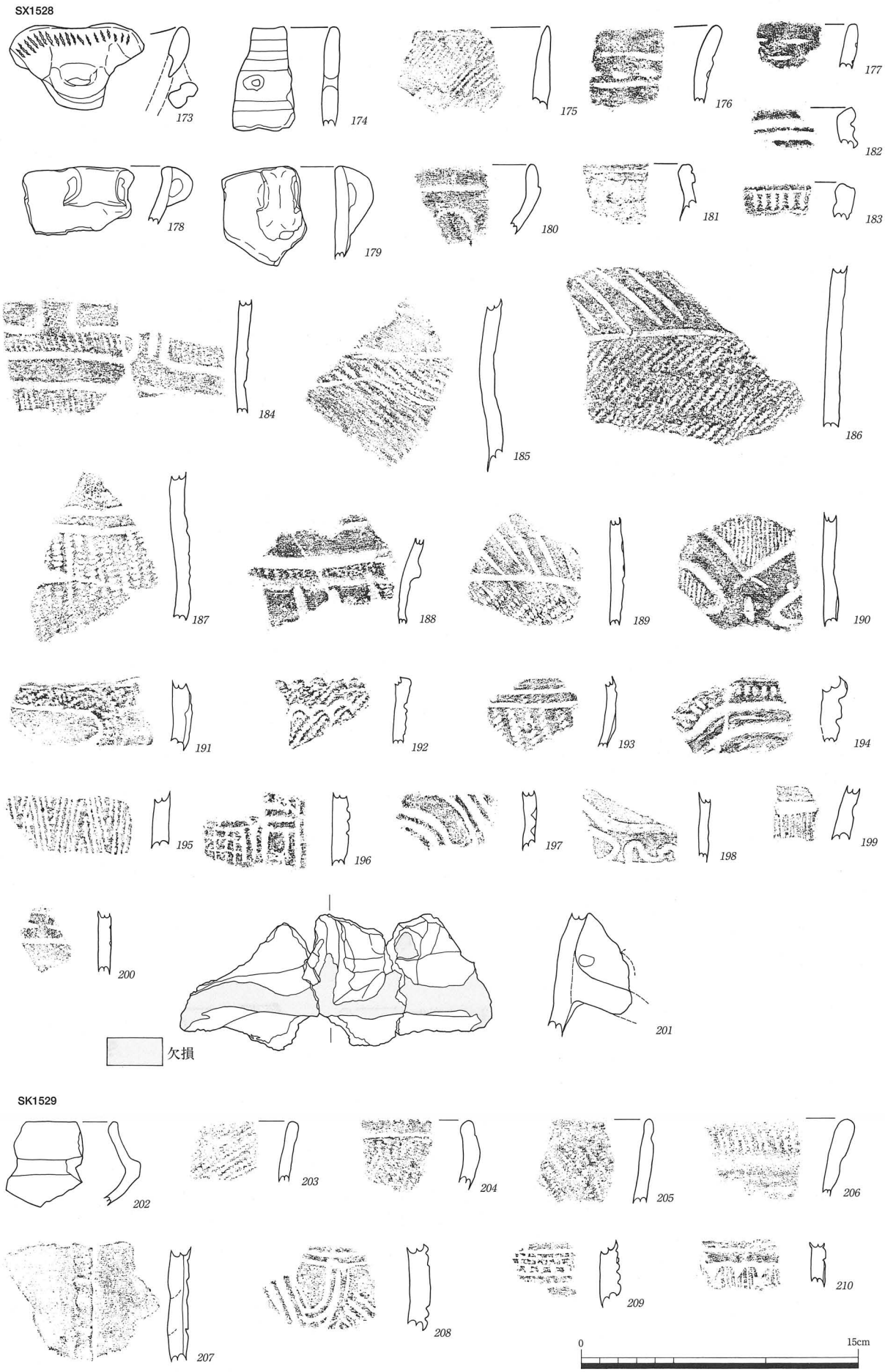
第20図　遺物実測図　（*100～102・104～107・109～112・114～127*　1/3，*99・103・113*　1/4）

SX1035（*99～102*）　SX1145（*103・104*）　SX1146（*105～110*）　SX1523（*111・112*）　SK1524（*113・114*）　SK1526（*115～118*）
SK1527（*119～127*）



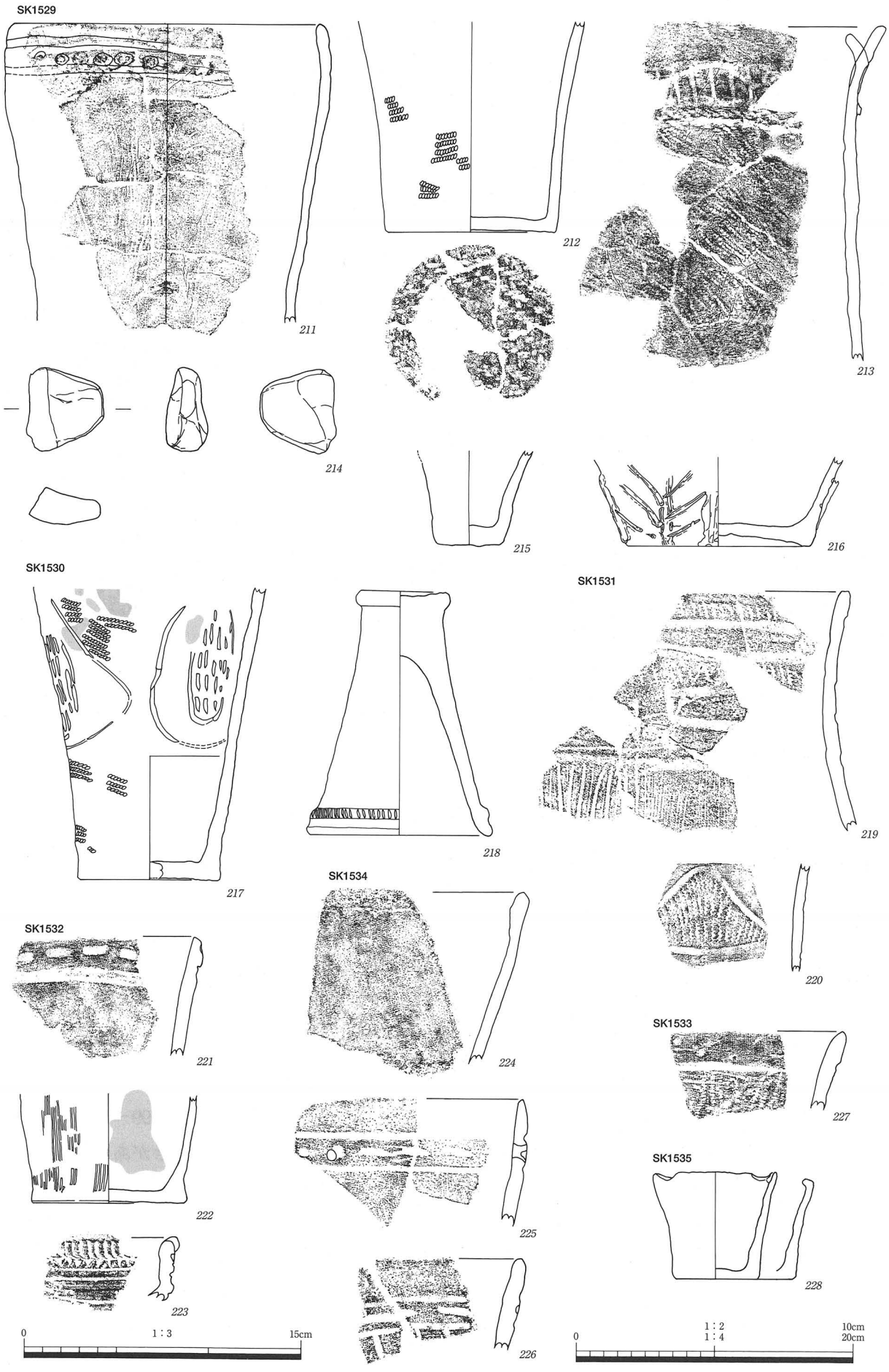
第21図　遺物実測図　（*131・135～137*　1/2，*128～130*　1/3，*132～134・138～145*　1/4）
SK1526（*128*）　SK1527（*129～131*）　SX1528（*132～145*）

第22図　遺物実測図（*147～172*　1/3，*146*　1/4）
SX1528（*146～172*）



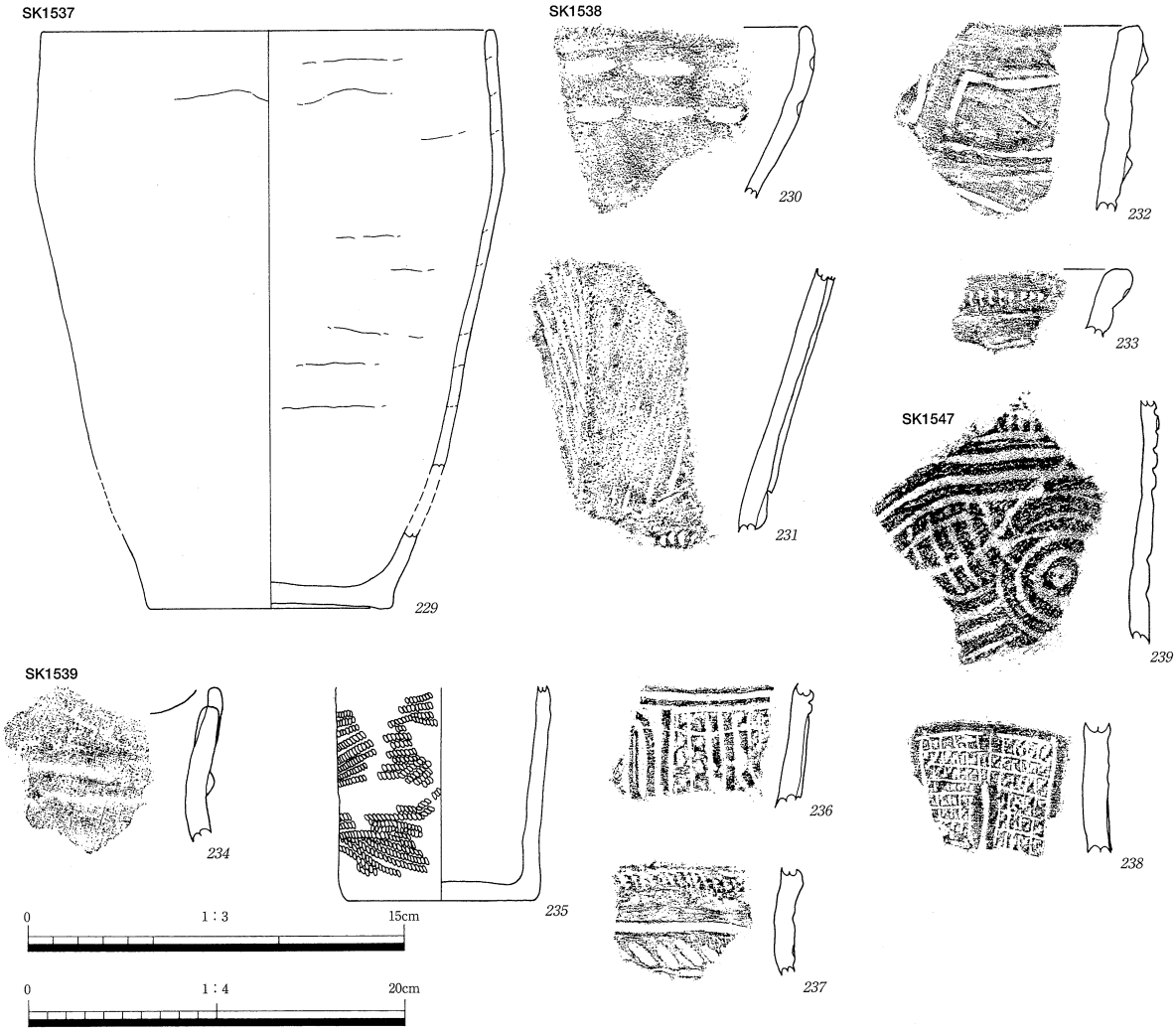
第23図　遺物実測図（*173～210*　1/3）

SX1528（*173～201*）　SK1529（*202～210*）



第24図　遺物実測図（*214*　1/2，*219～221・223～227*　1/3，*211～213・215～218・222・228*　1/4）

SK1529（*211～216*）　SK1530（*217・218*）　SK1531（*219・220*）　SK1532（*221～223*）　SK1533（*227*）　SK1534（*224～226*）
SK1535（*228*）



第25図　遺物実測図（*230～234・236～239*　1/3，*229・235*　1/4）
SK1537（*229*）　SK1538（*230～233*）　SK1539（*234～238*）　SK1547（*239*）

322～325は板状土偶で頭や手足の表現が簡略化されたものである。322は脚部で全面に細沈線を引く。323は中心に引かれた沈線の左右に，剥落しているが乳房の表現がある。また脇腹には，表面と側面に横位，裏面には縦位の沈線を施す。324は中心と腕，背中に沈線を引く。頭と乳房の剥離痕がある。325の基部は楕円形で厚みがあり，上体が反り返る。左側の乳房は剥落している[注4]。326は破片資料で3面のみ確認できた。全ての面には外形に沿った沈線が巡り，その中に刺突文を施す。

石製品[注5]（第30～37図，図版52～61）

打製石斧（327～362），磨製石斧（363～384），石鏃（385・386），石匙（387），両極石器（388），篦状石器（391），凹石（392・393・394），磨石（395），敲石（396～398），石錘（399～411）などがある。打製石斧の石材は，安山岩，凝灰岩，砂岩などで，サイズにはややばらつきがある。362は磨製石斧を加工し，打製石斧に作り替えたものである。磨製石斧の石材には蛇紋岩が多い。破損品がほとんどで，365は磨製石斧の断片をさらに加工したものとみられる。385は凹基鏃で，チャート製である。押圧剥離を丁寧に施したものである。387は横型石匙で，頁岩製である。389の石核は鉄石英，390の剥片は玉髄である。394は凹石であるが，摩耗痕も認められるため，磨石に転用されたと考えられる。398は下端の敲打痕に加えて，表面に摩耗痕も認められる。石錘は素材に扁平礫を使用したものがほとんどである。

（町田尚美）

注１　自然科学的分析　「Ⅴ　黒河中老田・黒河尺目遺跡から出土した打製石斧の低倍率使用痕分析」

注２　管見では，同様の器形は見当たらないが，以下の文献で大杉谷式と呼称される土器群に類例が存在する。

工藤俊樹　1985　『右近次郎遺跡Ⅱ』大野市教育委員会

戸田哲也　1997　『堂之上遺跡』久々野町教育委員会

沼田啓太郎　1977　「大杉谷式の脚部について」『石川考古学研究会々誌』第20号

注３　縄文土器の器種分類，時期等については，狩野　睦氏・酒井重洋氏から御教示いただいた。

注４　神保孝造　1985　「Ｃ　土製品」，「Ⅳ　まとめ　３．縄文時代中期前葉の土偶について」『富山県八尾町長山遺跡発掘調査報告』八尾町教育委員会

小島俊彰・神保孝造　1992　「北陸の土偶」『国立歴史民族博物館研究報告第37集』

注５　石製品の器種分類，石材鑑定，二次加工技術等については株式会社アルカ　馬場伸一郎氏の分析に従った。

自然科学的分析　「Ⅳ　黒河中老田・黒河尺目遺跡から出土した石器群について」

参考文献

狩野　睦　1988　「串田新・大杉谷式土器様式」『縄文土器大観　第３巻　中期Ⅱ』小学館

酒井重洋　1991　『上野南遺跡群発掘調査報告』小杉町教育委員会

神保孝造　1973　『富山県大門町串田新遺跡発掘調査概報』富山県教育委員会

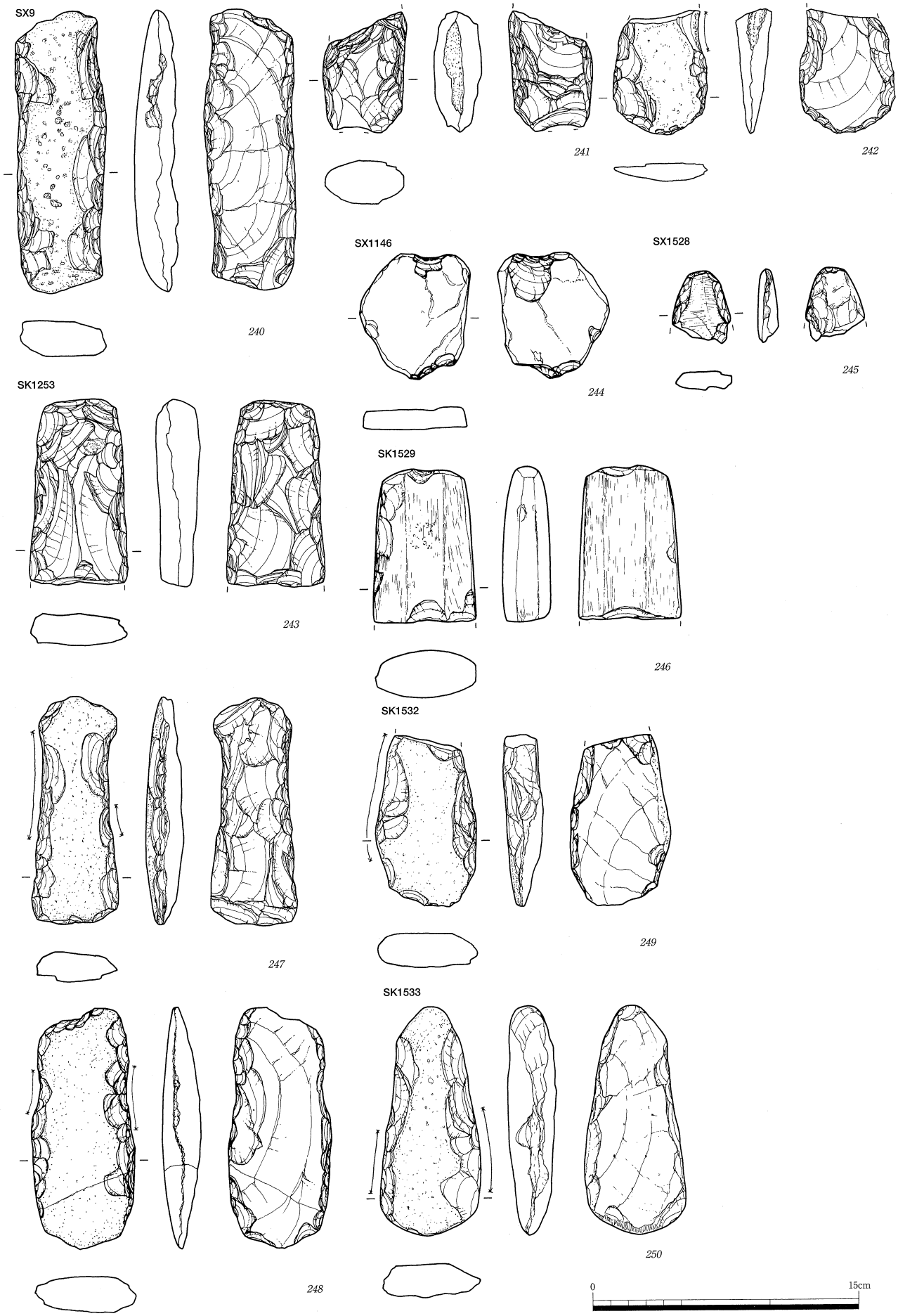
高橋修宏　1982　『富山県大門町串田新遺跡Ⅳ』大門町教育委員会

鶴田典昭　1997　「沢田鍋土遺跡」『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書13』

柳井睦他　1976　『富山県立山町岩峅野遺跡緊急発掘調査概要』富山県教育委員会

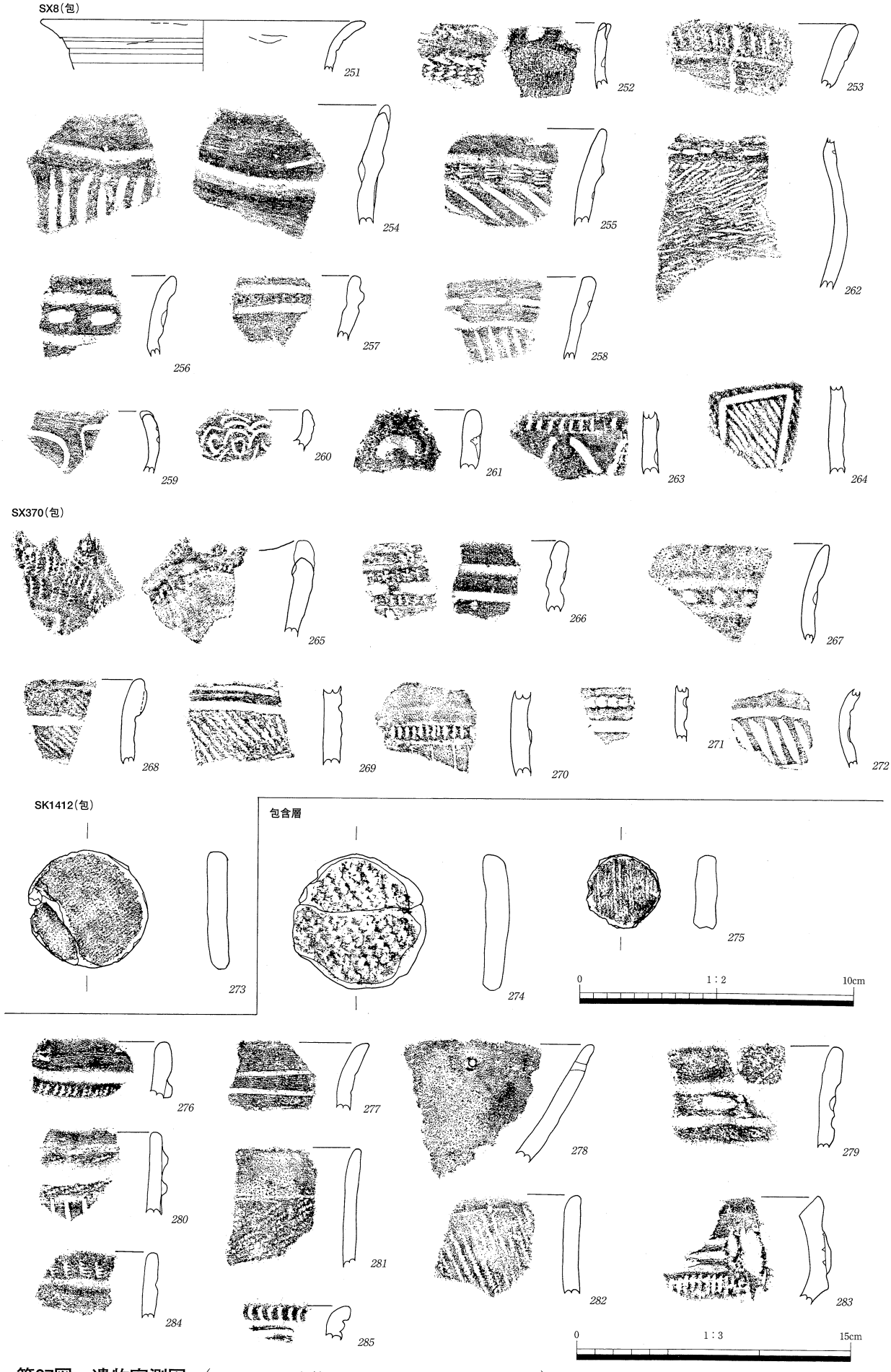
柳井睦他　1977　『富山県大沢野町布尻遺跡緊急発掘調査概要』大沢野町教育委員会

山本直人　1986　「第６章　縄文時代の遺物　第５節　底部圧痕・編物・縄」『石川県能都町真脇遺跡』能都町教育委員会



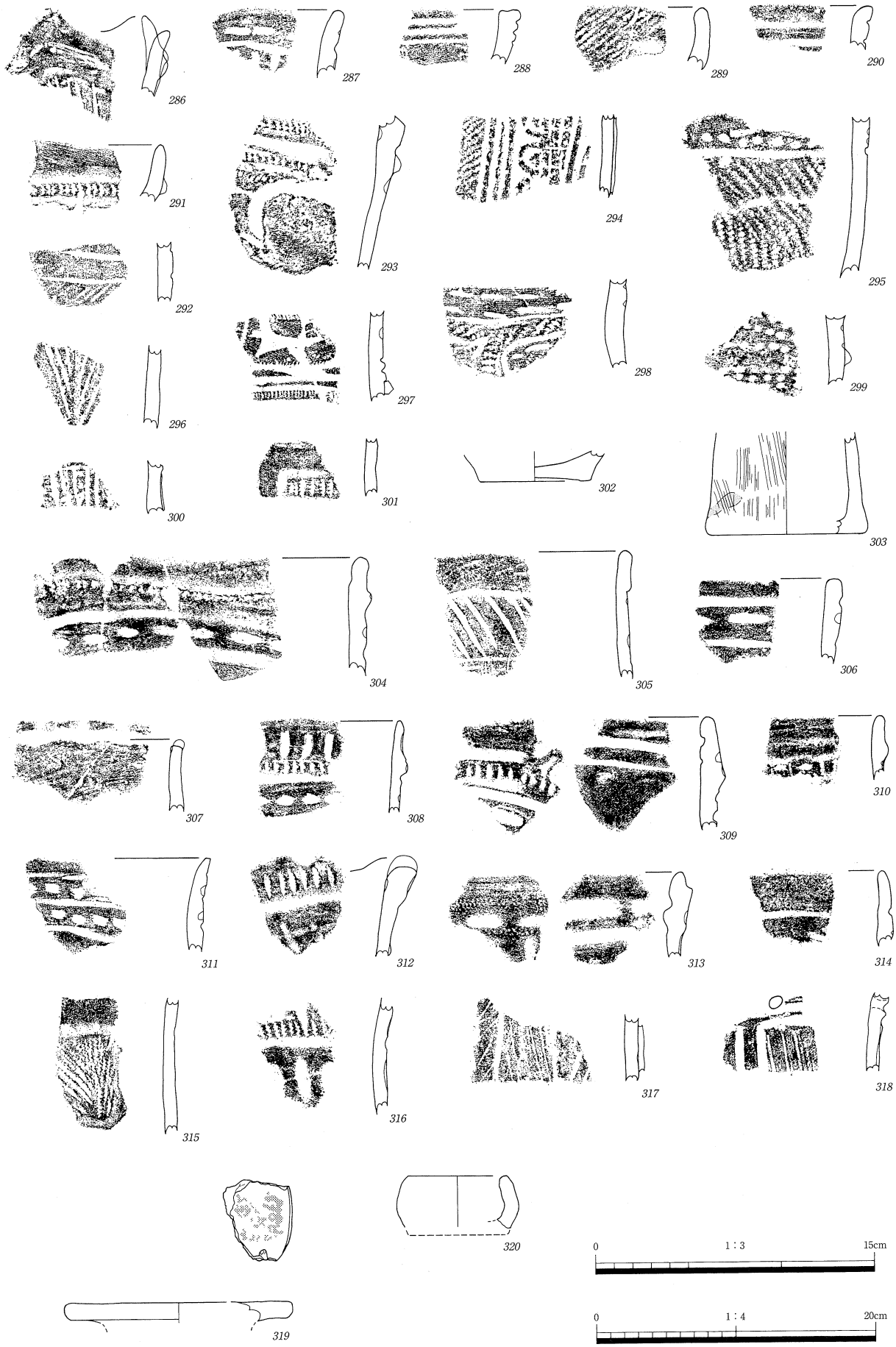
第26図　遺物実測図　(1/3)

SX9(*240*～*242*)　SX1146(*244*)　SK1253(*243*)　SX1528(*245*)　SK1529(*246*～*248*)　SK1532(*249*)　SK1533(*250*)



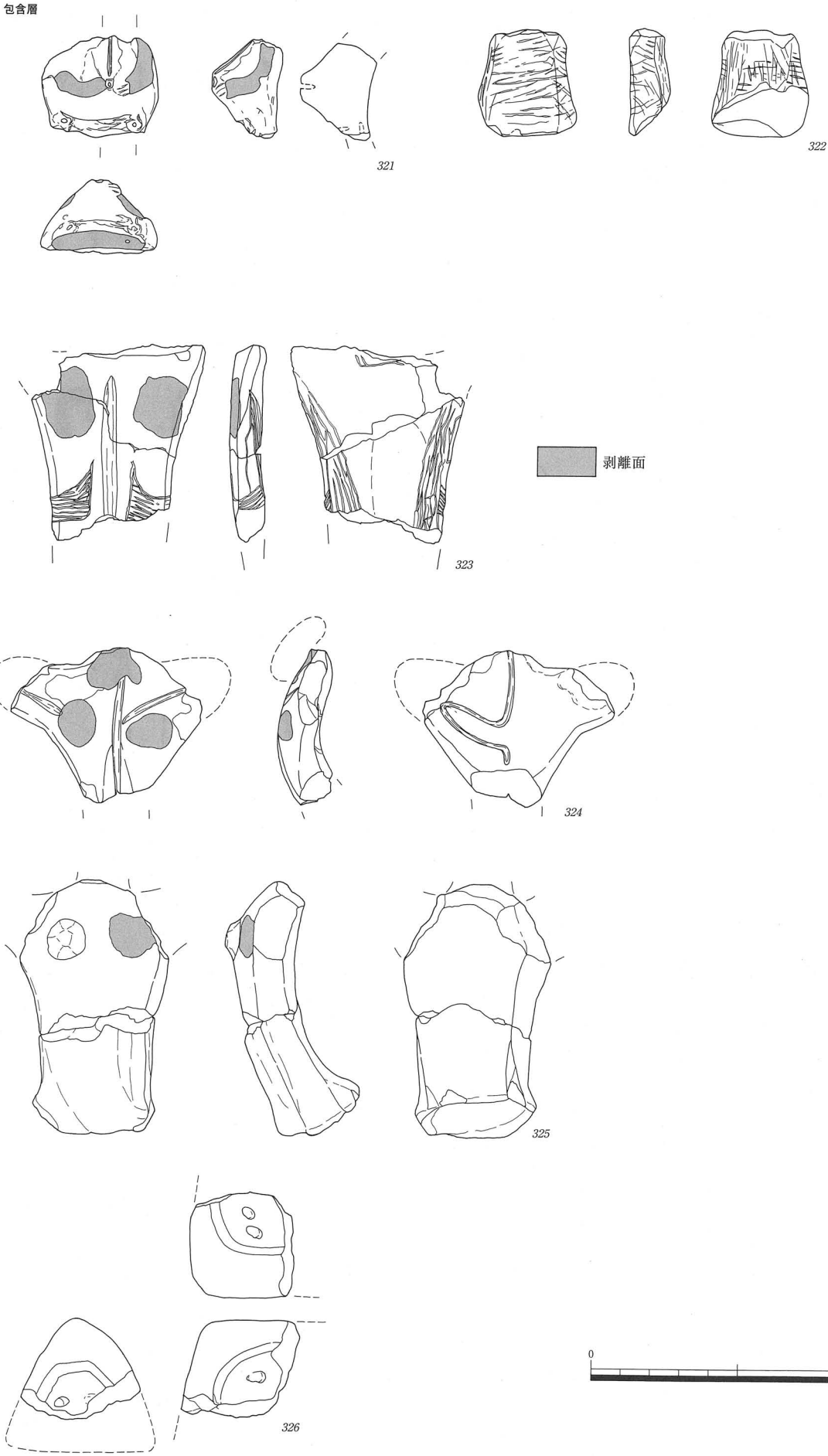
第27図　遺物実測図　(*273～275*　1/2，*251～272・276～285*　1/3)
包含層

包含層

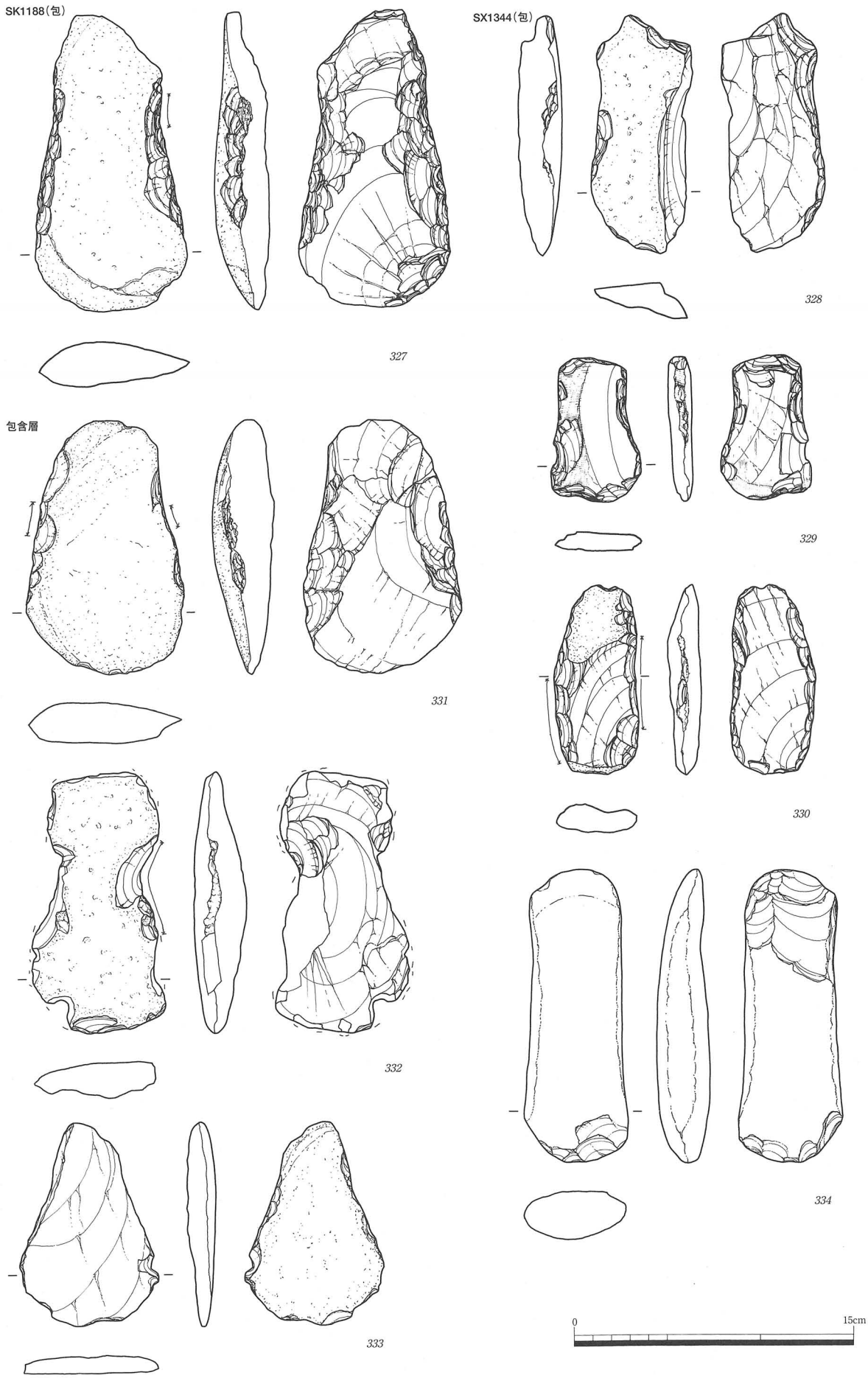


第28図　遺物実測図　（*286～301・304～318*　1/3，*302・303・319・320*　1/4）
包含層

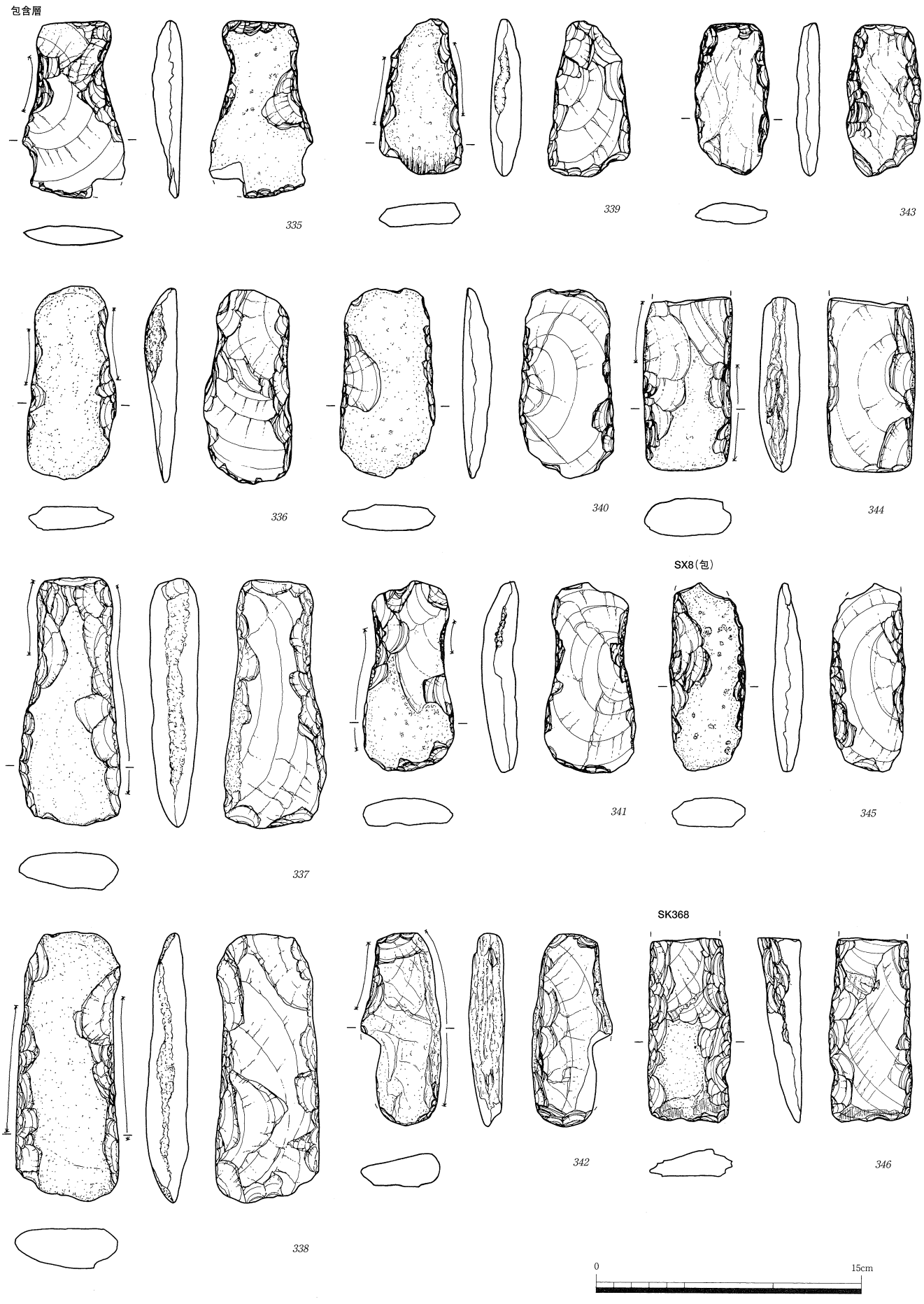
包含層



第29図　遺物実測図（1/2）
包含層

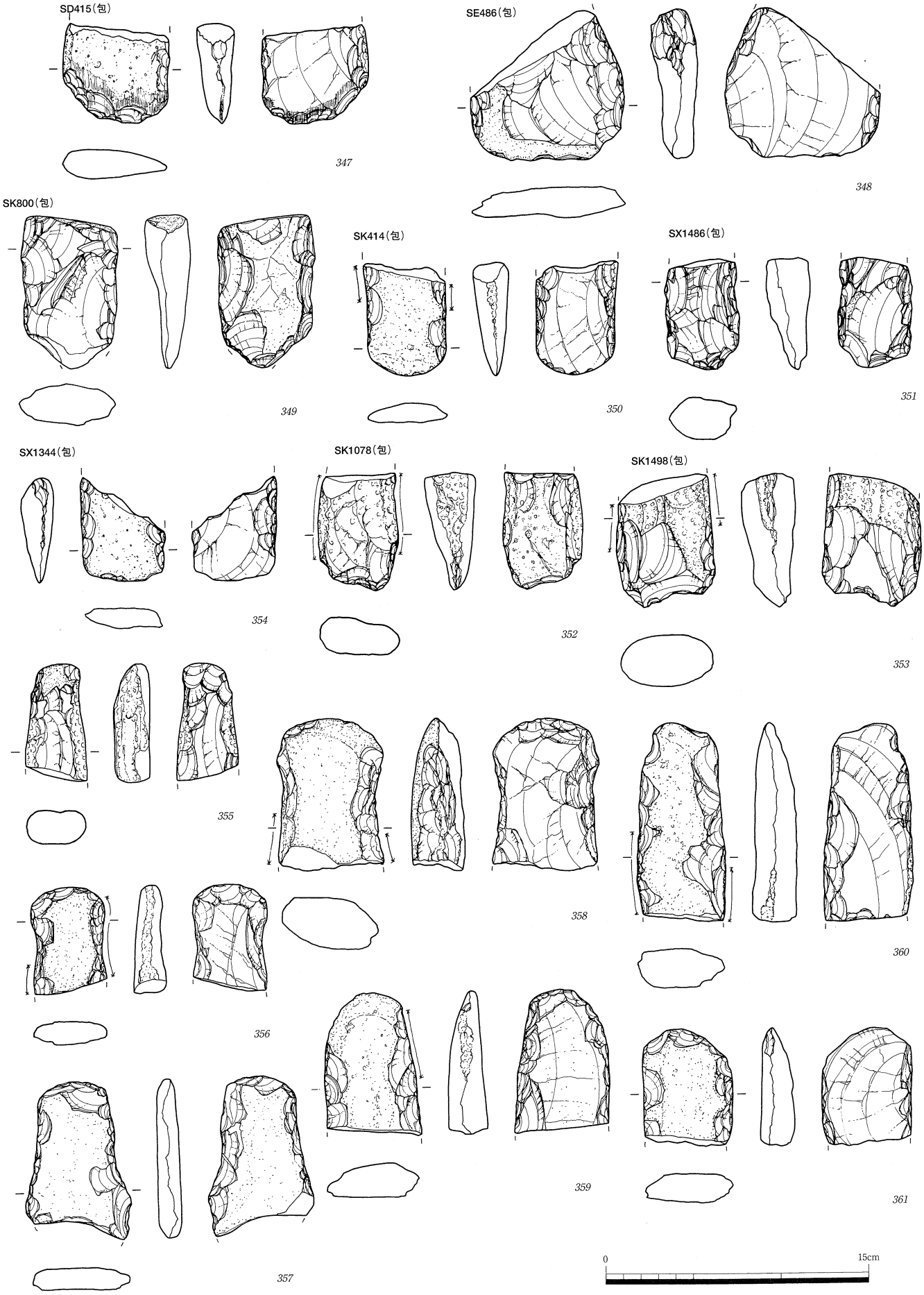


第30図　遺物実測図　(1/3)
包含層



第31図　遺物実測図　(1/3)

SK368(*346*)　包含層



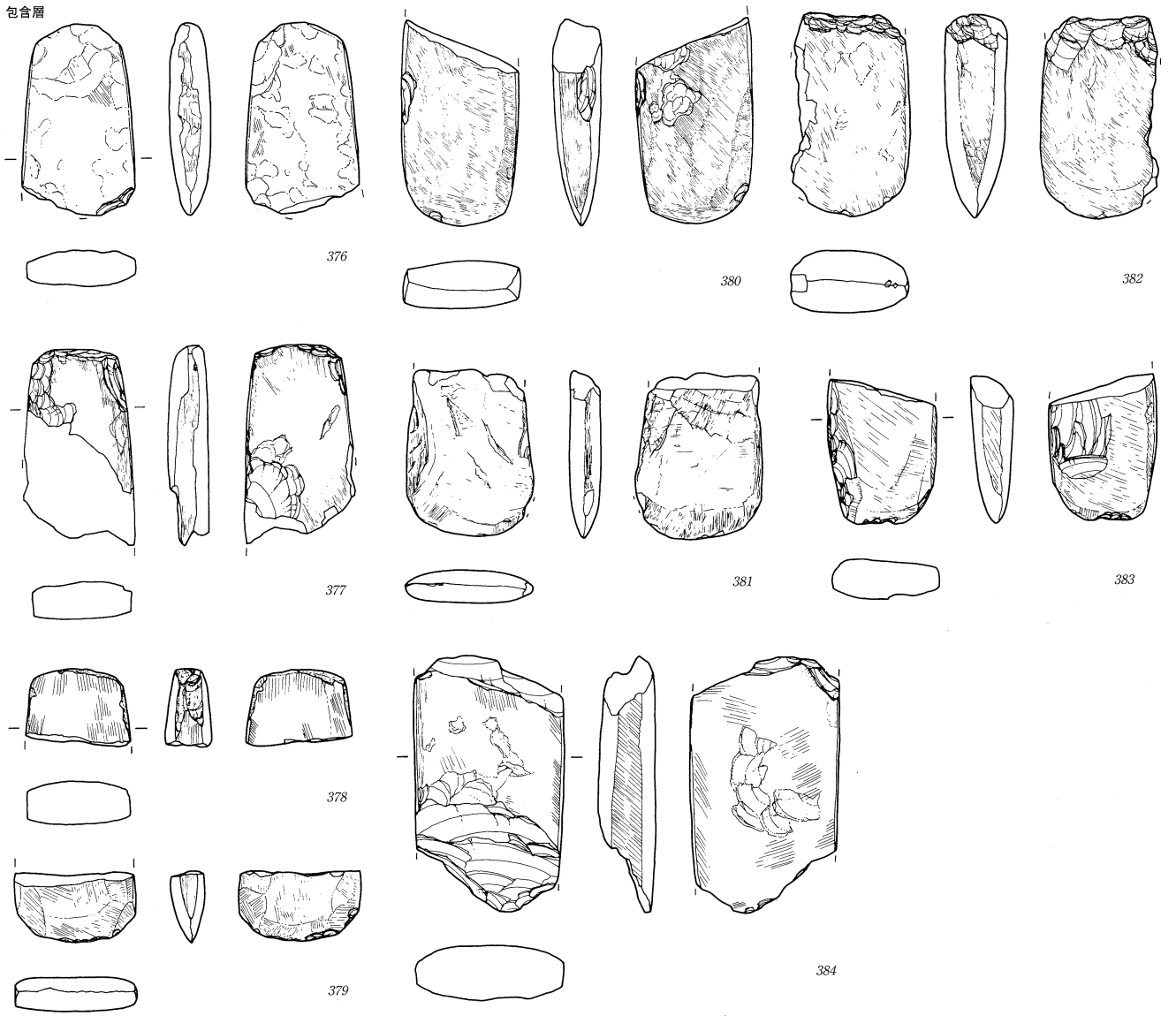
第32図　遺物実測図　(1/3)

包含層

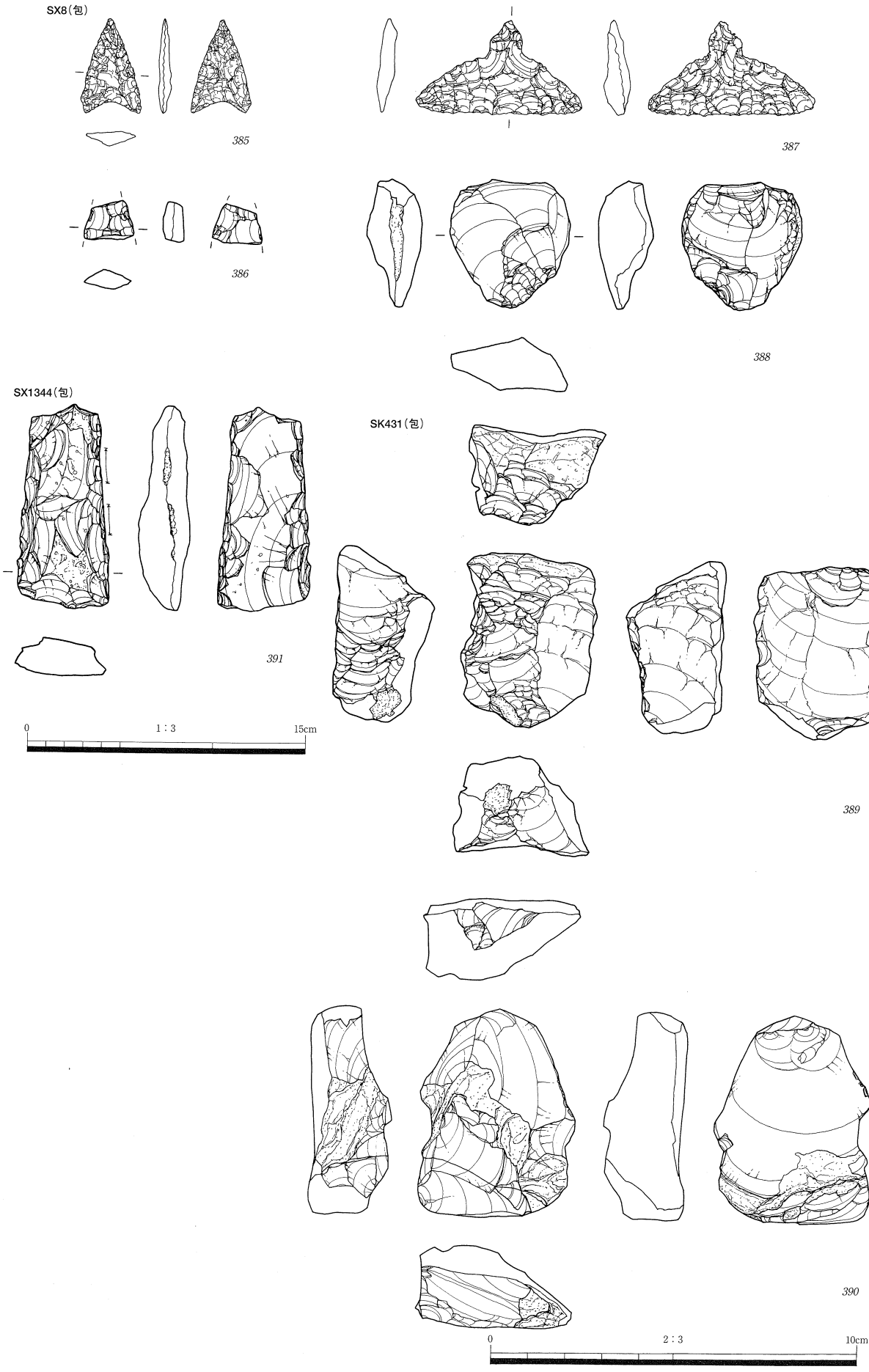
第33図　遺物実測図　(1/3)

包含層

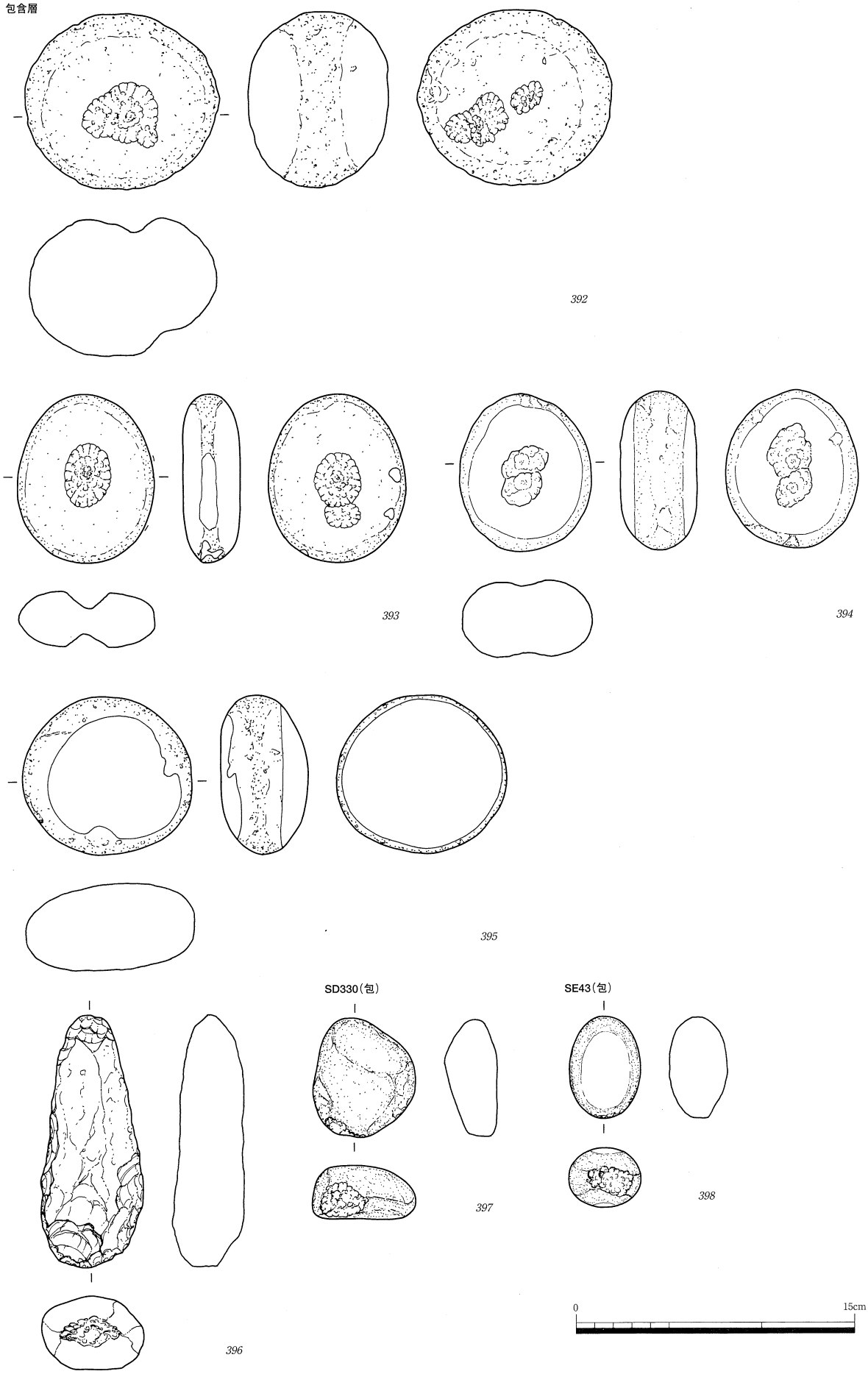
包含層



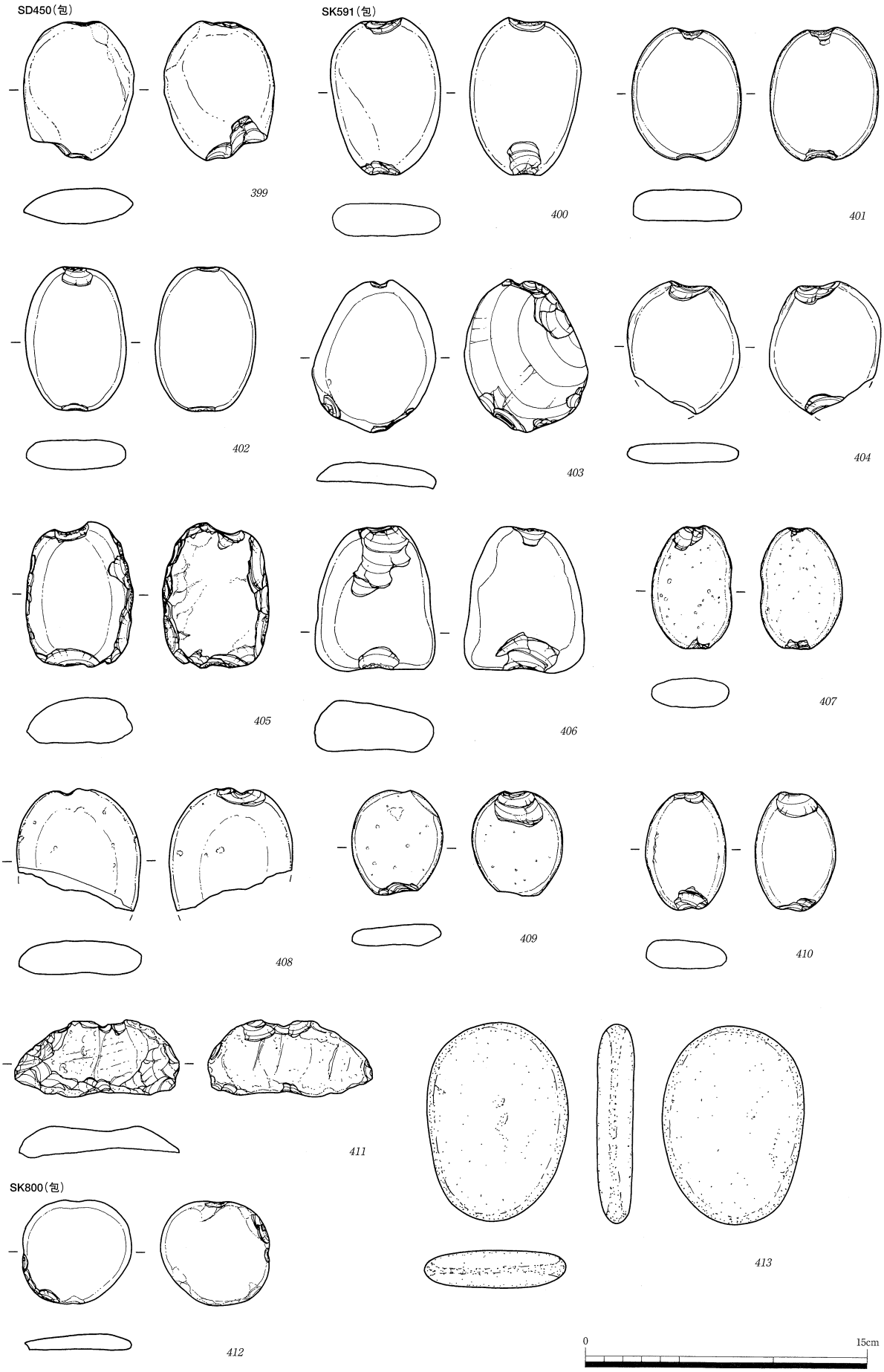
第34図　遺物実測図（1/3）
包含層



第35図　遺物実測図　(*385～390*　2/3，*391*　1/3)
包含層



第36図　遺物実測図　(1/3)
包含層



第37図　遺物実測図　(1/3)

包含層

B　古代・中世

古代・中世の遺構は掘立柱建物44棟，柵５条，溝15条，井戸14基，土坑920基を検出した。掘立柱建物は部分的な検出例が16棟あり，かなりの数の建物が調査区外に広がると予想される。黒河尺目遺跡は過去の調査から奈良時代を中心とする集落遺跡が確認されており，調査区は遺跡の北端に位置している。平成13年度の調査では，調査区の県営東部六号用水路を挟んで南に隣接する地点の調査が実施されており，丘陵末端に樹枝状に伸びた小谷の谷筋が確認されている[注1]。この谷は中世以降に埋没したと考えられており，黒河尺目遺跡を二分する形となっている。今回の調査では南側では遺構が散漫となっており，区画と考えられる東西方向の溝を境に遺構がほぼなくなることからも，過去の調査地区で明らかになった集落とは二分されている可能性がある。遺物は８世紀後半～９世紀前半のもの以降断続的にみられ，12世紀後半～13世紀前半のものに主体があると思われる。このことから，集落は古代から中世前半にかけて連綿と営まれ，８世紀後半～９世紀前半，12世紀後半～13世紀前半の二時期に主体があると考えられる。

掘立柱建物

１号掘立柱建物（ＳＢ１，第38図，図版９）

調査区中央部に位置する３間×２間の総柱建物で，主軸Ｎ－16°－Ｅの南北棟である。桁行長4.3m，梁行長3.8m，平面積16.34㎡を測る。ほぼ主軸が同じで，直線上に等間隔に並ぶ４棟の建物群のうちの１棟で，一番南に位置する。柱掘形の径は0.47～0.68mの円形で，深さは0.13～0.45mを測る。掘形埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，ＳＰ519・ＳＰ522・ＳＰ523・ＳＰ526で柱痕跡が確認された。柱穴からの遺物の出土はないが，包含層出土の遺物等から建物の時期は８世紀後半～９世紀前半と推定される。

２号掘立柱建物（ＳＢ２，第38図，図版９・10）

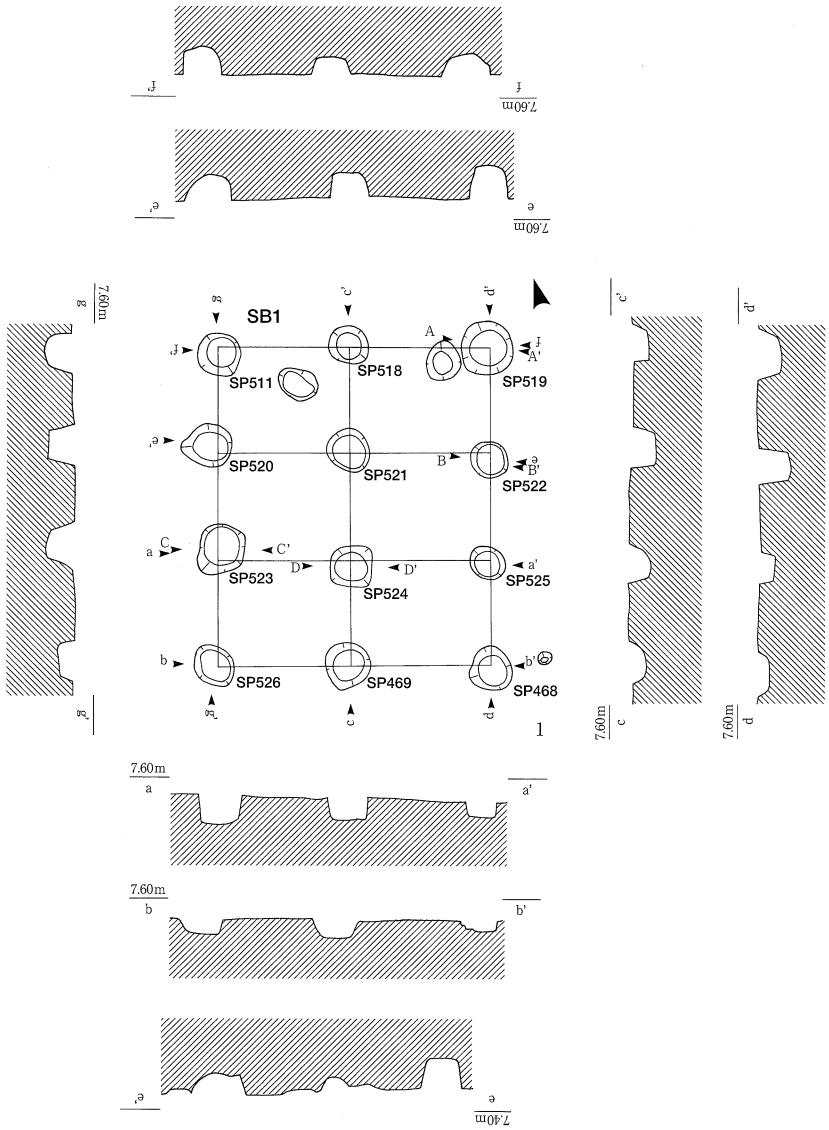
調査区中央部に位置する２間×２間の総柱建物で，主軸Ｎ－21°－Ｅの南北棟である。桁行長3.3m，梁行長3.1m，平面積10.23㎡を測る。ＳＢ１と同様に，直線上にほぼ等間隔で並ぶ４棟のうちの１棟で，８世紀後半～９世紀前半と推定される。柱掘形は径0.38～0.90mの円形または楕円形で，深さは0.15～0.44mである。掘形埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色シルトで，ＳＰ583・ＳＰ649・ＳＰ863では直径約0.25～0.35mの柱痕跡が確認された。出土遺物はない。

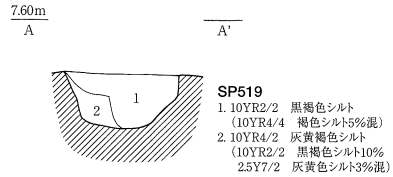
３号掘立柱建物（ＳＢ３，第39図，図版９・10）

調査区中央やや北よりに位置する２間×２間の総柱建物で，主軸Ｎ－21°－Ｅの南北棟である。桁行長3.8m，梁行長3.3m，平面積12.54㎡である。ＳＢ２の北側に位置し，ＳＢ１と同様に，直線上に等間隔で並ぶ４棟のうちの１棟である。時期は８世紀後半～９世紀前半と推定される。柱掘形は径0.48～0.78mの円形で，深さ0.13～0.34mを測る。掘形埋土は褐色シルト・炭化物混じりの黒褐色シルトで，ＳＰ710・ＳＰ712で柱痕跡が確認された。ＳＰ713から土師器が出土している。

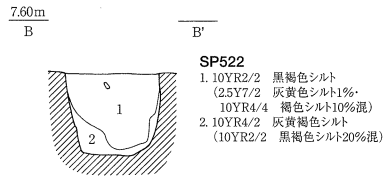
４号掘立柱建物（ＳＢ４，第39・61図，図版９・11）

調査区中央やや北よりに位置する２間×２間の総柱建物で，主軸Ｎ－18°－Ｅを測る南北棟である。桁行長4.1m，梁行長3.4m，平面積13.94㎡である。ＳＢ１と同様に直線上に等間隔で並ぶ４棟のうちの１棟で，一番北側に位置している。柱掘形は径0.65～0.84mの円形で，深さは0.24～0.51mを測る。掘形埋土は灰黄褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，柱穴の全てで柱痕跡が確認された。柱根の直径は約0.20～0.35mで，掘形のほぼ中央に柱を立て，底面部分を突固めるように埋め戻していたと思われ，ＳＰ744・ＳＰ745では２層は堅く締まっていた。遺物は須恵器（414），土師器，鉄滓等があり，

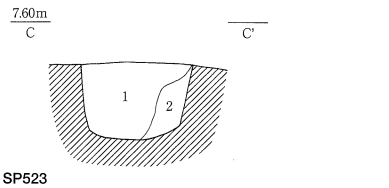




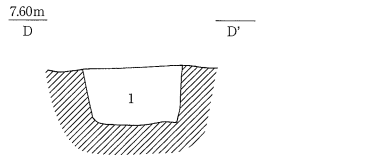
SP519
1. 10YR2/2　黒褐色シルト
（10YR4/4　褐色シルト5%混）
2. 10YR4/2　灰黄褐色シルト
（10YR2/2　黒褐色シルト10%
2.5Y7/2　灰黄色シルト3%混）



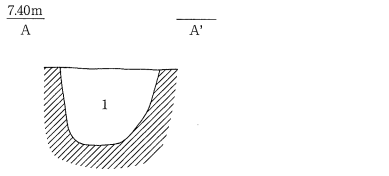
SP522
1. 10YR2/2　黒褐色シルト
（2.5Y7/2　灰黄色シルト1%・
10YR4/4　褐色シルト10%混）
2. 10YR4/2　灰黄褐色シルト
（10YR2/2　黒褐色シルト20%混）



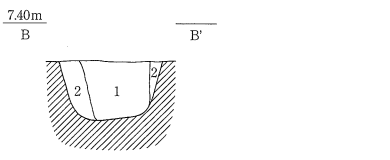
SP523
1. 10YR2/2　黒褐色シルト
（2.5Y7/2　灰黄色シルト1%・10YR4/4　褐色シルト10%混）
2. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト
（10YR2/2　黒褐色シルト20%混）



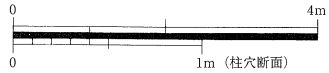
SP524
1. 10YR2/2　黒褐色シルト（10YR4/4　褐色シルト3%混）



SP579
1. 10YR2/2　黒褐色シルト
（2.5YR7/2　灰黄色シルト3%・炭水化物1%混）

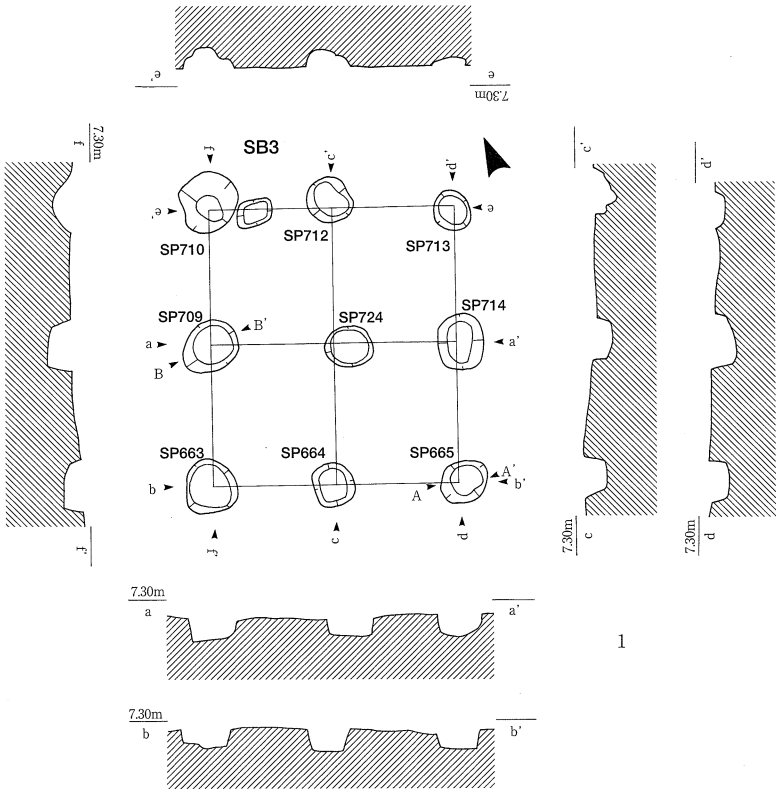


SP583
1. 10YR2/2　黒褐色シルト
2. 10YR4/2　灰黄褐色シルト
（2.5YR7/2　灰黄色シルト10%・10YR4/4　褐色シルト10%混）

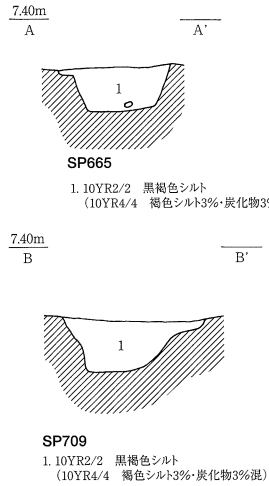


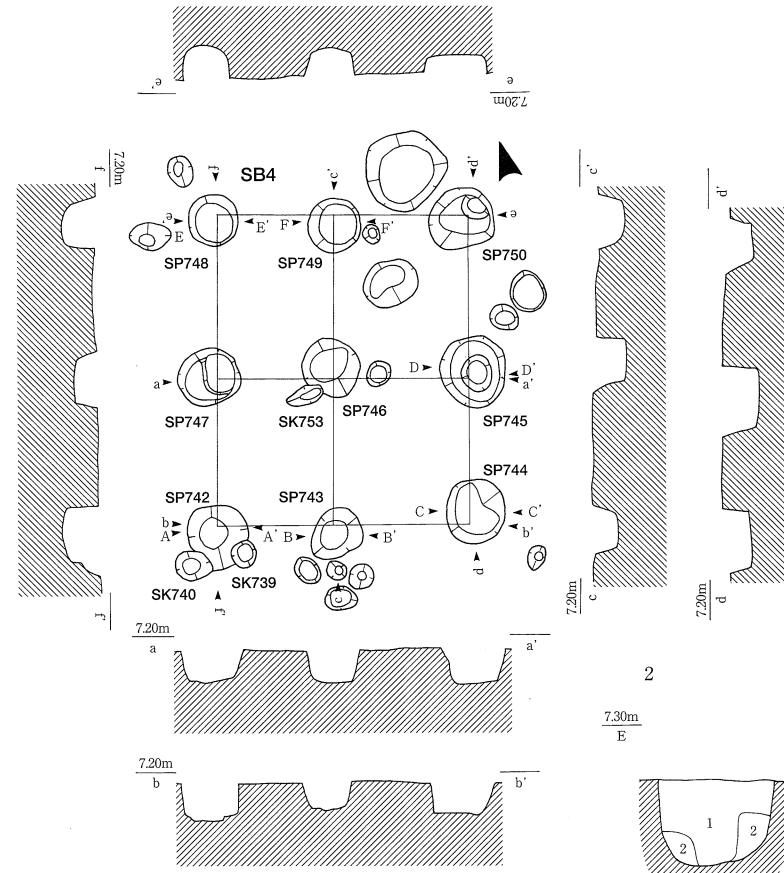
第38図　遺構実測図

1. SB1　2. SB2

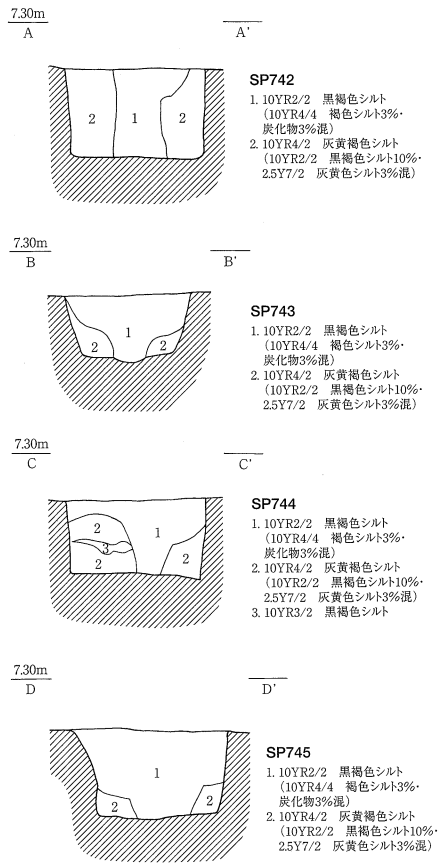


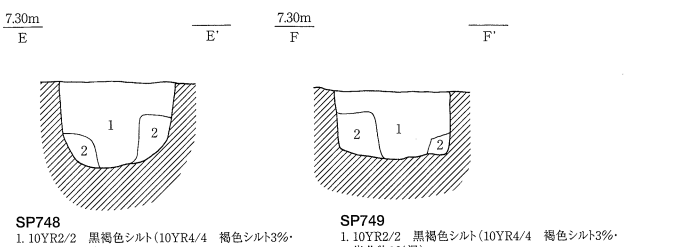
1

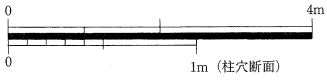




2







第39図　遺構実測図

1. SB3　2. SB4

建物の時期は8世紀後半～9世紀前半と推定される。

5号掘立柱建物（ＳＢ5，第40・61図）

調査区南半に位置する2間×1間の側柱建物で，主軸Ｎ－3°－Ｗの南北棟である。桁行長4.8m，梁行長4.6m，平面積22.08㎡を測る。柱掘形は径0.34～0.46mの円形で，深さ0.11～0.41mを測る小規模なものである。掘形埋土は黒褐色シルトを主体としている。ＳＰ55・ＳＰ56で柱痕跡が確認された。遺物はＳＰ55から須恵器（415）が出土している他，土師器，珠洲がある。

6号掘立柱建物（ＳＢ6，第41・42・61図，図版12・50）

調査区南半に位置する6間×5間以上の総柱建物で，調査区外東側に延びると推測される。主軸Ｎ－75°－Ｅの東西棟（南北棟であればＮ－15°－Ｗ）で，桁行長13.2m以上，梁行長12.7m，平面積167.64㎡以上となり，調査区では最も大型の建物である。柱掘形は径0.25～0.45mの円形で，深さ0.06～0.39mを測る。調査区南半は後世の削平が激しかったため，消失したと思われる柱穴や皿状に浅い掘形のみを検出した柱穴等を含むが，掘形埋土は概ね黒色シルトの単層である。ＳＰ38・ＳＰ40・ＳＰ68・ＳＰ88・ＳＰ128・ＳＰ132では断面観察から柱痕跡が確認された。建物内に位置するＳＫ389やＳＫ392などからは鉄滓や羽口がまとまって出土しており，鍛冶に関連した建物の可能性も考えられる。遺物はＳＰ128から珠洲（416）の擂鉢が出土しており，吉岡編年[注2]のⅡ～Ⅲ期に相当する。

7号掘立柱建物（ＳＢ7，第40図）

調査区南半に位置する2間×2間の総柱建物で，調査区外西側に延びる。主軸Ｎ－10°－Ｗの南北棟で，桁行長3.7m，梁行長3.6m，平面積13.32㎡を測る。柱掘形は径0.21～0.52mの円形または楕円形で，深さは0.07～0.23mの小規模なものである。掘形埋土は黒褐色シルトの単層で，ＳＰ151では柱根が遺存していた。遺物はＳＰ154から土師器片が出土している。

8号掘立柱建物（ＳＢ8，第40・61図，図版11）

調査区南半に位置する2間×2間の建物で，後世の削平のために検出しきれなかった柱穴はあるが，総柱建物と考える。主軸Ｎ－21°－Ｗの南北棟で，桁行長4.1m，梁行長4.1m，平面積16.81㎡を測る。柱掘形は径0.29～0.34mの円形で，深さ0.13～0.30mの小規模なものである。掘形埋土は黒褐色シルトの単層で，ＳＰ160・ＳＰ161・ＳＰ163で柱痕跡が確認された。遺物はＳＰ160から須恵器（417）が出土している。

9号掘立柱建物（ＳＢ9，第42図，図版11）

調査区南半に位置する2間×2間の総柱建物である。主軸はＮ－83°－Ｅの東西棟（南北棟であればＮ－7°－Ｗ）で，桁行長3.5m，梁行長3.1m，平面積10.85㎡を測る。柱掘形は径0.24～0.43mの円形で，深さは0.08～0.27mの小規模なものである。掘形埋土は黒色シルトの単層で，柱痕跡は認められなかった。遺物は土師器，須恵器の小片がある。

10号掘立柱建物（ＳＢ10，第42図）

調査区南半に位置する2間×2間の側柱建物で，主軸Ｎ－24°－Ｗの南北棟である。桁行長4.0m，梁行長3.5m，平面積14.0㎡を測る。柱掘形は径0.27～0.46mの円形で，深さ0.11～0.24mを測る小規模なものである。掘形埋土は概ね黒褐色シルトの単層で，ＳＰ1437で柱痕跡が確認された。出土遺物はない。

11号掘立柱建物（ＳＢ11，第43・61図，図版41）

調査区南半に位置する4間×2間以上の総柱建物で，調査区外東側に延びると推測される。ＳＢ12

と一部重複しているが，新旧関係は不明である。主軸Ｎ－６°－Ｗの南北棟で，桁行長9.9m，梁行長6.0m以上，平面積59.4㎡以上を測る。柱掘形は径0.27～0.54mの円形で，深さは0.24～0.47mである。掘形埋土は黒色シルト混じりの浅黄色シルトで，柱痕跡には黒色シルトが堆積しており，ＳＰ317・ＳＰ318・ＳＰ1374・ＳＰ1377・ＳＰ1378・ＳＰ1379・ＳＰ1382で柱痕跡が確認された。遺物は土師器，須恵器，鉄滓があり，ＳＰ1447出土の土師器鍋（418）は口縁端部を丸く巻き込むもので，９世紀後半のものと思われる。

12号掘立柱建物（ＳＢ12，第43・44・61図）

調査区南半に位置する３間×２間の総柱建物で，ＳＢ11と一部重複しているが，新旧関係は不明である。主軸Ｎ－２°－Ｗの南北棟で，桁行長6.4m，梁行長4.2m，平面積26.88㎡を測る。柱掘形は径0.21～0.35mの円形で，深さ0.12～0.36mの小規模なものである。掘形埋土はにぶい黄橙色シルト混じりの黒褐色シルトを主体とし，ＳＰ394・ＳＰ396・ＳＰ398・ＳＰ1443・ＳＰ1444で柱痕跡が確認された。遺物は土師器，須恵器があり，土師器には内黒椀の破片がある。ＳＰ396からは須恵器（419）が出土しており，419は長頸瓶の頸部である。

13号掘立柱建物（ＳＢ13，第44図）

調査区南半に位置する２間×２間の側柱建物である。後世の削平が激しかったため，柱穴が消失したと思われるものもあり，総柱建物になる可能性もあるが，ここでは側柱建物としておく。主軸Ｎ－７°－Ｗの南北棟で，桁行長4.4m，梁行長4.4m，平面積19.36㎡を測る。柱掘形は径0.21～0.44mの円形で，深さ0.11～0.44mの小規模なものである。掘形埋土は黒褐色シルトの単層で，柱痕跡は認められなかった。遺物は土師器，須恵器片がある。

14号掘立柱建物（ＳＢ14，第45・61図）

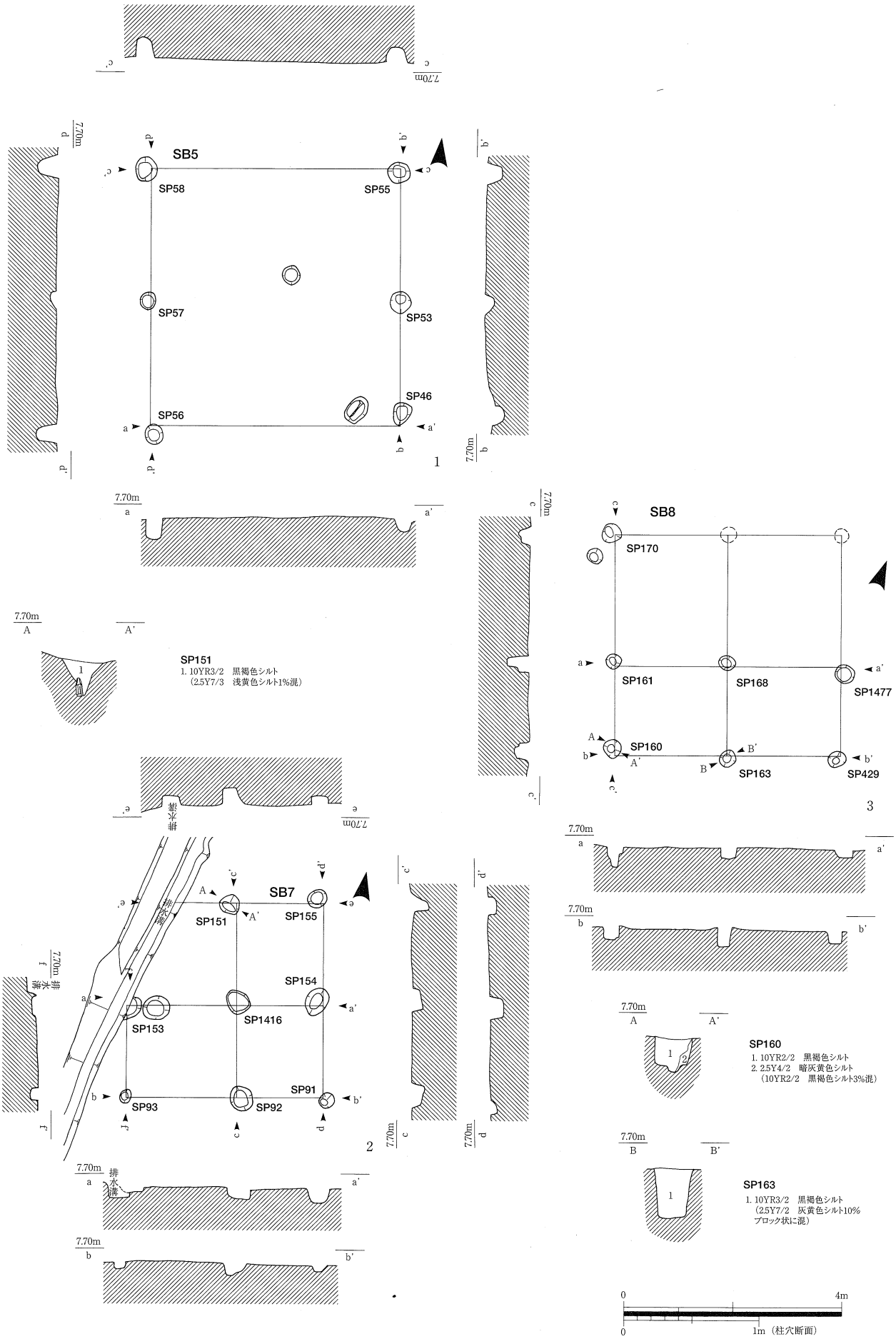
調査区南半に位置する２間×１間以上の建物で，調査区外西側に延びると思われる。ＳＢ15・ＳＢ16，ＳＡ１と重複しており，切り合い関係からＳＡ１より新しいが，ＳＢ15・ＳＢ16との新旧関係は不明である。南北棟の場合，主軸は真北をむく。桁行長5.1m，梁行長3.0m以上，平面積15.3㎡以上を測る。柱掘形は径0.32～0.40mの円形で，深さ0.20～0.28mの小規模なもので，掘形埋土は黒褐色シルトの単層である。ＳＰ225で柱痕跡が確認された。遺物は土師器，須恵器がある。ＳＰ225からは須恵器杯（420）が出土している。

15号掘立柱建物（ＳＢ15，第45図）

調査区南半に位置する２間×１間以上の建物で，建物の一部しか検出していないが調査区外西側に延びると思われる。ＳＢ14・ＳＢ16，ＳＡ１と重複しており，ＳＢ14と同様にＳＡ１より新しいが，建物間の新旧関係は不明である。主軸は真北をむき，桁行長4.8m，梁行長2.5m以上，平面積12.0㎡を測る。柱掘形は径0.28～0.40mの円形で，深さ0.10～0.32mの小規模なもので，掘形埋土は黒褐色シルトである。ＳＰ1359で柱痕跡が確認された。遺物は土師器，須恵器があるが，いずれも小片で時期の特定はできない。

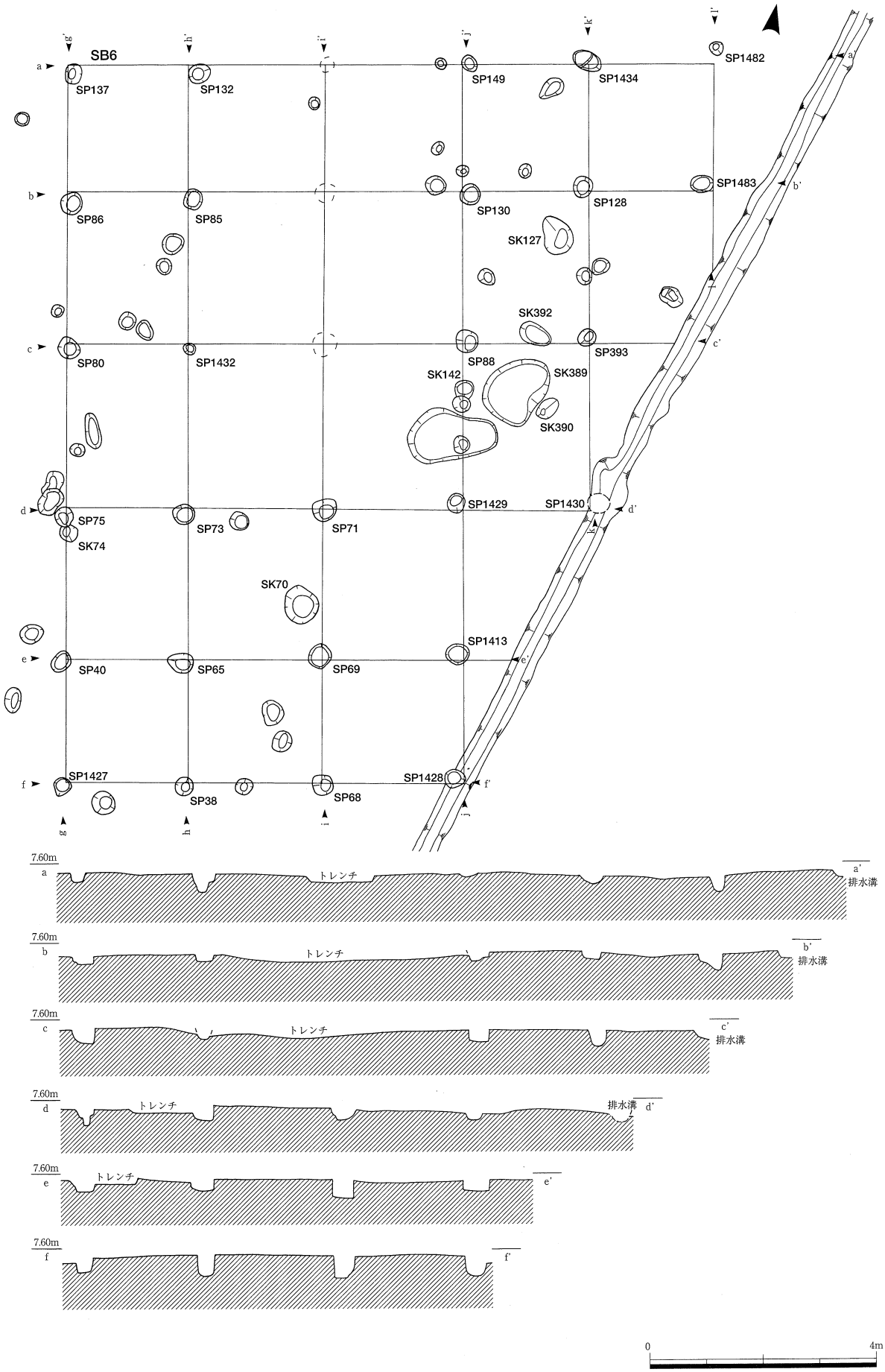
16号掘立柱建物（ＳＢ16，第45図）

調査区南半に位置する。柱穴３基を確認したのみであるが，柱痕跡のみられる柱穴を結ぶラインから建物と考え，調査区外西側に延びると推測した。南北棟の場合，主軸はＮ－22°－Ｗとなる。ＳＢ14・ＳＢ15と重複しているが，新旧関係は不明である。柱掘形は径0.31～0.36mの円形で，深さ0.14～0.30mを測る小規模なものである。掘形埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトの単層で，ＳＰ208・ＳＰ223では柱痕跡が確認された。遺物は土師器，須恵器，砥石があるが，いずれも小片である。



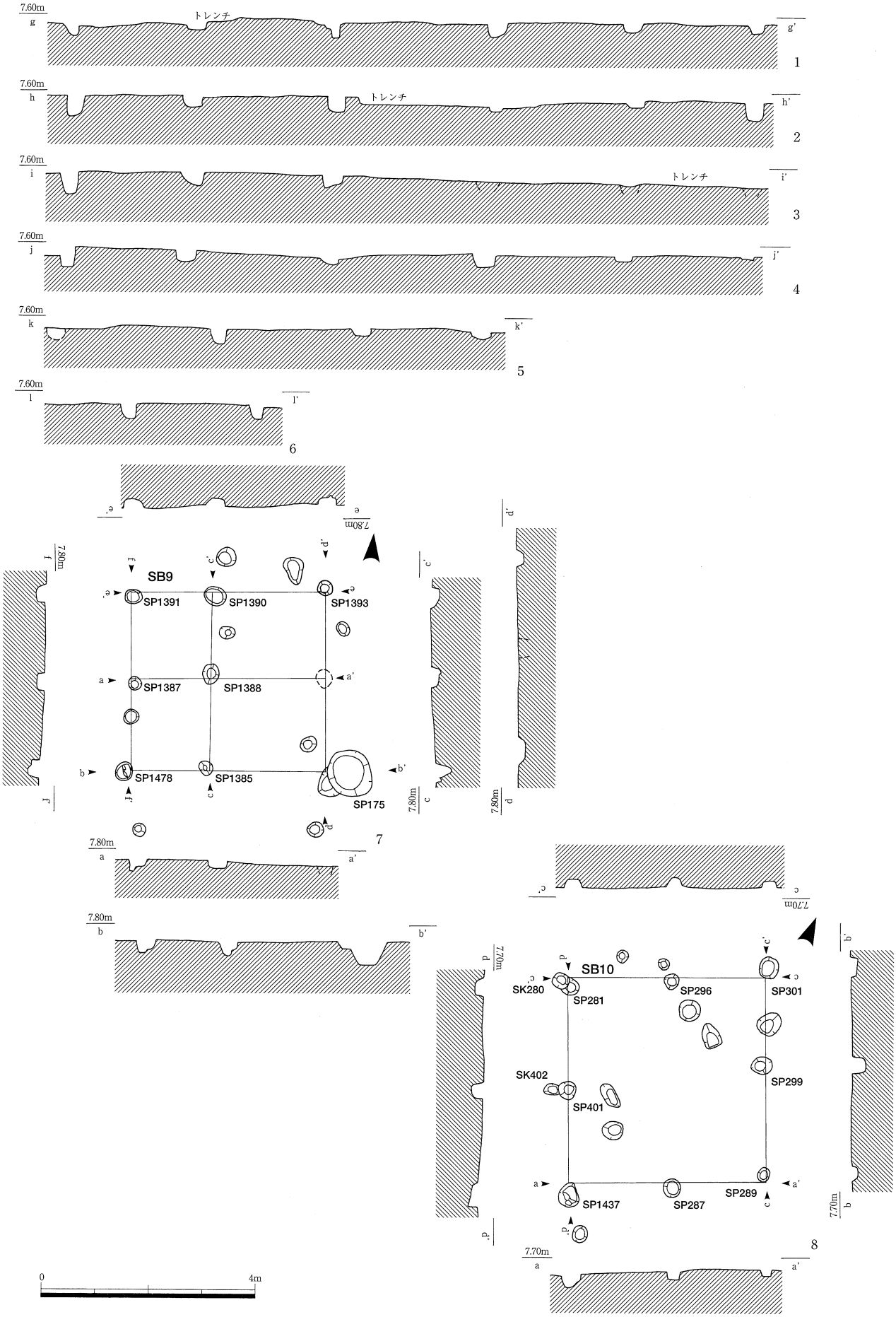
第40図　遺構実測図

1. SB5　2. SB7　3. SB8



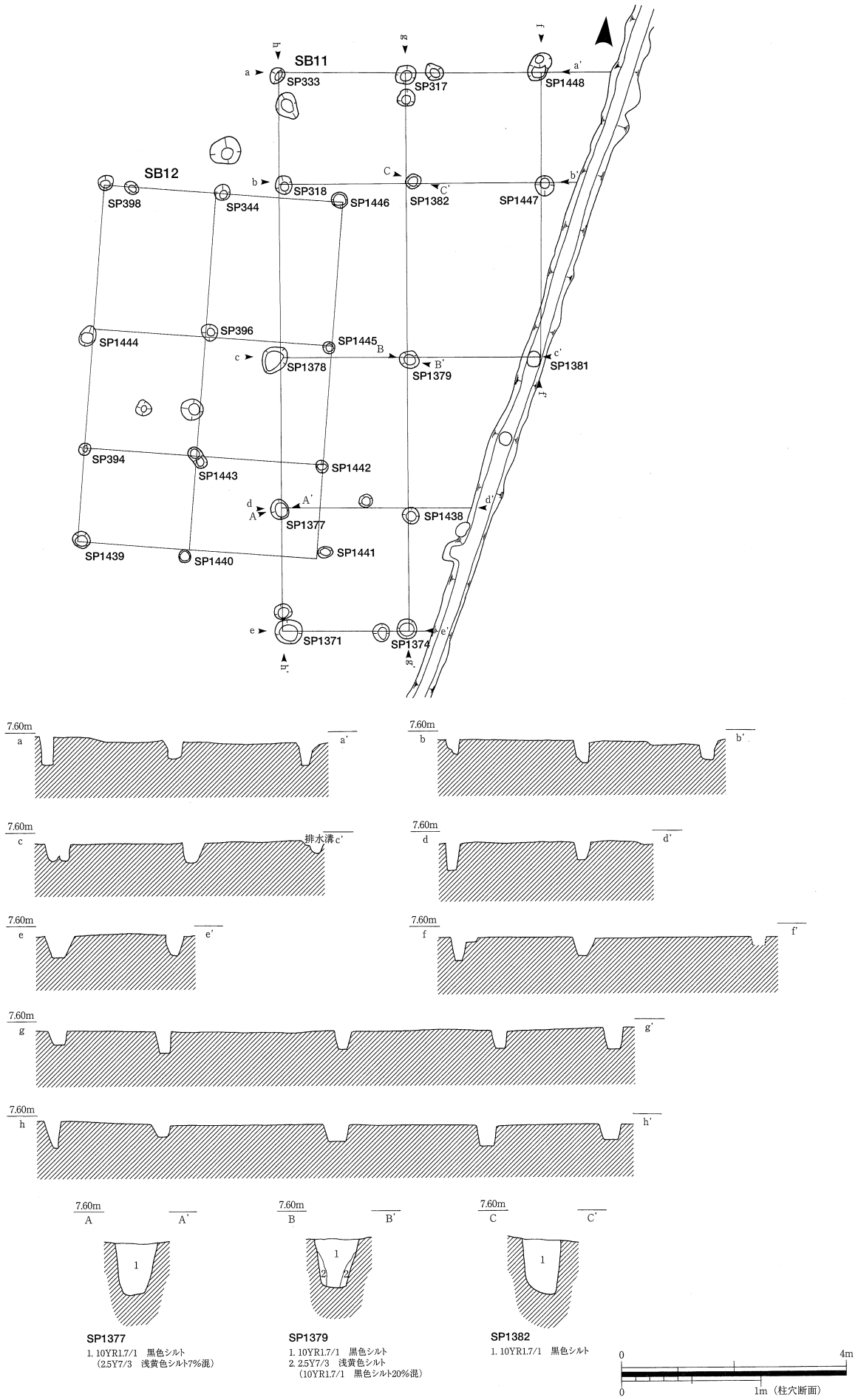
第41図　遺構実測図

SB6



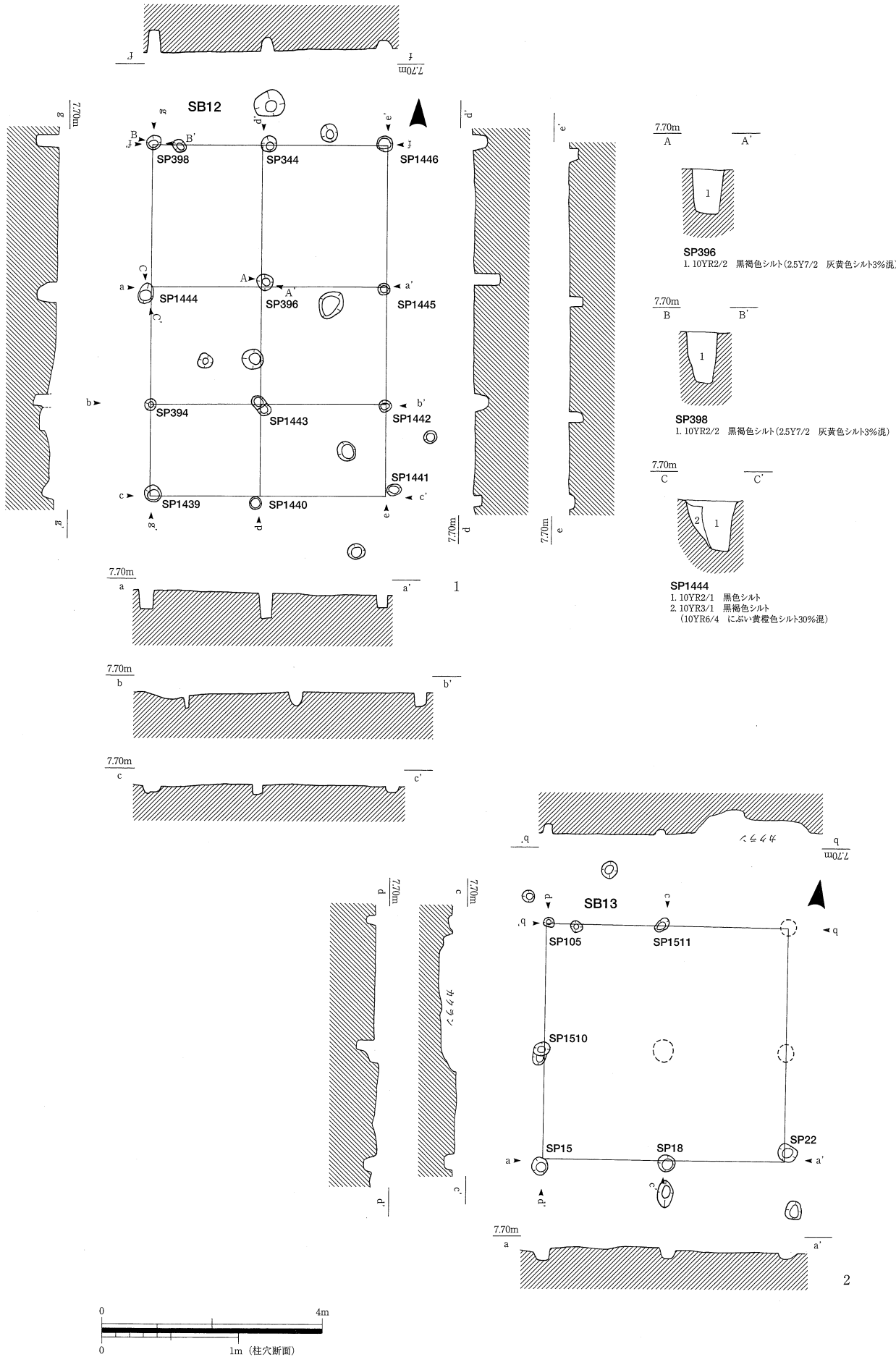
第42図　遺構実測図

1～6. SB6　7. SB9　8. SB10



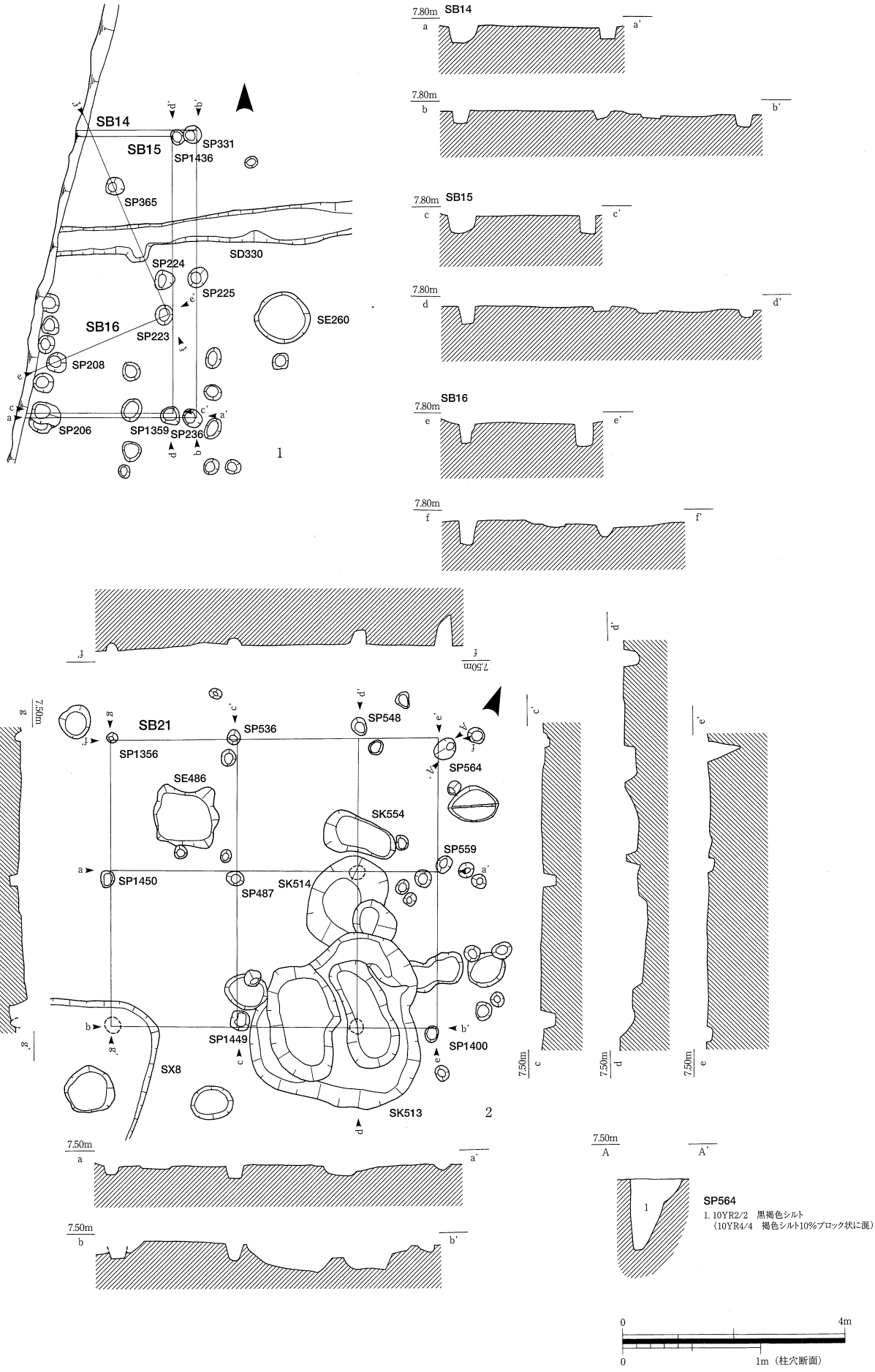
第43図　遺構実測図

SB11



第44図　遺構実測図

1. SB12　2. SB13



第45図　遺構実測図

1. SB14・SB15・SB16　2. SB21

17号掘立柱建物（ＳＢ17，第46・61図，図版12・41）

調査区中央部に位置する２間×１間の側柱建物で，主軸Ｎ－３°－Ｗの南北棟である。桁行長6.1m，梁行長3.2m，平面積19.52㎡を測る。ＳＢ18・ＳＢ19と重複しているが，新旧関係は不明である。柱掘形は長軸0.42～0.78mの楕円形または円形で，深さ0.18～0.52mを測り，柱穴規模は比較的大きい。掘形埋土は黒褐色シルトの単層で，ＳＰ383・ＳＰ432・ＳＰ452・ＳＰ454で柱痕跡が確認され，柱根は直径約0.20mであったと思われる。遺物はＳＰ452から土師器（422），ＳＰ454から土師器鍋（421）が出土している。421は口縁端部を丸く巻き込むもので，10世紀前半のものか。

18号掘立柱建物（ＳＢ18，第46図，図版12）

調査区中央部に位置する２間×１間以上の建物で，調査区外東側に延びると推測される。南北棟の場合，主軸はＮ－３°－Ｗとなる。ＳＢ17・ＳＢ19・ＳＢ20と重複している。新旧関係は不明だが，主軸方向があまり変わらないことから，ほぼ同一の場所で比較的短期間の間に建て替えを行ったと考えられる。柱掘形は径0.26～0.44mの円形で，深さは0.20～0.30mを測る。掘形埋土は概ね黒褐色シルトの単層で，ＳＰ1406では直径約0.18mの柱痕跡が確認された。遺物は土師器の小片がある。

19号掘立柱建物（ＳＢ19，第46・47・61図，図版12・44）

調査区中央部に位置する３間×２間以上の建物で，調査区外東側に延びると推測される。南北棟の場合，主軸はＮ－５°－Ｗとなる。桁行長7.5m，梁行長2.7m以上，平面積20.25㎡以上を測る。柱掘形は径0.45～0.86mの円形または楕円形で，深さ0.21～0.37mを測り，柱穴規模は比較的大きい。掘形埋土は黒褐色シルトを主体とし，ＳＰ435・ＳＰ460では柱痕跡が確認された。ＳＢ17・ＳＢ19・ＳＢ20と重複しているが，新旧関係は不明である。ＳＢ18と同様にほぼ同一の場所での建て替えと考えられる。遺物はＳＰ435・ＳＰ439から土師器（423・424），ＳＰ466から須恵器（425）が出土している。423は内黒の椀，424は内外面赤彩の椀底部で，いずれも９世紀後半頃のものと思われる。

20号掘立柱建物（ＳＢ20，第46・47図，図版12）

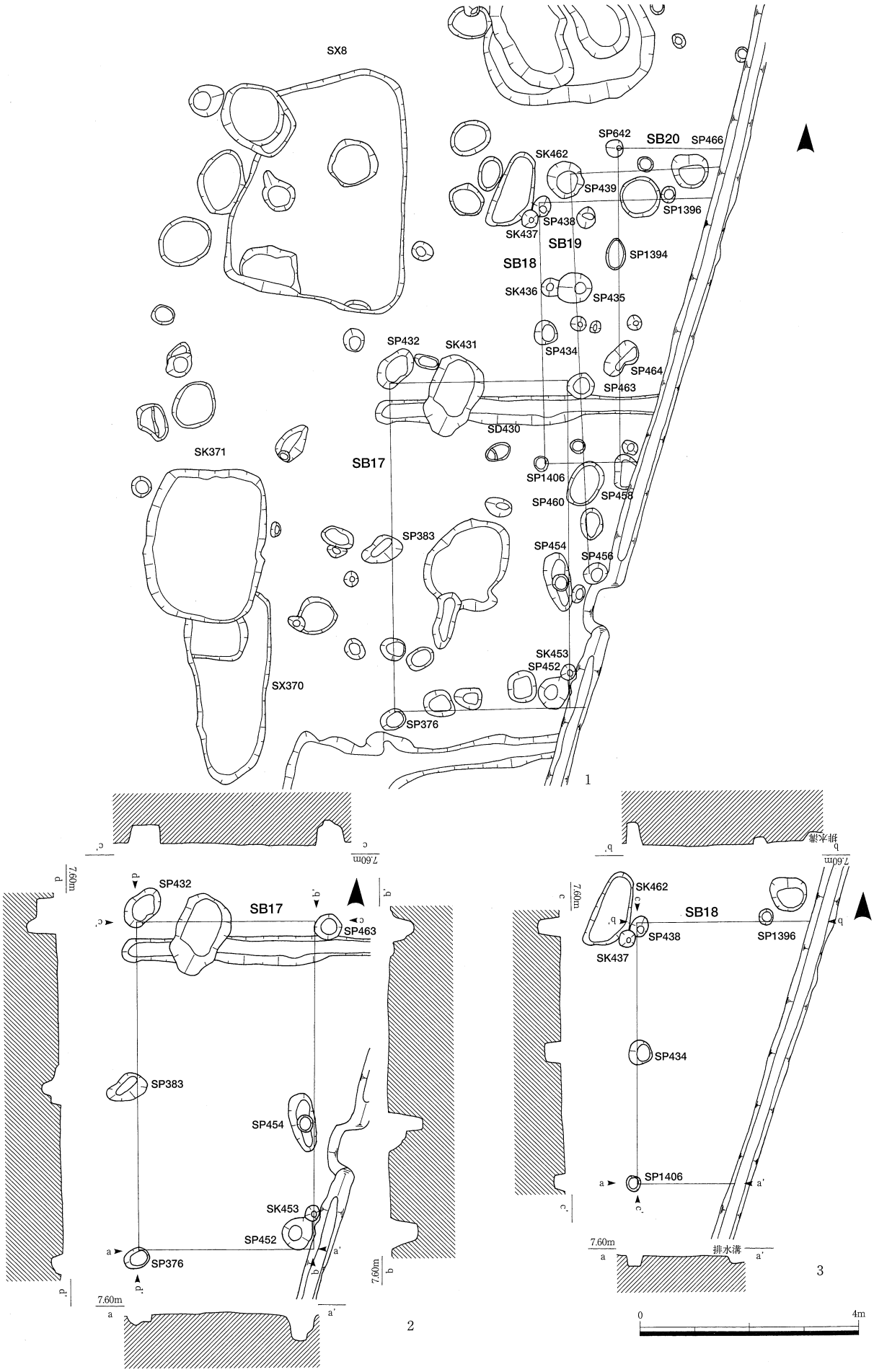
調査区中央部に位置する建物で，直線上に並ぶ４基の柱穴を検出した。柱痕跡がみられることなどから，３間×１間以上の建物で，調査区外東側に延びるものと推測した。南北棟の場合，主軸はＮ－５°－Ｗとなる。ＳＢ18・ＳＢ19と重複しているが，新旧関係については不明である。ＳＢ18・ＳＢ19と同様にほぼ同一の場所での建て替えと考える。柱掘形は径0.30～0.75mの円形・楕円形で，深さは0.20～0.22mを測る。掘形平面が楕円形を呈するものが主体である。掘形埋土は黒褐色シルトで，ＳＰ1394で柱痕跡が確認された。遺物は土師器片がある。

21号掘立柱建物（ＳＢ21，第45図）

調査区中央部に位置する３間×２間の総柱建物で，主軸Ｎ－69°－Ｅの東西棟（南北棟であれば，Ｎ－21°－Ｗ）である。桁行長6.0m，梁行長5.2m，平面積31.2㎡を測る。一部ＳＢ22と重複しているが，新旧関係は不明である。柱掘形は径0.19～0.42mの円形で，深さ0.08～0.32mの小規模なものである。掘形埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，ＳＰ564で柱痕跡が確認された。遺物は土師器，須恵器の小片がある。

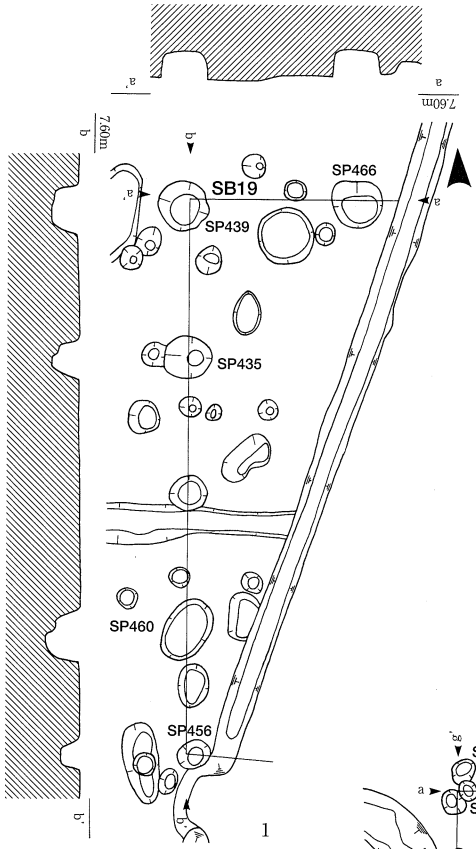
22号掘立柱建物（ＳＢ22，第47図，図版13）

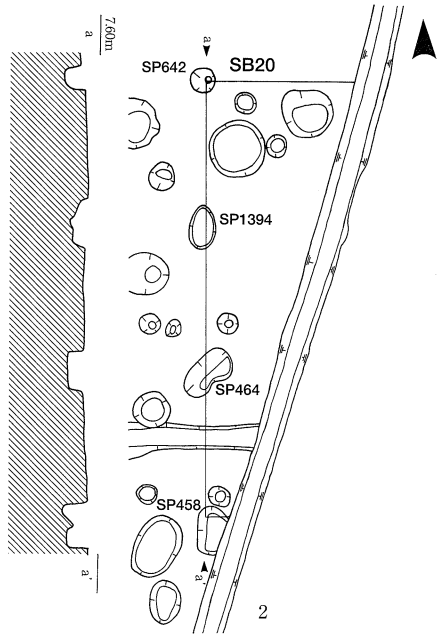
調査区中央部に位置する５間×５間の総柱建物で，主軸Ｎ－85°－Ｗの東西棟（南北棟であれば，Ｎ－５°－Ｅ）である。桁行長7.7m，梁行長4.7m，平面積36.19㎡を測る。柱間は桁行方向が1.4mであるのに，梁行方向は0.8～0.9mと狭くなっている。柱掘形は径0.20～0.40mの円形で，深さ0.02～0.30mと幅があるが，平均0.06mと浅い。掘形埋土は褐灰色シルトの単層で，柱痕跡はみられない。ＳＢ

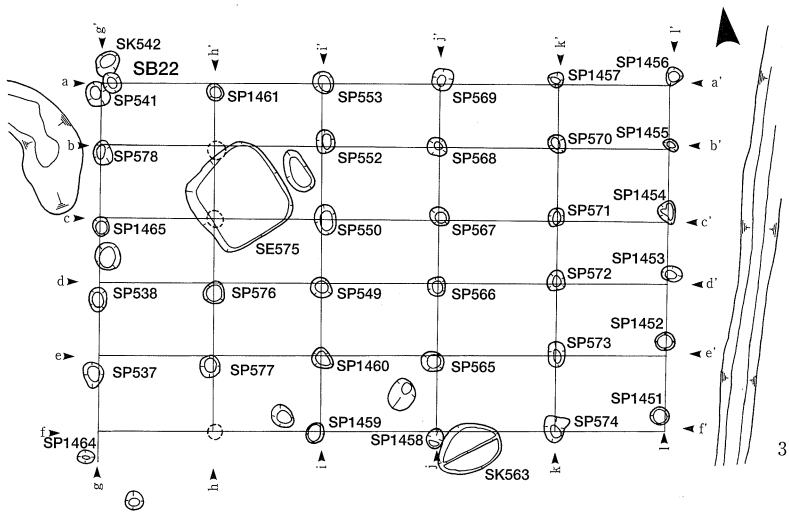


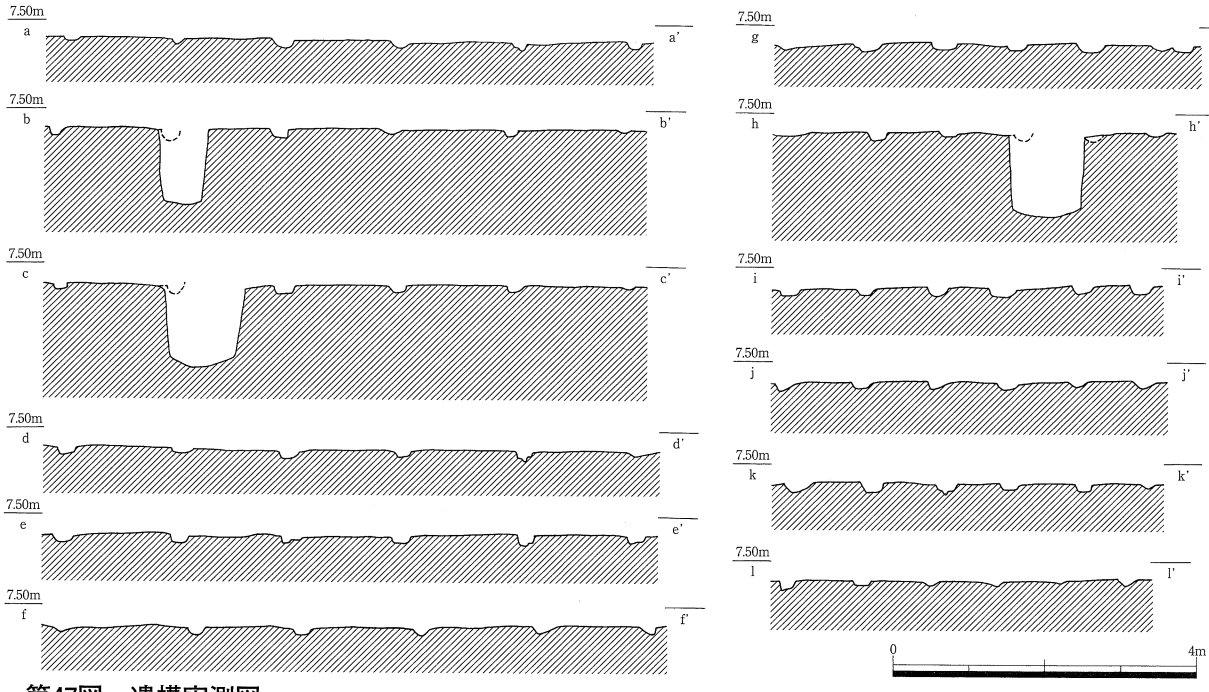
第46図　遺構実測図

1. SB17～SB20　2. SB17　3. SB18









第47図　遺構実測図

1. SB19　2. SB20　3. SB22

21・ＳＢ23と一部重複しており，柱穴の切り合いからＳＢ23より新しいと思われるが，ＳＢ21との新旧関係は不明である。遺物は須恵器の小片がある。

23号掘立柱建物（ＳＢ23，第50図）

調査区中央部に位置する３間×２間の総柱建物で，主軸Ｎ－６°－Ｅの南北棟である。ＳＢ１・ＳＢ２・ＳＢ22と重複しており，切り合いなどから新旧関係はＳＢ１・ＳＢ２→ＳＢ23→ＳＢ22となる。桁行長6.5m，梁行長3.8m，平面積24.7㎡を測る。柱掘形は径0.24～0.53mの円形で，深さ0.11～0.26mで，掘形埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトの単層である。柱痕跡はみられない。遺物は土師器，須恵器の小片がある。

24号掘立柱建物（ＳＢ24，第48・49・61図，図版13・48）

調査区中央部に位置する４間×３間の総柱建物で，主軸Ｎ－４°－Ｗの南北棟である。調査区外西側に延びると推測され，４間×３間以上になる可能性もあるが，ここでは４間×３間としておく。桁行長9.5m，梁行長6.7m，平面積63.65㎡を測る。柱掘形は径0.35～0.78mの円形または楕円形で，深さ0.25～0.52mと柱穴規模は大きい。ＳＢ25～ＳＢ27と重複しており，新旧関係は不明であるが，ほぼ同一の場所での建て替えと思われる。掘形埋土は灰黄色シルトが主体で，炭化物混じりの黒褐色シルトが柱痕跡として堆積している。柱痕跡が確認されたものは，ＳＰ499・ＳＰ501・ＳＰ503・ＳＰ528・ＳＰ589・ＳＰ597・ＳＰ600・ＳＰ610・ＳＰ612・ＳＰ635である。遺物はＳＰ600から土師器（426）が出土している。426は非ロクロ成形の小皿で，13世紀末頃のもの。

25号掘立柱建物（ＳＢ25，第48図，図版13）

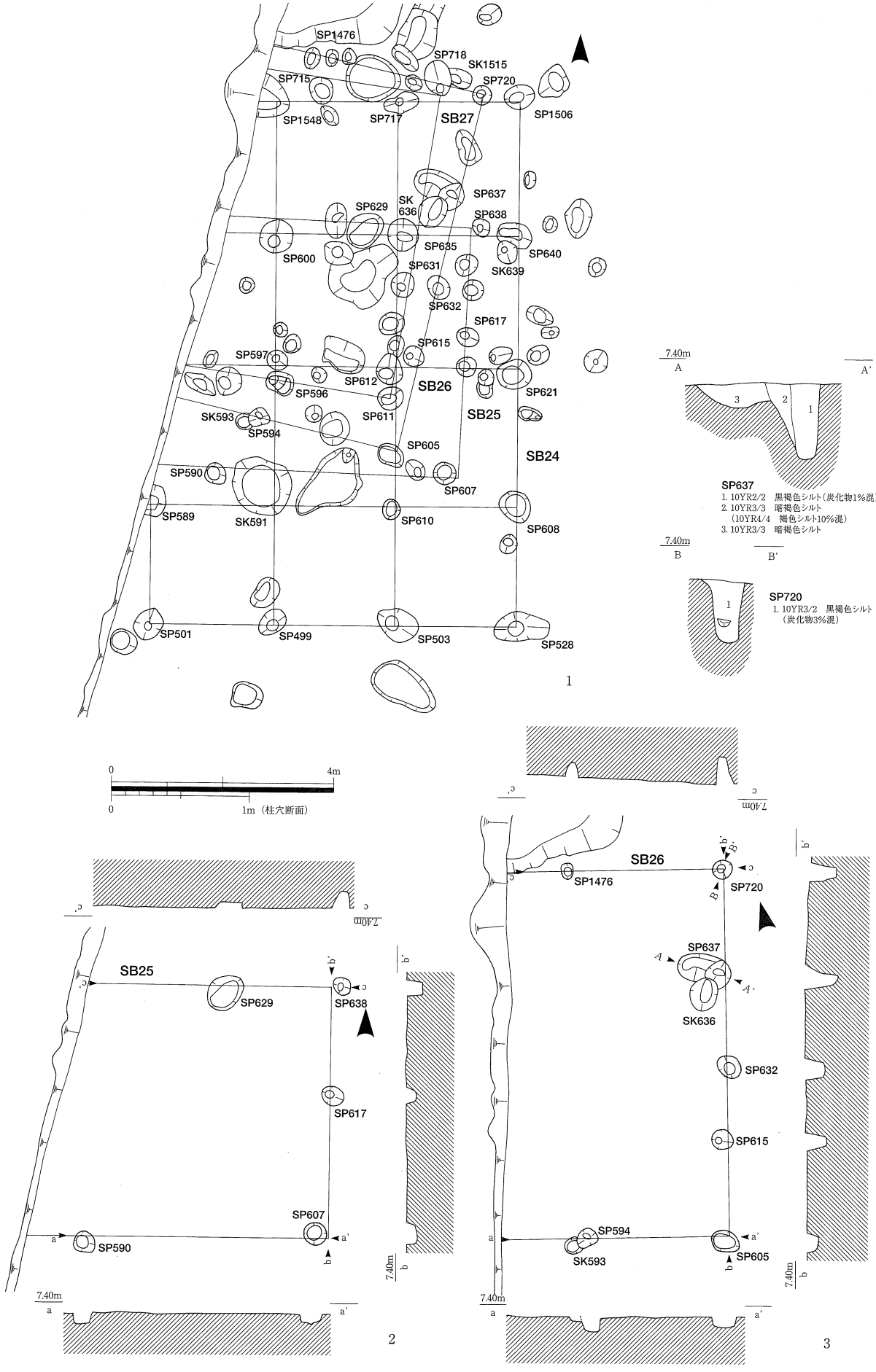
調査区中央部に位置する２間×２間以上の建物で，調査区外西側に延びると推測される。東西棟であれば，主軸Ｎ－86°－Ｅ（南北棟の場合，Ｎ－４°－Ｗ）となる。柱掘形は径0.32～0.70mの円形で，深さ0.11～0.25mを測り，掘形埋土は黒褐色シルトが主体である。ＳＰ617では掘形にはにぶい黄褐色シルトが堆積しており，炭化物混じりの黒褐色シルトが柱痕跡として堆積する。ほぼ同一の場所で重複する４棟の建物のうちの１棟で，新旧関係は不明である。遺物は須恵器片がある。

26号掘立柱建物（ＳＢ26，第48図，図版13）

調査区中央部に位置する４間×２間以上の側柱建物で，調査区外西側に延びると推測される。南北棟であれば，主軸Ｎ－10°－Ｅとなり，桁行長6.6m，梁行長4.0m以上，平面積26.4㎡以上を測る。柱掘形は径0.28～0.52mの円形または楕円形で，深さ0.19～0.55mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，ＳＰ637・ＳＰ720で柱痕跡が確認された。ＳＰ637は２つの柱穴が重複したもので，ＳＢ27の柱穴を切っている。ＳＢ26はほぼ同一の場所で重複する４棟の建物のうちの１棟で，柱穴の切り合いから，ＳＢ26はＳＢ27より新しい建物と考えられるが，他の建物との新旧関係は不明である。出土遺物はない。

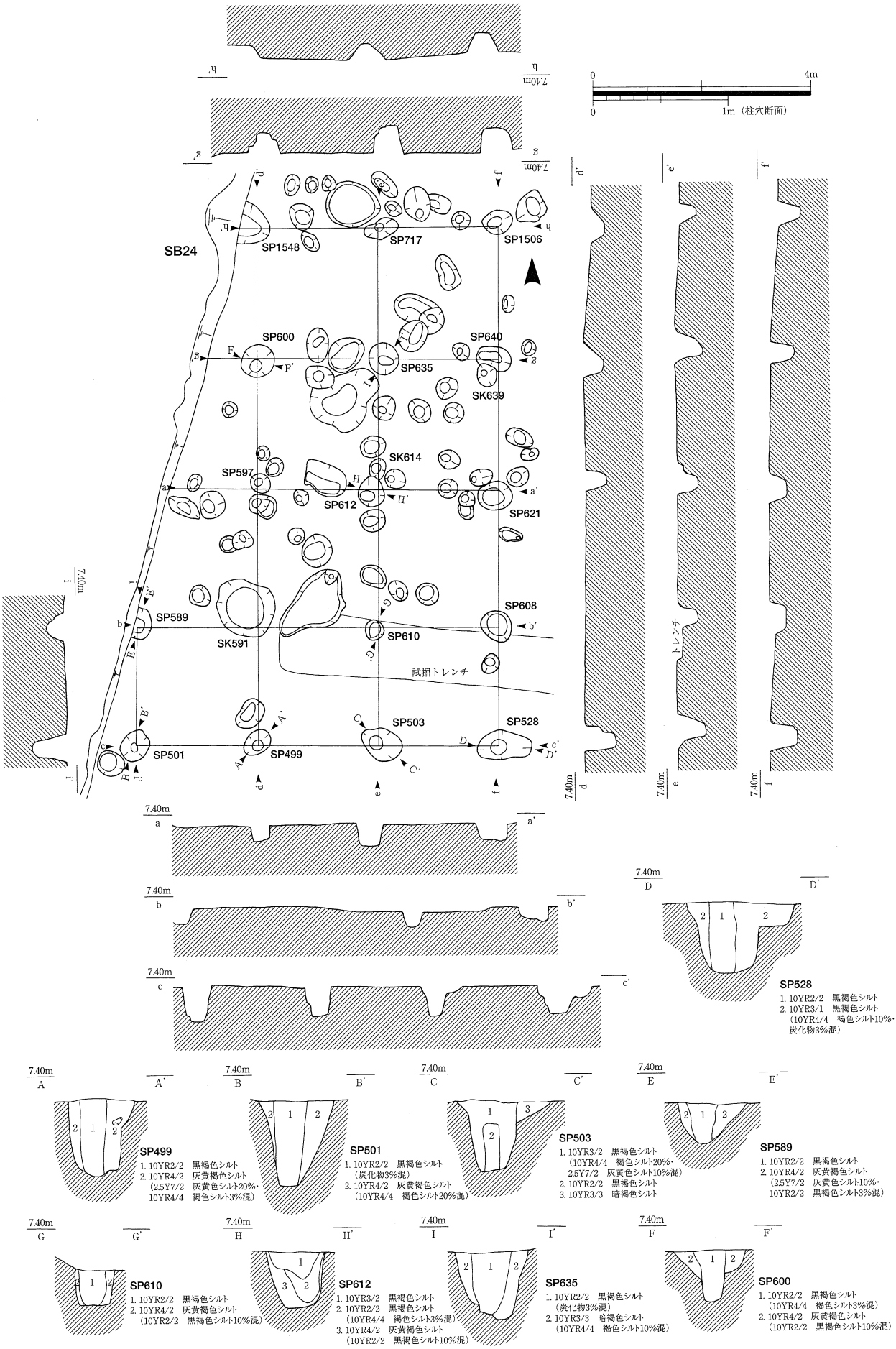
27号掘立柱建物（ＳＢ27，第48・50図，図版13）

調査区中央部に位置する３間×２間以上の側柱建物で，調査区外西側に延びると推測される。南北棟の場合，主軸はＮ－６°－Ｅとなる。桁行長5.7m，梁行長3.7m以上，平面積21.09㎡以上を測る。柱掘形は径0.42～0.70mの円形または楕円形で，深さ0.20～0.36mで，掘形埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトが主体である。ＳＰ596・ＳＰ715では柱痕跡が確認された。ＳＢ27はＳＢ24～ＳＢ26とほぼ同一の場所で重複しており，建て替えが想定される。柱穴の切り合いからＳＢ27はＳＢ26より古いと考えられるが，他の建物との新旧関係は不明である。遺物は土師器片がある。



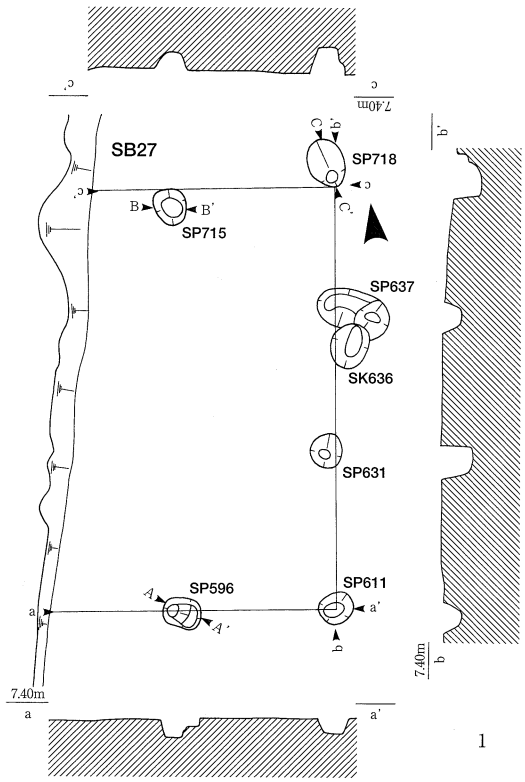
第48図　遺構実測図

1. SB24～SB27　2. SB25　3. SB26

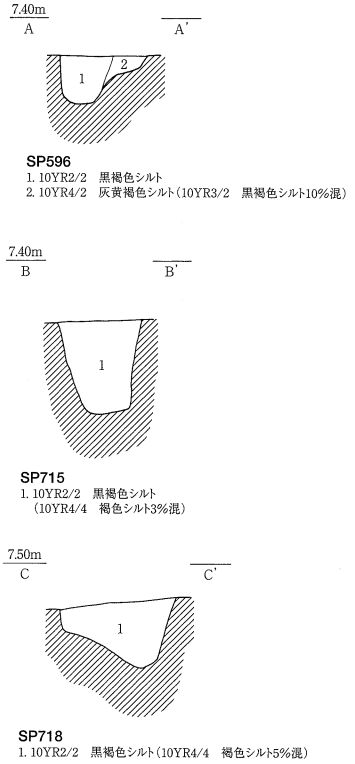


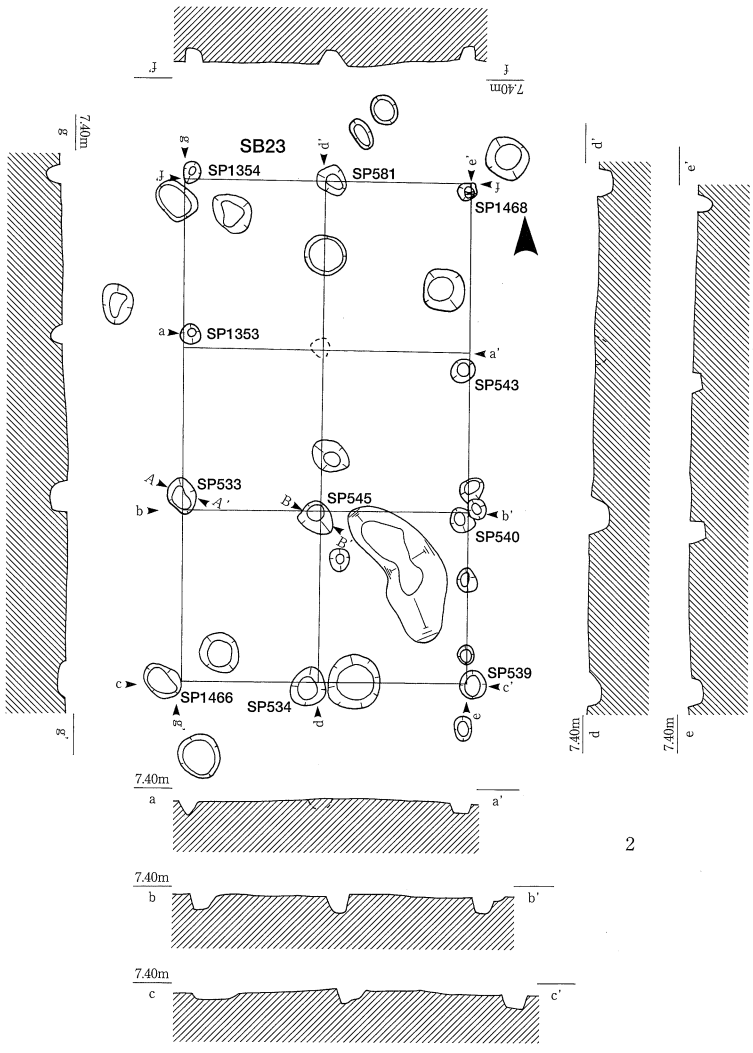
第49図　遺構実測図

SB24

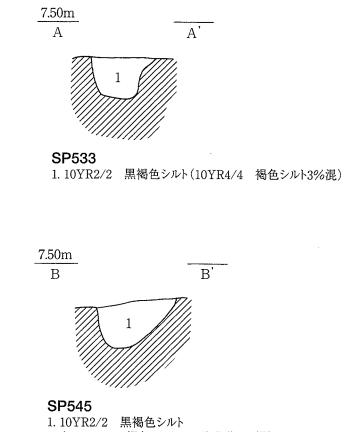


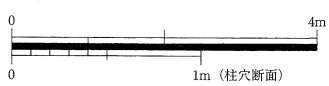
1





2





第50図　遺構実測図

1. SB27　2. SB23

28号掘立柱建物（ＳＢ28，第51図）

調査区中央部に位置する３間×２間の総柱建物で，一部調査区外東側に延びる。主軸Ｎ－75°－Ｅの東西棟（南北棟であれば，Ｎ－15°－Ｗ）で，桁行長6.5m，梁行長4.8m，平面積31.2㎡を測る。柱掘形は径0.21～0.37mの円形で，深さ0.05～0.23mを測る小規模なものである。掘形埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトの単層で，柱痕跡はみられなかった。ＳＢ29と重複しているが，新旧関係は不明である。出土遺物はない。

29号掘立柱建物（ＳＢ29，第51図）

調査区中央部に位置する２間×２間の総柱建物で，主軸Ｎ－70°－Ｅの東西棟（南北棟であれば，Ｎ－20°－Ｗ）である。桁行長4.2m，梁行長3.9m，平面積16.38㎡を測る。柱掘形は径0.25～0.43mの円形で，深さ0.10～0.98mの小規模なものである。掘形埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトが主体で，ＳＰ672・ＳＰ1355・ＳＰ1475では柱痕跡が確認された。ＳＢ28と重複しているが，新旧関係は不明である。遺物は土師器片がある。

30号掘立柱建物（ＳＢ30，第52図）

調査区南半に位置する３間×２間の総柱建物で，主軸Ｎ－７°－Ｅの南北棟である。桁行長7.3m，梁行長5.5m，平面積40.15㎡を測る。柱掘形は径0.18～0.48mの円形で，深さ0.08～0.41mの小規模なものである。掘形埋土は黒褐色シルトの単層で，柱痕跡はみられない。ＳＢ31とほぼ平行して並んでおり，同時期の建物の可能性がある。遺物は土師器片があるが，時期の特定はできない。

31号掘立柱建物（ＳＢ31，第52図，図版12）

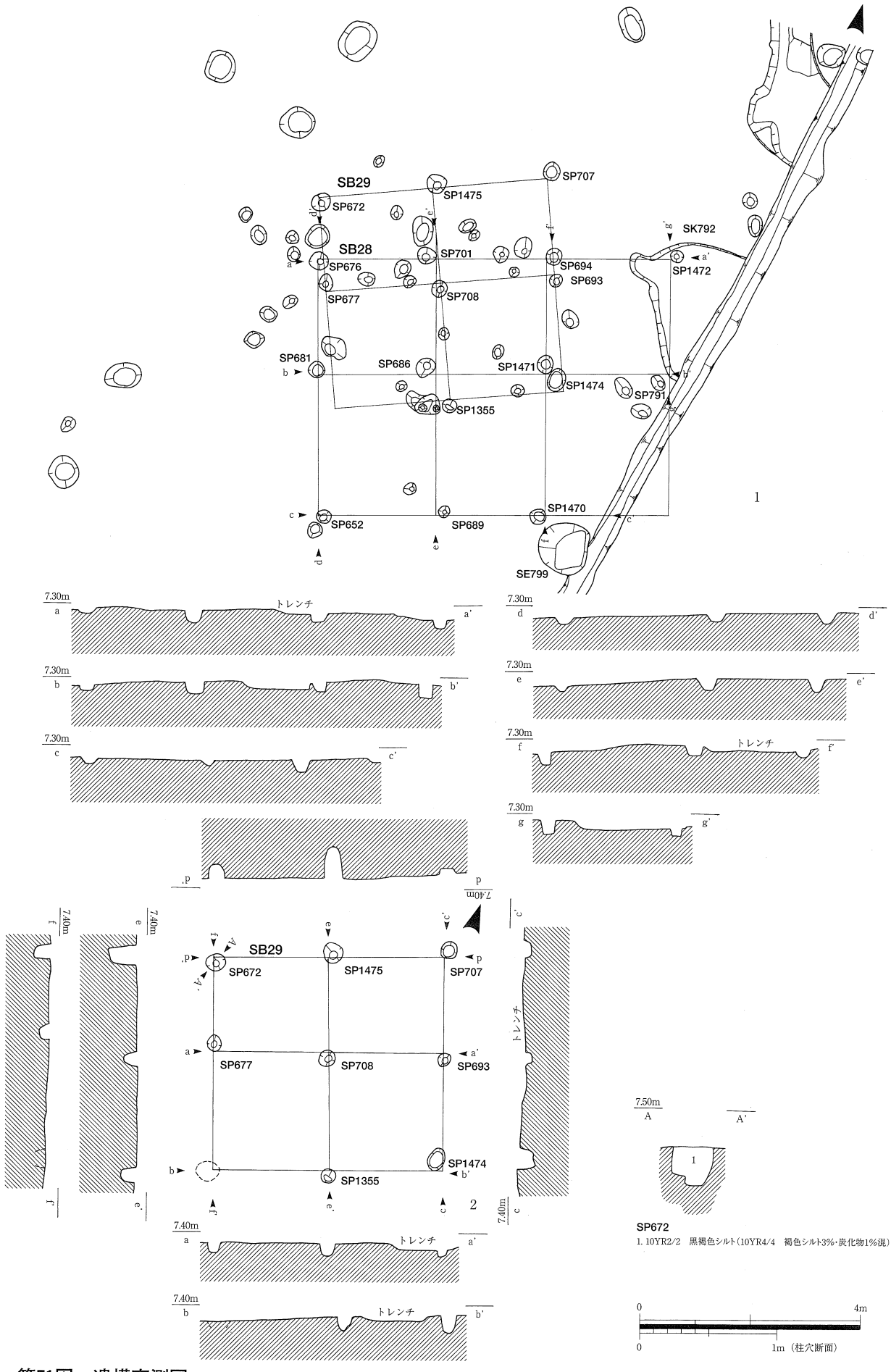
調査区南半に位置する４間×１間の側柱建物で，主軸Ｎ－５°－Ｅの南北棟である。桁行に比べ梁行の柱間が広く，後世の削平が激しく消失してしまった柱穴もあると思われるが，ここでは４間×１間の側柱建物としておく。桁行長6.1m，梁行長4.7m，平面積28.67㎡を測る。ＳＢ６と一部重複しているが，新旧関係は不明である。柱掘形は径0.25～0.54mの円形または楕円形で，深さ0.05～0.43mの小規模なものである。掘形埋土はにぶい黄色粘質シルト混じりの黒褐色粘質シルトの単層で，柱痕跡はみられない。ＳＢ30の東側にほぼ平行して並んでおり，同時期の建物の可能性がある。遺物は土師器片がある。

32号掘立柱建物（ＳＢ32，第53図）

調査区北半に位置する２間×１間の側柱建物である。主軸Ｎ－11°－Ｗの南北棟で，桁行長5.3m，梁行長2.1m，平面積11.13㎡を測る。調査区東側の排水溝内で検出されたＳＫ1521はＳＰ855・ＳＰ862と直線上に並ぶので，ＳＢ32の柱穴となり調査区外東側に延びる可能性もある。柱掘形は径0.30～0.48mの円形で，深さ0.21～0.63mを測る。掘形埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトが主体で，ＳＰ855・ＳＰ1370で柱痕跡が確認された。ＳＢ32の周辺包含層からは比較的まとまって鉄滓が出土しており，建物内部に位置するＳＥ853からは椀形滓も出土していることからＳＢ32は鍛冶に関連した建物の可能性がある。遺物は須恵器，鉄滓があるが，時期の特定はできない。

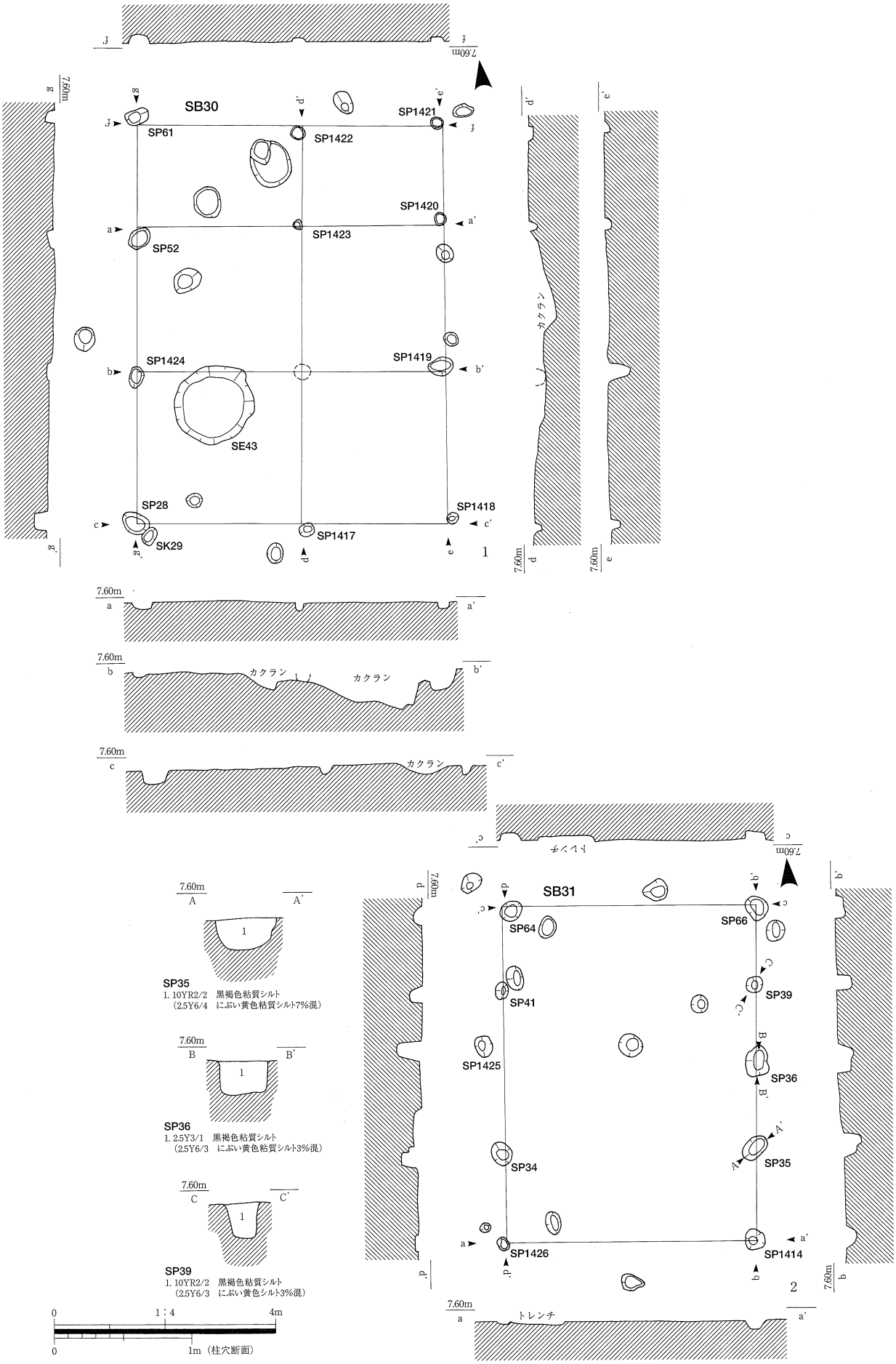
33号掘立柱建物（ＳＢ33，第53図）

調査区北半に位置する２間×２間の総柱建物で，主軸Ｎ－21°－Ｗの南北棟である。桁行長5.4m，梁行長4.5m，平面積24.3㎡を測る。柱掘形は径0.28～0.53mの円形で，深さは0.17～0.34mである。掘形埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトを主体とし，ＳＰ904・ＳＰ906・ＳＰ1071で柱痕跡が確認された。ＳＢ34と重複しているが，新旧関係は不明である。遺物は土師器片があるが，時期の特定はできない。



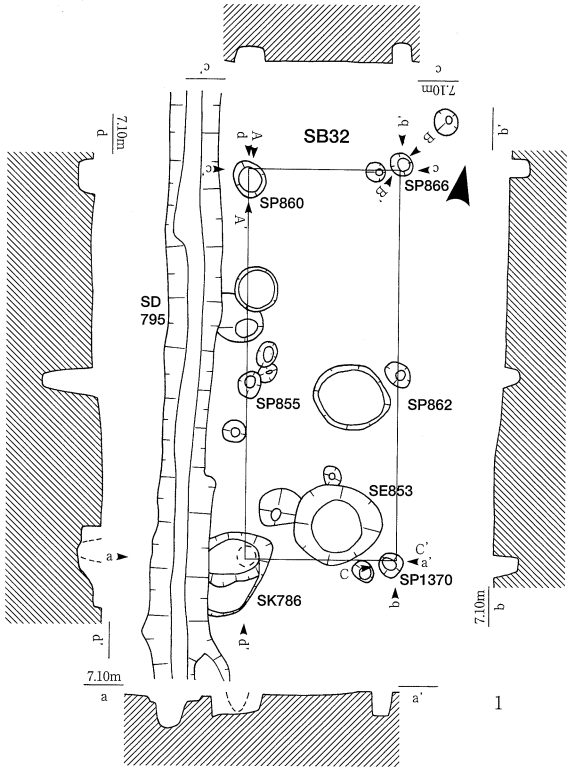
第51図　遺構実測図

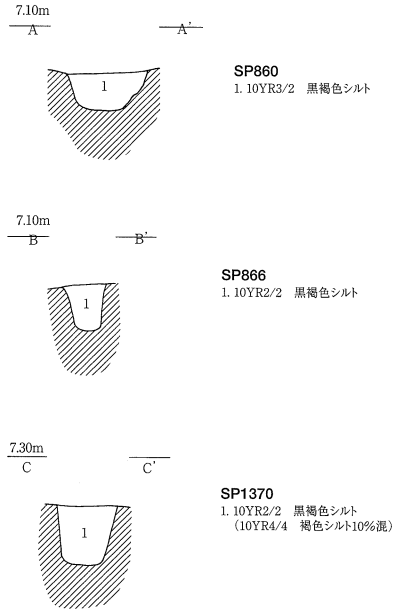
1. SB28　2. SB29

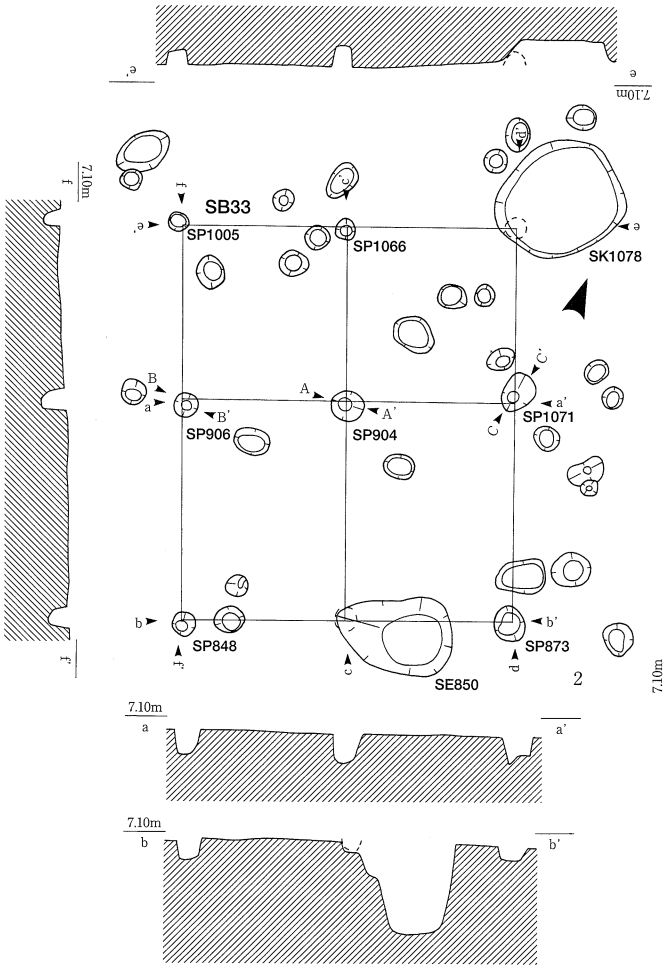


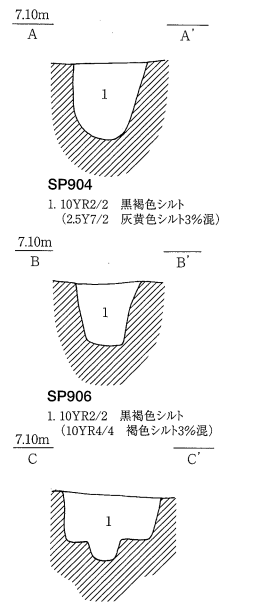
第52図　遺構実測図

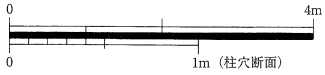
1. SB30　2. SB31











第53図　遺構実測図

1. SB32　2. SB33

34号掘立柱建物（ＳＢ34，第55図）

調査区北半に位置する２間×２間の総柱建物で，主軸Ｎ－83°－Ｅの東西棟（南北棟であれば，Ｎ－７°－Ｗ）である。桁行長5.0m，梁行長4.3m，平面積21.5㎡を測る。柱掘形は径0.28～0.48mの円形または楕円形で，深さは0.17～0.36mである。掘形埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトを主体とし，ＳＰ905・ＳＰ1068で柱痕跡が確認された。ＳＢ33と重複しているが，新旧関係は不明である。出土遺物はない。

35号掘立柱建物（ＳＢ35，第54図，図版19）

調査区北半に位置する３間×２間の総柱建物で，主軸はＮ－90°－Ｅの東西棟（南北棟であれば，真北をむく）である。桁行長5.3m，梁行長3.5m，平面積18.55㎡を測る。柱掘形は径0.19～0.40mの円形で，深さは0.15～0.41ｍである。掘形埋土は黒褐色シルト，暗褐色粘質シルトでＳＰ833・ＳＰ839・ＳＰ1347・ＳＰ1348・ＳＰ1492・ＳＰ1494で柱痕跡が確認された。ＳＢ35は建物の平面プランが竪穴状遺構ＳＸ1344とほぼ同規模で，ＳＸ1344とは一連の遺構と考えられる。ここでは，その柱穴部分を掘立柱建物として記述するが，詳しくはＳＸ1344の項で記述する。ＳＢ35の柱穴はＳＸ1344の壁周を巡り，床面中央の長軸線上に２基並ぶ。いずれもＳＸ1344の埋土下から検出され，肩や床を掘り込んでおり，このことからもＳＸ1344と一連の施設と考えられる。

36号掘立柱建物（ＳＢ36，第55図）

調査区北半に位置する２間×２間以上の建物で，調査区外西側に延びると推測される。南北棟であれば，主軸Ｎ－20°－Ｗ，桁行長5.0m，梁行長4.3m以上，平面積21.5㎡以上を測る。柱掘形は径0.24～0.35mの円形で，深さは0.17～0.28mを測り，掘形埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトを主体とする。出土遺物はない。

37号掘立柱建物（ＳＢ37，第56図，図版14）

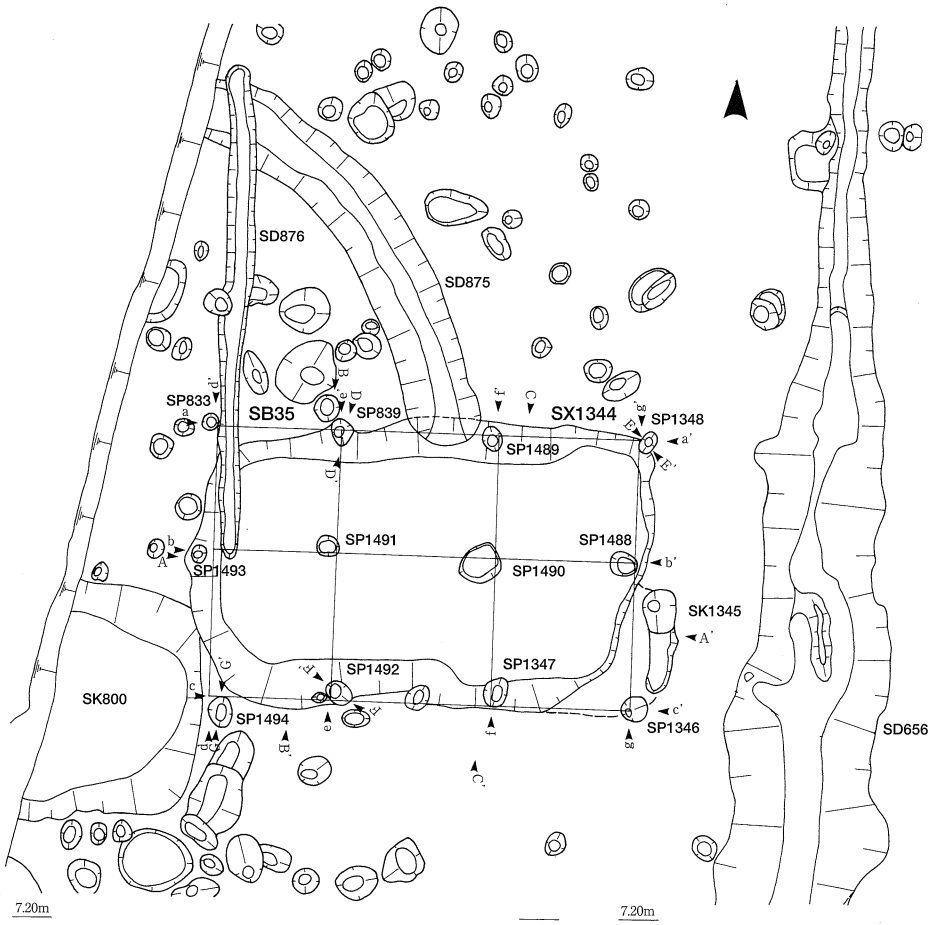
調査区北半に位置する３間×３間以上の総柱建物で，調査区外西側に延びると推測される。主軸はＮ－80°－Ｅの東西棟（南北棟であれば，Ｎ－10°－Ｗ）である。桁行長7.4m以上，梁行長6.5m，平面積48.1㎡以上を測る。柱掘形は径0.24～0.59mの円形もしくは楕円形で，深さは0.13～0.34mである。掘形埋土は黒褐色シルトを主体とし，ＳＰ1048・ＳＰ1062で柱痕跡が確認された。ＳＢ37は調査区北半を東西方向に横切る落差0.6mほどの段差上にあり，この段差に沿うように立地している。ＳＢ38・ＳＢ39と重複しており，柱穴の切り合いからＳＢ38より新しい建物である。ＳＢ39とは直接切り合いがなく，新旧関係は不明である。遺物は須恵器片があるが，時期の特定はできない。

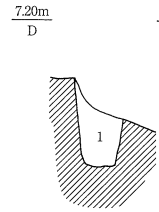
38号掘立柱建物（ＳＢ38，第56図，図版14）

調査区北半に位置する３間×２間以上の総柱建物で，調査区外西側に延びると推測される。主軸はＮ－66°－Ｅの東西棟（南北棟であれば，Ｎ－24°－Ｗ）である。桁行長7.8m以上，梁行長5.4m，平面積42.12㎡以上を測る。柱掘形は径0.28～0.58mの円形または楕円形で，深さは0.19～0.52mである。掘形埋土は黒褐色シルトを主体とし，ＳＰ942・ＳＰ963・ＳＰ1032・ＳＰ1042・ＳＰ1148で柱痕跡が確認された。ＳＢ37と同様に，調査区北半の段差に沿うように立地している。ＳＢ37・ＳＢ39と重複しており，柱穴の切り合いからＳＢ37より古い建物である。ＳＢ39との新旧関係は不明である。遺物は須恵器，土師器があるが，小片で時期の特定はできない。

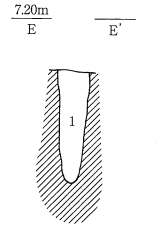
39号掘立柱建物（ＳＢ39，第57・61図，図版49）

調査区北半に位置する３間×１間以上の建物で，調査区北半の段差際にあり，この段差下に延びる可能性がある。しかしながら，段差際に立地する建物は７棟あるが，いずれも段差に沿っており，段

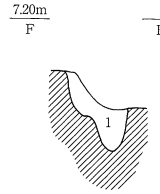




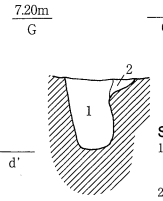
SP839
1. 10YR4/3　にぶい黄褐色シルト
（10YR3/3　暗褐色シルト15%・
10YR7/4　にぶい黄橙色シルト10%混）



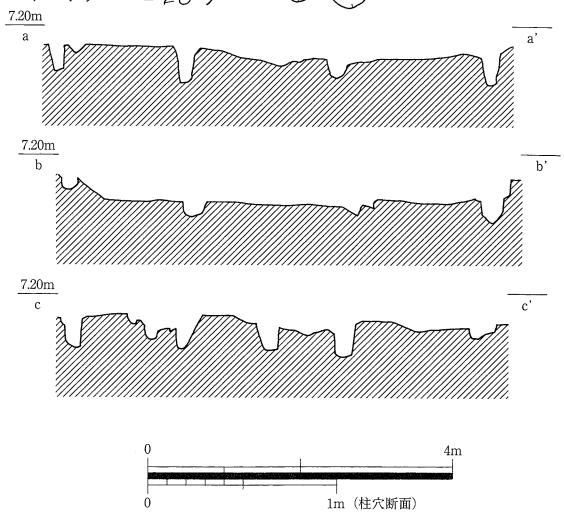
SP1348
1. 10YR2/3　黒褐色シルト

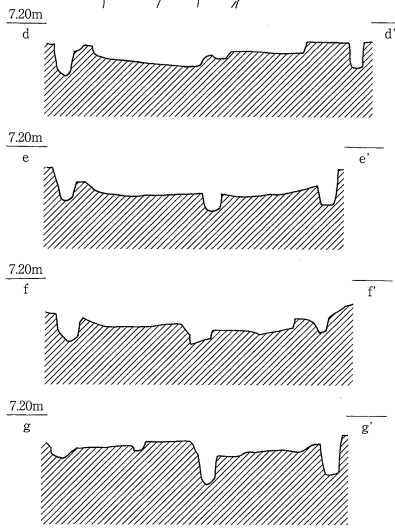


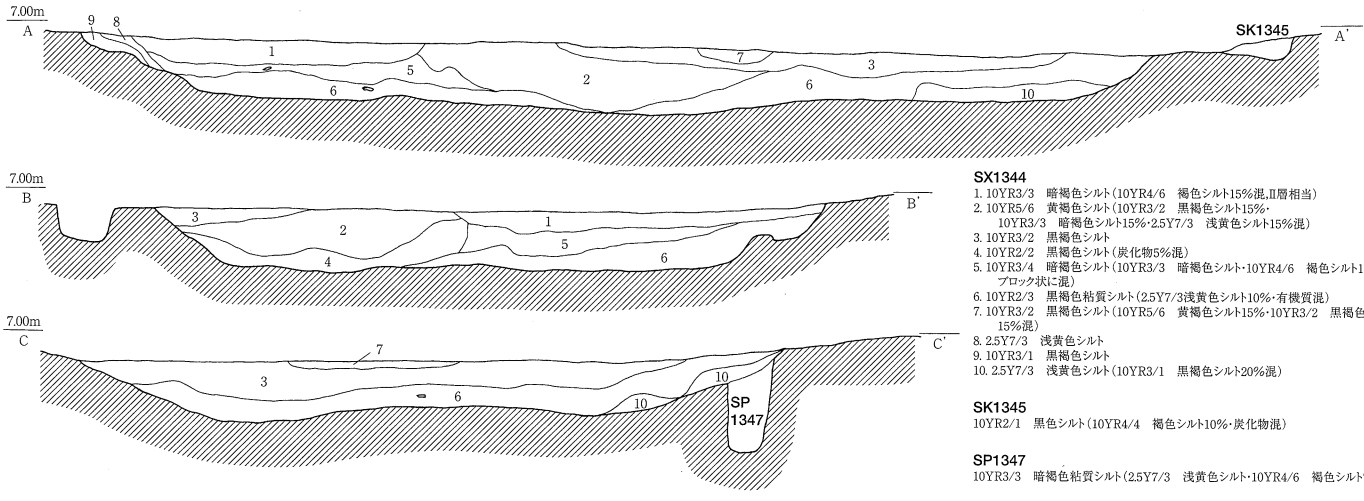
SP1492
1. 10YR3/3　暗褐色粘質シルト
（2.5Y6/4　にぶい黄色粘質シルト15%・
炭化物1%混）



SP1494
1. 10YR2/2　黒褐色シルト
（2.5Y7/4　浅黄色粘質シルト7%・
ブロック状に混）
2. 10YR3/2　黒褐色シルト
（10YR4/4　褐色シルト20%混）







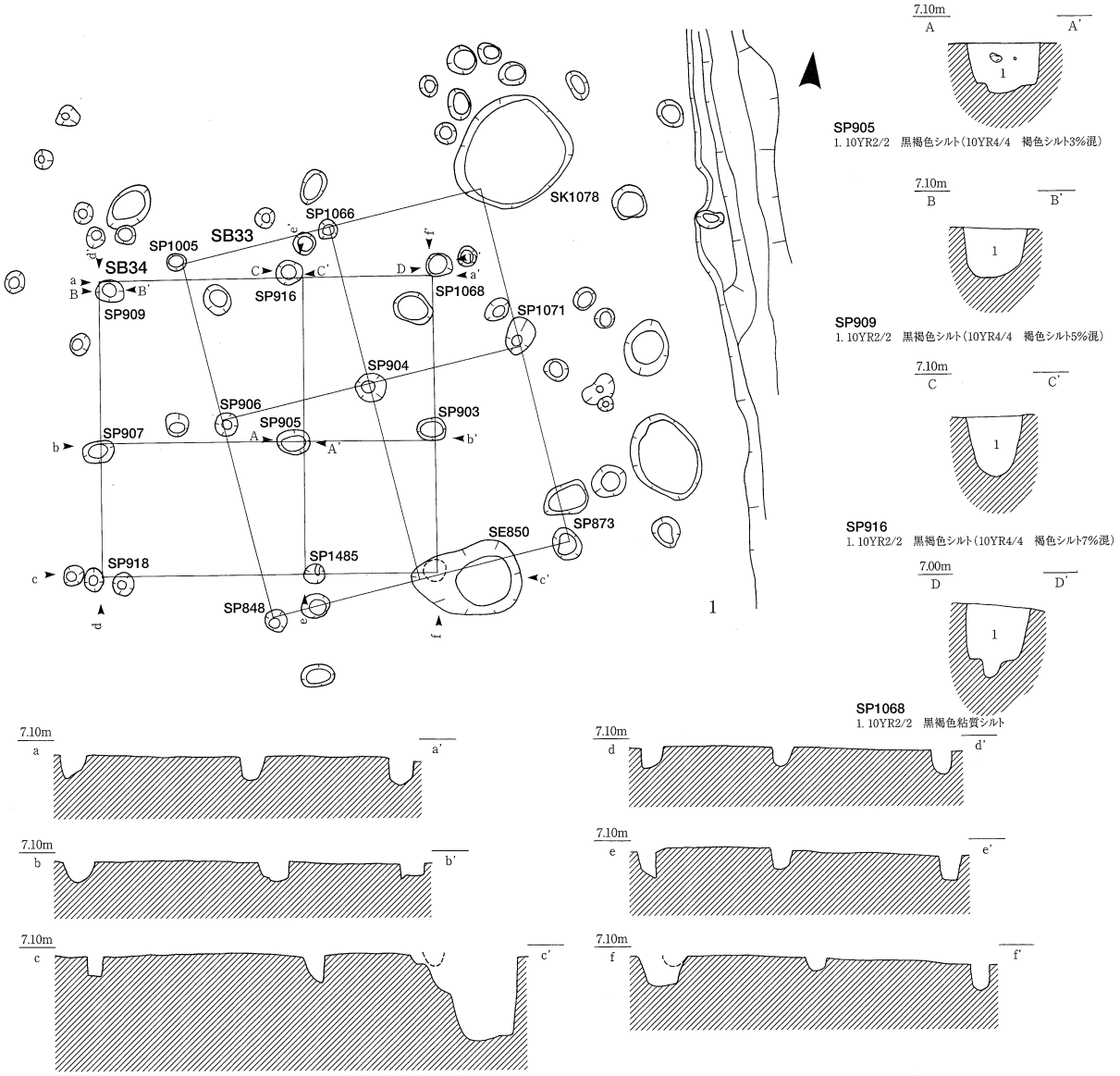
SX1344
1. 10YR3/3　暗褐色シルト（10YR4/6　褐色シルト15%混,Ⅱ層相当）
2. 10YR5/6　黄褐色シルト（10YR3/2　黒褐色シルト15%・
10YR3/3　暗褐色シルト15%・2.5Y7/3　浅黄色シルト15%混）
3. 10YR3/2　黒褐色シルト
4. 10YR2/2　黒褐色シルト（炭化物5%混）
5. 10YR3/4　暗褐色シルト（10YR3/3　暗褐色シルト・10YR4/6　褐色シルト15%
ブロック状に混）
6. 10YR2/3　黒褐色粘質シルト（2.5Y7/3浅黄色シルト10%・有機質混）
7. 10YR3/2　黒褐色シルト（10YR5/6　黄褐色シルト15%・10YR3/2　黒褐色シルト
15%混）
8. 2.5Y7/3　浅黄色シルト
9. 10YR3/1　黒褐色シルト
10. 2.5Y7/3　浅黄色シルト（10YR3/1　黒褐色シルト20%混）

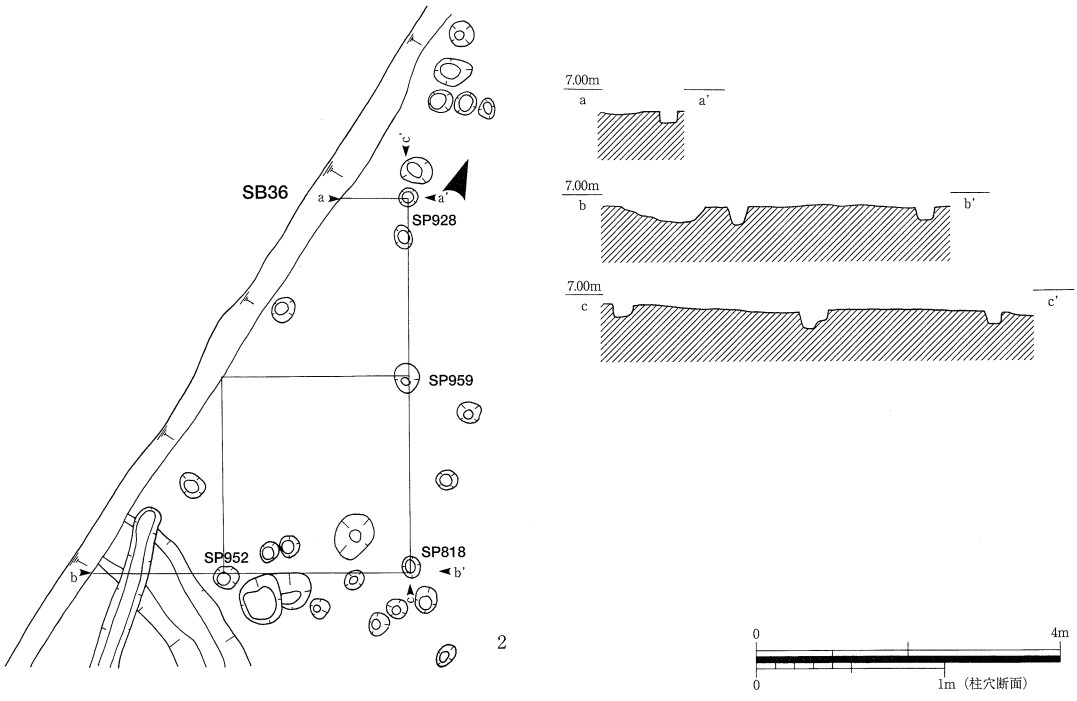
SK1345
10YR2/1　黒色シルト（10YR4/4　褐色シルト10%・炭化物混）

SP1347
10YR3/3　暗褐色粘質シルト（2.5Y7/3　浅黄色シルト・10YR4/6　褐色シルト7%混）

第54図　遺構実測図

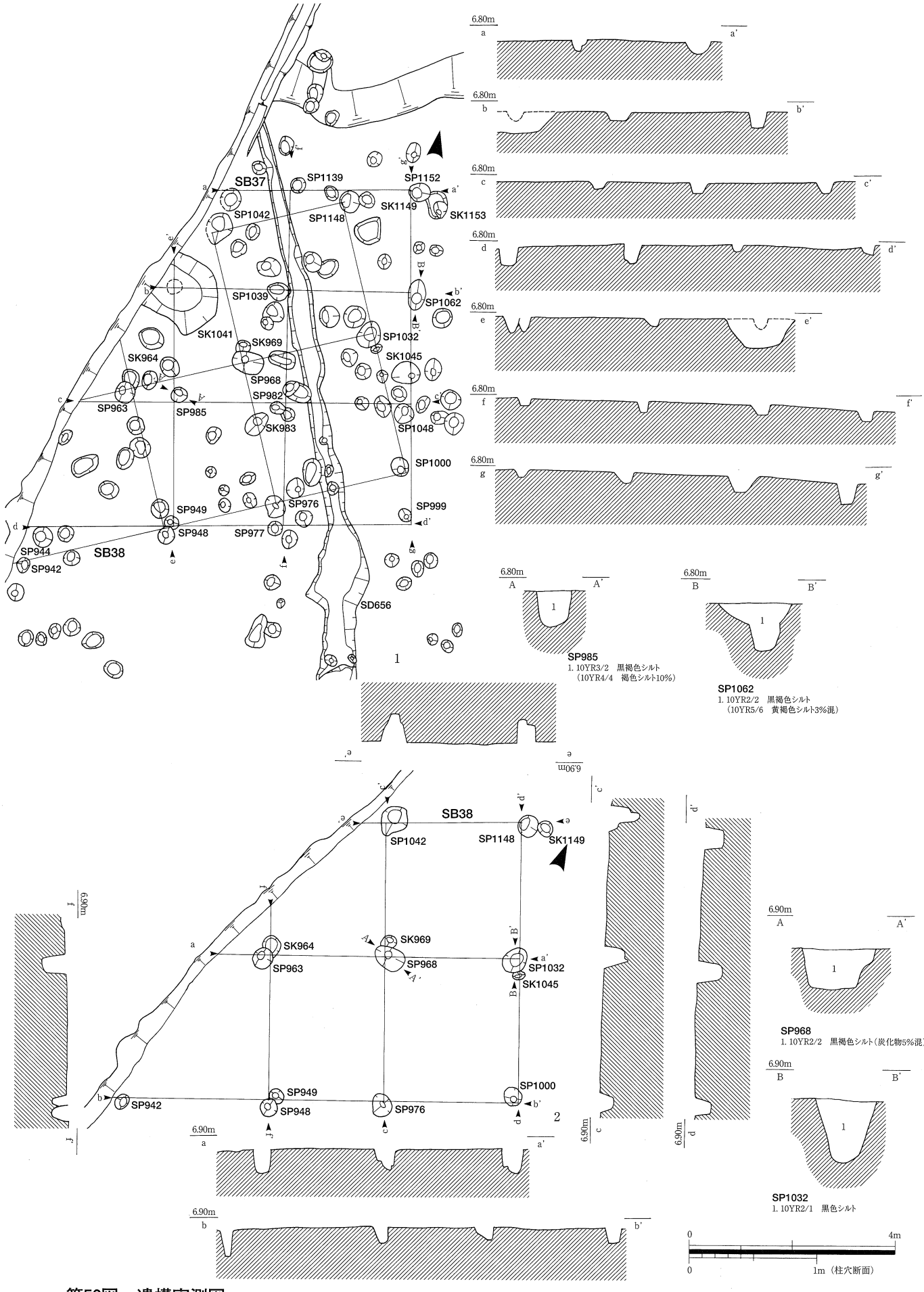
SB35・SX1344・SK1345





第55図　遺構実測図

1. SB34　2. SB36



第56図　遺構実測図

1. SB37　2. SB38

差下に延びると推定されるものはないことから，ここでは段差に沿った3間×1間の側柱建物として扱う。主軸はN－73°－Eの東西棟（南北棟であれば，N－17°－W）で，桁行長7.1m，梁行長3.0m，平面積21.3㎡を測る。柱掘形は径0.25～0.60mの円形または楕円形で，深さは0.15～0.43mである。掘形埋土は黒褐色シルトを主体とし，ＳＰ1040・ＳＰ1138・ＳＰ1151・ＳＰ1173で柱痕跡が確認された。ＳＢ37・ＳＢ38と重複しているが，新旧関係は不明である。遺物は土師器，白磁（427）がある。427は白磁椀で12世紀末～13世紀ころのものである。

40号掘立柱建物（ＳＢ40，第57・61図，図版14・50）

調査区北半に位置する3間×2間の総柱建物で，主軸はN－18°－Wの南北棟である。桁行長5.9m，梁行長4.0m，平面積23.6㎡を測る。柱掘形は径0.31～0.88mの円形または楕円形で，深さ0.15～0.36mの大規模なものである。掘形埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトを主体とし，ＳＰ1056・ＳＰ1060・ＳＰ1221で柱痕跡が確認された。ＳＢ40は調査区北半の段差際にあり，段差に沿う建物で，ＳＢ41と重複している。ＳＢ41との新旧関係は不明だが，ＳＢ40の柱穴ＳＰ1198出土の珠洲擂鉢とＳＢ41の柱穴ＳＰ1207出土の擂鉢とは同一個体と考えられ，比較的短期間の間に建て替えが行われた可能性がある。遺物は土師器，珠洲（428）がある。428は直線的に立ち上がり口縁がそのまま開くタイプで，口縁端部が外傾する方頭を呈し，Ⅱ期に比定できるものである。

41号掘立柱建物（ＳＢ41，第58・61図，図版14・50）

調査区北半に位置する3間×1間の側柱建物で，主軸はN－76°－Eの東西棟（南北棟であれば，N－14°－W）である。桁行長5.4m，梁行長2.8m，平面積15.12㎡を測る。柱掘形は径0.22～0.60mの円形または楕円形で，深さ0.17～0.55mである。掘形埋土は黒褐色シルトを主体とし，ＳＰ1180・ＳＰ1197で柱痕跡が確認された。ＳＢ41は調査区北半の段差に沿う建物で，ＳＢ39・ＳＢ40と重複している。新旧関係は不明である。遺物は土師器，珠洲（428）があり，珠洲はＳＢ40の柱穴ＳＰ1198出土の擂鉢と同一固体と考えられる。

42号掘立柱建物（ＳＢ42，第59図）

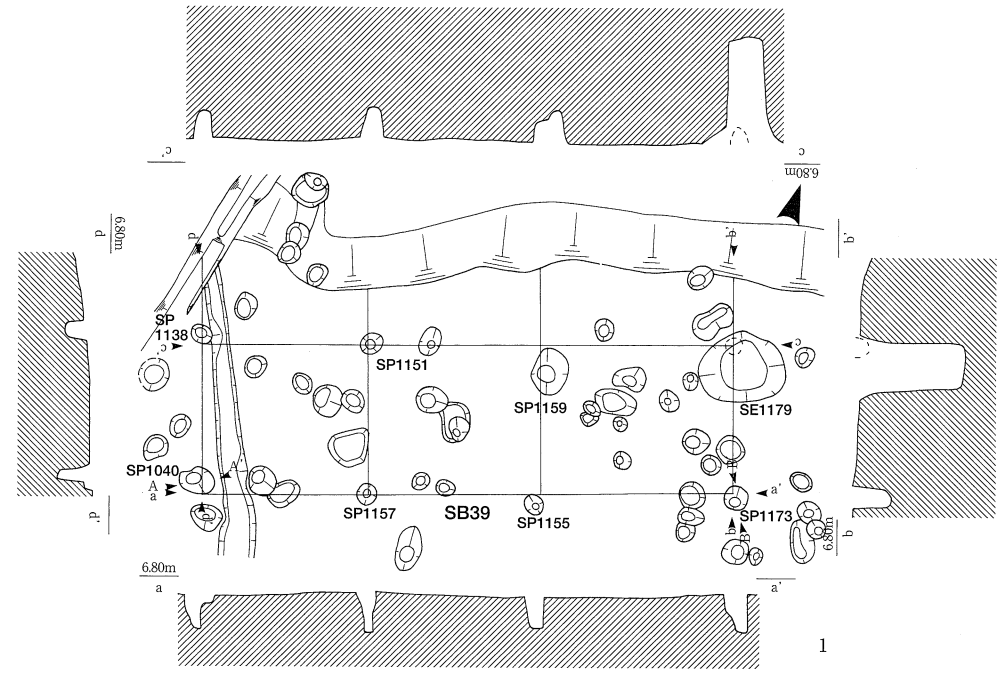
調査区北半に位置する4間×4間の総柱建物で，調査区外東側に一部延びる。主軸N－19°－Wの南北棟で，桁行長9.5m，梁行長8.9m，平面積84.55㎡を測る。柱掘形は径0.30～0.85mの円形または楕円形で，深さ0.16～0.44mの比較的大規模なものである。掘形埋土は明黄褐色シルト混じりの黒褐色シルトを主体とし，ＳＰ1125・ＳＰ1255・ＳＰ1274・ＳＰ1293・ＳＰ1294・ＳＰ1299・ＳＰ1324で柱痕跡が確認され，柱根の直径は約0.16～0.28mと推定できる。ＳＢ42は調査区北半の段差に沿う建物で，ＳＢ43と重複している。ＳＢ43との新旧関係は不明であるが，同一場所での建て替えと考える。遺物は土師器，鉄滓があるが，時期の特定はできない。

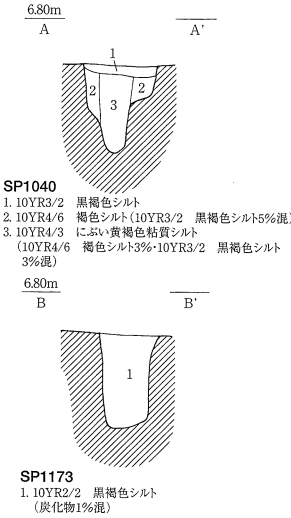
43号掘立柱建物（ＳＢ43，第58図）

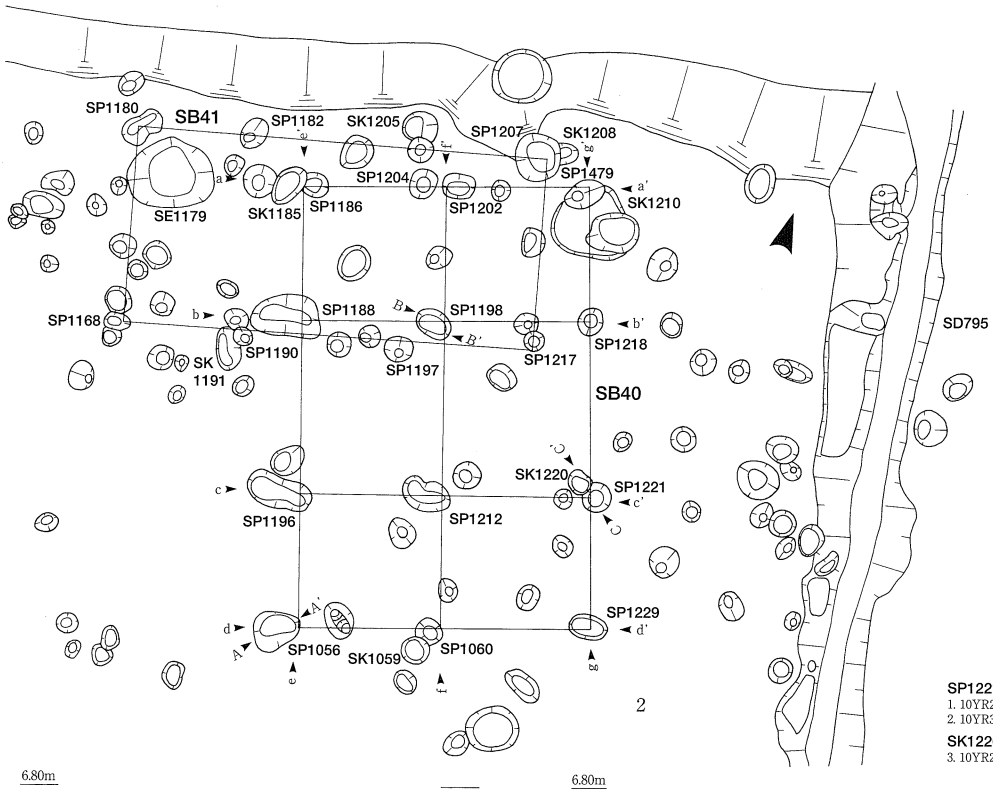
調査区北半に位置する2間×2間の総柱建物で，主軸N－17°－Wの南北棟である。桁行長5.2m，梁行長4.5m，平面積23.4㎡を測る。柱掘形は径0.27～0.37mの円形で，深さは0.14～0.42mである。掘形埋土は黒褐色シルトが主体で，ＳＰ258・ＳＰ1261・ＳＰ1296・ＳＰ1481で柱痕跡が確認され，柱根直径は約0.24mと推定できる。ＳＢ42と重複しており，新旧関係は不明であるが，同一場所での建て替えと考えられる。遺物は須恵器，土師器片があるが，時期の特定はできない。

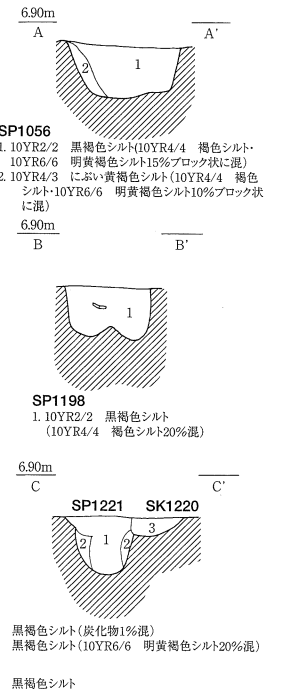
44号掘立柱建物（ＳＢ44，第60・61図）

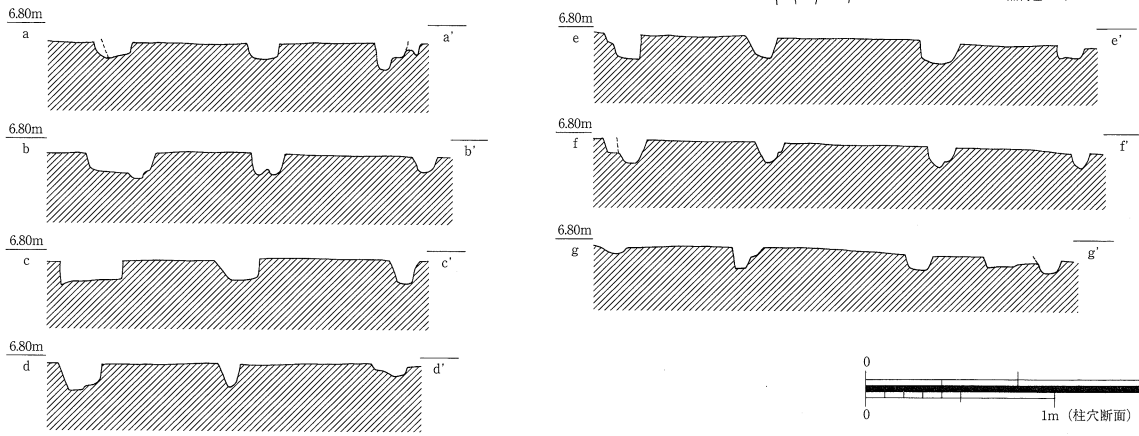
調査区北半に位置する4間×1間以上の側柱建物で，調査区外東側に延びると推定される。主軸はN－86°－Eの東西棟（南北棟であれば，N－4°－W）で，桁行長9.1m以上，梁行2.8m，平面積





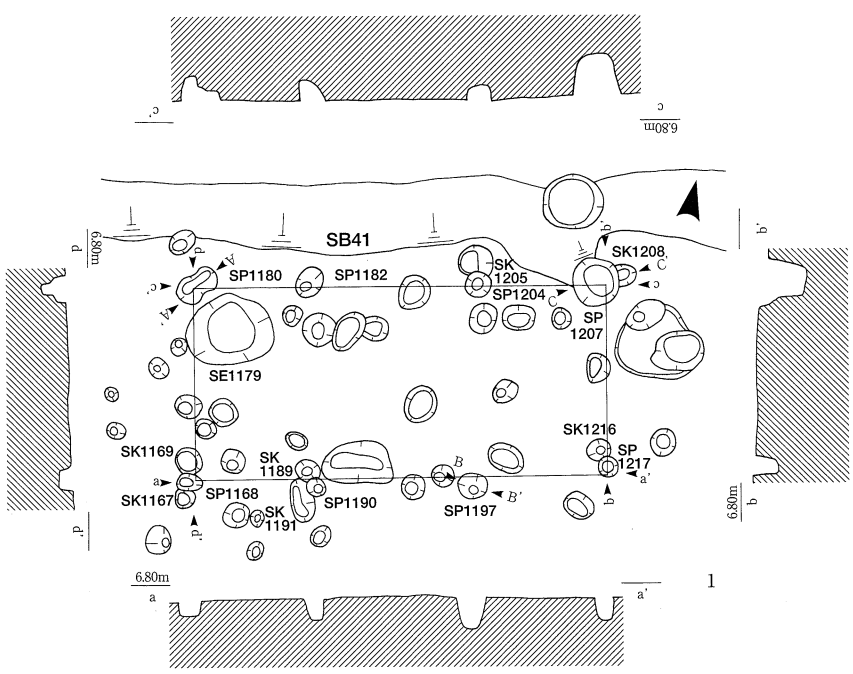


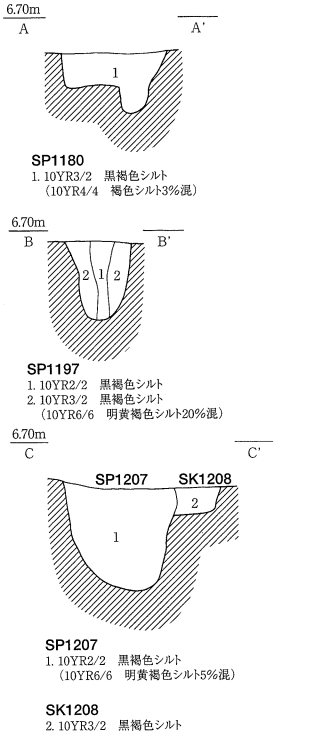


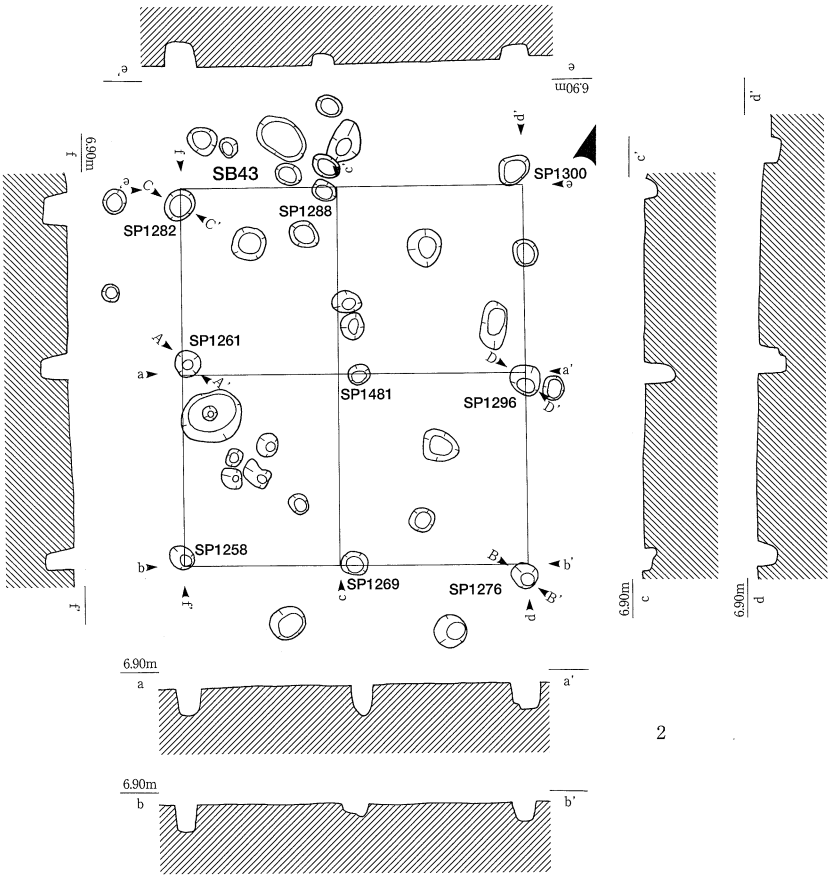


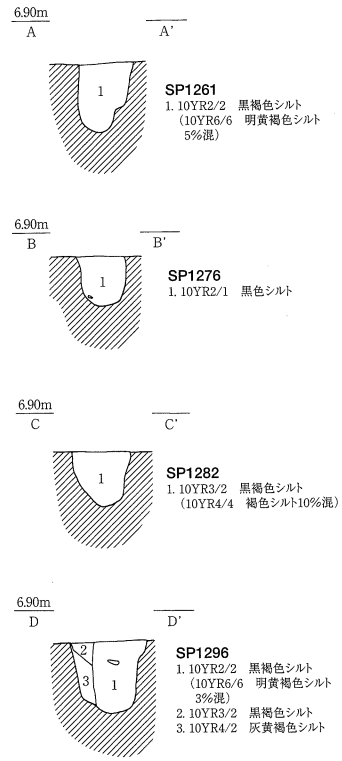
第57図　遺構実測図

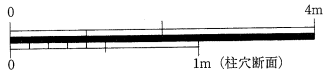
1. SB39　2. SB40





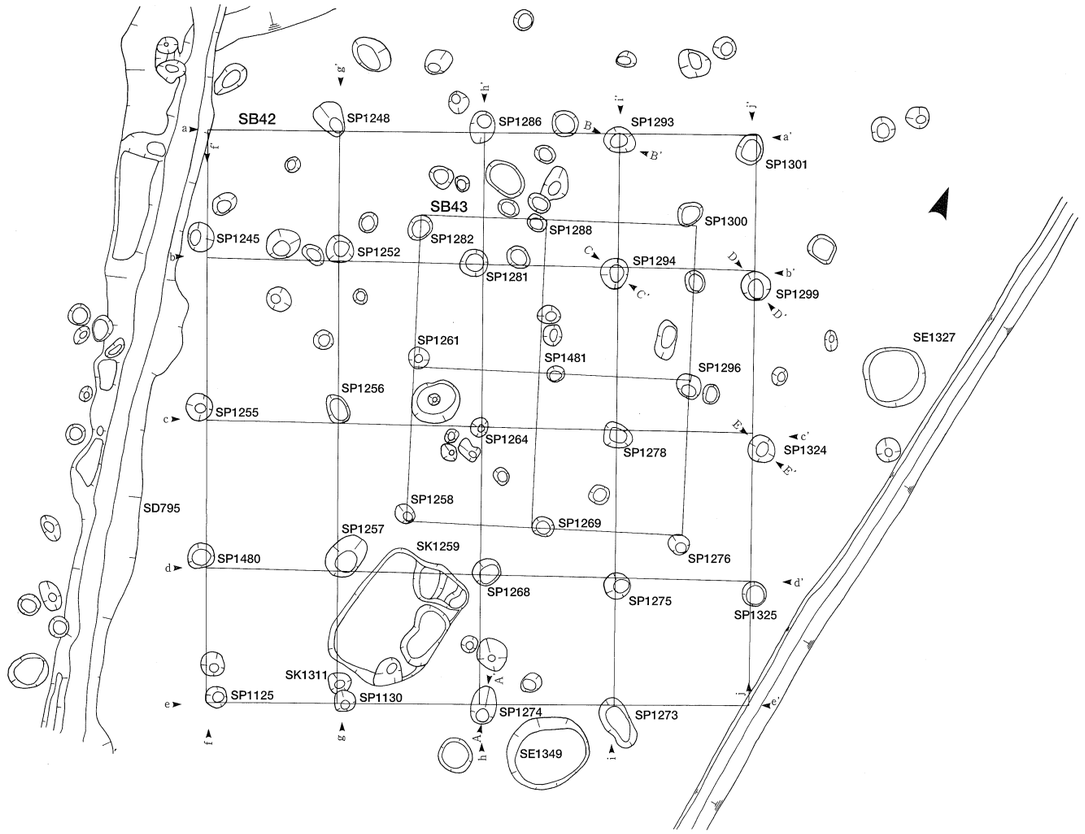


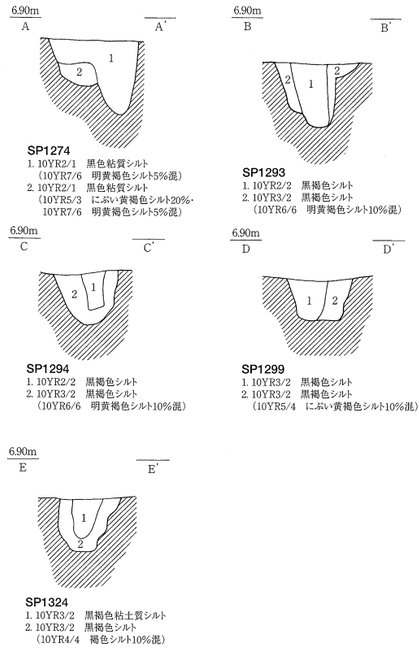


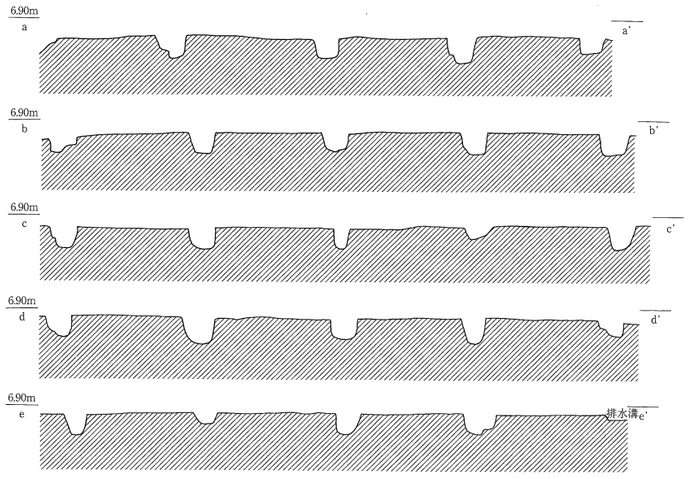


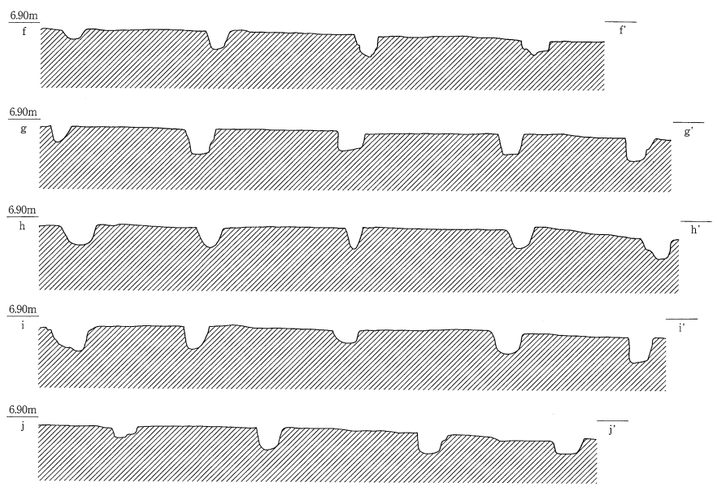
第58図　遺構実測図

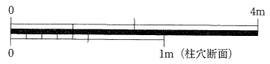
1. SB41　2. SB43





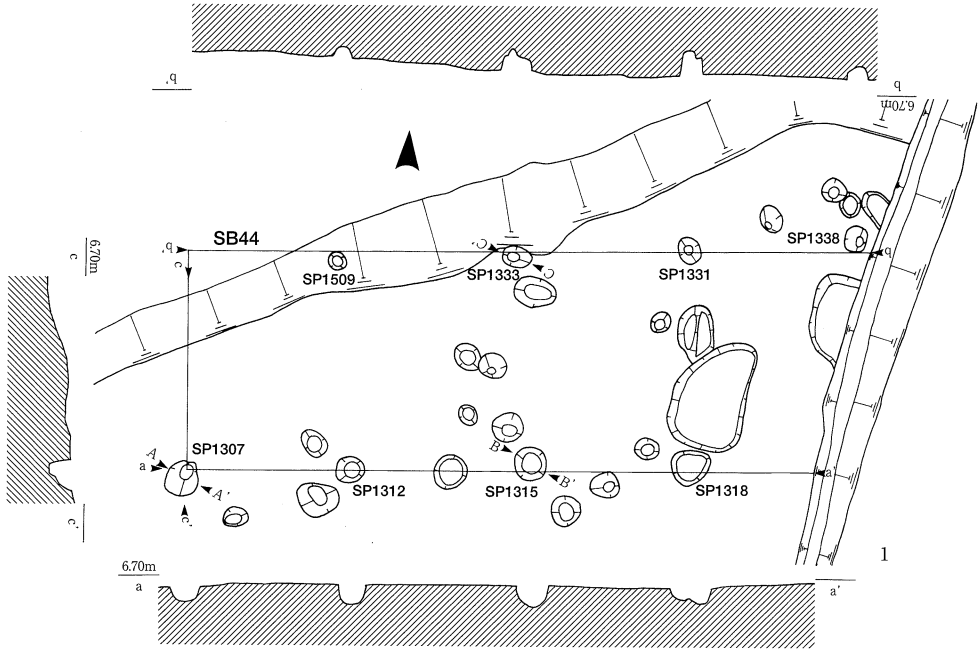


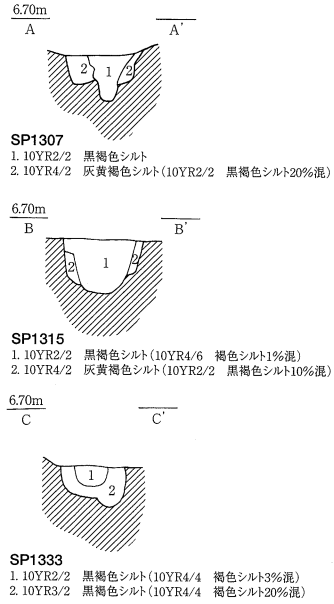


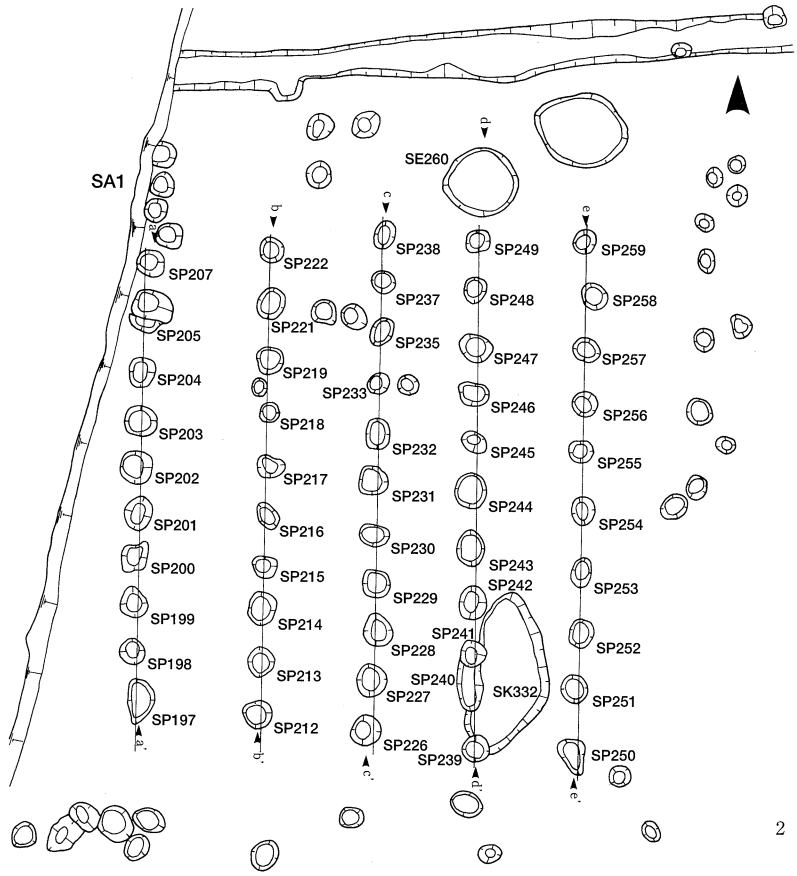


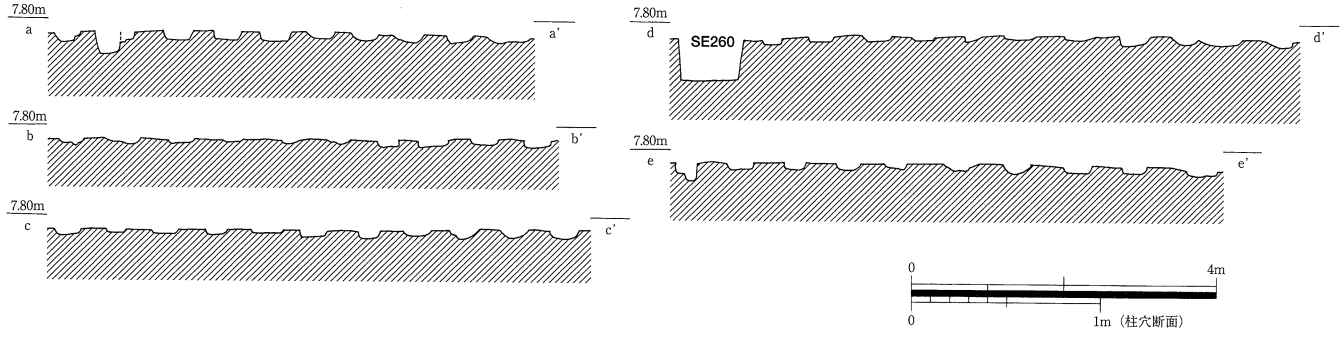
第59図　遺構実測図

SB42



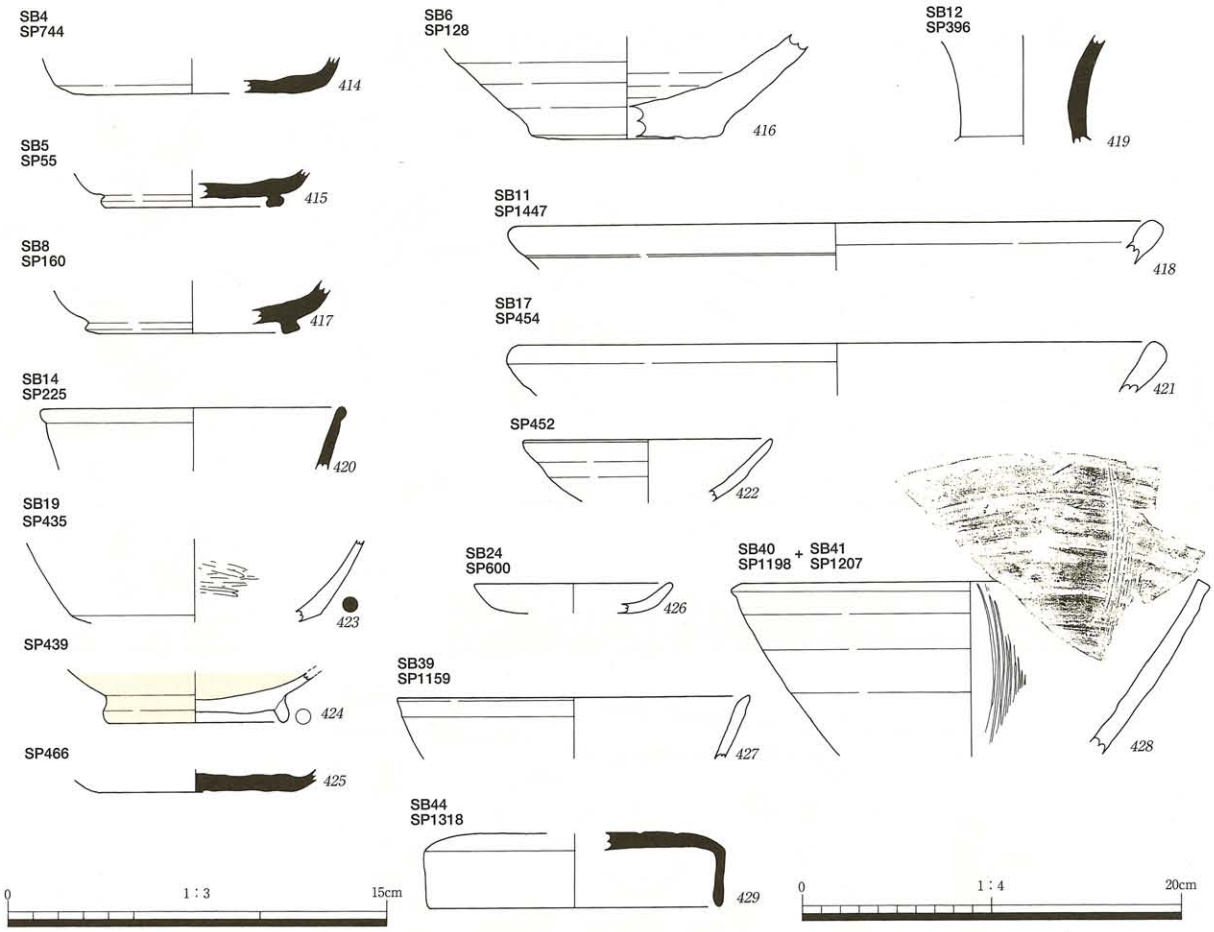






第60図　遺構実測図

1. SB44　2. SA1



第61図　遺構実測図　（*414・415・417・419・420・422～427・429*　1/3，*416・418・421・428*　1/4）

SB4　SP744(*414*)　SB5　SP55(*415*)　SB6　SP128(*416*)　SB8　SP160(*417*)　SB11　SP1447(*418*)　SB12　SP396(*419*)　SB14　SP225(*420*)　SB17　SP452(*422*)・SP454(*421*)　SB19　SP435(*423*)・SP439(*424*)・SP466(425)　SB24　SP600(*426*)　SB39　SP1159(*427*)　SB40　SP1198+SB41　SP1207(*428*)　SB44　SP1318(*429*)

25.48㎡以上を測る。柱掘形は径0.23～0.49mの円形で，深さは0.11～0.41mである。掘形埋土は黒褐色シルト混じりの灰黄褐色シルトで，ＳＰ1307・ＳＰ1315・ＳＰ1331・ＳＰ1333で柱痕跡が確認され，柱根直径は約0.16～0.32mと推定できる。ＳＢ44は調査区北半の段差際にあり，段差に沿うような建物である。遺物は須恵器壺蓋（429）がある。

柵

１号柵（ＳＡ１，第60図，図版17）

調査区南半に位置する柵列群で，主軸は真北をむく。0.6～0.8mの間隔で柱穴が10基または11基直線上に並ぶ遺構で，1.0～1.4mの間隔で５列並行している。柱掘形は径0.27～0.57mの円形または楕円形で，深さ0.03～0.34mを測り，平均的な深さは0.1mほどで浅い皿状を呈している。掘形埋土は黒褐色シルトの単層である。ＳＢ22のような柱間の狭い建物の可能性もあるが，柱間が狭く，東西方向の柱列が揃わないことから，建物の可能性は低いと考える。また，畑（作物の株跡）の可能性もあるが，ＳＡ１の性格は不明である。ここでは柵列として一括して扱うものとし，便宜的に東側よりａ～ｅ列とした。長さはａ列6.3m，ｂ列6.5m，ｃ列6.9m，ｄ列7.0m，ｅ列7.3mである。遺物は須恵器片があるが，時期の特定はできない。

溝

２号溝（ＳＤ２，第63・65図，図版16・35・50・62）

調査区北半に位置する。M字状に蛇行する溝で，幅約1.6m，深さ0.37mを測る。ＳＤ２は調査区北

半の段差下の低地に位置し，段差に沿って東流し，調査区中央部分で北へ向きを変える。標高は5.96mから5.80mにかけてで，流れはほとんどなかったと思われる。段差上からのＳＤ795が流入していたと推測され，ＳＤ２は排水施設と考えられる。埋土は黒褐色シルト・黒褐色粘質シルトである。遺物は縄文土器，土師器，須恵器（430～433），珠洲（434），鉄滓があるが，縄文土器は小片のため混入品と思われる。遺物で主体となるのは８世紀後半～９世紀頃の須恵器である。

７号溝（ＳＤ７，第63図）

調査区北半の段差下に位置する東西方向の溝で，調査区外西側に延びる。幅0.62m，深さ0.21mを測る。ＳＤ７は西から東へ流れており，東端はＳＫ６に流れ込んでいる。人為的な溝と考えられる。埋土は黒褐色粘質シルトと黒褐色粘質シルト混じりのにぶい黄色粘土の二層で，少量の炭化物を含む。遺物は混入品と考えられる縄文土器の小片だけであるが，ＳＫ６との関係から古代から中世にかけての時期の溝と考える。

10号溝（ＳＤ10，第63・65図，図版36）

調査区北端に位置する南北方向の溝で，幅0.96m，深さ0.20mを測り，埋土は黒褐色粘質シルトの単層である。調査区北端で一部分を検出しており，Ⅰ層直下から掘り込んでいる。遺物は須恵器（435），土師器がある。

11号溝（ＳＤ11，第62・65図，図版16・35・50・63）

調査区南半に位置する東西方向の溝で，最大幅2.40m，深さ0.57mを測る。断面逆台形状を呈し，埋土は黒褐色シルトと褐色シルト混じりの黒色粘質シルトである。ＳＤ11を境に南側では遺構がみられなくなることから，集落を区画する区画溝と考えられる。遺物は土師器，須恵器（436～440），珠洲（442～444），土錘（441）があり，混入品と思われる縄文土器や磨製石斧も出土している。須恵器は概ね８世紀後半～９世紀にかけてのものである。珠洲は甕・擂鉢があり，443は水平で方頭を呈する口縁を持ちⅢ期に，444はやや内湾気味に立ち上がり口縁端部を肉薄気味に掻き出したⅠ～Ⅱ期に比定できる。遺物の時期からＳＤ11は古代から中世にかけての時期の溝と考えられ，下限は13世紀中頃になるかと思われる。

330号溝（ＳＤ330，第62図，図版16）

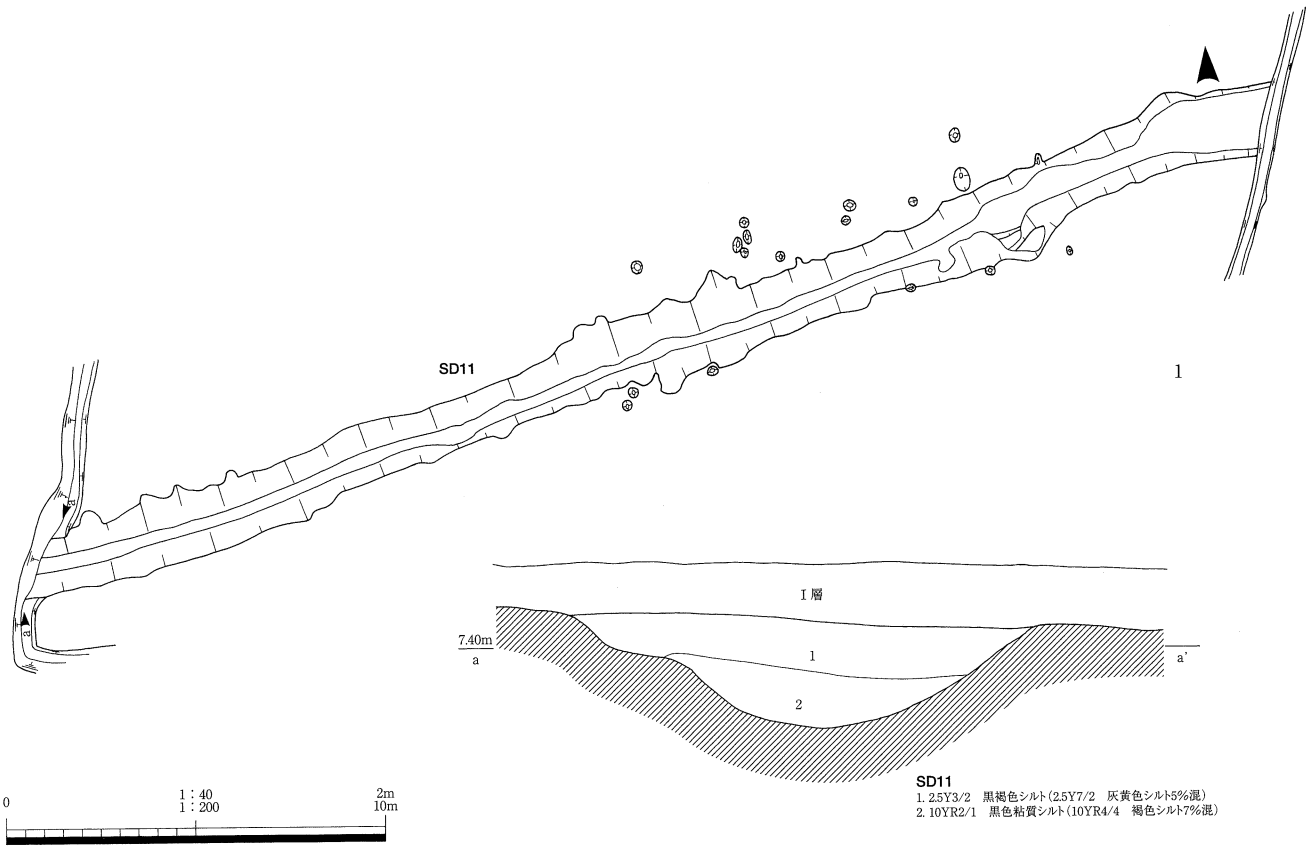
調査区中央に位置する東西方向の溝で，調査区外西側に延びている。幅0.69m，深さ0.12mを測る浅い溝である。埋土は黒褐色シルトとにぶい黄褐色シルトの二層である。ＳＫ356に切られているが，ＳＫ406の他，縄文時代の土坑ＳＫ369・ＳＫ384・ＳＫ385を切っている。このため出土遺物には縄文土器，敲石が含まれる。東端は縄文時代の土坑と重複する辺りで，途切れている。遺物には土師器，須恵器がある。

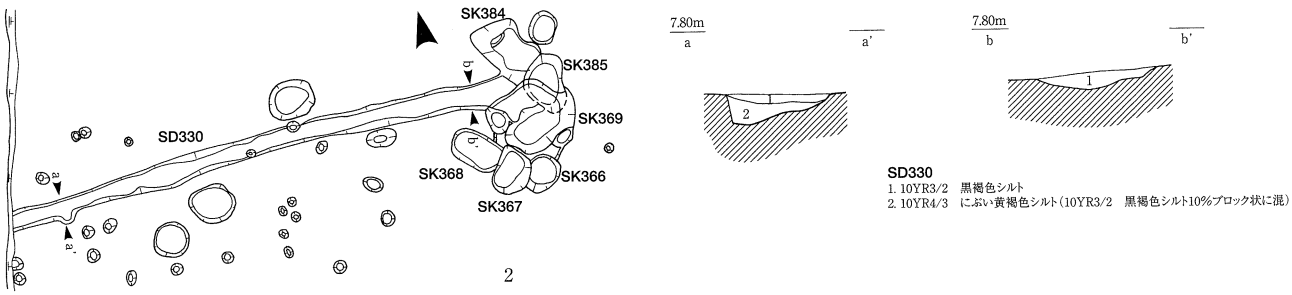
430号溝（ＳＤ430，第73図）

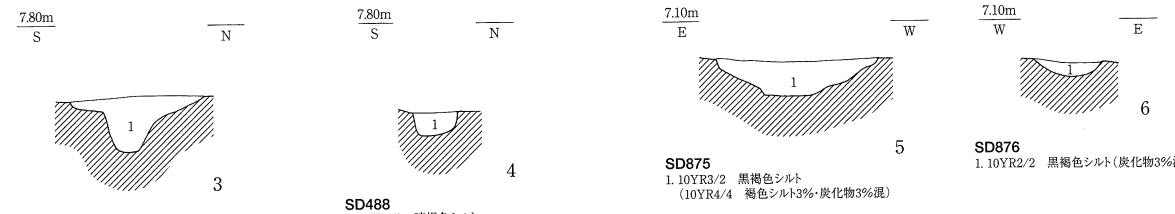
調査区中央に位置する東西方向の溝で，調査区外東側に延びている。幅0.53m，深さ0.10mを測る浅い溝で，埋土は灰黄褐色シルトの単層である。ＳＰ463に切られているが，ＳＫ431を切っている。遺物は土師器，須恵器，混入品と考えられる縄文土器が出土しているが，いずれも小片で時期の特定はできない。

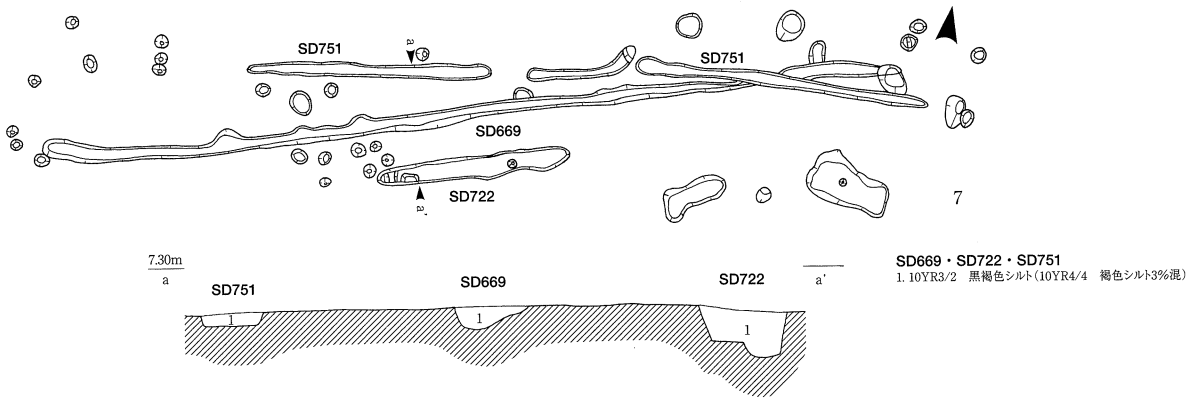
450号溝（ＳＤ450，第62・65図）

調査区中央に位置する東西方向の溝で，調査区外東側に延びている。幅0.62m，深さ0.30mを測り，埋土は黒褐色シルトの単層である。西端はオーバーフローしたように広がっており，自然流路と考える。遺物は土師器，須恵器（445）の他に，混入品と考えられる縄文土器，石錘がある。



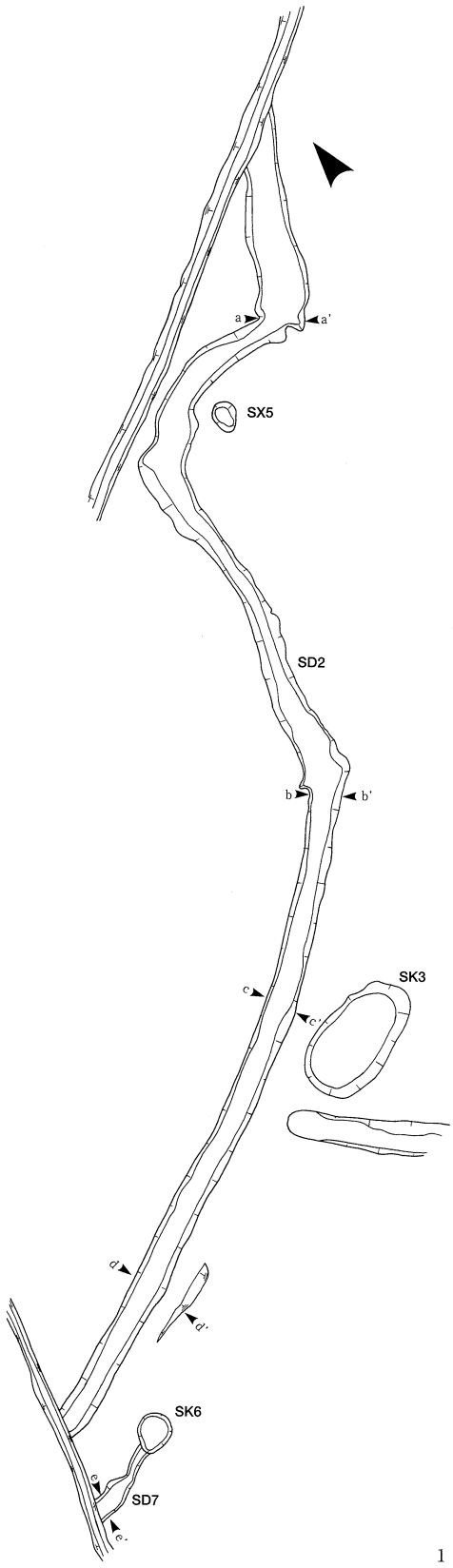




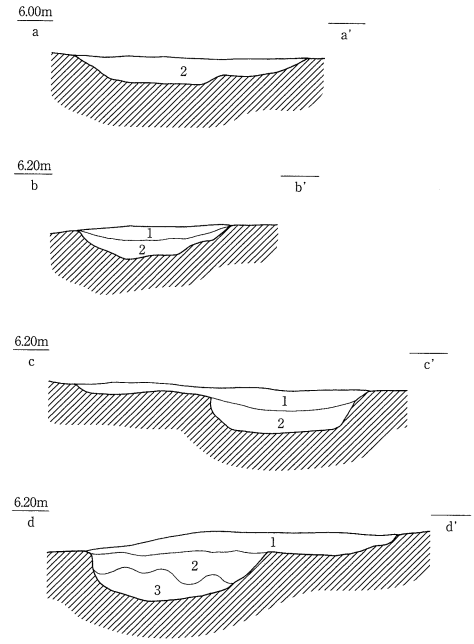


第62図　遺構実測図

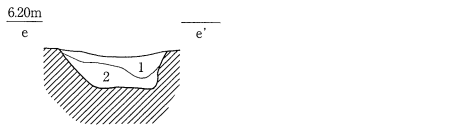
1. SD11　2. SD330　3. SD450　4. SD488　5. SD875　6. SD876　7. SD669・SD722・SD751



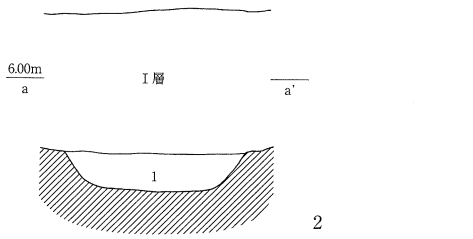
1



SD2
1. 10YR3/1　黒褐色シルト(5Y6/3　オリーブ黄色シルト5%混)
2. 7.5YR3/1　黒褐色粘質シルト(5Y7/2　灰白色粘土5%混)
3. 10YR3/2　黒褐色粘質シルト(10YR7/6　明黄褐色粘土5%混)



SD7
1. 2.5Y3/2　黒褐色粘質シルト(2.5Y6/3　にぶい黄色粘質シルト3%・炭化物混)
2. 2.5YR6/3　にぶい黄色粘土(2.5Y3/1　黒褐色粘質シルト5%ブロック状に混,
2.5Y3/2　黒褐色粘質シルト5%混)



2

SD10
I層. 10YR2/2　黒褐色粘質シルト(2.5Y5/4　黄褐色シルト10%混)
1. 10YR2/3　黒褐色粘質シルト

0　1：40　2m
1：200　10m

第63図　遺構実測図

1. SD2・SD7　2. SD10

488号溝（ＳＤ488，第62図）

調査区北半に位置する東西方向の溝で，幅0.33m，深さ0.17mを測る。埋土は暗褐色シルトの単層である。ＳＢ１の梁行と並行する溝で，柱列からは約２m離れているが，ＳＢ１の雨落ち溝になる可能性がある。出土遺物はなく，詳細な時期の特定はできない。

656号溝（ＳＤ656，第64～66図，図版16・35・36・38・47・49・50・62・63）

調査区北半に位置する南北方向の溝で，調査区中央から調査区外西側の段差下へ延びると推定される。最大幅1.64m，深さ0.63mを測り，埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトの単層で，少量の炭化物が混じる。ＳＤ656はＳＤ795とほぼ併走する溝で，区画溝の可能性がある。遺物は土師器（449），須恵器（446～448），珠洲（450～452），白磁，八尾，鉄滓（471～473）が出土している。449は13世紀前半頃の土師器皿である。珠洲は擂鉢・甕があり，450はやや内湾気味に立ち上がる器体の擂鉢で，451・452はやや長めの口頸が弧状に外反する口縁の甕で，いずれもⅠ～Ⅱ期に相当すると思われる。遺物は12世紀後半～13世紀前半のものを主体とし，ＳＤ656は中世の溝と考える。

669号溝（ＳＤ669，第62・65図，図版36・49）

調査区北半に位置する南北方向の溝で，Ｙ85ラインに沿うように直線的に延びている。幅0.40m，深さ0.13mを測り，埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトの単層である。ＳＤ751に切られているが，ＳＰ660（ＳＢ２）・ＳＫ661・ＳＫ723を切っている。ＳＤ669は区画溝と考えられるＳＤ656・ＳＤ795の間にあり，両者と併走している。また，ＳＤ722とも併走しており，集落内の小路のような道路状遺構の側溝になる可能性がある。遺物は土師器，須恵器（453），灰釉陶器（454）がある。

722号溝（ＳＤ722，第62図）

調査区北半に位置する南北方向の溝で，幅0.52m，深さ0.25mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトの単層である。ＳＤ669・ＳＤ751と併走しており，道路状遺構の側溝になる可能性がある。遺物は土師器，須恵器があるが，小片で時期の特定はできない。

751号溝（ＳＤ751，第62図）

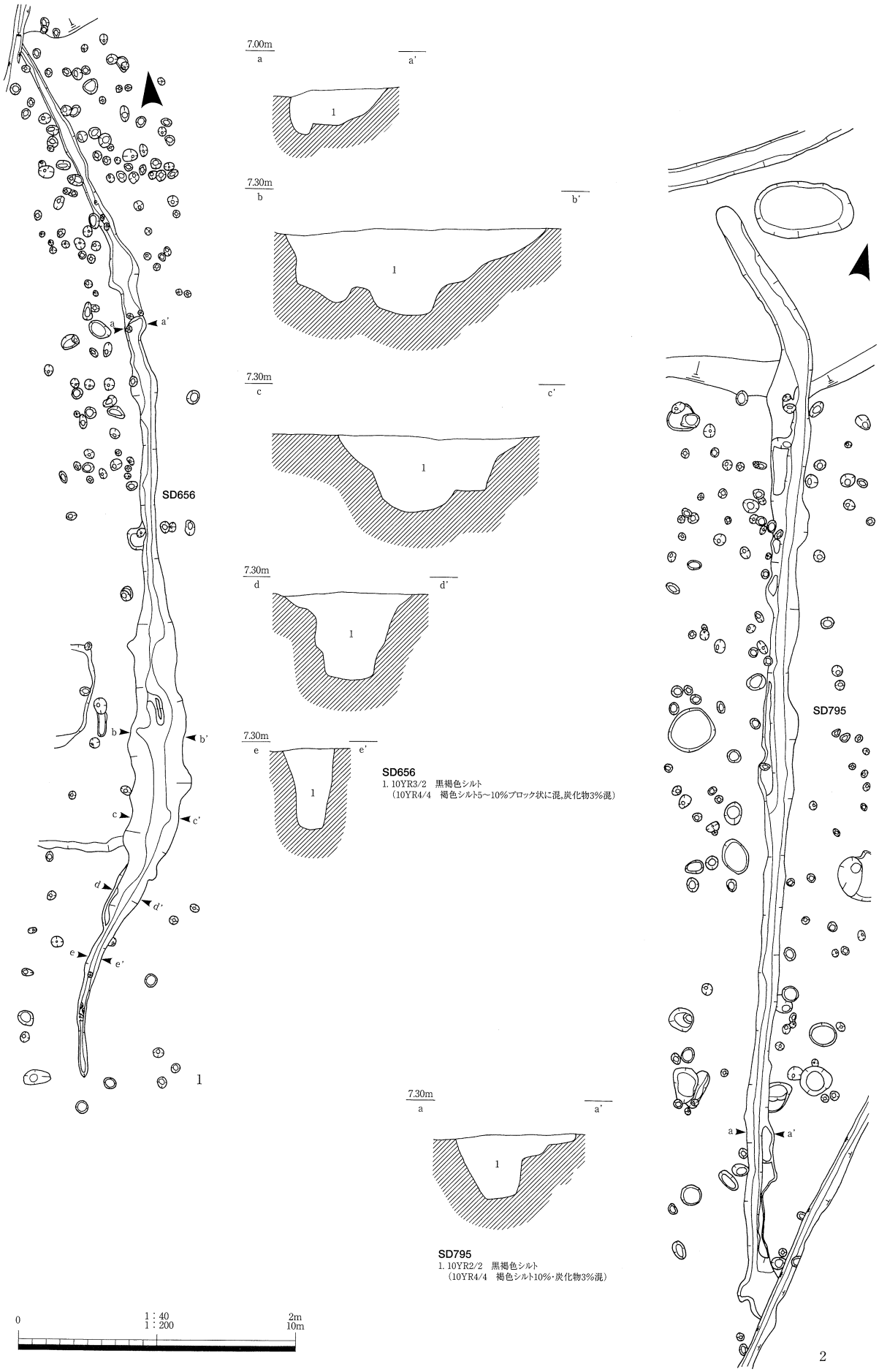
調査区北半に位置する南北方向の溝で，幅0.35m，深さ0.07mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトの単層である。約18mの不連続な溝で，ＳＤ722と併走しており，道路状遺構の側溝になる可能性がある。ＳＤ669・ＳＰ660（ＳＢ２）を切っている。出土遺物はない。

795号溝（ＳＤ795，第64～66図，図版16・35・36・38・46・49・62・63）

調査区北半に位置する南北方向の溝で，調査区外東側に延びる。最大幅1.60m，深さ0.44mを測り，埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトの単層で，少量の炭化物を含む。ＳＤ795は段差下まで延び，北端は浅くなって終わっているが，ＳＤ２に合流していたと推定される。ＳＤ656とほぼ併走しており，中世の区画溝の可能性がある。遺物は土師器（462・465・466），須恵器（455～461・463・464），珠洲（467・468），鉄滓（474・475）が出土している。462は土師器椀の底部で，糸切り痕が残るもの。455～457は須恵器杯蓋，458は壺蓋，459～461・463は杯で，８世紀後半～９世紀前半頃のもの。464は双耳瓶の耳で，９世紀後半頃のものである。465・466の土師器皿はいずれも13世紀代のものである。

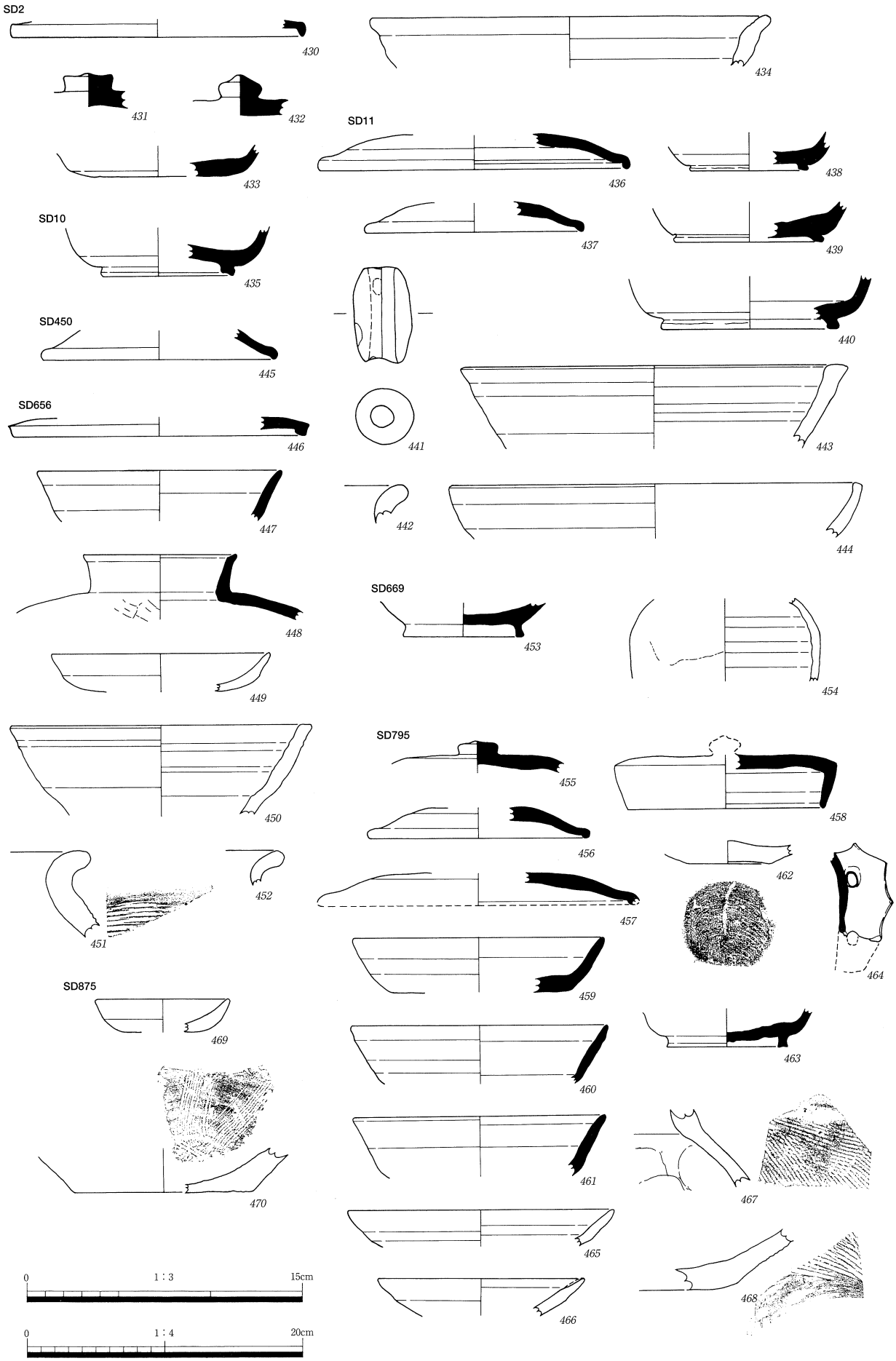
875号溝（ＳＤ875，第62・65図，図版16・48・50）

調査区北半に位置する弧状の溝で，調査区外西側に延びる。幅0.87m，深さ0.22mを測り，埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトの単層で，少量の炭化物を含む。ＳＤ876に切られている。ＳＤ875は竪穴状土坑ＳＸ1344の北壁中央から弓なりに延びており，断面観察から切り合い関係は認められなかった。ＳＸ1344とは一連の遺構と考えられ，ＳＸ1344の排水施設の可能性がある。遺物は土師器



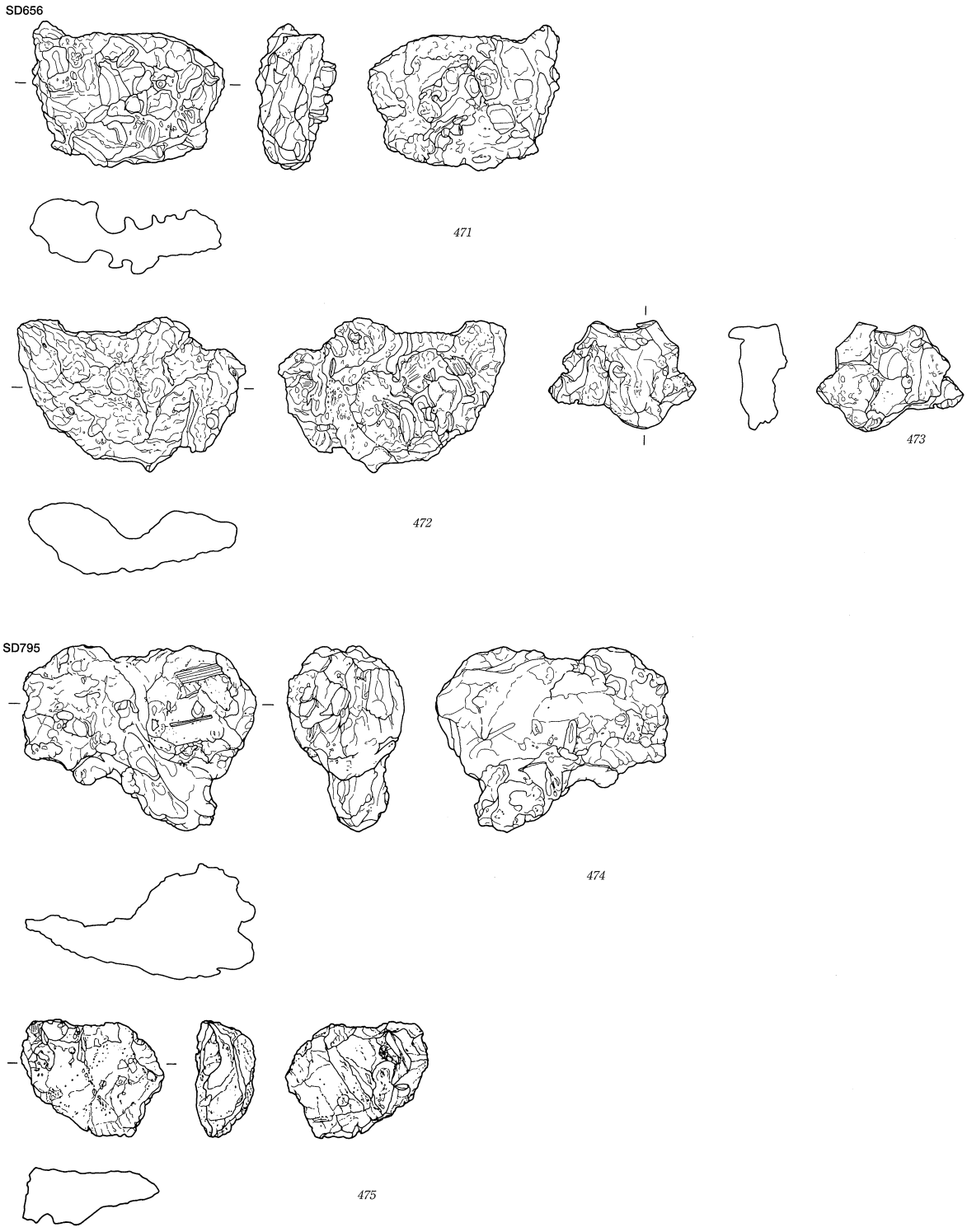
第64図　遺構実測図

1. SD656　2. SD795



第65図　遺構実測図　(*430～433・435～441・445～447・449・453～463・465・466・469*　1/3,　*434・442～444・448・450～452・464・467・468・470*　1/4)

SD2(*430～434*)　SD10(*435*)　SD11(*436～444*)　SD450(*445*)　SD656(*446～452*)　SD669(*453・454*)　SD795(*455～468*)　SD875(*469・470*)



第66図　遺構実測図　(1/3)

SD656(*471*～*473*)　SD795(*474*・*475*)

(469)，須恵器，珠洲（470）が出土している。469は13世紀中頃のもので，470は入り組み技法による卸目を施文した擂鉢で，Ⅱ期のものと思われる。

876号溝（ＳＤ876，第62図）

調査区北半に位置する南北方向の溝で，幅0.37m，深さ0.07mを測る浅い溝である。埋土は黒褐色シルトの単層で，少量の炭化物を含む。ＳＫ953に切られているが，ＳＤ875・ＳＸ1344・ＳＫ838を切っている。遺物は土師器があるが，時期の特定はできない。

井戸

43号井戸（ＳＥ43，第67・69図，図版17・45・46）

調査区南半に位置する素掘りの井戸である。掘形は径1.43mの円形で，深さ1.36mを測り，断面は逆台形状になる。埋土は浅黄色シルト混じりの黒褐色粘質シルトの単層である。シルト層を掘り抜き，礫層まで達している。ＳＢ30の内部に位置するが，ＳＥ43を囲むようにＳＢ５・ＳＢ13・ＳＢ31があり，建物との関係は不明である。遺物は土師器（477～480），須恵器（476）が出土している。476は杯で９世紀代のもの。478・479は土師器椀，480は皿で，いずれも12世紀前半頃のもの。479は糸切り痕を残す柱状高台である。480は完形の皿で，底面付近から出土しており，井戸を廃棄する際の祭祀に用いられた可能性がある。

165号井戸（ＳＥ165，第67・70図，図版17・61）

調査区南半に位置する素掘りの井戸である。掘形は長軸1.09m，短軸0.82mの楕円形で，深さ1.20mを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色シルトの単層で，拳大から径15cmほどの礫が混じる。ＳＥ165の東南4.5mにはＳＥ167・ＳＢ６があるが，ＳＥ165の周辺は遺構がやや散漫で，建物等との関係は不明である。遺物は土師器，須恵器，砥石（507）が出土しているが，時期の特定はできない。

167号井戸（ＳＥ167，第67・69・70図，図版17・35・38・48・63・64）

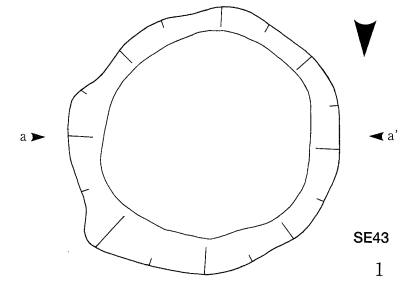
調査区南半に位置する素掘りの井戸である。掘形は長さ1.10m，幅1.27mの平面不整形で，深さは1.33mを測る。埋土は灰黄色シルトがブロック状に混じる黒褐色粘質シルトで，断面は逆台形を呈している。ＳＥ167の約１m南側にはＳＢ６があり，ＳＢ６内部には鍛冶に関連した可能性が考えられる土坑が複数ある。ＳＥ167からは羽口や鉄滓が出土していることから，これらの土坑と同時期の井戸で，ＳＢ６に伴う可能性がある。遺物は土師器（484～486），須恵器（481・482・487），珠洲（483），羽口，鉄滓（509）が出土している。483は珠洲のロクロ成形（Ｒ種）の小壺で，無耳素文のＢ類に相当し，時期は13世紀前半頃のものと思われる。485は鉢または盤の口縁部片である。509は椀形滓で丸い椀状の底部に３cm代ほどの石が付着している。図示したもの以外にも鉄滓や炉壁がまとまって出土しており，分析の結果，精錬鍛冶（大鍛冶）が行われていたものと推察されている[注3]。

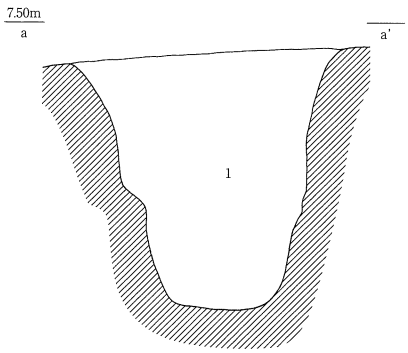
260号井戸（ＳＥ260，第67・69・70図，図版17・61）

調査区南半に位置する素掘りの井戸である。掘形は径0.97mの円形を呈し，深さは1.06mを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色シルトで，炭化物を少量含む。ＳＢ14～ＳＢ16，ＳＡ１と近接しており，これらの建物に伴う可能性がある。遺物は土師器（489），須恵器（488），砥石（508）が出土している。489は椀底部で糸切り痕が残り，10世紀～11世紀頃のものと思われる。508は長さ9.64cm，幅13.41cm，厚さ4.42cmの大型品で，石材は砂岩で荒砥に用いられたと推測される。

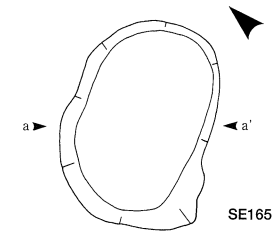
486号井戸（ＳＥ486，第67・69図，図版18・46・47）

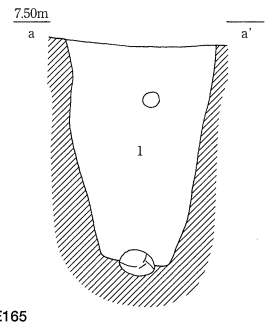
調査区中央に位置する素掘りの井戸である。掘形平面は方形を呈し，長さ0.97m，幅1.13m，深さ1.18mを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒色シルトである。ＳＢ21の内部に位置しているが，周



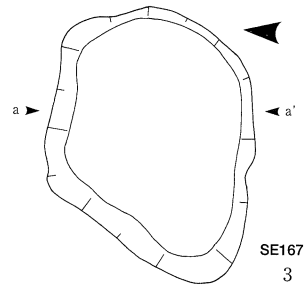


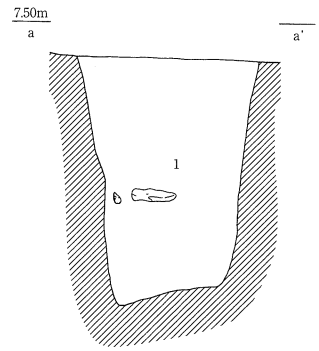
SE43
1. 10YR3/1　黒褐色粘質シルト(2.5Y7/3　浅黄色シルト3%混)



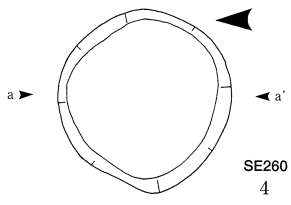


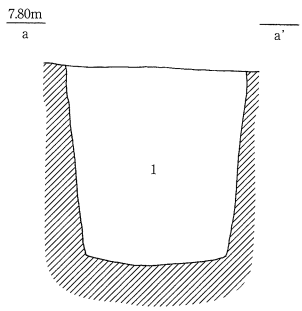
SE165
1. 10YR2/2　黒褐色シルト(2.5Y7/2　灰黄色シルト1%混)



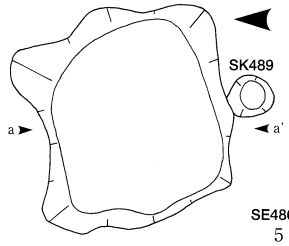


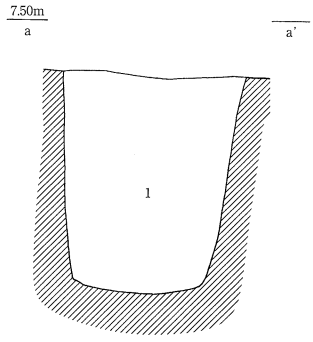
SE167
1. 10YR2/2　黒褐色粘質シルト(2.5Y7/2　灰黄色シルト10%
ブロック状に混)



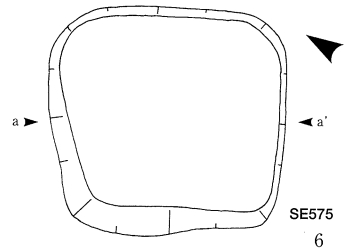


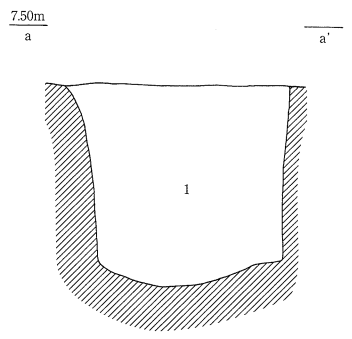
SE260
1. 10YR2/2　黒褐色シルト(2.5Y7/2　灰黄色シルト5%・炭化物1%混)



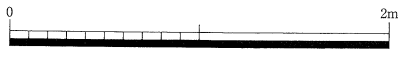


SE486
1. 10YR2/1　黒色シルト(2.5Y7/2　灰黄色シルト3%混)





SE575
1. 10YR2/1　黒色シルト(10YR4/4　褐色シルト3%・炭化物1%混)



第67図　遺構実測図

1. SE43　2. SE165　3. SE167　4. SE260　5. SE486　6. SE575

囲には複数の建物があり，どの建物に伴うかは不明である。遺物は土師器（490・491），須恵器（492），珠洲が出土している。490は土師器皿で11世紀末～12世紀前半頃，491は椀底部で12世紀前半頃のものと思われ，いずれも底部に糸切り痕が残る。

575号井戸（ＳＥ575，第67・69図）

調査区中央に位置する素掘りの井戸である。掘形は長さ1.25m，幅1.18m，深さ1.07mを測り，平面方形を呈している。埋土は褐色シルト混じりの黒色シルトで，炭化物を少量含む。ＳＥ575はＳＢ22の内部に位置するが，ＳＢ22の柱穴を切っており，ＳＢ22より新しい時期のものである。周囲には複数の建物があるが，どの建物に伴うかは不明である。遺物は土師器，須恵器（493），鉄滓が出土している。

781号井戸（ＳＥ781，第68・69図，図版18・49）

調査区北半に位置する素掘りの井戸である。掘形は径1.05mの円形で，深さ1.36mを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色粘質シルトで，少量の炭化物を含み，粘土層を掘り抜いて礫層まで達している。ＳＥ781はＳＢ４の北側に近接し，周囲には複数の建物（ＳＢ32～ＳＢ34）があるが，建物との関係は不明である。遺物は土師器，須恵器（494），珠洲（495）が出土している。494は８世紀代の皿と思われる。495は口頸部がコの字状に屈曲し，端部を小さく挽きだした甕で，Ⅰ～Ⅱ期に相当すると思われる。

799号井戸（ＳＥ799，第68図）

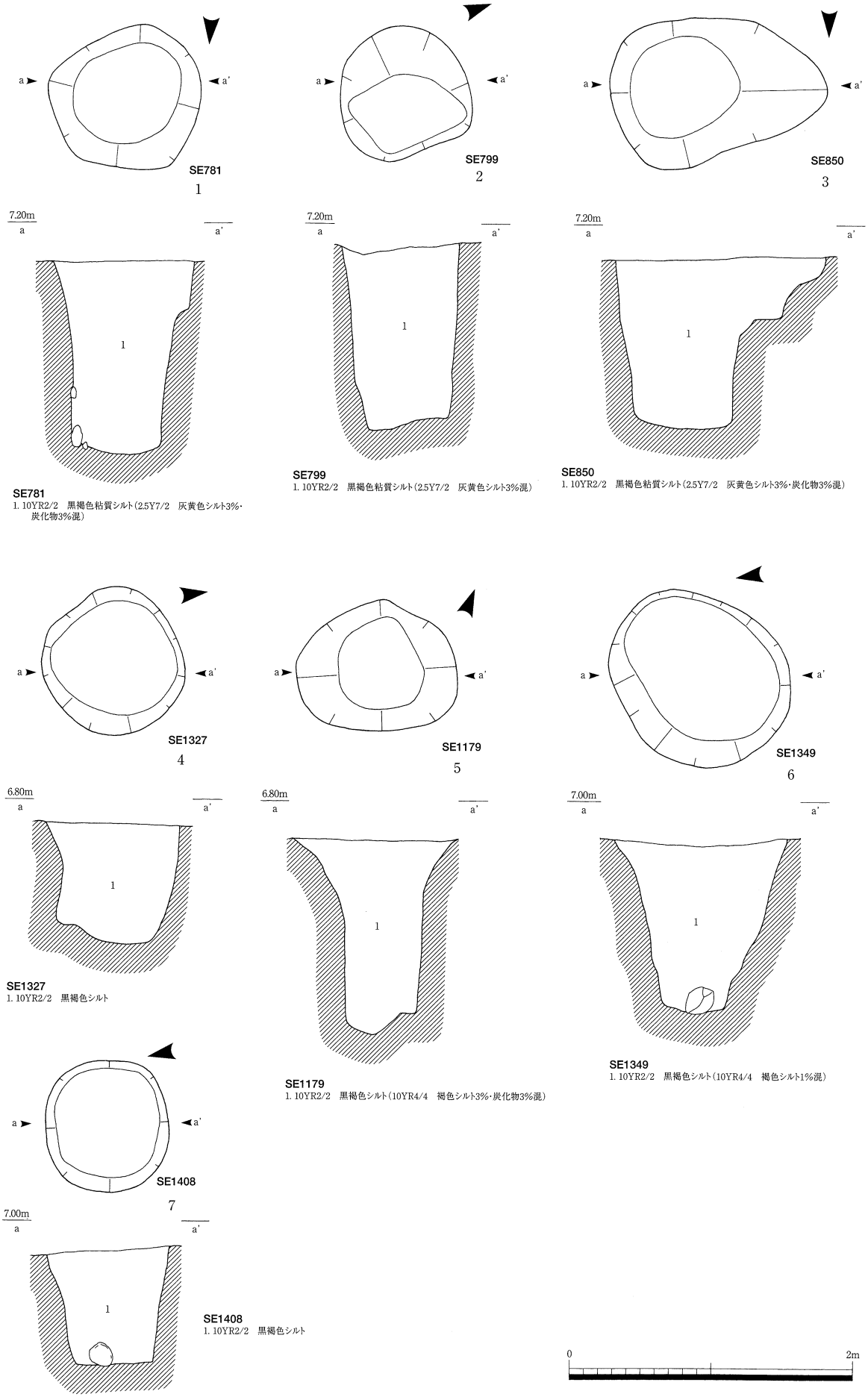
調査区中央に位置する素掘りの井戸である。掘形は径0.92mの円形を呈し，深さは1.28mを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色粘質シルトである。ＳＥ799はＳＢ28・ＳＢ29に近接しており，いずれかの建物に伴うと考えられる。出土遺物はなく，時期の特定はできない。

850号井戸（ＳＥ850，第68・69図，図版36）

調査区北半に位置する素掘りの井戸である。掘形は長さ1.53m，幅1.00mの不整形で，深さは1.20mを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色粘質シルトで，少量の炭化物を含む。ＳＥ850の西側は井壁の中位から階段状の段差を持ち緩やかに開いている。他の13基の井戸は円筒状あるいは擂鉢状であり，階段状の段差を持つものはＳＥ850だけである。井壁の崩壊の可能性も考えられるが，他の井戸では崩壊の痕跡がみられないことから，人為的なものと考える。ＳＥ850はＳＢ33・ＳＢ34の柱穴を切っており，これらの建物よりも新しい時期のものである。遺物は須恵器（496・497），珠洲が出土している。496は杯Ａで，底部は平坦で体部との境が明瞭な器形をもつもので，８世紀後半～９世紀頃のものと思われる。

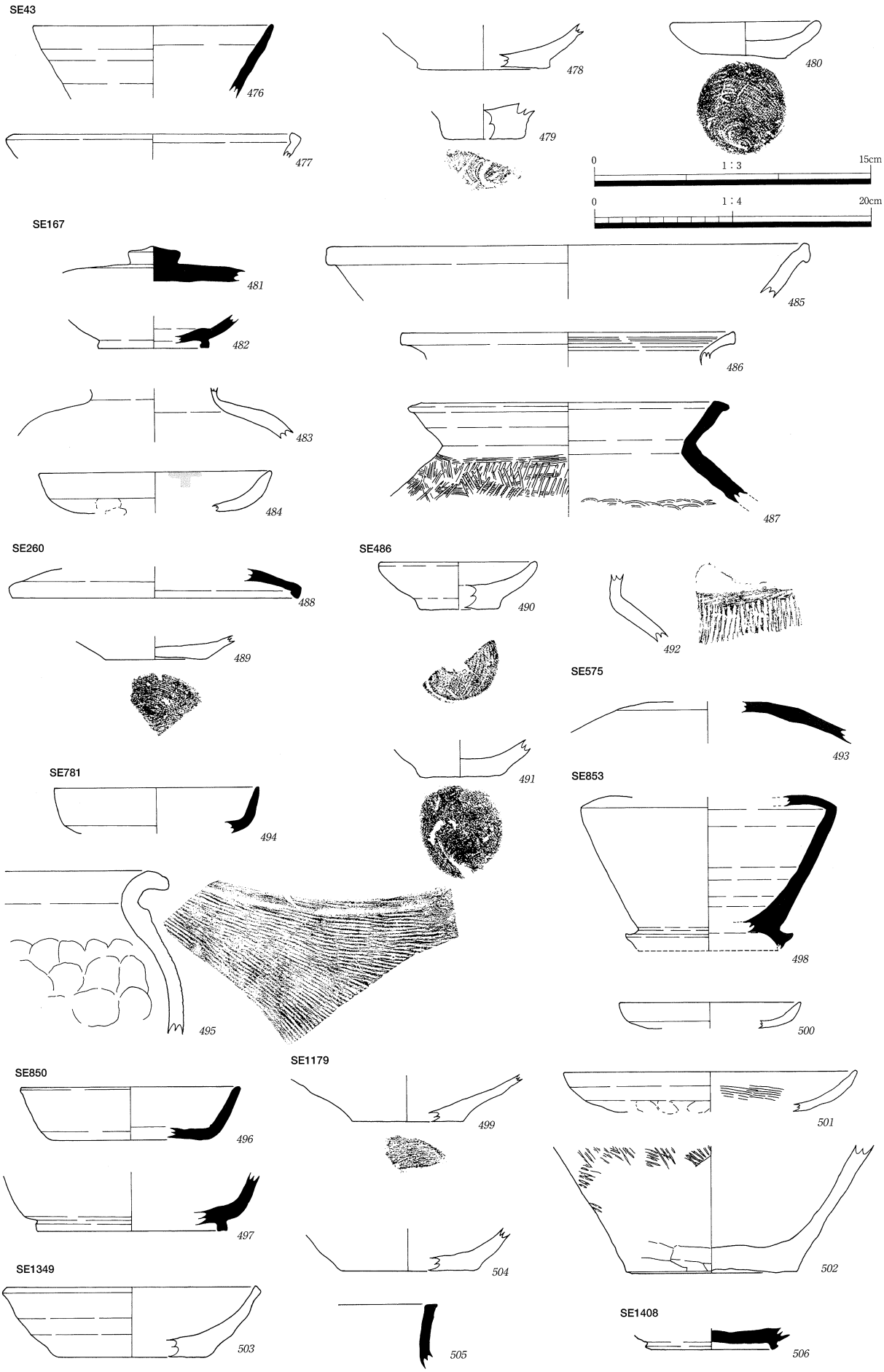
853号井戸（ＳＥ853，第69・70・76図，図版38・63）

調査区北半に位置する素掘りの井戸である。掘形は径1.13mの円形で，深さ0.83mを測る。深さは他の井戸が１mをこえるものが大半なのに対しやや浅いが，調査時に湧水が認められたため井戸とした。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，少量の炭化物を含む。ＳＢ32の内部に位置しており，ＳＢ32に伴う可能性がある。遺物は須恵器（498），鉄滓（510）が出土している。498は長頸瓶の体部で，内面の釉の範囲から細頸と思われる。510は椀形滓で，２～３回分が溶着したと思われるものである。一般的には１回の操業で椀形滓は炉床から除去されることが多いが，510は２枚ないし３枚が重なっており，同一の炉での連続した操業を示すものである。



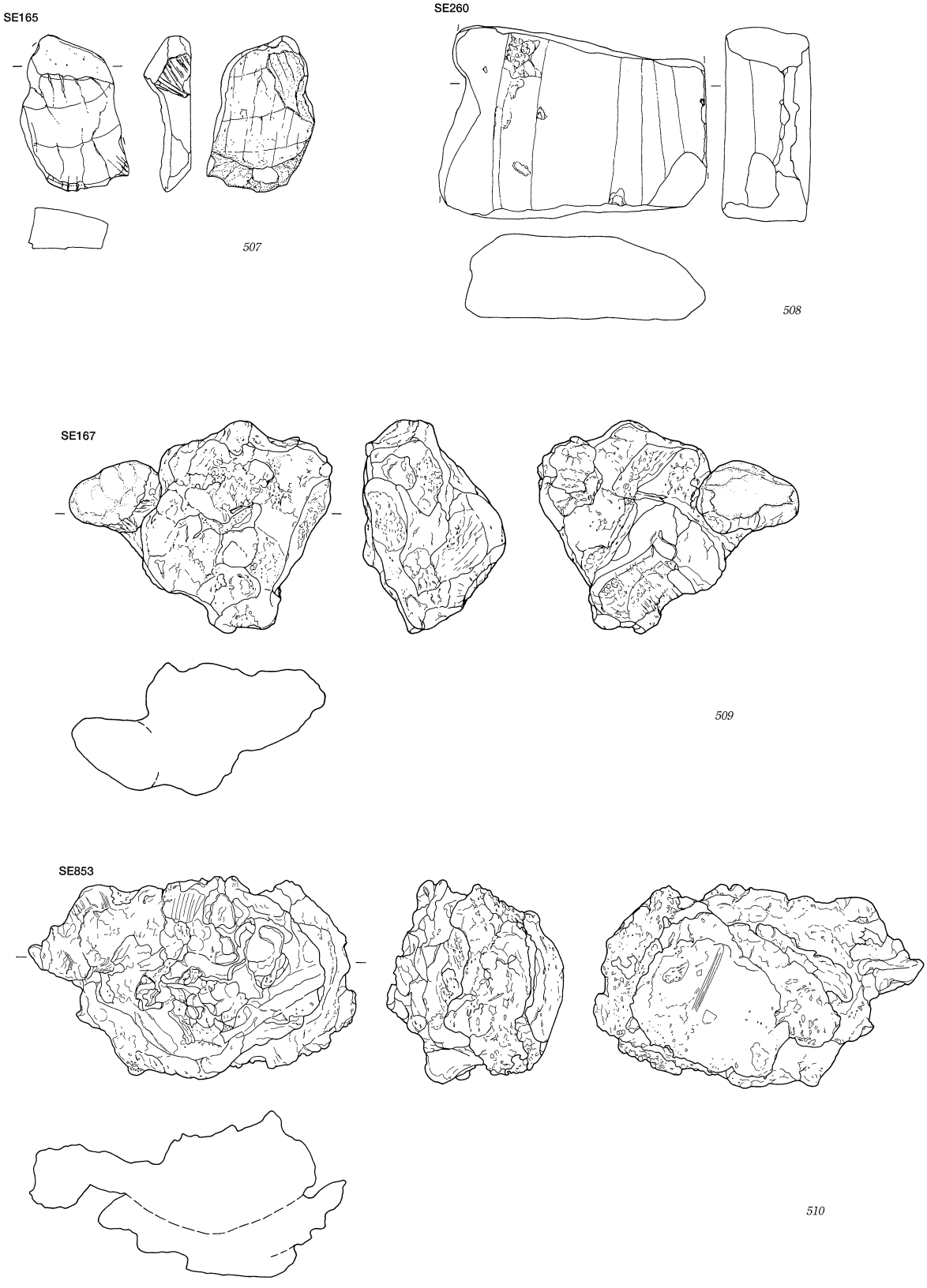
第68図　遺構実測図

1. SE781　2. SE799　3. SE850　4. SE1327　5. SE1179　6. SE1349　7. SE1408



第69図　遺物実測図　（*476・478～482・484・488～491・493・494・496・497・499～501・503・504・506*　1/3,
477・483・485　～487・492・495・498・502・505　1/4）

SE43（*476～480*）　SE167（*481～487*）　SE260（*488・489*）　SE486（*490～492*）　SE575（*493*）　SE781（*494・495*）
SE850（*496・497*）　SE853（*498*）　SE1179（*499～502*）　SE1349（*503～505*）　SE1408（*506*）



第70図　遺物実測図　(1/3)

SE165(*507*)　SE167(*509*)　SE260(*508*)　SE853(*510*)

1179号井戸（ＳＥ1179，第68・69図，図版38・46～48）

調査区北半の段差際に位置する素掘りの井戸である。掘形は長軸1.13m，短軸0.93mの平面楕円形を呈し，深さは1.44mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，少量の炭化物を含む。断面は上場が開いた漏斗状である。ＳＥ1179の周囲には複数の建物（ＳＢ37～ＳＢ41）があるが，柱穴との切り合い関係やＳＥ1179がＳＢ41の内部に位置することから，ＳＢ41に伴う可能性が高いと考える。遺物は土師器（499～501），珠洲（502）が出土している。499は椀の底部で，糸切り痕が残り10世紀～11世紀頃のもの。500・501は土師器皿で，13世紀前半～中頃のものと思われる。501は二段ナデで，内面にハケ状ナデを施した大型の皿で，13世紀前半頃のものか。502は壺の底部で，ＳＥ1179の底面付近から出土したもので，Ⅱ期に相当すると思われる。

1327号井戸（ＳＥ1327，第68図）

調査区北半に位置する素掘りの井戸である。掘形は径1.06mの円形で，深さは0.84mを測る。深さはＳＥ853と同様にやや浅めであるが，湧水が認められたので井戸とした。埋土は黒褐色シルトの単層である。ＳＥ1327の周囲にはＳＢ42～ＳＢ44の３棟の建物があるが，建物との関係は不明である。遺物は土師器，須恵器があるが，時期の特定はできない。

1349号井戸（ＳＥ1349，第68・69図）

調査区北半に位置する素掘りの井戸である。掘形は長軸1.27m，短軸0.71mの楕円形を呈し，深さは1.19mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，拳大から15cm代ほどの礫が混じり，断面は逆台形を呈する。ＳＢ42・ＳＢ43の南側に近接し，これらの建物に伴う可能性がある。遺物は土師器（503・504），須恵器（505），鉄滓が出土している。503・504は皿・椀で，12世紀前半～13世紀にかけてのものと思われる。505は壺の口縁である。

1408号井戸（ＳＥ1408，第68・69図，図版18）

調査区北半に位置する素掘りの井戸である。掘形は径0.92mの円形で，深さは0.83mを測る。深さはＳＥ853と同様にやや浅めであるが，湧水が認められたので井戸とした。埋土は黒褐色シルトの単層で，拳大から15cm代ほどの礫が混じる。ＳＥ1349の南東約2.5mに位置しており，ＳＢ42・ＳＢ43とも近接しているが，建物との関係は不明である。遺物は土師器，須恵器（506）が出土している。

土坑

３号土坑（ＳＫ３，第71・79図，図版46・49）

調査区北半の段差下に位置する。掘形は長軸2.08m，短軸3.50mの楕円形で，深さは0.55mを測る。埋土は浅黄色粘土混じりの黒色粘質シルトで，少量の炭化物を含む。遺物は縄文土器・土師器（512），須恵器（511），白磁（513・514）が出土している。縄文土器は小片で，混入品と考えられる。511は瓶類の底部で，糸切り痕が残り，外面手持ちケズリが施される９世紀後半頃のものである。512はやや厚みのある椀底部で，12世紀前半頃のものと思われる。513・514は白磁椀で，太宰府の分類[注4]によると513は玉縁口縁のⅣ類，514はⅡ類に相当すると思われ，12世紀末から13世紀頃のもの。

４号土坑（ＳＫ４，第71図）

調査区北半の段差下に位置する。掘形は径0.66mの円形で，深さは0.17mを測る。埋土はにぶい黄色粘土混じりの黒色シルト単層である。遺物は須恵器が出土しているが，時期の特定はできない。

６号土坑（ＳＫ６，第71・79図，図版46～48）

調査区北半の段差下に位置する。掘形は長軸1.14m，短軸0.89mの楕円形で，深さ0.67mを測る。ＳＤ７が調査区外西側より流れ込んでいる。埋土は灰オリーブ色シルト混じりの黒色粘質シルトと黄

褐色シルト混じりの黒色粘質シルトの二層で，少量の炭化物を含む。上層は粘性の強い黒褐色粘質シルトがブロック状に混じり，ＳＤ７が流れ込む西側に厚く堆積している。遺物は土師器（516～518），須恵器（515）が出土している。516は糸切り痕が残る椀底部で12世紀前半頃のもの，517・518は皿で，517は13世紀前半，518は低い柱状高台を持つ皿で11世紀末～12世紀前半頃のものと思われる。

８号土坑（ＳＸ８，第72・79図，図版18・36・62・64）

調査区中央部に位置する大型の土坑である。掘形は長さ4.20m，幅2.93mのやや歪んだ長方形で，深さは0.33mを測る。埋土は黒褐色シルトを主体とし，中央やや北東よりの穴（断面の４層）付近はやや硬化しており，５・６層は貼床の可能性がある。ＳＫ421に切られているが，ＳＫ420・ＳＢ21の柱穴を切っている。掘立柱建物に土間などとして伴う竪穴状土坑[注5]の可能性がある。ＳＸ８の東側は直線的で，東南側に近接するＳＢ17の柱列の延長上にあり，ＳＢ17に伴う土坑の可能性も考えられるが，建物との関係は不明である。遺物は土師器，須恵器（519～521），灰釉陶器，羽口，鉄滓が出土している。521は８世紀後半代のものであろう。ＳＸ８からは比較的まとまって鉄滓が出土しており，分析の結果[注6]，砂鉄系製錬滓と推定され，羽口の耐火度も製錬工程の送風に十分耐えられるもので，砂鉄を原料とした製錬鍛冶が行われていたと推察されている。また，縄文時代のＳＸ９と一部重複するため，埋土に縄文土器や石器が混じる。

17号土坑（ＳＫ17，第71図）

調査区南半のＳＢ13の南側に位置する。掘形は長軸0.50m，短軸0.28mの楕円形で，深さ0.20mを測る。埋土は浅黄色シルト混じりの黒色シルトの単層である。遺物は土師器が出土しているが，時期の特定はできない。

19号土坑（ＳＫ19，第71・79図）

調査区南半のＳＤ11の北岸に位置する。掘形は長軸0.58m，短軸0.42mの楕円形で，深さ0.32mを測る。埋土は黒色シルトの単層である。ＳＫ19はＳＫ118・ＳＫ117・ＳＫ115とＳＤ11の北岸に直線上に並んでおり，ＳＤ11に面した柵列になる可能性がある。遺物は土師器（522），鉄滓が出土している。522は口縁端部が肥厚し，上下に拡張した甕で，８世紀後半頃のものと思われる。

21号土坑（ＳＫ21，第71図）

調査区南半のＳＢ13の南東角に位置する。掘形は径0.35mの円形で，深さ0.20mを測る。埋土は黒褐色シルトと灰黄色シルトで，１層の黒褐色シルトは柱痕跡の可能性があり，柱穴になると思われる。ＳＫ17とほぼ直線上に並ぶことから，ＳＢ13の庇になる可能性もある。遺物は土師器，鉄滓が出土しているが，時期の特定はできない。

44号土坑（ＳＫ44，第71・79図）

調査区南半のＳＢ30内に位置する。掘形は長軸0.52m，短軸0.42mの楕円形で，深さ0.30mを測る。埋土は浅黄色シルト混じりの黒褐色シルトで，少量の炭化物が混じる。遺物は土師器・須恵器（523）が出土している。523は器壁がやや厚く，８世紀後半のものと思われる。

60号土坑（ＳＫ60，第71図）

調査区南半のＳＢ30の北側に位置する。掘形は長軸1.30m，短軸0.87mの楕円形で，深さは0.76mを測り，断面は逆台形を呈する。埋土は灰黄色シルト混じりの黒色粘質シルトの単層である。遺物は土師器が出土しているが，時期の特定はできない。

63号土坑（ＳＫ63，第71図）

調査区南半のＳＢ31の北西角に位置する。掘形は長軸0.42m，短軸0.31mの楕円形で，深さ0.27mを

測る。埋土は黒色シルトと浅黄色シルト混じりの褐灰色シルトで，１層の黒色シルトは柱痕跡と考えられ，柱根直径は約0.10mと推定される。建物プランは不明だが，柱穴になると思われる。遺物はなく，時期は不明である。

70号土坑（ＳＫ70，第79図，図版62）

調査区南半のＳＢ６内部に位置する。掘形は径0.63mの円形で，深さ0.31mを測る。埋土は浅黄色シルト混じりの黒褐色シルトの単層である。遺物は土師器，鉄滓（525）が出土している。ＳＢ６の建物内部には鉄滓や羽口をまとまって出土する土坑が複数あり，ＳＫ70もその内の一つと考えられ，鍛冶に関連した遺構の可能性がある。

127号土坑（ＳＫ127，第71図）

調査区南半のＳＢ６内部に位置する。掘形は長さ0.62m，幅0.49mの不整形で，深さは0.31m。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，少量の炭化物を含む。遺物は須恵器，鉄滓が出土している。ＳＫ127周辺ではＳＫ89・ＳＫ142・ＳＫ143・ＳＫ389・ＳＫ390・ＳＫ392の鉄滓・羽口などを出土する遺構が密集しており，ＳＫ70と同様に鍛冶に関連したと思われる遺構で，ＳＢ６に伴うと考える。

136号土坑（ＳＫ136，第79図，図版62）

調査区南半のＳＢ６の北側に位置する。掘形は径0.30mの円形で，深さ0.15mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトの単層である。遺物は土師器，鉄滓（526）が出土している。ＳＫ136の南側約４mにはＳＢ６があり，ＳＢ６周辺では鉄滓や羽口など鍛冶に関連した遺物がまとまって出土する土坑が複数あり，ＳＫ136もこれらと同様な鍛冶に関連した土坑の可能性がある。

156号土坑（ＳＫ156，第71・79図）

調査区南半のＳＢ８の南側に位置する。掘形は径0.66mの円形で，深さ0.30mを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色シルトと暗灰黄色シルトの二層である。遺物は土師器，須恵器（524）が出土している。524は広口壺などの壺類の口縁と思われる。

159号土坑（ＳＫ159，第72・79図，図版35）

調査区南半のＳＢ８の南西角に位置する。掘形は長軸0.45m，短軸0.37mの楕円形で，深さ0.14mを測る。埋土は黒褐色シルトと灰黄褐色シルトである。遺物は須恵器（527）が出土している。

174号土坑（ＳＫ174，第71・79図）

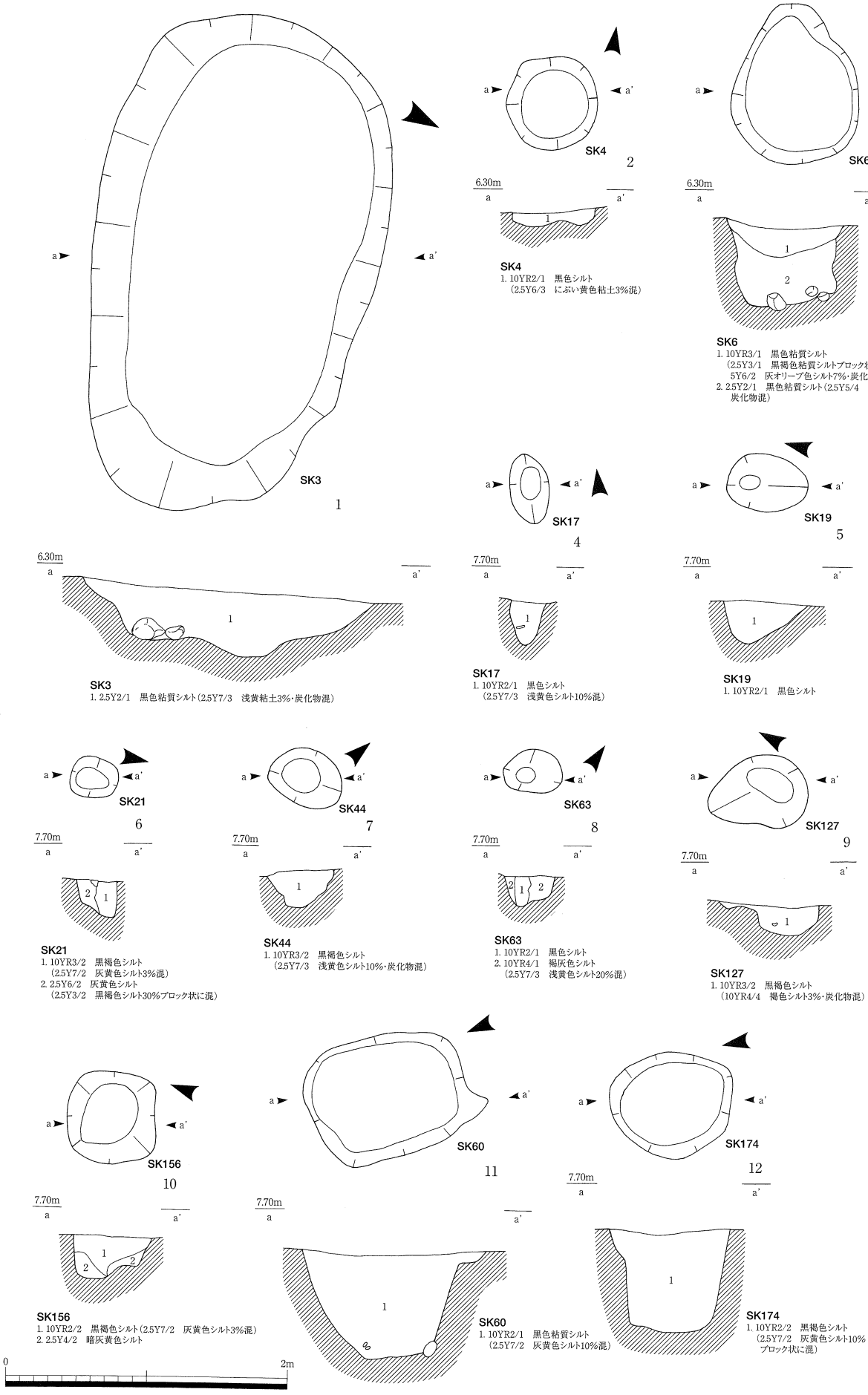
調査区南半のＳＢ10の南側に位置する。掘形は長軸0.87m，短軸0.77mの円形に近い楕円形で，深さ0.74mを測る。埋土は灰黄色シルトがブロック状に混じる黒褐色シルトである。遺物は土師器（528），須恵器（529）が出土している。528は口縁端部を面取りし方形に仕上げた甕で，８世紀後半～９世紀代のものと思われる。ＳＫ174からは図示したもの以外に土師器甕・鍋等の煮炊具がまとまって出土している。

175号土坑（ＳＫ175，第72図）

調査区南半のＳＢ９の南東角に位置する。掘形は長軸0.96m，短軸0.66mの楕円形で，深さ0.42mを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色シルトの単層である。ＳＫ175はＳＢ９の柱穴ＳＰ175を切っている。遺物は土師器，須恵器が出土しているが，時期の特定はできない。

184号土坑（ＳＫ184，第72・79図）

調査区南半のＳＢ９の西側に位置する。掘形は長軸0.52m，短軸0.42mの楕円形で，深さ0.28mを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は須恵器（530）が出土している。



SK3
1. 2.5Y2/1　黒色粘質シルト(2.5Y7/3　浅黄粘土3%・炭化物混)

SK4
1. 10YR2/1　黒色シルト
(2.5Y6/3　にぶい黄色粘土3%混)

SK6
1. 10YR3/1　黒色粘質シルト
(2.5Y3/1　黒褐色粘質シルトブロック状に30%混,
5Y6/2　灰オリーブ色シルト7%・炭化物混)
2. 2.5Y2/1　黒色粘質シルト(2.5Y5/4　黄褐色シルト3%・
炭化物混)

SK17
1. 10YR2/1　黒色シルト
(2.5Y7/3　浅黄色シルト10%混)

SK19
1. 10YR2/1　黒色シルト

SK21
1. 10YR3/2　黒褐色シルト
(2.5Y7/2　灰黄色シルト3%混)
2. 2.5Y6/2　灰黄色シルト
(2.5Y3/2　黒褐色シルト30%ブロック状に混)

SK44
1. 10YR3/2　黒褐色シルト
(2.5Y7/3　浅黄色シルト10%・炭化物混)

SK63
1. 10YR2/1　黒色シルト
2. 10YR4/1　褐灰色シルト
(2.5Y7/3　浅黄色シルト20%混)

SK127
1. 10YR3/2　黒褐色シルト
(10YR4/4　褐色シルト3%・炭化物混)

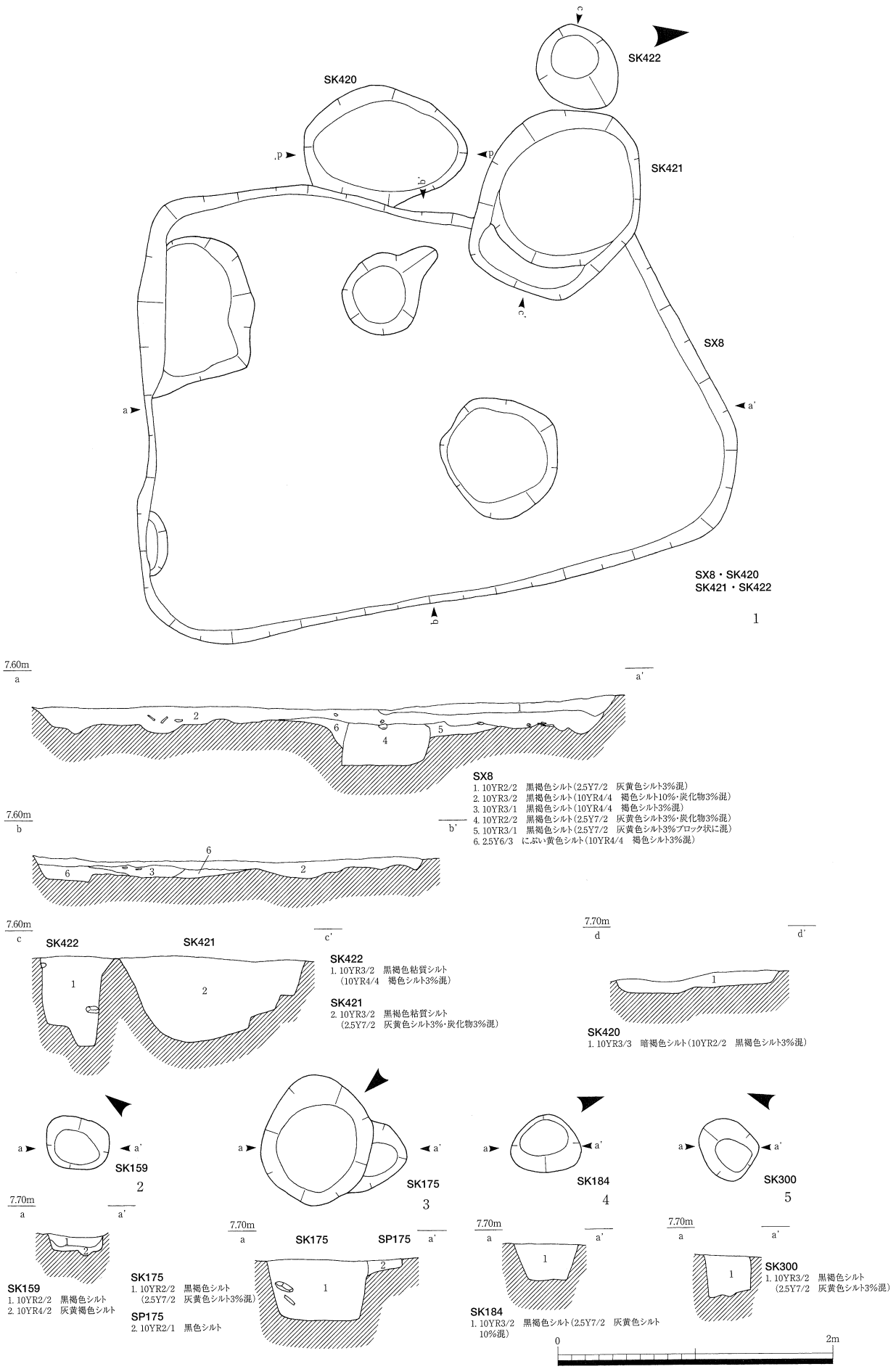
SK156
1. 10YR2/2　黒褐色シルト(2.5Y7/2　灰黄色シルト3%混)
2. 2.5Y4/2　暗灰黄色シルト

SK60
1. 10YR2/1　黒色粘質シルト
(2.5Y7/2　灰黄色シルト10%混)

SK174
1. 10YR2/2　黒褐色シルト
(2.5Y7/2　灰黄色シルト10%
ブロック状に混)

第71図　遺構実測図

1. SK3　2. SK4　3. SK6　4. SK17　5. SK19　6. SK21　7. SK44　8. SK63　9. SK127　10. SK156　11. SK60
12. SK174



第72図　遺構実測図

1. SX8・SK420・SK421・SK422　2. SK159　3. SK175　4. SK184　5. SK300

300号土坑（ＳＫ300，第72図）

調査区南半のＳＢ10の東側に位置する。掘形は径0.46ｍの円形で，深さ0.30ｍを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は土師器が出土しているが，時期の特定はできない。

315号土坑（ＳＫ315，第73・80図，図版36）

調査区南半のＳＢ11内部に位置する。掘形は長軸0.46ｍ，短軸0.37ｍの楕円形で，深さ0.31ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は土師器，須恵器（544）が出土している。

370号土坑（ＳＸ370，第73図）

調査区中央のＳＢ17の西側に位置する。掘形は幅1.22ｍの平面不整形土坑で，深さ0.40ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの暗褐色シルトで，炭化物を含み，底面はほぼ平坦である。ＳＫ371に切られるが，底面の深さがほぼ同一で，埋土も似ており比較的近い時期の遺構と思われる。遺物は縄文土器，剥片があるが，混入品と考えられる。

371号土坑（ＳＫ371，第73・79図，図版18・35・41・44・62）

調査区中央のＳＢ17の西側に位置する。掘形は長さ2.77ｍ，幅2.16ｍの隅丸方形で，深さ0.44ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，少量の炭化物を含む。底面は硬化しており，厚さ約0.10ｍほどの黒褐色シルト混じりの褐色シルトが堆積していて，貼床と考えられ，掘立柱建物に伴う竪穴状土坑と思われる。ＳＸ370を切っている。ＳＢ17の西側柱列とほぼ並行しているが，建物との関係は不明である。遺物は土師器（539～542），須恵器（531～538），鉄滓（543）が出土している。ＳＫ371では食膳具は須恵器のみで，土師器の椀・皿は出土していない。539・540は小型甕で，９世紀前半～中頃のものと思われる。541は胴部上半カキメ，下半タタキの長胴甕で９世紀前半頃のものである。須恵器は概ね８世紀後半代のものである。

378号土坑（ＳＫ378，第73図）

調査区中央のＳＢ17の南側柱列に位置する。掘形は長軸0.50ｍ，短軸0.40ｍの楕円形で，深さ0.31ｍを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色シルトで，少量の炭化物を含む。遺物はない。

379号土坑（ＳＫ379，第73図）

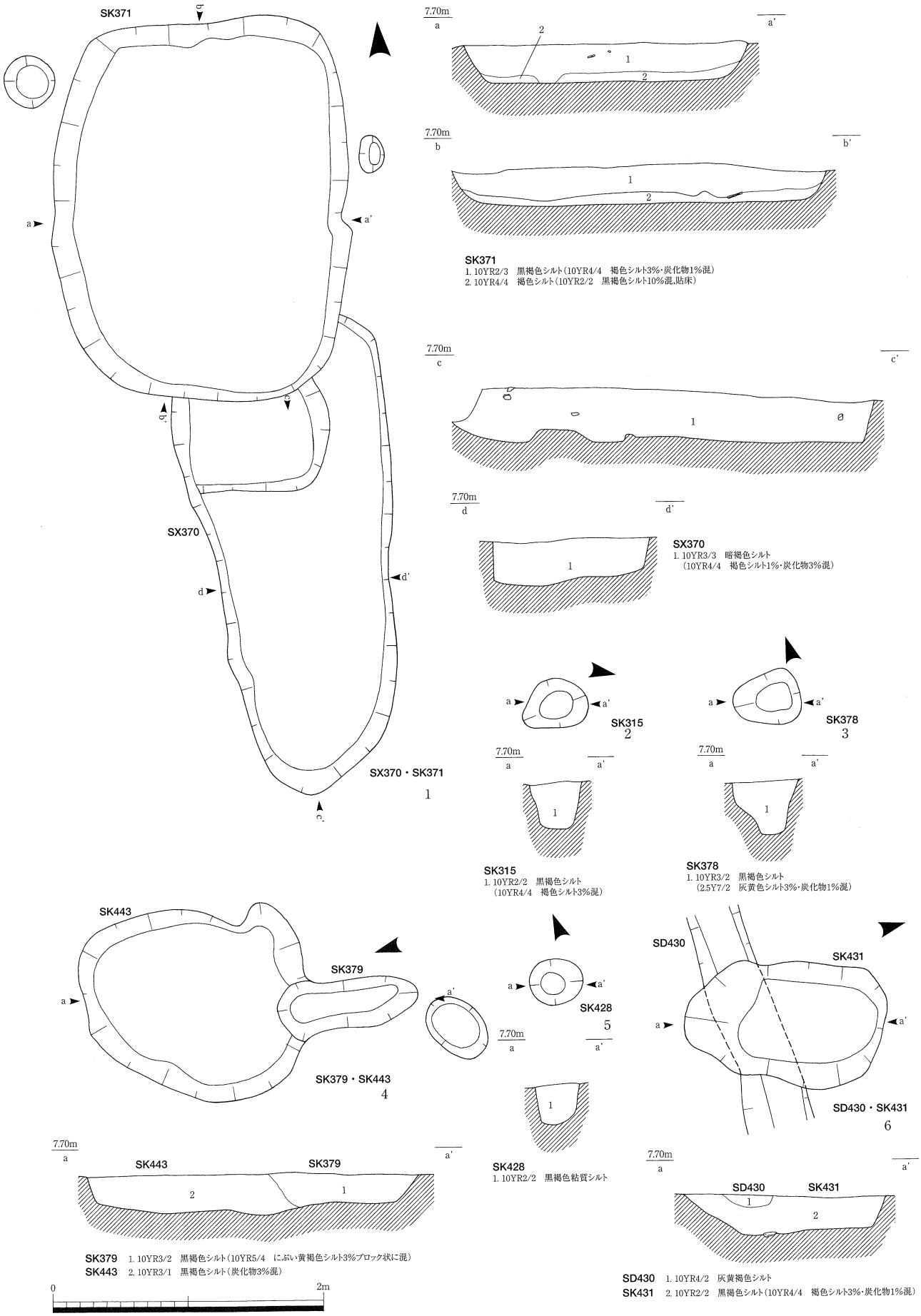
調査区中央のＳＢ17内部に位置する。掘形は長軸1.02ｍ，短軸0.37ｍの楕円形で，深さ0.26ｍを測る。埋土はにぶい黄褐色シルトがブロック状に混じる黒褐色シルトである。ＳＫ443を切る。遺物は土師器が出土しているが，時期の特定はできない。

389号土坑（ＳＫ389）

調査区南半のＳＢ６内部に位置する。掘形は長軸1.25ｍ，短軸0.96ｍの楕円形で，深さ0.14ｍを測る。埋土は黒褐色シルトの単層である。ＳＫ390に切られる。遺物は土師器・羽口・鉄滓が出土している。鉄滓は底面付近でブロック状にまとまって出土しており，総重量は4884.13ｇである。分析の結果からは大鍛冶による精錬鍛冶滓と推定されている。ＳＫ127等と同様にＳＢ６に伴い，鍛冶に関連した遺構と考える。

414号土坑（ＳＫ414，第74図）

調査区中央に位置する。調査区外西側に延びている。掘形は長さ4.52ｍ以上，幅2.77ｍの不整形で，深さは0.33ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。底面は平坦で，東側は突出している。遺物は縄文土器，土師器，八尾，唐津，鉄滓が出土しているが，後世の暗渠に切られていることから遺物の大半は混入と考えられ，時期の特定はできない。



第73図　遺構実測図

1. SX370・SK371　2. SK315　3. SK378　4. SK379・SK443　5. SK428　6. SD430・SK431

417号土坑（ＳＫ417，第74図）

調査区中央に位置する。掘形は長軸0.98m，短軸0.86mの楕円形で，深さ0.13mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトが皿状に堆積している。遺物は土師器，須恵器が出土しているが，時期の特定はできない。

420号土坑（ＳＫ420，第72図）

調査区中央に位置する。掘形は長軸1.17m，短軸0.88mの楕円形で，深さは0.06mと浅い。埋土は黒褐色シルト混じりの暗褐色シルトである。ＳＸ８に切られている。遺物は混入品と考えられる縄文土器の小片だけで，時期の特定はできない。

421号土坑（ＳＫ421，第72・80図，図版18）

調査区中央に位置する。掘形は長軸1.32m，短軸1.14mの楕円形で，深さ0.63mを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色粘質シルトで，少量の炭化物を含む。ＳＸ８の北西角を切っている。遺物は土師器（548・549），須恵器（546・547），鉄滓が出土している。548・549は口縁端部を方形に面取りした甕で，８世紀後半～９世紀前半頃のものと思われる。

422号土坑（ＳＫ422，第72図）

調査区中央に位置する。掘形は長軸0.63m，短軸0.54mの楕円形で，深さ0.62mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，東側が一段深くなる。ＳＫ421の西側に近接している。遺物は鉄滓が出土している。

428号土坑（ＳＫ428，第73・80図）

調査区中央のＳＢ17の北側に位置する。掘形は径0.40mの円形で，深さ0.31mを測る。埋土は黒褐色粘質シルトの単層である。遺物は土師器，須恵器（545）が出土している。

431号土坑（ＳＫ431，第73・80図，図版40）

調査区中央のＳＢ17内部に位置する。掘形は長軸1.48m，短軸0.92mの楕円形で，深さ0.45mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，少量の炭化物を含む。ＳＤ430に切られている。縄文時代の土坑ＳＸ９と重複しており，埋土から出土した縄文土器は混入品と考える。遺物は土師器，須恵器（550）が出土している。

437号土坑（ＳＫ437，第74・80図）

調査区中央のＳＢ18の北西角に位置する。掘形は径0.32mの円形で，深さ0.25mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。ＳＢ18の柱穴ＳＰ438・ＳＫ462を切っており，ＳＢ18より新しい土坑である。遺物は土師器（551）が出土している。551は口縁端部を方形に面取りした甕で，９世紀前半頃のものと思われる。

443号土坑（ＳＫ443，第73図）

調査区中央のＳＢ17内部に位置する。掘形は長軸1.68m，短軸1.32mの不整形で，深さ0.28mを測る。埋土は黒褐色シルトの単層で，少量の炭化物を含む。ＳＫ379に切られている。遺物は土師器が出土しているが，時期の特定はできない。

465号土坑（ＳＫ465，第74・80図）

調査区中央のＳＢ18～ＳＢ20の内部に位置する。掘形は径0.28mの円形で，深さは0.20mを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は須恵器（552）が出土している。

467号土坑（ＳＫ467，第74図）

調査区中央のSB21内部に位置する。掘形は長軸0.75m，短軸0.56mの楕円形で，深さ0.10mと浅い。

埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。ＳＫ1350に切られる。遺物は縄文土器，土師器，須恵器が出土しているが，縄文時代の土坑ＳＫ513を切っており，縄文土器は混入品と考える。

470号土坑（ＳＫ470，第74図）

調査区中央のＳＢ１の南西側に位置する。掘形は長さ1.02m，幅0.81mの不整形で，深さは0.18mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は土師器が出土しているが，時期の特定はできない。

472号土坑（ＳＫ472，第74図）

調査区中央のＳＢ１の南西側に位置する。掘形は長軸0.65m，短軸0.48mの楕円形で，深さ0.25mを測る。埋土は褐色シルトがブロック状に混じる黒褐色シルトで，北側が一段深くなる。ＳＫ474・ＳＫ475を切っている。遺物は土師器が出土しているが，時期の特定はできない。

474号土坑（ＳＫ474，第74図）

調査区中央のＳＢ１の南西側に位置する。ＳＫ472に切られている。平面楕円形を呈する深さ0.13mの土坑で，埋土は褐色シルト混じりの暗褐色シルトである。出土遺物はない。

475号土坑（ＳＫ475，第74図）

調査区中央のＳＢ１の南西側に位置する。掘形は長軸0.63m，短軸0.33mの楕円形で，深さ0.26mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，西側が一段深くなる。ＳＫ472に切られる。ＳＫ475の西側は径0.24mの円形で深さ約0.20mほどの穴になり，柱痕跡の可能性がある。ＳＫ475周辺は後世の削平を受けていると思われ，遺構が散漫になっており，建物のプランは確認できなかったが，柱穴になると思われる。遺物は土師器があるが，時期の特定はできない。

476号土坑（ＳＫ476，第74図）

調査区中央のＳＢ１の南西側に位置する。掘形は長軸0.49m，短軸0.40mの楕円形で，深さ0.24mを測る。埋土は炭化物混じりの黒褐色シルトと褐色シルト混じりの暗褐色シルトである。ＳＫ476の北側は径0.28mの円形状に一段深くなっており，１層の黒褐色シルトは柱痕跡の可能性がある。ＳＫ475と同様に建物プランは確認できていないが，柱穴になると思われる。遺物は土師器片がある。

482号土坑（ＳＫ482，第74図）

調査区中央のＳＢ24の南側に位置する。掘形は径0.39mの円形で，深さ0.25mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は土師器が出土しているが，時期の特定はできない。

497号土坑（ＳＫ497，第74図）

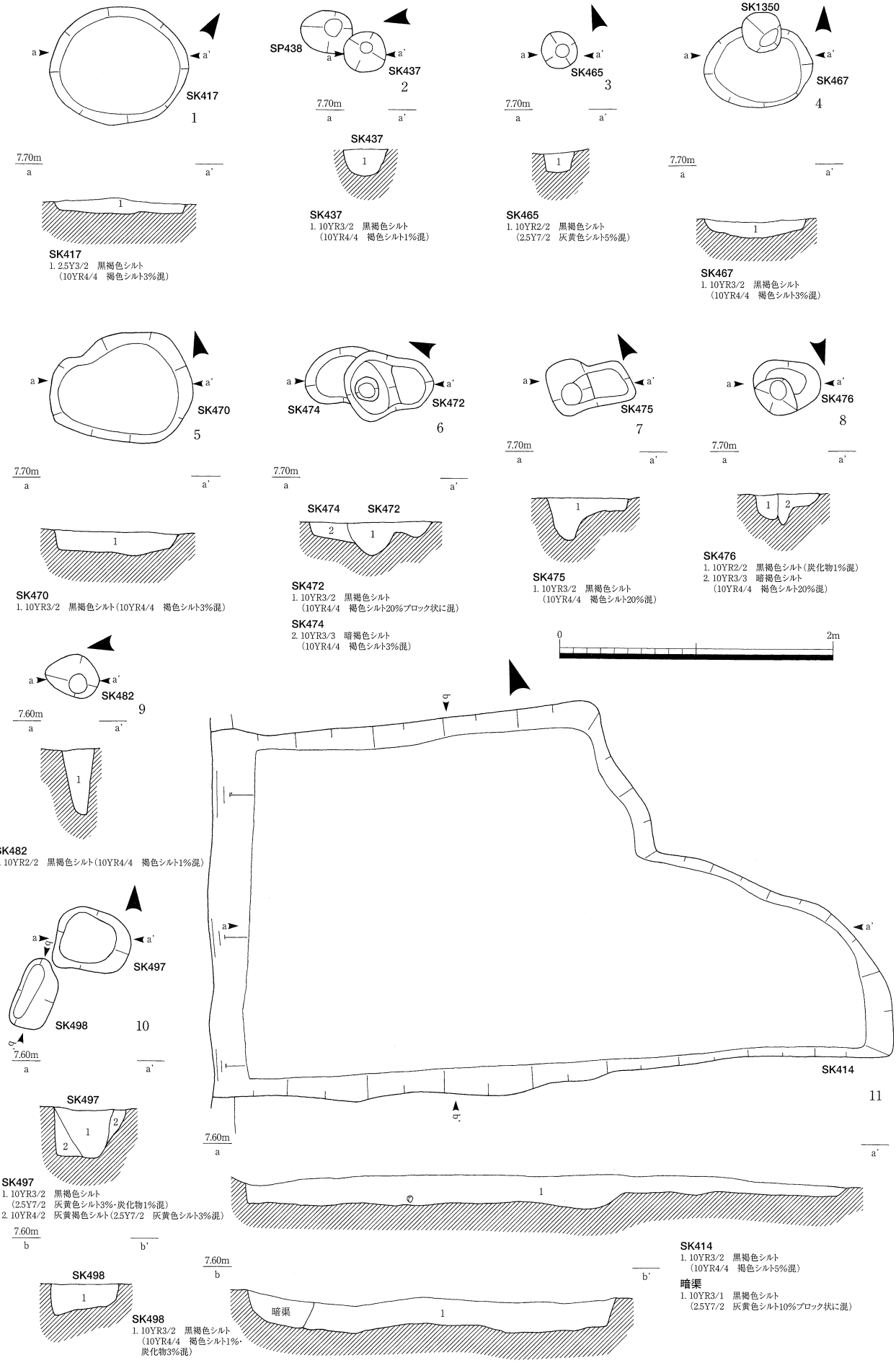
調査区中央のＳＢ24の南側に位置する。掘形は長さ0.55m，幅0.46mの平面不整形で，深さ0.36mを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色シルトと，灰黄褐色シルトで，１層の黒褐色シルトは小量の炭化物を含み，柱痕跡と考えられる。建物プランは確認できないが，柱穴になると思われる。出土遺物はない。

498号土坑（ＳＫ498，第74図）

調査区中央のＳＢ24の南側に位置する。掘形は長軸0.54m，短軸0.28mの楕円形で，深さ0.17mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，小量の炭化物を含む。出土遺物はない。

551号土坑（ＳＫ551，第75・80図）

調査区中央のＳＢ22内部に位置する。掘形は長軸0.60m，短軸0.33mの楕円形で，深さ0.11mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は須恵器（559）が出土している。



第74図　遺構実測図

1. SK417　2. SK437　3. SK465　4. SK467　5. SK470　6. SK472・SK474　7. SK475　8. SK476　9. SK482
10. SK497・SK498　11. SK414

562号土坑（ＳＫ562，第75・80図，図版46）

調査区中央のＳＢ21の東側に位置する。掘形は径0.30ｍの円形で，深さ0.11ｍを測る。埋土は黒褐色シルトの単層である。ＳＫ1411を切っている。遺物は土師器（560）が出土している。560は内外面赤彩の皿の底部で，11世紀代のものかと思われる。

585号土坑（ＳＫ585，第75・80図）

調査区中央のＳＢ23の西側に位置する。掘形は長軸0.53ｍ，短軸0.40ｍの楕円形で，深さは0.18ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は土師器（561）が出土している。

591号土坑（ＳＫ591，第75・80図，図版18・36・48・49）

調査区中央のＳＢ24内部に位置する。掘形は長さ1.04ｍ，幅0.96ｍの円形で，深さ0.70ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，小量の炭化物を含む。埋土中位からは拳大から15㎝台の礫や珠洲などの遺物が出土している。径１ｍを測る円筒状の土坑で，溜め井戸の可能性もある。周辺にはＳＢ24～ＳＢ27の４棟の建物があるが，ＳＢ24の柱穴を切っており，ＳＢ24より新しい土坑である。他の建物との関係は不明である。遺物は土師器（563），須恵器（562），珠洲（564），鉄滓が出土している。563は口縁部一段ナデの皿で，13世紀前半頃のものと思われる。

628号土坑（ＳＫ628，第75図）

調査区中央のＳＢ27内部に位置する。掘形は長軸0.58ｍ，短軸0.39ｍの楕円形で，深さ0.59ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトと灰黄褐色シルトで，１層の黒褐色シルトは柱痕跡と考えられる。柱根直径は約0.28ｍになると推定される。ＳＢ24～ＳＢ27の内部に位置しており，建物プランは確認できないが，柱穴になると考えられる。ＳＫ630を切っている。遺物はない。

636号土坑（ＳＫ636，第75図）

調査区中央のＳＢ24内部に位置する。掘形は長軸0.60ｍ，短軸0.49ｍの楕円形で，深さ0.24ｍを測る。埋土は黒褐色シルトの単層である。ＳＢ26・ＳＢ27の柱穴ＳＰ637を切っており，切り合い関係からＳＰ637（ＳＢ27）→ＳＰ637（ＳＢ26）→ＳＫ636となり，建物より新しい土坑である。遺物は土師器が出土しているが，時期の特定はできない。

659号土坑（ＳＫ659，第75図）

調査区中央のＳＢ２の西側に位置する。掘形は長さ2.17ｍ，幅0.98ｍの平面不整形で，深さ0.16ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。底面中央部に径0.16ｍほどの小穴がある。遺物は土師器，須恵器が出土しているが，時期の特定はできない。

668号土坑（ＳＫ668，第75・80図，図版48）

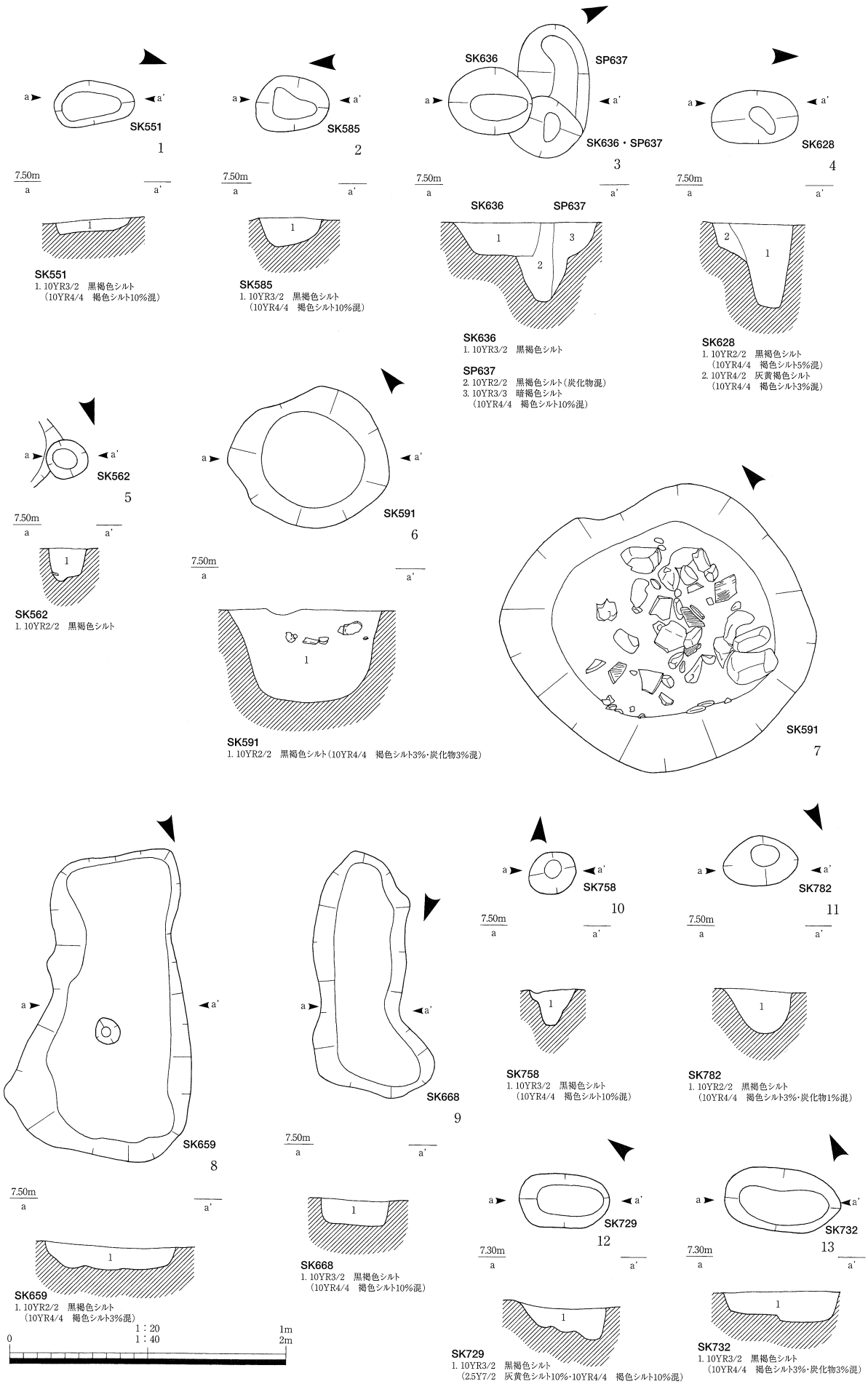
調査区中央のＳＢ３の南西側に位置する。掘形は長さ1.78ｍ，幅0.60ｍの平面不整形で，深さ0.34ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は土師器（565），鉄滓が出土している。565は土師器皿で，13世紀末頃のものと思われる。

729号土坑（ＳＫ729，第75図）

調査区中央のＳＢ29の北側に位置する。掘形は長軸0.65ｍ，短軸0.40ｍの楕円形で，深さ0.25ｍを測る。埋土は灰黄色シルト・褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，南側にむかい階段状に深くなっている。出土遺物はない。

732号土坑（ＳＫ732，第75・80図，図版35）

調査区北半のＳＢ４の東側に位置する。掘形は長軸0.87ｍ，短軸0.46ｍの楕円形で，深さ0.22ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，小量の炭化物を含む。遺物は須恵器（553）が出土



第75図　遺構実測図

1. SK551　2. SK585　3. SK636・SP637　4. SK628　5. SK562　6. SK591　7. SK591遺物出土状況　8. SK659
9. SK668　10. SK758　11. SK782　12. SK729　13. SK732

している。553は杯蓋で8世紀後半のものと思われる。

758号土坑（ＳＫ758，第75図）

調査区北半のＳＢ４の南西側に位置する。掘形は径0.36mの円形で，深さ0.24mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，断面は漏斗状を呈する。遺物は須恵器が出土しているが，時期の特定はできない。

782号土坑（ＳＫ782，第75図）

調査区北半のＳＢ４の西側に位置する。掘形は長軸0.54m，短軸0.38mの楕円形で，深さ0.34mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，小量の炭化物を含む。遺物は土師器があるが，時期の特定はできない。

792号土坑（ＳＫ792，第76図）

調査区北半のＳＢ28の北東角に位置し，調査区外東側に延びる。掘形は長さ2.43m，深さ0.37mの平面不整形を呈する。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，小量の炭化物を含む。底面は平坦で，ＳＢ28の柱穴ＳＰ1472に切られており，ＳＢ28より古い土坑である。遺物は土師器がある。

800号土坑（ＳＫ800，第76・80図，図版47・48・62）

調査区北半のＳＢ35の南西側に位置する。調査区外西側に延びており，検出した掘形は長さ3.00m，深さ0.55mを測り，平面方形を呈する。埋土は褐色シルトがブロック状に混じる黒褐色シルトで，小量の炭化物を含む。掘立柱建物（ＳＢ35）に伴う方形の竪穴状遺構（ＳＸ1344）と同様の土坑の可能性があるが，ＳＸ1344のように確実に伴う柱穴は確認できていない。ＳＸ1344に切られている。遺物は土師器（566～568），須恵器，珠洲，八尾，鉄滓（569・570）が出土している。この他に縄文土器，打製石斧，磨製石斧などがあるが，混入品と考える。566～568は土師器皿で，13世紀前半～中頃のものと思われる。図示はしていないが，珠洲にⅠ～Ⅱ期に相当すると思われる甕や擂鉢がみられ，ＳＫ800出土の遺物は概ね13世紀前半のものを主体としており，ＳＫ800の時期もこの頃と考える。

824号土坑（ＳＫ824，第76図）

調査区北半のＳＢ36内部に位置する。掘形は径0.28mの円形で，深さ0.13mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。出土遺物はなく，時期の特定はできない。

825号土坑（ＳＫ825，第76・80図，図版47）

調査区北半のＳＢ36内部に位置する。掘形は径0.25mの円形で，深さ0.31mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトの単層である。遺物は土師器（571），鉄滓が出土している。571は土師器皿で，13世紀前半頃のものと思われる。鉄滓は分析の結果，砂鉄系鉱石を原料とした製鉄行程（製錬）によるものと推察されている。

845号土坑（ＳＫ845，第76図）

調査区北半のＳＢ35の北西側に位置する。調査区外西側に延びており，検出した掘形は長さ0.88m，深さ0.39mの半円形である。埋土は灰黄色褐色混じりの黒褐色シルトで，小量の炭化物を含む。断面は漏斗状を呈しており，柱痕跡の可能性がある。建物プランは確認できないが，柱穴になると思われる。遺物は土師器があるが，時期の特定はできない。

846号土坑（ＳＫ846，第76・80図，図版49）

調査区北半のＳＢ35の南側に位置する。掘形は短軸0.65m，深さ0.31mを測る平面楕円形の土坑で，ＳＫ828に切られている。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで南側は階段状に一段深くなっている。遺物は土師器，珠洲，青磁（556），鉄滓が出土している。556は蓮弁文の椀で，13世紀中頃の

ものと思われる。

852号土坑（ＳＫ852）

調査区北半のＳＢ32内部に位置する。掘形は径0.22ｍの円形で，深さ0.16ｍを測る。埋土は黒褐色シルトの単層である。ＳＥ853に切られている。遺物は鉄滓が出土している。

854号土坑（ＳＫ854，第76図）

調査区北半のＳＢ32の西側柱列に位置する。掘形は径0.32ｍの円形で，深さ0.25ｍを測る。埋土は灰黄色シルト混じりの黒褐色シルトの単層である。遺物は須恵器があるが，時期の特定はできない。

897号土坑（ＳＫ897，第76図）

調査区北半のＳＢ36の東側に位置する。掘形は長さ0.77ｍ，幅0.70ｍの円形で，深さ0.39ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，小量の炭化物を含む。遺物は土師器片がある。

899号土坑（ＳＫ899，第76図）

調査区北半のＳＢ36の東側に位置する。掘形は長さ0.45ｍ，幅0.39ｍの円形で，深さ0.24ｍを測る。埋土は黒褐色シルトの単層である。出土遺物はない。

933号土坑（ＳＫ933，第76・80図，図版38）

調査区北半のＳＢ36の北東角に位置する。掘形は長さ0.38ｍ，幅0.32ｍの円形で，深さ0.18ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は須恵器（554・555）が出土している。
554は杯蓋で，８世紀代のもの。555は短頸壺の肩部片か。

955号土坑（ＳＫ955，第76・80図）

調査区北半のＳＢ37の南側に位置する。ＳＤ656の西側肩を切っている。掘形は長さ0.35ｍ，幅0.30ｍの円形で，深さ0.28ｍを測る。埋土は黒褐色シルトと灰黄褐色シルトの２層である。遺物は須恵器（557）が出土している。557は壺類の底部である。

1012号土坑（ＳＫ1012）

調査区北半のＳＢ40の南西側に位置する。掘形は長さ1.28ｍ，幅0.42ｍの平面不整形の土坑で，深さ0.33ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は土師器，須恵器，鉄滓が出土している。

1041号土坑（ＳＫ1041，第77図）

調査区北半のＳＢ37・ＳＢ38内部に位置する。調査区外西側に延びており，検出できた掘形は長さ1.25ｍ，深さ0.42ｍを測る。埋土は黒褐色シルトの単層である。ＳＢ37の柱穴を切っており，ＳＢ37より新しい土坑である。遺物は土師器が出土しているが，時期の特定はできない。

1055号土坑（ＳＫ1055，第77・80図，図版35）

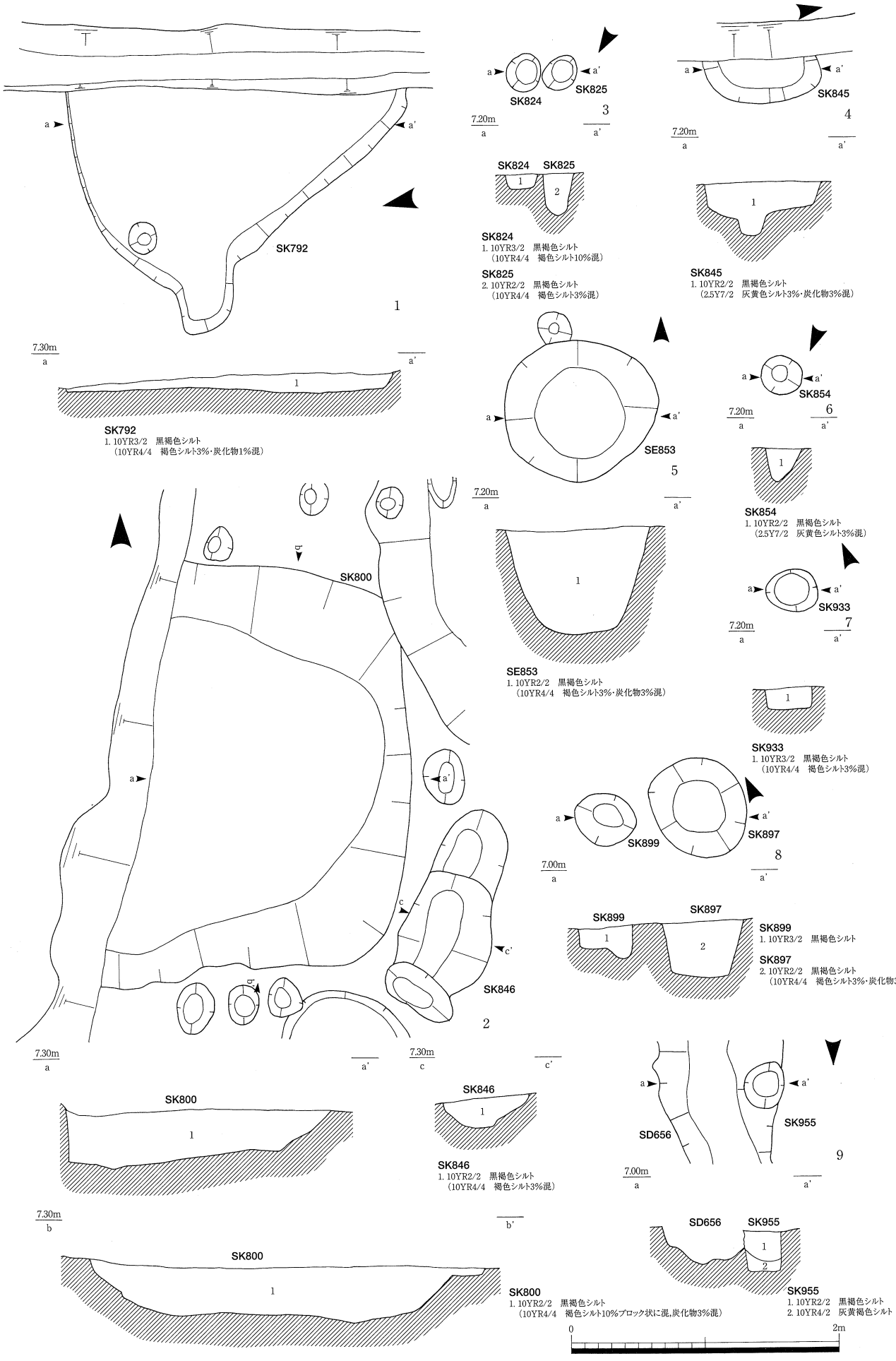
調査区北半のＳＢ40の南西角に位置する。掘形は長軸0.35ｍ，短軸0.27ｍの楕円形で，深さ0.25ｍを測る。埋土は暗褐色シルトの単層である。遺物は須恵器（558）が出土している。558は扁平で大きめのつまみを持つ杯蓋で，８世紀中頃のものと思われる。

1078号土坑（ＳＫ1078，第77図）

調査区北半のＳＢ33の北東角に位置する。掘形は長さ1.66ｍ，幅1.46ｍの円形で，深さ0.46ｍを測る。埋土は黒褐色シルトの単層である。ＳＢ33の柱穴を切っており，ＳＢ33より新しい土坑である。遺物は須恵器が出土している。この他に縄文土器，打製石斧があるが混入品と考える。

1097号土坑（ＳＫ1097，第77図）

調査区北半のＳＢ42の西側に位置する。掘形は長軸0.67ｍ，短軸0.54ｍの楕円形で，深さ0.32ｍを測



第76図　遺構実測図

1. SK792　2. SK800・SK846　3. SK824・SK825　4. SK845　5. SE853　6. SK854　7. SK933　8. SK897・SK899
9. SK955

る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は珠洲，鉄滓が出土している。鉄滓分析の結果は精錬鍛冶滓で，大鍛冶が行われていたと推察されている。

1126号土坑（ＳＫ1126，第77図）

調査区北半のＳＢ42内部に位置する。掘形は径0.38ｍの円形で，深さ0.35ｍを測る。埋土は黒褐色シルトと褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，１層の黒褐色シルトは柱痕跡と考えられ，柱根直径約0.12ｍと推定される。建物プランは確認できないが，柱穴になると考える。出土遺物はない。

1193号土坑（ＳＫ1193，第77・81図，図版62）

調査区北半のＳＢ40内部に位置する。掘形は長軸0.48ｍ，短軸0.34ｍの楕円形で，深さ0.26ｍを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，断面は漏斗状を呈し，柱痕跡の可能性がある。建物プランは確認できていないが，柱穴になると思われる。遺物は土師器，鉄滓（602）がある。

1210号土坑（ＳＫ1210，第77図）

調査区北半のＳＢ40の北東角に位置する。掘形は長さ1.08ｍ，幅0.96ｍの平面不整形の土坑で，深さ0.31ｍを測る。埋土は明黄褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，小量の炭化物を含む。ＳＢ40の柱穴ＳＰ1479に切られており，ＳＢ40よりも古い土坑である。ＳＢ41の東側に近接しており，ＳＢ41に伴う可能性がある。出土遺物はなく，時期の特定はできない。

1226号土坑（ＳＫ1226，第77図）

調査区北半のＳＢ40の東側に位置する。掘形は長さ0.32ｍ，幅0.28ｍの円形で，深さ0.26ｍを測る。埋土は明黄褐色シルト混じりの黒褐色シルトと灰黄褐色シルトで，１層の黒褐色シルトは柱痕跡と考えられ，柱根直径は約0.18ｍと推定される。建物プランは確認できていないが，柱穴になると思われる。出土遺物はない。

1227号土坑（ＳＫ1227，第77図）

調査区北半のＳＢ40内部に位置する。掘形は長さ0.30ｍ，幅0.26ｍの円形で，深さ0.23ｍを測る。埋土は黒褐色シルトと明黄褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，１層の黒褐色シルトは柱痕跡と考えられ，柱根直径は約0.16ｍと推定される。建物プランは確認できていないが，柱穴になると思われる。出土遺物はなく，時期は特定できない。

1246号土坑（ＳＫ1246，第77図）

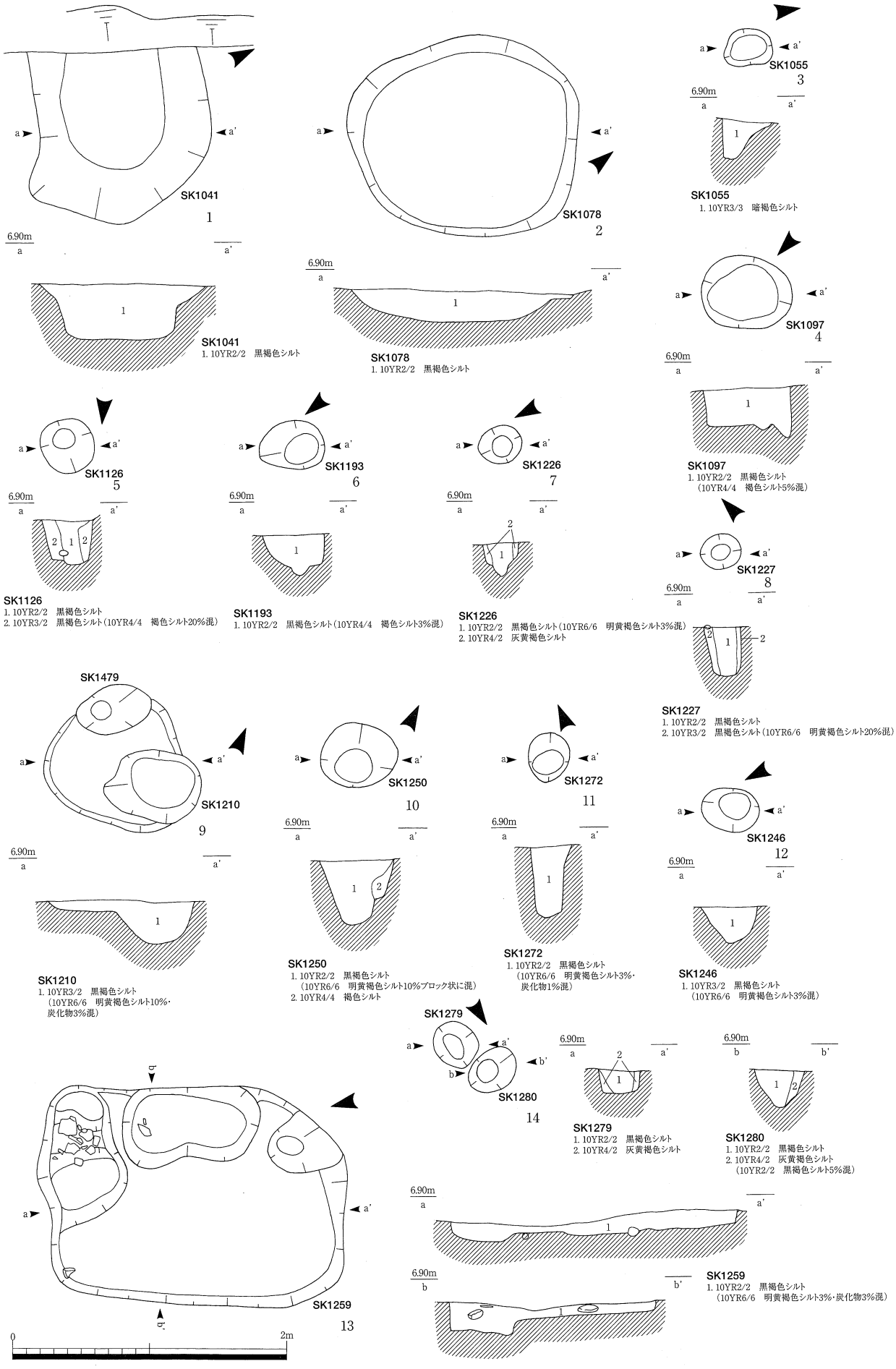
調査区北半のＳＢ42内部に位置する。掘形は長軸0.42ｍ，短軸0.32ｍの楕円形で，深さ0.26ｍを測る。埋土は明黄褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は土師器が出土している。

1250号土坑（ＳＫ1250，第77図）

調査区北半のＳＢ42内部に位置する。掘形は長軸0.56ｍ，短軸0.48ｍの楕円形で，深さ0.48ｍを測る。埋土は明黄褐色シルトがブロック状に混じる黒褐色シルトと褐色シルトで，１層の黒褐色シルトは柱痕跡と考えられ，柱根直径は約0.32ｍと推定される。建物プランは確認できていないが，柱穴になると思われる。出土遺物はなく，時期の特定はできない。

1259号土坑（ＳＫ1259，第77・81図，図版18・35～38・42・44）

調査区北半のＳＢ42内部に位置する。掘形は長さ2.14ｍ，幅1.57ｍの方形で，深さ0.15ｍを測る。埋土は明黄褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，小量の炭化物を含む。ＳＫ1259の東側は壁に沿って３基穴が並び，北東角の穴からは土師器甕（581）等の土器が出土している。貼床等は認められなかったが，掘立柱建物に土間等として取り込まれる竪穴状土坑の可能性がある。ＳＫ1259はＳＢ42内部に位置し，ＳＢ43とも近接しているが，建物との関係は不明である。遺物は土師器（580・581），須恵



第77図　遺構実測図

1. SK1041　2. SK1078　3. SK1055　4. SK1097　5. SK1126　6. SK1193　7. SK1226　8. SK1227　9. SK1210
10. SK1250　11. SK1272　12. SK1246　13. SK1259　14. SK1279・SK1280

器（572～579），鉄滓が出土している。581は体部外面下半を手持ちヘラ削りする小型甕で，8世紀代のもの。須恵器は概ね8世紀後半のもので，9世紀前半に降るものが若干みられる。

1272号土坑（ＳＫ1272，第77図）

調査区北半のＳＢ42内部に位置する。掘形は長さ0.36m，幅0.30mの円形で，深さ0.47mを測る。埋土は明黄褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，小量の炭化物を含み，柱痕跡の可能性がある。建物プランは確認できていないが，柱穴になると思われる。出土遺物はなく，時期の特定はできない。

1279号土坑（ＳＫ1279，第77図）

調査区北半のＳＢ43内部に位置する。掘形は径0.34mの円形で，深さ0.25mを測る。埋土は黒褐色シルトと灰黄褐色シルトで，1層の黒褐色シルトは柱痕跡と考えられ，建物プランは確認できていないが，柱穴になると思われる。遺物は須恵器が出土している。

1280号土坑（ＳＫ1280，第77図）

調査区北半のＳＢ43内部に位置する。掘形は長さ0.35m，幅0.30mの円形で，深さ0.24mを測る。埋土は黒褐色シルトと黒褐色シルト混じりの灰黄褐色シルトで，1層の黒褐色シルトは柱痕跡と考えられる。建物プランは不明だが，柱穴になると思われる。出土遺物はない。

1285号土坑（ＳＫ1285，第78図）

調査区北半のＳＢ42内部に位置する。掘形は長軸0.68m，短軸0.48mの楕円形で，深さ0.17mを測る。埋土は黒褐色シルトで，断面は漏斗状を呈し，柱痕跡の可能性がある。建物プランは不明だが，柱穴になると思われる。遺物は須恵器が出土している。

1289号土坑（ＳＫ1289，第78・81図，図版41）

調査区北半のＳＢ42内部に位置する。掘形は長軸0.36m，短軸0.28mの楕円形で，深さ0.22mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。ＳＫ1290を切る。遺物は土師器（582）が出土している。582は口縁端部を上方に引き上げた甕で，9世紀前半頃のものと思われる。

1326号土坑（ＳＫ1326，第78図）

調査区北半のＳＢ42の東側に位置する。掘形は径0.40mの円形で，深さ0.27mを測る。埋土は黒褐色シルトと黒褐色シルト混じりの灰黄褐色シルトで，1層の黒褐色シルトは柱痕跡と考えられ，柱穴になると思われる。建物プランは不明であるが，ＳＢ42の柱列の延長線上（ＳＰ1324から東に延ばす）に位置することから，ＳＢ42の柱穴になる可能性がある。出土遺物はない。

1328号土坑（ＳＫ1328，第78図）

調査区北半のＳＢ44内部に位置する。掘形は長さ1.97m，幅0.93mの平面不整形で，深さ0.17mを測る。埋土は暗褐色シルトである。ＳＫ1329を切る。貼床は認められなかったが，床面は平坦で，ＳＢ44に伴う土坑の可能性がある。出土遺物はない。

1336号土坑（ＳＫ1336，第78図）

調査区北半のＳＢ44の北側に位置する。掘形は径約0.25mの円形で，深さ0.13mを測る。埋土は黒褐色シルトである。ＳＫ1337に切られている。出土遺物はなく，時期の特定はできない。

1337号土坑（ＳＫ1337，第78図）

調査区北半のＳＢ44の北側に位置する。掘形は径0.33mの円形で，深さ0.30mを測る。埋土は黒褐色シルトの単層である。ＳＫ1336を切る。遺物は土師器があるが，時期の特定はできない。

1339号土坑（ＳＫ1339，第78図）

調査区北半のＳＢ44内部に位置する。調査区外東側に延びており，検出できた掘形は長さ1.15m，

深さ0.29mを測り，平面は不整形を呈する。埋土は黒褐色シルトで，小量の炭化物を含む。ＳＢ44に伴う土坑の可能性がある。出土遺物はなく，時期の特定はできない。

1344号土坑（ＳＸ1344，第54・81図，図版19・45・47～50）

調査区北半に位置する。掘形は長さ5.76m，幅3.80m，深さ0.36mを測る。ＳＸ1344は平面方形を呈する大型土坑で，総柱建物ＳＢ35と重複する。土坑部分をＳＸ1344，柱穴部分（掘立柱建物）をＳＢ35とし，ＳＢ35については前項で扱ったが，土坑部分と柱穴は本来一連の遺構と考える。柱穴は土坑の壁周を巡っており，床面中央の長軸線上に2基並んでいる。また，柱穴は土坑の埋土下で検出され，肩や床を掘り込んでいることからも土坑とは一連のものと考える。埋土は黒褐色シルトを主体とし，黄褐色シルトがブロック状に混じり，締まりがなくボソボソとしており，人為的に埋め戻された可能性がある。床面付近には植物の枝・根状の有機質が塊でみられた。床面は平坦で，踏み固められたように硬化していた。壁は外傾気味に立ち上がる。南東角はやや歪んでいるが，ＳＫ1345・ＳＰ1346にかけて緩やかに傾斜しており，第54図に破線で図示したような張り出し部になると思われ，出入口施設の可能性がある。関連する遺構としては，北壁の中央からＳＤ875が弓なりに延びており，ＳＸ1344の排水溝と考えられる。ＳＸ1344は柱穴・出入口施設・排水溝を有する方形の土坑で，建物跡と想定される竪穴状遺構[注7]と考えられ，倉庫的な性格を持つと推定される。遺物は土師器（583～589），須恵器，珠洲（590～597），砥石，鉄滓，炉壁が出土している。土師器は12世紀後半～13世紀前半のもの（583～585・589）と14世紀前半頃のもの（587・588）とがあり，前者に主体がある。珠洲はⅣ～Ⅴ期と思われる甕（594）が小量あるが，内湾気味の器体の擂鉢（590）や長めの頸部に尖頭状の口縁を持つ甕（593・595）などⅠ～Ⅱ期に相当するものが主体を占めている。

1345号土坑（ＳＫ1345，第54図）

調査区北半に位置する。掘形は長さ1.37m，幅0.35mの平面不整形で，深さ0.14mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトで，小量の炭化物を含む。ＳＸ1344の南東角にかけて緩やかに傾斜しており，ＳＸ1344と一連の遺構と考えられ，出入口施設の可能性がある。出土遺物はない。

1358号土坑（ＳＫ1358，第78図）

調査区中央のＳＢ17の西側に位置する。掘形は長さ0.88m，幅0.61mの平面不整形で，深さ0.31mを測る。埋土は褐色シルト混じりの黒褐色シルトである。遺物は土師器，須恵器が出土している。

1398号土坑（ＳＫ1398，第78・81図，図版44）

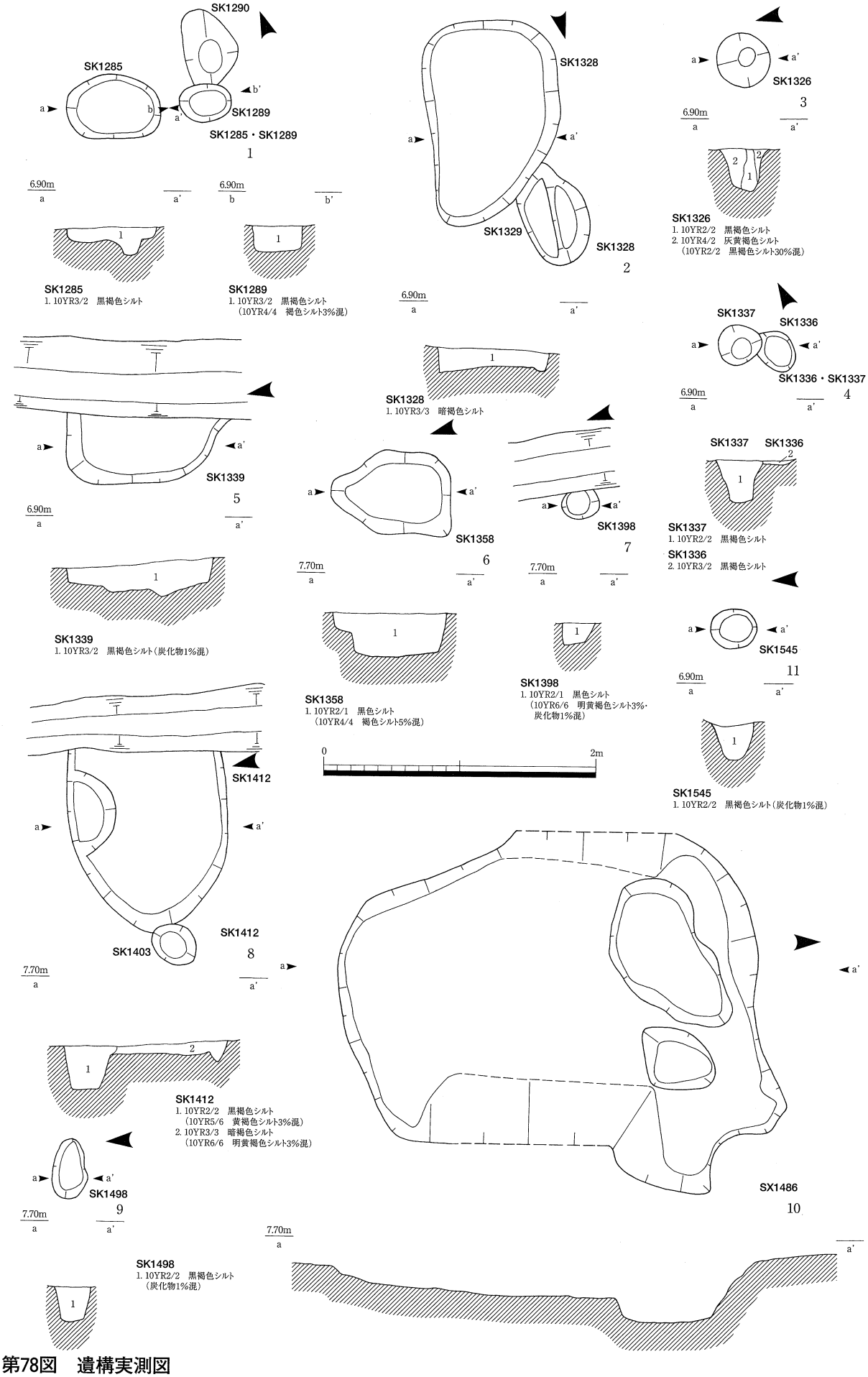
調査区中央のＳＢ21の南東角に位置する。排水溝に切られており，検出できた掘形は径約0.28mの円形で，深さ0.15mを測る。埋土は明黄褐色シルト混じりの黒色シルトで，小量の炭化物を含む。遺物は土師器（600）が出土している。600は底部が厚く，内湾気味に立ち上がる小皿で，12世紀前半頃のものと思われる。

1412号土坑（ＳＫ1412，第78図）

調査区中央のＳＢ21の東側に位置する。調査区外東側に延びており，検出できた掘形は長さ1.15m，深さ0.31mを測る平面不整形土坑である。埋土は明黄褐色シルト混じりの暗褐色シルトで，北側は径約0.56mの円形の穴になり，黄褐色シルト混じりの黒褐色シルトが堆積している。断面観察から二つの遺構が切りあっていると考える。出土遺物はない。

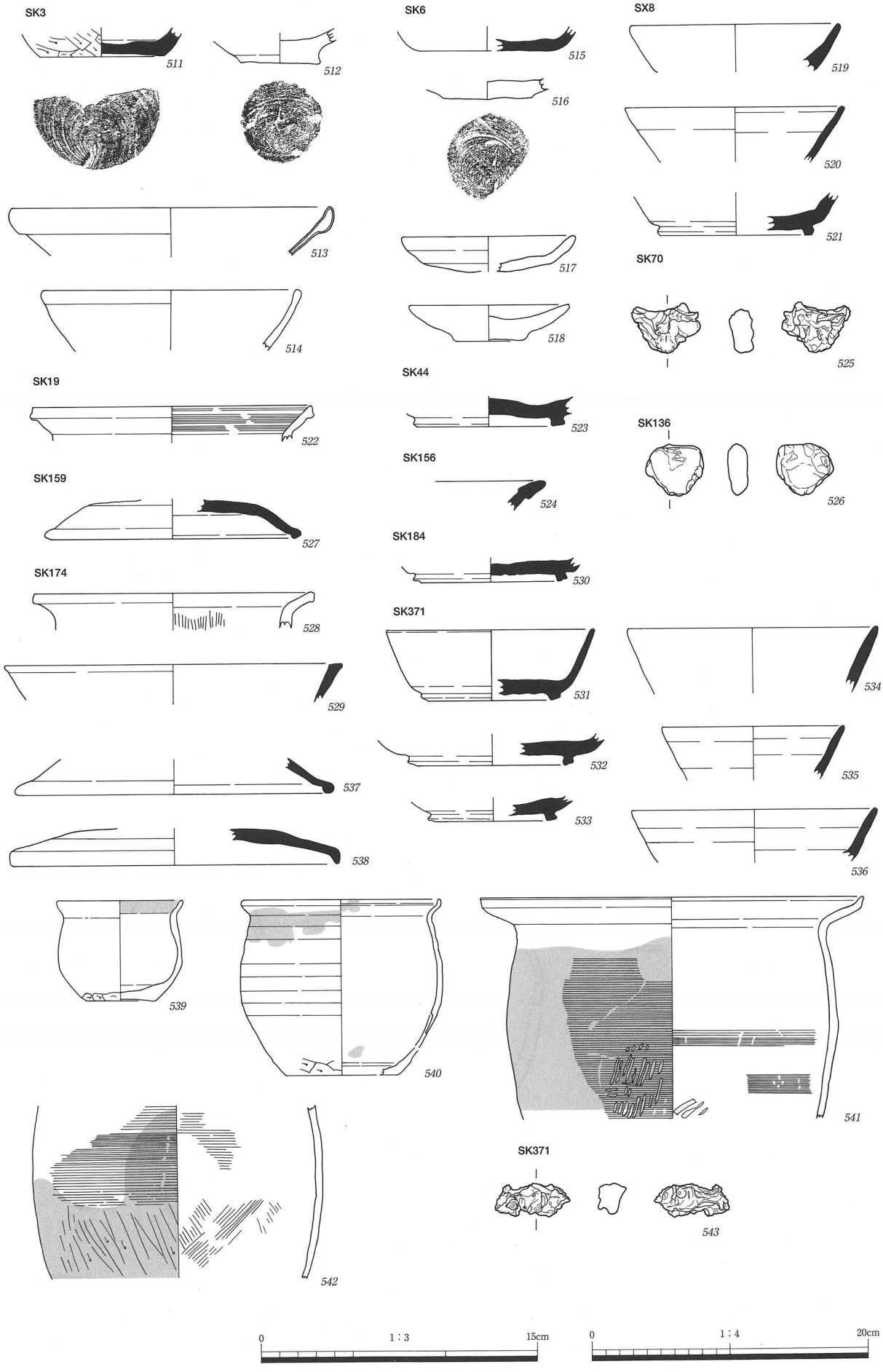
1486号土坑（ＳＸ1486，第78・81図，図版36）

調査区南半のＳＢ９の南西側に位置する。掘形は長さ3.09m，幅2.30mの平面不整形で，深さ0.25mを測る。埋土は黒褐色シルトを主体としている。底面はほぼ平坦で，北側は一段深くなる。遺物は縄



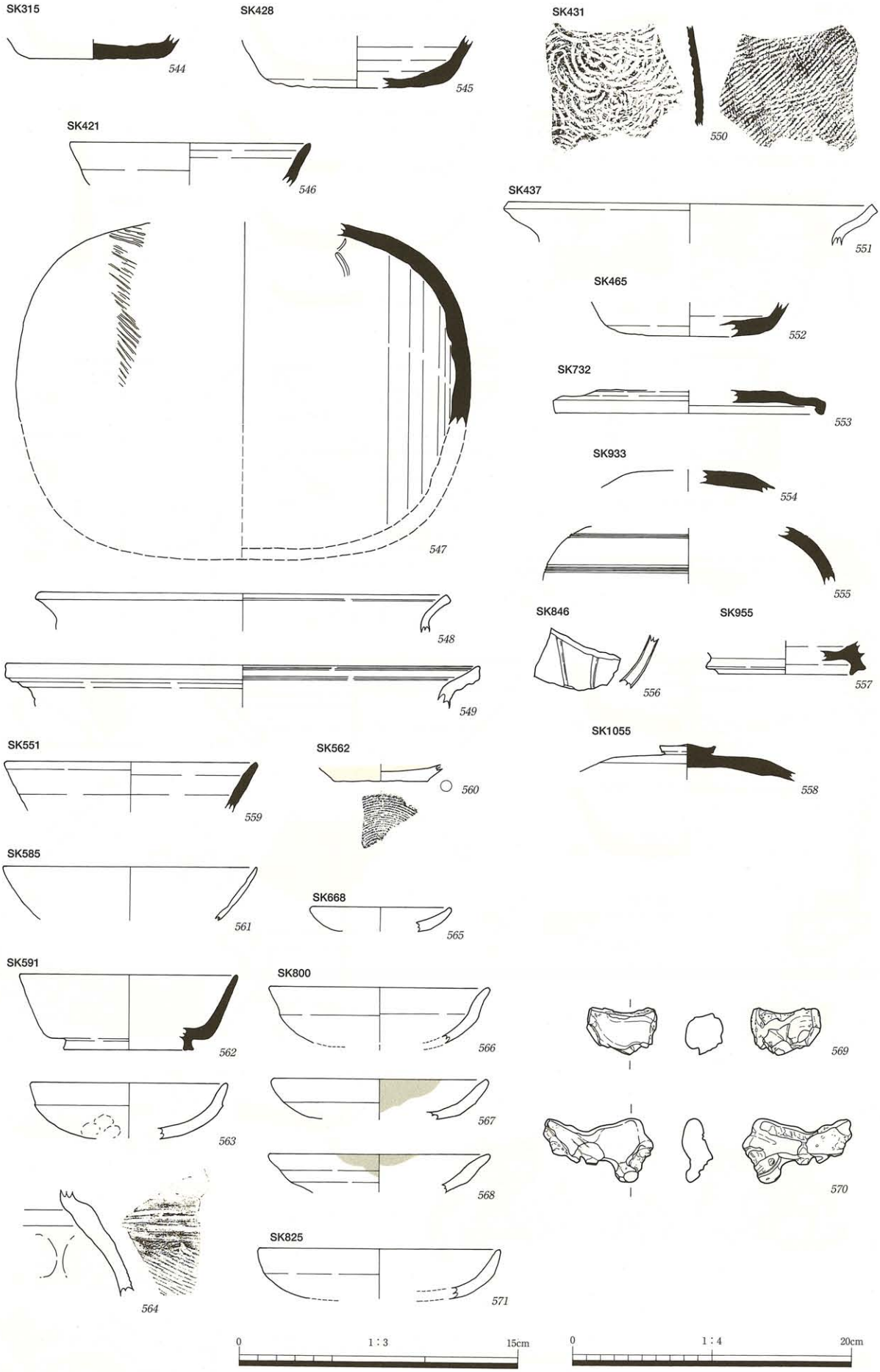
第78図　遺構実測図

1. SK1285・SK1289　2. SK1328　3. SK1326　4. SK1336・SK1337　5. SK1339　6. SK1358　7. SK1398　8. SK1412
9. SK1498　10. SX1486　11. SK1545



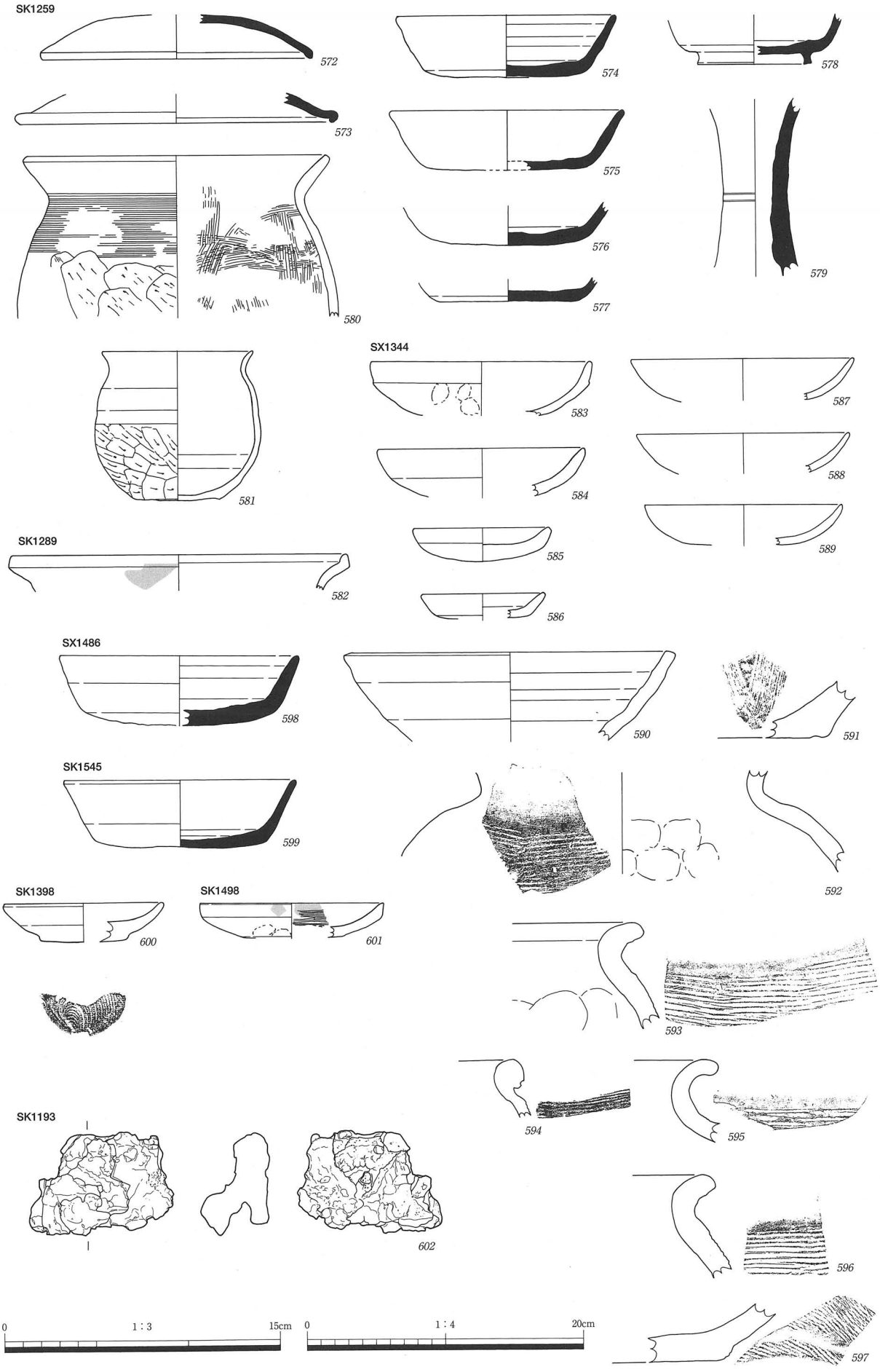
第79図　遺物実測図　(*511～521・523・525・527・530～538・543*　1/3,　*522・528・529・539～542*　1/4)

SK3(*511～514*)　SK6(*515～518*)　SX8(*519～521*)　SK19(*522*)　SK44(*523*)　SK70(*525*)　SK136(*526*)　SK156(*524*)
SK159(*527*)　SK174(*528・529*)　SK184(*530*)　SK371(*531～543*)



第80図　遺物実測図　(*544～546・552～554・556～563・565～571*　1/3,　*547～551・555・564*　*1/4*　1/4)

SK315(*544*)　SK421(*546～549*)　SK428(*545*)　SK431(*550*)　SK437(*551*)　SK465(*552*)　SK551(*559*)　SK562(*560*)
SK585(*561*)　SK591(*562～564*)　SK668(*565*)　SK732(*553*)　SK800(*566～570*)　SK825(*571*)　SK846(*556*)
SK933(*554・555*)　SK955(*557*)　SK1055(*558*)



第81図　遺物実測図　（*572～578・583～589・598～602*　1/3，*579～582・591～597*　1/4）

SK1193（*602*）　SK1259（*572～581*）　SK1289（*582*）　SX1344（*583～597*）　SK1398（*600*）　SX1486（*598*）　SK1498（*601*）
SK1545（*599*）

文土器，須恵器（598），打製石斧が出土している。縄文土器は小片が多く，混入品と考えられる。598はやや厚手の体部で，8世紀後半のものと思われる。

1498号土坑（ＳＫ1498，第78・81図，図版48）

調査区中央のＳＢ24の東側柱列に位置する。掘形は長軸0.45m，短軸0.27mの楕円形で，深さ0.26mを測る。埋土は黒褐色シルトの単層で，小量の炭化物を含む。遺物は土師器（601）が出土している。601は内面にハケ状のナデが施される皿で，13世紀中頃のものと思われる。

1545号土坑（ＳＫ1545，第78・81図，図版37）

調査区北半のＳＢ42内部に位置する。掘形は長さ0.34m，幅0.29mの円形で，深さ0.32mを測る。埋土は黒褐色シルトの単層で，小量の炭化物を含む。遺物は土師器，須恵器（599）が出土している。599は完形の杯Ａで，底面からやや浮いた状態で出土している。底部が平坦で体部との境が明瞭な個体で8世紀後半頃のものと思われる。

包含層出土遺物

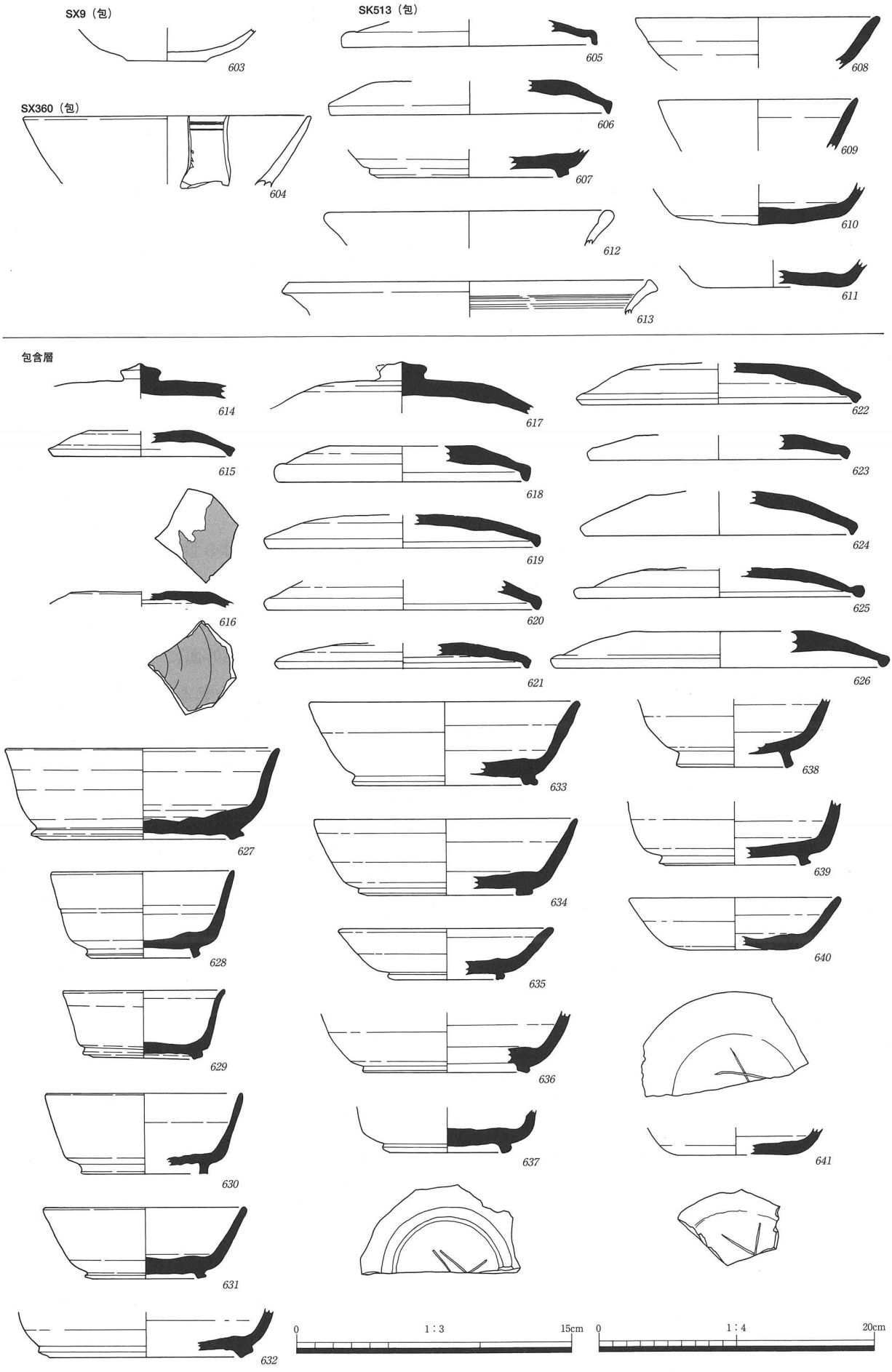
調査区では後世の削平が激しく，縄文時代から古代・中世までの遺構・遺物がⅠ層直下で露わになっていた。この為，遺物の遺存状態は悪く，時期の特定が困難なものが多くみられる。

須恵器（第82・83図，図版35～40）

出土量は多く，食膳具においては須恵器：土師器は8：2になる。時期は8世紀後半～9世紀前半にかけてのものが主体となる。杯蓋（605・606・614～626），杯（608～611・627～653），瓶（654～657・659・660・664・665・668），壺（658），鉢（661），甕（662・663・666・667・669）がある。616は内外面に墨痕が残る杯蓋で，転用硯と考えられる。637・640・641は底部外面に「×」状のヘラ記号が刻まれており，同様なヘラ記号は黒河中老田遺跡出土の須恵器にもみられる[注8]。646は高台が剥離した跡があり，8世紀後半のもの。650は平坦な底部で，全体的に器壁が薄く9世紀前半のものと思われる。653は底部に糸切り痕が残る皿で，8世紀代の射水丘陵の窯では糸切り技法が用いられていないことから，9世紀代のものと思われる。654は横瓶で，内面は閉塞部の際まで同心円の当て具痕がみられる。8世紀後半頃のもの。655は体部が算盤玉状を呈する瓶の肩部付近と思われ，円盤状の粘土を貼り，孔を開けたもので注口部分と考える。類例に石川県八野ガメ山1号窯[注9]出土のものがあり，8世紀前半に比定されている。656は双耳瓶の耳部片で，突帯が巡る9世紀後半頃のものと思われる。661は鍋または把手付の鉢で，8世紀代のもの。659・660は横瓶の口縁，664・668は横瓶の体部片と思われる。663は波状文が施された甕の口縁である。

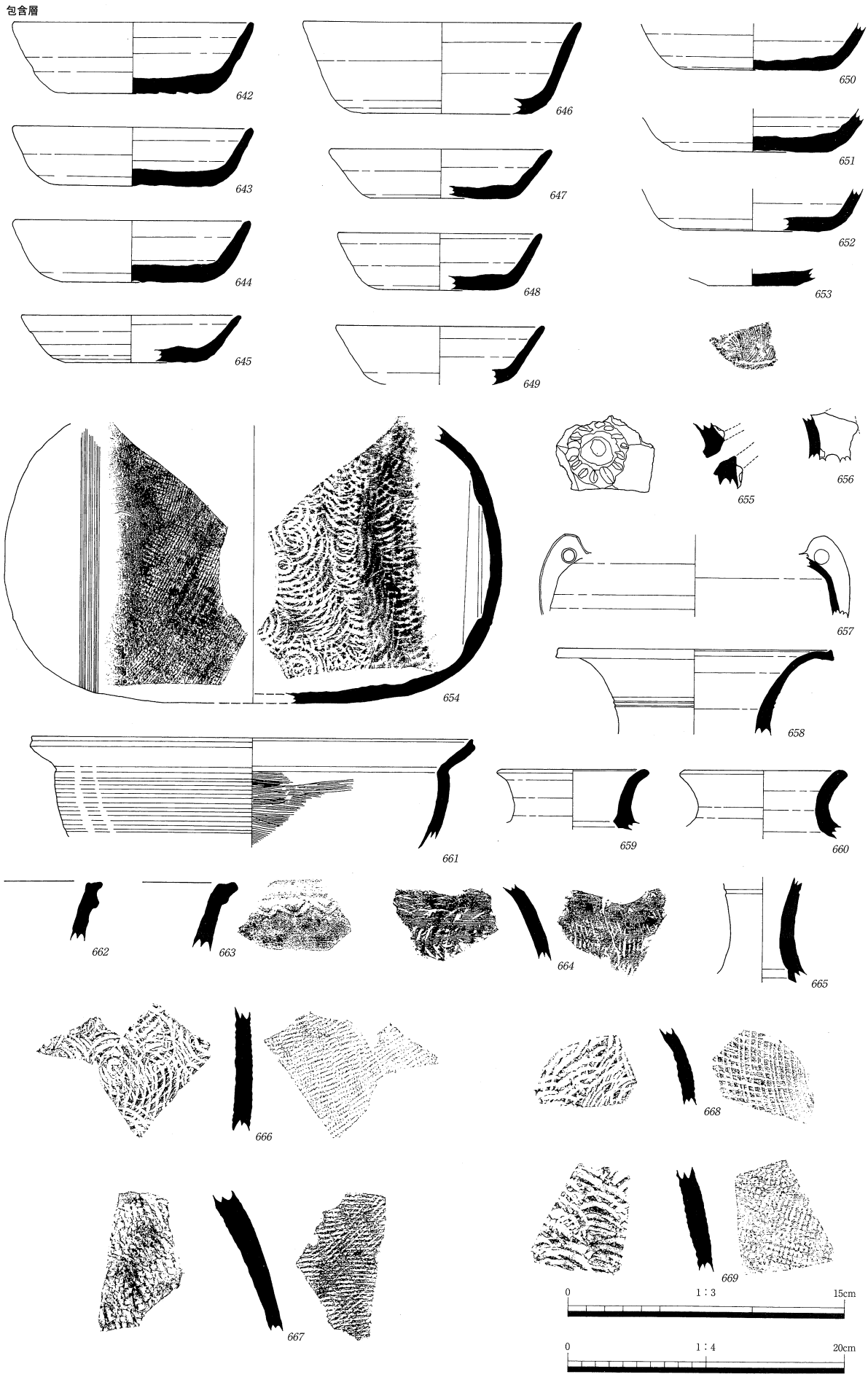
土師器（第82・84・85図，図版43・46～48）

古代から中世にかけてのもので，9世紀後半から16世紀代のものまで多様なものがある。9世紀後半～11世紀前半頃，13世紀中頃～14世紀代のものが一定量あり，12世紀～13世紀前半にかけてに主体がある。また，15世紀・16世紀代と思われる新しいものは調査区北半の段差下を中心に小量みられる。椀（603・670～676），皿（695～713），甕（613・677～682），鍋（612・683～687）がある。671は外面に僅かに赤彩の痕跡がみられる椀で，9世紀後半頃のものか。673は底部糸切りの椀で，外面はわずかに赤彩の痕跡が残るもので，11世紀代のものと思われる。675は内面が黒変しており，内黒椀の可能性がある。12世紀前半頃のもの。677・678は小型甕の底部で，677は外面手持ちヘラ削りが施されており，678は底部糸切り痕が残る。いずれも9世紀後半頃のものか。685・686は口縁端部を巻き込むように内側に折り曲げたもので，8世紀代のもの。702・703は11世紀代のもの。705は口縁二段ナデで内面にハケ状ナデが施され，713は口縁端部を面取りしたもので，いずれも12世紀末～13世紀前

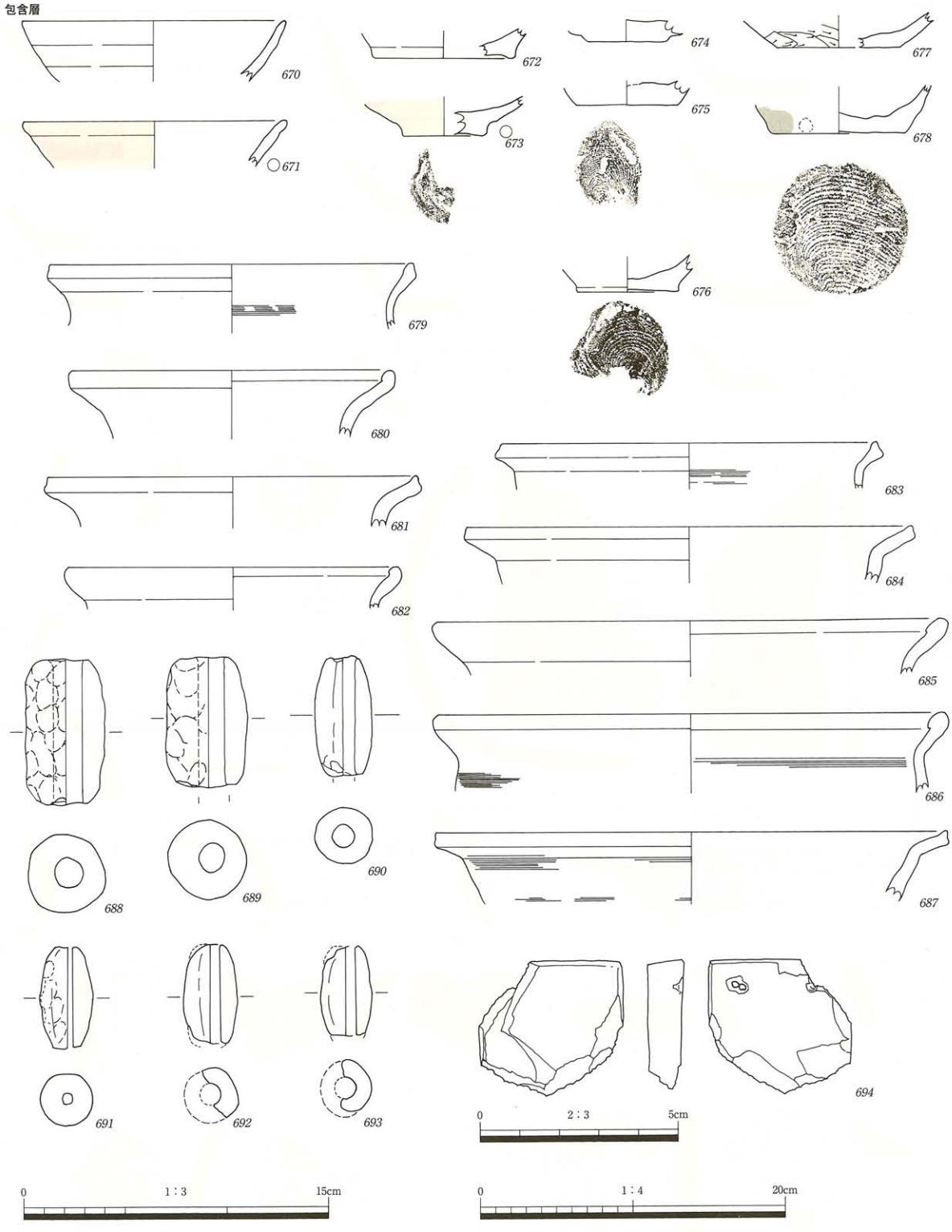


第82図　遺物実測図　（*603～611・614～641*　1/3，*612・613*　1/4）

包含層



第83図　遺物実測図　（642～653　1/3，654～669　1/4）
包含層



第84図　遺物実測図（*694*　2/3，*670～678・688～693*　1/3，*679～687*　1/4）
包含層

半頃のものと考える。

白磁・青磁（第82・85図，図版49）

出土量は少ない。青磁（604・716～718），白磁（714・715）がある。604は青磁椀で，13世紀前半～中頃のもの。714は玉縁状の口縁の白磁椀で，715は内面に型押しによる花文が施される椀で，いずれも12世紀末～13世紀のもの。716は口縁部が直線的に開く器形で，ヘラによる片切り彫りの蓮弁文を施すもので，鎬のないものである。太宰府分類ではⅣ類に相当する。717は体部から口縁部にかけて内湾気味に立ち上がる器形で，鎬のない蓮弁文を施す。13世紀中頃のものか。718は外面に櫛描文を施した椀で，太宰府分類のⅠ類１ｂに相当すると思われる。

珠洲（第85・86図，図版49・51）

出土量は比較的まとまってみられる。Ⅰ期～Ⅵ期までのものがみられるが，Ⅵ期に相当すると思われるものは調査区北半の段差下を中心に小量みられるだけで，Ⅰ～Ⅱ期のものが主体をしめている。壺（719・720），擂鉢（721～730），甕（731～735）がある。719は肩部に二段の櫛描波状文が加飾されるロクロ成形の壺（Ｒ種）で，四耳壺の可能性がある。Ⅱ～Ⅲ期に相当する。721～723は口縁部が内湾気味の器体で，口縁端部は方頭を呈し，水平に面取りするか外傾するもので，Ⅰ～Ⅱ期に相当する。721・722は卸目の有無はわからないが，723は卸目が施される。728・729はⅡ～Ⅲ期に比定されるもので，浅い原体によってまばらな卸目が施される。731・733・734はⅠ～Ⅱ期に比定される。口縁形態はほぼ水平に挽きだし端部を舌端状にしたもの（731・734）とやや短い嘴状にしたもの（733）がある。731の外面のタタキは頸基部から若干下がった部位から施される。732・735はⅣ～Ⅴ期に比定される。口縁形態は短頸で，くの字状に屈曲し端部は方頭を呈する。732の外面タタキは頸基部直下から施される。

瀬戸（第86図）

出土量は少ない。調査区北半の段差下で小量みられる。折縁皿（736），椀（741）がある。いずれも16世紀代のものと思われる。736は削りだし高台のＣ類[注10]に相当し，灰釉の全面施釉で，高台部分と内面の口縁屈曲部及び端部は釉が拭い取られており，高台裏には輪ドチ痕がある。大窯３段階かと思われる。741は鉄釉の椀である。

越中瀬戸（第86図）

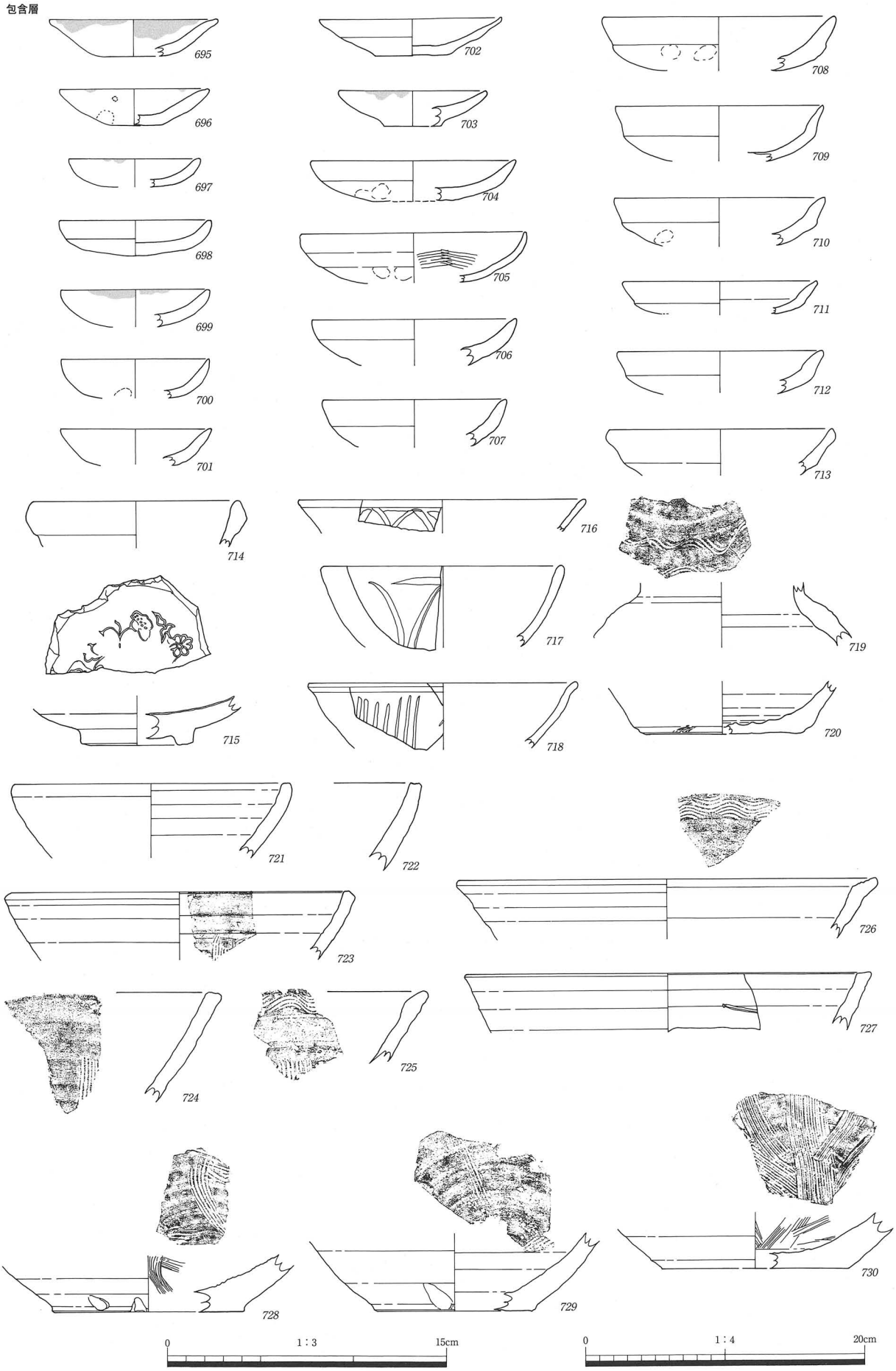
出土量は少なく，調査区北半の段差下で小量みられる。鉄釉の丸皿（737～740）で，高台付近と見込みは無釉である。737・739は見込みに菊花の印花を押捺する。いずれも17世紀代のものと思われる。

土製品（第84図，図版63）

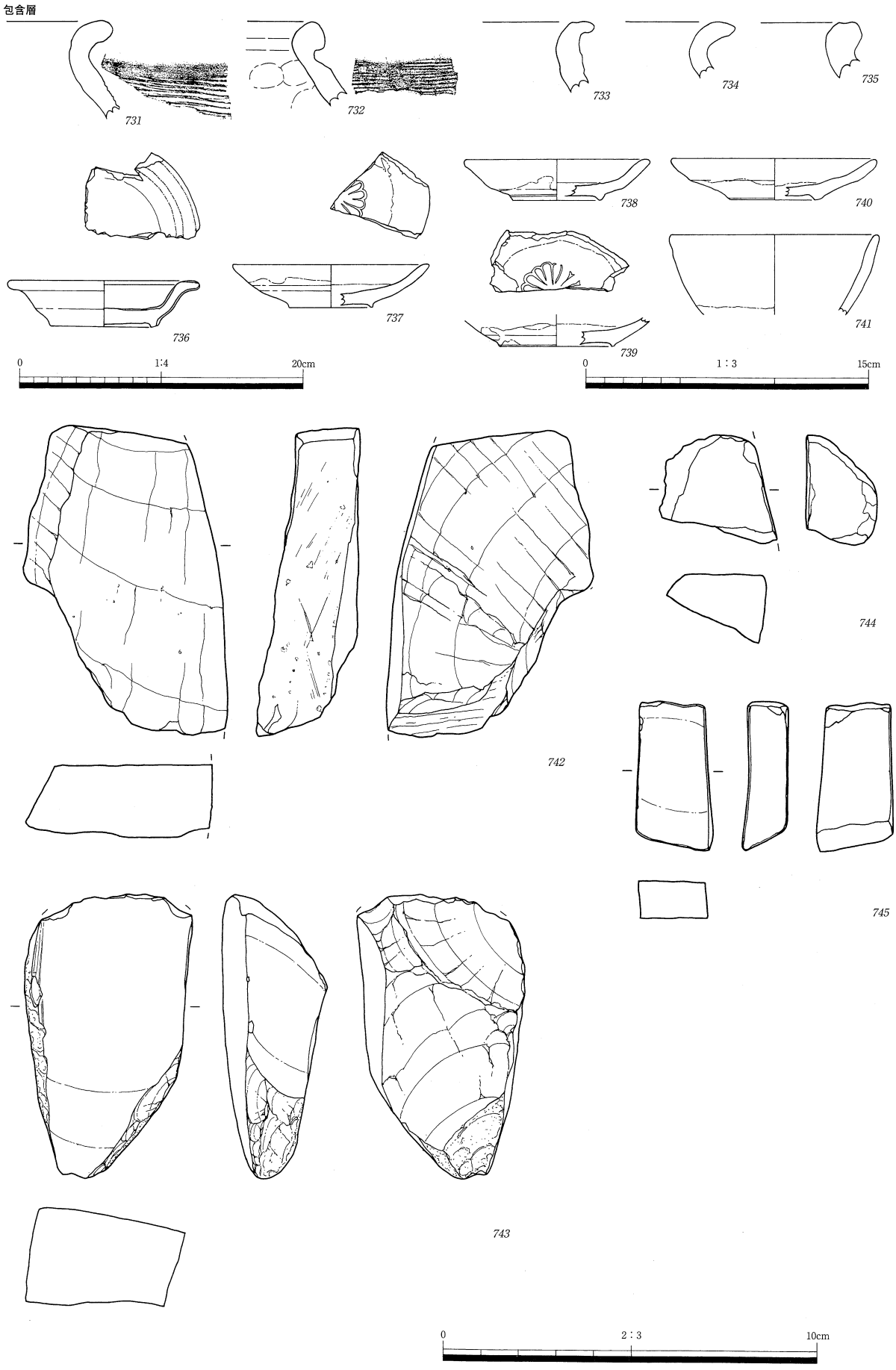
出土量は少ない。側縁部が直線的で円柱状をなす寸胴型[注11]（688・689）と側縁部がやや膨らむ樽型（690～693）がある。688・689・691は成形時の指押さえの痕が残る。図示はしていないが，羽口・炉壁も出土しており，羽口は分析の結果，製錬工程の送風に十分耐えられる高い耐火度を有していたと推察されている。

石製品（第84・86図，図版61）

石帯（694），砥石（742～745）がある。694は調査区北端から出土した石製帯飾り（石銙）で，腰回りを飾る四角形の巡方である。3.3㎝四方に復元でき，厚さ0.9㎝を測る。２孔一対の潜り孔をおそらく四隅にもつと思われる。蛋白石と思われる白色半透明の石材で，表面と側面は丁寧に研磨されており光沢がある。石帯の県内出土例の多くは黒色を呈するものが多く[注12]，694のような白色のものは少ない。742～744は中砥，745は仕上砥で，調査区北半の段差下からの出土である。石材はいずれも

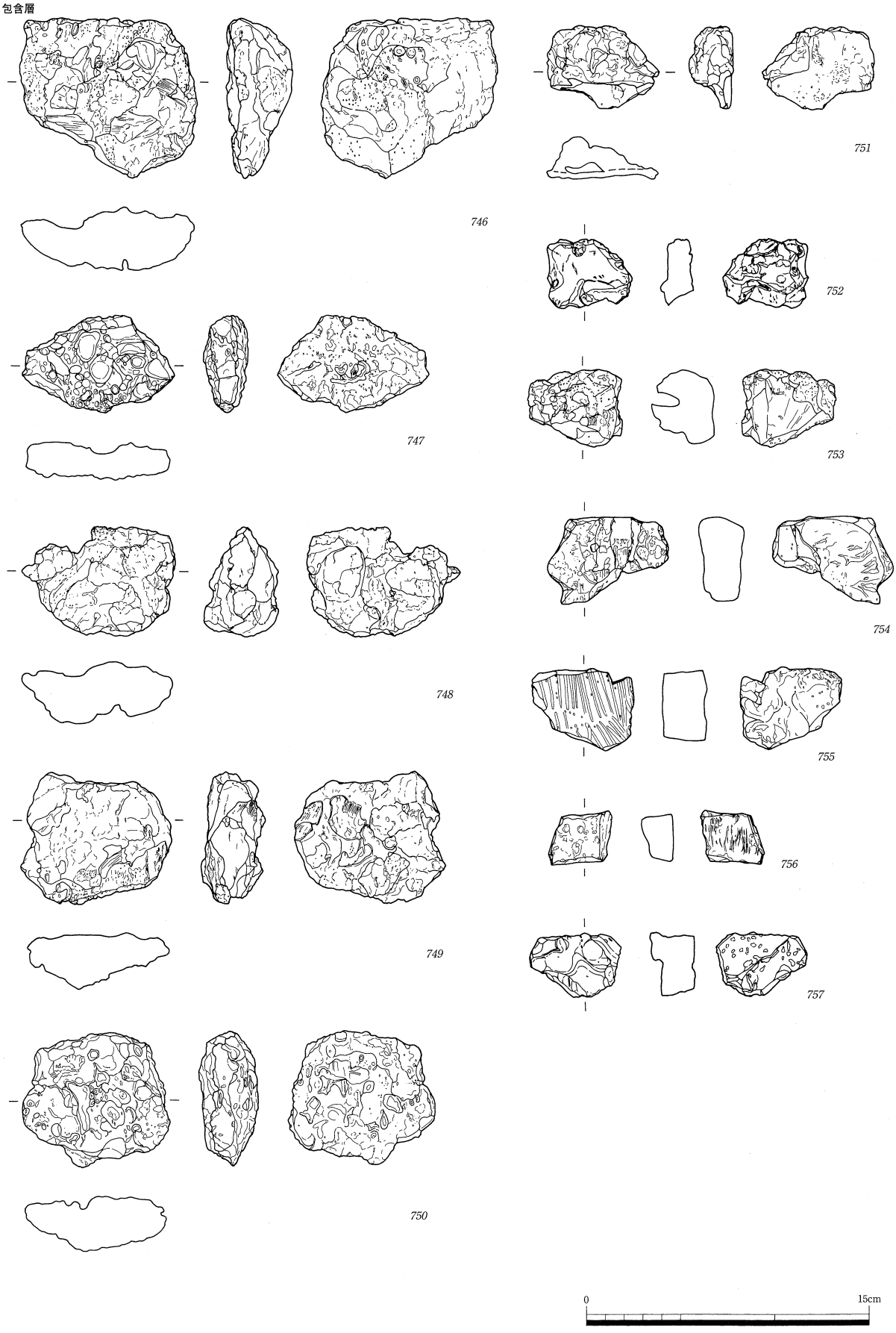


第85図　遺物実測図（*695～718*　1/3，*719～730*　1/4）
包含層



第86図　遺物実測図（*742～745*　2/3，*736～741*　1/3，*731～735*　1/4）
包含層

包含層



第87図　遺物実測図　(1/3)
包含層

凝灰岩である。743は破損後に手持ちの砥石として再使用していたと思われる。時期は不明である。

金属製品（第87図，図版62・63）

椀形滓（746～750），鉄滓（751～757）があるが，製品は出土していない。調査地区内では鉄滓や羽口をまとまって出土し，鍛冶に関連した可能性のある土坑を検出している。黒河尺目遺跡は過去の調査で製鉄に関連した集落として把握され，遺跡の東側約150mの畑総№15遺跡[注13]で古代の炭窯が確認されており，周辺に製鉄炉の存在が推測されている。鉄滓等の分析を行った結果，砂鉄を原料とした製鉄工程（製錬）と，さらに精錬鍛冶工程（大鍛冶）が行われていたと推察されている。

注1　稲垣尚美他　2002　『黒河尺目遺跡発掘調査報告』小杉町教育委員会
注2　吉岡康暢　1994　「珠洲陶器の編年的考察」『中世須恵器の研究』吉川弘文館
注3　自然科学的分析　「Ⅲ　黒河尺目遺跡出土鉄滓等分析調査」に詳しい。
注4　横田賢次郎・森田勉　1978　「太宰府出土の輸入中国陶磁器について」『九州歴史資料館研究論集』4
注5　河西健二他　1991　『富山県富山市南中田Ｄ遺跡発掘調査報告書』富山県埋蔵文化財センター
　　河西健二　1993　「越中の様相」『中世北陸の家・屋敷・暮らしぶり』北陸中世土器研究会
注6　注3に同じ
注7　出土遺物については，その後の整理により12世紀～13世紀頃のものが圧倒的に多くあることがわかったので，主体となるのは12世紀～13世紀頃と訂正する。
　　三島道子　2001　「黒河尺目遺跡の竪穴状遺構について」『富山考古学研究　第4号』
　　(財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所
注8　黒河中老田遺跡の挿図№146・153・154・164・173・175・253に「×」または「＃」状のヘラ記号がみられる。
注9　出越茂和　1995　「Ⅲ　北陸」『須恵器集成図録　第三巻』東日本編　雄山閣出版
注10　藤澤良祐　2002　「瀬戸・美濃大窯編年の再検討」『研究紀要　第10輯』（財)瀬戸市埋蔵文化財センター
注11　細辻真澄　2001　「任海宮田遺跡出土の土錘について」『富山考古学研究　第4号』
　　(財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所
注12　木村泰彦　1996　「長岡京の帯飾り」『月刊考古学ジャーナル』№402　ニュー・サイエンス社
　　安達志津　1997　「北陸における銙帯・石帯」『富山市考古資料館報』№31　富山市考古資料館
注13　原田義範　2000　『塚越貝坪遺跡，畑総№15遺跡発掘調査概要』小杉町教育委員会

3　まとめ

A　遺構

今回の調査区では縄文時代及び古代・中世の遺構を検出している。

縄文時代では調査区北半を中心に土坑46基を検出しており，そのうち7群36基は粘土採掘坑と考えられる。粘土採掘坑としたものは複数の土坑が重複したものである。埋土は人為的に埋め戻されたと考えられるもので，一つの穴を埋め戻しながら，掘り広げていったものと推定される。調査区南端でボーリングによる地質調査が行われているが，その結果によると，表土（Ⅰ層）下1.2mほどはシルトをかなり混入する灰褐色～褐色の粘土が堆積しており，粘土採掘坑の底面の標高はこの粘土層とさらに下層の砂質シルト層との境目付近の値となっている。このことから，灰褐色粘土（Ⅳ層相当）を採取していたものと推定される。遺物は埋土中から出土している。縄文中期後葉のものを主体とし，大半は破片の状態で，接合するものも少なく廃棄されたような状態であるが，ＳＫ1530からは埋土下位から深鉢が3個体並べられた状態で出土している。時代は異なるが調査区北側の黒河中老田遺跡で検出された古墳時代の粘土採掘坑から完形または半完形の土器が置かれたような状態で出土しているのと類似する。粘土採掘坑では完形品に近い土器が出土するという例が多く知られており，粘土の「採掘行為に伴う，あるいはこれに係わる祭祀行為」の存在が想定されている[注1]。

古代・中世の遺構は調査区北半にある段差上で，掘立柱建物44棟，柵５条，溝15条，井戸14基，土坑920基を検出している。建物の主軸方位や重複関係などから最低６時期以上が考えられ，古代から中世にかけての断続的な集落と思われる。古代と推定される遺構では，総柱建物ＳＢ１～ＳＢ４がある。４棟は主軸方位がほぼ同じで，直線上に等間隔で配されることから同時期もしくは近い時期に建てられたものと考えられる。２間×２間あるいは３間×２間の総柱という構造と規模から倉と考える。この他には竪穴状土坑３基があり，出土遺物から８世紀後半～９世紀前半頃と考える。建物と竪穴状土坑の関係は不明であるが，遺物の時期からは比較的近い時期の遺構と考えられる。調査区は舌状に

第88図　黒河尺目遺跡　時期別遺構分布図（1：1000）

のびた微高地西側辺部にあたり，集落の中心は調査区東側の微高地上にあると推測される。調査区内では倉と思われる建物群のライン以東で古代と推定される遺構が検出されていることから，倉は集落の縁辺に置かれていると仮定し，古代の集落の中心は調査区外東側に広がると推測した。この他の検出された多くの遺構は，古代末から中世にかけてのものである。ほぼ同じ場所で複数の建物が重複するものがあり，比較的短期間の間に建て替えを行ったことが伺え，屋敷地を選定していたものと想定される。また，調査区は黒河尺目遺跡の北端にあたり過去の調査で明らかになっている集落とは，谷や区画溝によって二分されていたと想定される。

B　遺物

出土遺物は少なく，後世の削平等により摩耗・破損しているものが多くみられる。

縄文土器は調査区中央部を中心に比較的まとまって出土しているが，小片が多く全形を窺えるものは少ない。中期前葉・中葉，晩期のものが少量みられ，若干の時間幅を持つが，主体は中期後葉の串田新Ⅱ式から中期末葉の岩峅野式にある。石器は打製石斧・磨製石斧が大半を占め，敲石や磨石などの他の種類の石器は少ない。石器の在り方は北側に隣接する黒河中老田遺跡と類似する。

古代では，８世紀後半～９世紀前半に一つのピークがあり，須恵器の時期は概ねこの頃にある。調査区北側に隣接する黒河中老田遺跡でも８世紀後半～９世紀前半を主体とする須恵器が出土しているが，黒河中老田遺跡出土の須恵器では８世紀前半に比定される若干古手のものが一定量みられ，黒河尺目遺跡とはやや時期幅を異にする。古代末から中世にかけてのものは，10世紀後半～11世紀前半および13世紀後半～14世紀のものが一定量あり，12世紀前半頃から増えはじめ，12世紀後半～13世紀にかけての頃に主体を持つ。その後15世紀以降のものは調査区北半の段差下を中心に若干みられるだけである。これらのことから，黒河尺目遺跡は古代以降の断続的な集落で，８世紀後半～９世紀前半と12世紀後半～13世紀の二時期に主体があると考えられる。黒河尺目遺跡の過去の調査[注2]では，集落は８世紀第２四半期までを一つの盛行期とし，若干の時間をおいて８世紀後半に再び営まれ，その後12世紀後半～13世紀中葉にかけて再び盛行期を迎えると考えられている。今回の調査で出土した遺物の時期は概ね合致しているが，８世紀第２四半期に比定されるものは少なく，過去の調査で明らかになった集落とは若干時間幅が異なると思われる。

また，遺跡が古代からの交通の要所に位置すること，４棟の直線上に並ぶ掘立柱建物（倉）が検出されたこと，石帯が出土していることなどから，黒河尺目遺跡に官衙的性格が伺えるとする見解[注3]もあるが，出土遺物は当該時期の一般的な集落遺跡と変わりがなく，集落の中心部は未調査であり，今回の調査成果からは可能性を否定はできないが，積極的な肯定はできない状態にある。

（金三津道子）

注１　永島暉臣慎他　1991　『長原遺跡発掘調査報告Ⅳ』（財）大阪市文化財協会

注２　岸本雅敏・関　清　1987　『七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査概要（5）』富山県教育委員会
関　清・安念幹倫　1988　『七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査概要（6）』富山県埋蔵文化財センター
上野　章・原田義範　1992　『小杉町黒河尺目遺跡発掘調査概要』富山県小杉町教育委員会
稲垣尚美他　2002　『黒河尺目遺跡発掘調査報告』小杉町教育委員会

注３　藤田富士夫　2002　「２．古代婦負郡の「郷」擬定と栃谷南遺跡の位置」『栃谷南遺跡発掘調査報告書Ⅲ』富山市教育委員会

第4表　黒河尺目遺跡縄文時代土坑一覧

遺構番号	平面形	規　模(m)			出土遺物	備　考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SX9	不整	5.44	3.44	0.84	縄文土器，土師器，須恵器，羽口，打製石斧，叩石		7	18
SK138	円	0.46	0.44	0.20	縄文土器		8	
SK262	円	0.39	0.31	0.06	縄文土器		8	6
SK326	円	1.22	1.00	0.25	縄文土器			
SX360	不整	1.14	1.60	0.73	縄文土器，土師器，須恵器，青磁，叩石，剥片		8	6
SX364	不整	1.35		0.40	縄文土器，円板状土製品		9	6
SK366	楕円	0.87	1.03	0.35	縄文土器	SK366<SK367,SK366>SK369	10	5
SK367	楕円	1.15	0.78	0.38	縄文土器	SK367>SK366·369,SK367<SK368	10	5
SK368	楕円		0.83	0.26	縄文土器，打製石斧	SK368>SK367	10	5
SK369	不整	2.26		0.61	縄文土器，土器片錘，土師器，羽口	SK369<SK367·SD330,SK369>SK385	10	5,6
SK384	不整		1.4	0.30	縄文土器	SK384<SD330·SK385	10	
SK385	不整	0.82		0.42	縄文土器	SK385>SK384,SK385<SK369	10	
SK411	円	0.59	0.69	0.26	縄文土器		8	6
SK481	不整	0.93	1.02	0.23	縄文土器		9	6
SK484	楕円	0.81	0.54	0.33	縄文土器		9	
SK485	円	0.62	0.74	0.42	縄文土器		9	
SK492	円	0.61	0.51	0.47	縄文土器		9	
SK493	楕円	0.82	0.53	0.18	縄文土器		9	
SK513	不整	3.12	3.08	0.52	縄文土器，土師器，須恵器，羽口，叩石，鉄滓	SK513>SK514·515,SK513<SB21	10	
SK514	楕円	1.35	1.69	0.23	縄文土器，土師器	SK514>SK515,SK514<SK513,SK514<SB21	10	
SK515	楕円	0.72		0.37	縄文土器	SK515<SK513·514	10	
SK592	不整	1.53	0.86	0.19	縄文土器	SK592＜SP592	8	
SX1035	不整	2.34	2.24	0.60	縄文土器		11,12	
SX1145	不整	1.94	1.67	0.52	縄文土器		11,12	
SX1146	不整	5.20	4.00	0.78	縄文土器，石錘		11,12	
SX1523	不整	7.48		0.88	縄文土器		13	
SK1524	不整	1.08	0.65	0.22	縄文土器		13	
SK1526	不整	2.65	1.44	0.50	縄文土器		13	7
SK1527	不整	1.66	0.95	0.79	縄文土器，円板状土製品		13	
SX1528	不整	14.8	6.7	0.84	縄文土器，円板状土製品，磨製石斧		14	7
SK1529	不整	2.00	0.74	0.52	縄文土器，土偶，磨製石斧，打製石斧		14	
SK1530	円	1.90	1.60	0.43	縄文土器		14	7
SK1531	円	0.80	0.74	0.39	縄文土器		14	
SK1532	不整	1.50		0.66	縄文土器，打製石斧		14	7
SK1533	不整	1.86		0.67	縄文土器，打製石斧		14	
SK1534	円	1.32	0.80	0.84	縄文土器		14	
SK1535	不整	1.34	0.68	0.65	縄文土器		14	
SK1536	不整	2.15	0.90	0.58			14	
SK1537	不整	3.08	1.44	0.75	縄文土器		14	
SK1538	不整	2.00	1.25	0.69	縄文土器		14	
SK1539	不整	1.90	1.24	0.80	縄文土器		14	
SK1540		0.74	0.60	0.53	縄文土器		14	
SK1541	不整	2.00	0.67	0.57			14	
SK1542	円	0.88	0.88		縄文土器		14	7
SK1543	円	1.16	0.84	0.48	縄文土器		14	7
SK1544	円	1.48	1.00	0.39	縄文土器		14	7
SK1547	不整	1.07	0.65	0.53	縄文土器		14	

第5表　黒河尺目遺跡掘立柱建物一覧

建物番号	桁行×梁行	桁行長(m)	梁行長(m)	面積(㎡)	棟方向	方位	柱形式	時代	備考	挿図番号	図版番号
SB1	3×2	4.3	3.8	16.34	南北	N－16°－E	総柱	Ⅰ		38	9
SB2	2×2	3.3	3.1	10.23	南北	N－21°－E	総柱	Ⅰ		38	9,10
SB3	2×2	3.8	3.3	12.54	南北	N－21°－E	総柱	Ⅰ		39	9,10
SB4	2×2	4.1	3.4	13.94	南北	N－18°－E	総柱	Ⅰ		39	9,11
SB5	2×1	4.8	4.6	22.08	南北	N－3°－W	側柱	Ⅳ		40	
SB6	6～×5	13.2～	12.7	167.64～	(東西)	N－75°－E	総柱	Ⅲ	N－15°－W	41,42	12
SB7	2×2	3.7	3.6	13.32	南北	N－10°－W	総柱	Ⅲ		40	
SB8	2×2	4.1	4.1	16.81	東西？	N－69°－E	総柱	Ⅱ	N－21°－W	40	11
SB9	2×2	3.5	3.1	10.85	東西	N－83°－E	総柱	Ⅳ	N－7°－W	42	11
SB10	2×2	4.0	3.5	14.0	南北	N－24°－W	側柱	Ⅱ		42	
SB11	4×2～	9.9	6.0～	59.4～	(南北)	N－6°－W	総柱	Ⅳ		43	
SB12	3×2	6.4	4.2	26.88	南北	N－2°－W	総柱	Ⅳ		44	
SB13	2×2	4.4	4.4	19.36	東西？	N－83°－E	側柱	Ⅳ	N－7°－W	44	
SB14	2×1～	5.1	3.0～	15.3～	(南北)	N	側柱	Ⅴ		45	
SB15	2×1～	4.8	2.5～	12.0～	(南北)	N	側柱	Ⅴ		45	
SB16	2～×2～	3.7～	2.5～	9.25～	(南北)	N－22°－W		Ⅱ		45	
SB17	2×1	6.1	3.2	19.52	南北	N－3°－W	側柱	Ⅳ		46	12
SB18	2×2～	4.9	3.1～	15.19～	(南北)	N－3°－W	側柱	Ⅳ		46	12
SB19	3×2～	7.5	2.7～	20.25～	(南北)	N－5°－W	側柱	Ⅳ		46,47	12
SB20	3×1～	6.0	2.0～	12.0～	(南北)	N－5°－W	側柱	Ⅳ		46,47	12
SB21	3×2	6.0	5.2	31.2	東西	N－69°－E	総柱	Ⅱ	N－21°－W	45	
SB22	5×5	7.7	4.7	36.19	東西	N－85°－W	総柱	Ⅵ	N－5°－E	47	13
SB23	3×2	6.5	3.8	24.7	南北	N－6°－E	総柱	Ⅵ		50	
SB24	4×3	9.5	6.7	63.65	南北	N－4°－W	総柱	Ⅳ		48,49	13
SB25	2～×2	5.4～	4.3	23.22～	(東西)	N－86°－W	側柱	Ⅵ	N－4°－E	48	13
SB26	4×2～	6.6	4.0～	26.4～	(南北)	N－10°－E	側柱	Ⅵ		48	13
SB27	3×2～	5.7	3.7～	21.09～	(南北)	N－6°－E	側柱	Ⅵ		48,50	13
SB28	3×2	6.5	4.8	31.2	東西	N－75°－E	総柱	Ⅲ	N－15°－W	51	
SB29	2×2	4.2	3.9	16.38	東西	N－70°－E	総柱	Ⅱ	N－20°－W	51	
SB30	3×2	7.3	5.5	40.15	南北	N－7°－E	総柱	Ⅵ		52	
SB31	4×1	6.1	4.7	28.67	南北	N－5°－E	側柱	Ⅵ		52	12
SB32	2×1	5.3	2.1	11.13	南北	N－11°－W	側柱	Ⅲ		53	
SB33	2×2	5.4	4.5	24.3	南北	N－21°－W	総柱	Ⅱ		53	
SB34	2×2	5.0	4.3	21.5	東西	N－83°－E	総柱	Ⅳ	N－7°－W	55	
SB35	3×2	53	3.5	18.55	東西	N－90°－E	総柱	Ⅴ	N，SX1344	54	19
SB36	2×2～	5.0	4.3～	21.5～	(南北)	N－20°－W	側柱？	Ⅱ		55	
SB37	3～×3	7.4～	6.5	48.1～	(東西)	N－80°－E	総柱	Ⅲ	N－10°－W	56	14
SB38	3～×2	7.8～	5.4	42.12	(東西)	N－66°－E	総柱	Ⅱ	N－24°－W	56	14
SB39	3×1	7.1	3.0～	21.3～	(東西)	N－73°－E	側柱	Ⅱ	N－17°－W	57	
SB40	3×2	5.9	4.0	23.6	南北	N－18°－W	総柱	Ⅱ		57	14
SB41	3×1	5.4	2.8	15.12	東西	N－76°－E	側柱	Ⅲ	N－14°－W	58	14
SB42	4×4	9.5	8.9	84.55	南北	N－19°－W	総柱	Ⅱ		59	
SB43	2×2	5.2	4.5	23.4	南北	N－17°－W	総柱	Ⅱ		58	
SB44	4～×1	9.1～	2.8	25.48～	(東西)	N－86°－E	側柱	Ⅳ	N－4°－W	60	

第6表　黒河尺目遺跡柱穴一覧（1）

建物番号	遺構番号	平面形	規模(m) 長さ	幅	深さ	出土遺物	柱痕跡	備考	挿図番号	図版番号
SB1	SP468	円	0.56	0.57	0.13	縄文土器				
	SP469	円	0.53	0.63	0.20	縄文土器				
	SP511	円	0.56	0.56	0.45					
	SP518	円	0.51	0.51	0.21					
	SP519	円	0.68	0.72	0.32	縄文土器	○		38	
	SP520	円	0.64	0.58	0.35	縄文土器				
	SP521	円	0.55	0.59	0.31	縄文土器				
	SP522	円	0.49	0.49	0.45		○		38	
	SP523	円	0.58	0.66	0.39	縄文土器	○		38	
	SP524	円	0.54	0.55	0.28	縄文土器			38	
	SP525	円	0.47	0.44	0.19					
	SP526	円	0.54	0.51	0.21		○			
SB2	SP579	円	0.55	0.52	0.41	縄文土器，砥石，剥片			38	
	SP580	円	0.56	0.57	0.16					
	SP583	円	0.56	0.46	0.33	縄文土器	○		38	
	SP649	楕円	0.84	0.51	0.44	縄文土器	○	SP649<SK647		
	SP650	円	0.40	0.35	0.12	縄文土器				
	SP657	円	0.38	0.42	0.15	縄文土器				
	SP660	楕円	0.90	0.65	0.29	縄文土器		SP660<SD669・751		
	SP666	楕円	0.67	0.46	0.41	縄文土器				
	SP863	円	0.54	0.57	0.29	縄文土器	○			

第6表　黒河尺目遺跡柱穴一覧（2）

建物番号	遺構番号	平面形	規模(m) 長さ	幅	深さ	出土遺物	柱痕跡	備考	挿図番号	図版番号
SB3	SP663	円	0.73	0.73	0.26	縄文土器				
	SP664	円	0.56	0.51	0.30	縄文土器				15
	SP665	円	0.60	0.56	0.26	縄文土器			39	
	SP709	円	0.78	0.66	0.33				39	
	SP710	円	0.60	0.82	0.28		○			
	SP712	円	0.58	0.58	0.26		○			
	SP713	円	0.48	0.54	0.13	土師器				
	SP714	円	0.73	0.62	0.34	縄文土器				
	SP724	円	0.61	0.53	0.23					
SB4	SP742	円	0.78	0.84	0.51		○	SP742<SK739・740	39	15
	SP743	円	0.65	0.65	0.33		○		39	15
	SP744	円	0.76	0.84	0.42	須恵器	○		39	15
	SP745	円	0.84	0.95	0.46	縄文土器	○		39	15
	SP746	円	0.82	0.82	0.43	縄文土器，土師器，鉄滓	○	SP746<SK753		
	SP747	円	0.83	0.77	0.40	縄文土器，土師器	○			
	SP748	円	0.66	0.68	0.46	縄文土器，須恵器	○		39	
	SP749	円	0.69	0.72	0.34	縄文土器	○		39	
	SP750	円	0.83	0.79	0.24	縄文土器，土師器	○			
SB5	SP46	円	0.42	0.32	0.22					
	SP53	円	0.38	0.42	0.18					
	SP55	円	0.41	0.41	0.29	土師器，須恵器	△			
	SP56	円	0.34	0.38	0.39	縄文土器	○			
	SP57	円	0.34	0.29	0.11	珠洲				
	SP58	円	0.46	0.40	0.41	須恵器				
SB6	SP38	円	0.33	0.31	0.39	土師器	△			
	SP40	円	0.40	0.31	0.10		△			
	SP65	円	0.45	0.38	0.22	須恵器				
	SP68	円	0.40	0.40	0.29	縄文土器，土師器，須恵器	△			
	SP69	円	0.37	0.41	0.34					
	SP71	円	0.42	0.45	0.21	土師器				
	SP73	円	0.37	0.38	0.27	土師器				
	SP75	円	0.33	0.33	0.31					
	SP80	円	0.41	0.39	0.25	須恵器				
	SP85	円	0.36	0.31	0.12	縄文土器，須恵器				
	SP86	円	0.40	0.39	0.17					
	SP88	円	0.39	0.42	0.22	土師器	○			15
	SP128	円	0.34	0.35	0.15	珠洲	○			
	SP130	円	0.37	0.37	0.11					
	SP132	円	0.38	0.35	0.34		○			
	SP137	円	0.35	0.27	0.17	縄文土器				
	SP149	円	0.30	0.27	0.06					
	SP393	円	0.32	0.33	0.25					
	SP1413	円	0.40	0.38	0.18					
	SP1427	円	0.34	0.30	0.23					
	SP1428	円	0.32	0.34	0.35	須恵器				
	SP1429	円	0.35	0.30	0.14					
	SP1430	円	0.39	0.39						
	SP1432	円	0.24	0.22	0.06					
	SP1434	円	0.45	0.37	0.14					
	SP1482	円	0.25	0.25	0.27					
	SP1483	円	0.40	0.31	0.30	縄文土器				
SB7	SP91	円	0.28	0.30	0.11					
	SP92	円	0.45	0.44	0.21					
	SP93	円	0.21	0.25	0.13					
	SP151	円	0.38	0.36	0.08	縄文土器，柱根	○		40	
	SP153	円	0.44		0.07					
	SP154	楕円	0.52	0.40	0.23	土師器				
	SP155	円	0.34	0.35	0.16					
	SP1416	円	0.43	0.42	0.18	縄文土器				
SB8	SP160	円	0.34	0.33	0.17	縄文土器，須恵器	○		40	
	SP161	円	0.29	0.29	0.30	縄文土器	○			
	SP163	円	0.32	0.28	0.20		△		40	
	SP168	円	0.30	0.27	0.20	土師器				
	SP170	円	0.36	0.35	0.18	縄文土器				
	SP429	円	0.34	0.30	0.17					
	SP1477	円	0.35	0.37	0.13					
SB9	SP175	不整	0.40		0.08	縄文土器，土師器，須恵器		SP175<SK175		
	SP1385	円	0.27	0.26	0.20					
	SP1387	円	0.24	0.25	0.13					
	SP1388	円	0.40	0.30	0.08					
	SP1390	円	0.43	0.34	0.17					
	SP1391	円	0.32	0.27	0.17					
	SP1393	円	0.29	0.29	0.14					
	SP1478	円	0.34	0.33	0.27					
SB10	SP281	円	0.32		0.13			SP281<SK280		
	SP287	円	0.34	0.33	0.18					
	SP289	円	0.27	0.22	0.11					
	SP296	円	0.29	0.29	0.16					
	SP299	円	0.37	0.35	0.17	縄文土器				
	SP301	円	0.38	0.35	0.12					
	SP401	円	0.31	0.35	0.20			SP401>SK402		
	SP1437	円	0.46	0.38	0.24		○			

第6表　黒河尺目遺跡柱穴一覧（3）

建物番号	遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	柱痕跡	備　考	挿図番号	図版番号
			長さ	幅	深さ					
SB11	SP317	円	0.38	0.35	0.25		△			
	SP318	円	0.34	0.30	0.24		△			
	SP333	円	0.29	0.26	0.47					
	SP1371	円	0.43	0.49	0.28					
	SP1374	円	0.35	0.36	0.39	縄文土器	△			
	SP1377	円	0.32	0.36	0.37		△		43	
	SP1378	円	0.54	0.43	0.31	土師器，須恵器	○			
	SP1379	円	0.35	0.33	0.34		○		43	
	SP1381	円	0.27	0.22						
	SP1382	円	0.27	0.28	0.42		△		43	
	SP1438	円	0.30	0.29	0.33					
	SP1447	円	0.34	0.36	0.31	縄文土器，土師器，須恵器				
	SP1448	円	0.47	0.37	0.42	土師器，須恵器，鉄滓				
SB12	SP344	円	0.30	0.28	0.18					
	SP394	円	0.21	0.23	0.26	土師器，須恵器	△			
	SP396	円	0.30	0.28	0.45	土師器，須恵器	△		44	
	SP398	円	0.27	0.28	0.15	縄文土器，土師器，内黒土器	△		44	
	SP1439	円	0.31	0.29	0.15					
	SP1440	円	0.21	0.23	0.16					
	SP1441	円	0.28	0.20	0.12					
	SP1442	円	0.22	0.23	0.20					
	SP1443	円	0.24	0.41	0.27		○			
	SP1444	円	0.35	0.30	0.36	縄文土器，土師器	○		44	
	SP1445	円	0.22	0.21	0.25					
	SP1446	円	0.29	0.29	0.16					
SB13	SP15	円	0.31	0.30	0.12					
	SP18	円	0.32	0.31	0.17					
	SP22	円	0.34	0.34	0.14	土師器，須恵器				
	SP105	円	0.21	0.17	0.11					
	SP1510	円	0.44	0.28	0.30					
	SP1511	円	0.21	0.31	0.44					
SB14	SP206	円	0.40	0.53	0.28	縄文，土師器，須恵器		SP206>SP205		
	SP225	円	0.40	0.33	0.27	縄文土器，須恵器	△			
	SP236	円	0.33	0.35	0.22	縄文土器，須恵器				
	SP331	円	0.32	0.31	0.20	縄文土器，土師器				
SB15	SP206	円	0.40	0.53	0.28	縄文，土師器，須恵器		SP206>SP205		
	SP224	円	0.35	0.36	0.10	縄文土器，土師器				
	SP1359	円	0.32	0.35	0.32	縄文土器，土師器，須恵器	△			
	SP1436	円	0.28	0.21	0.12					
SB16	SP208	円	0.34	0.34	0.30	縄文土器，砥石	△			
	SP223	円	0.36	0.32	0.14	縄文土器，土師器，須恵器	○			
	SP365	円	0.31	0.33	0.19	縄文土器				
SB17	SP376	円	0.46	0.37	0.18					
	SP383	楕円	0.76	0.48	0.32	縄文土器	○			
	SP432	楕円	0.78	0.51	0.52	縄文土器	○			
	SP452	円	0.58	0.54	0.42	縄文土器，土師器	△	SP452>SK453		
	SP454	楕円	0.42	1.06	0.39	土師器，釘，鉄滓	○			
	SP463	円	0.49	0.47	0.23	土師器，鉄滓				
SB18	SP434	円	0.44	0.46	0.30	縄文土器				
	SP438	円	0.38	0.32	0.30	縄文土器，土師器				
	SP1396	円	0.26	0.30	0.06					
	SP1406	円	0.28	0.26	0.20		○			
SB19	SP435	円	0.62	0.57	0.37	縄文土器，内黒土器	○			
	SP439	円	0.66	0.66	0.35	縄文土器，土師器				
	SP456	円	0.45	0.37	0.21	縄文土器，土師器				
	SP460	楕円	0.86	0.58	0.31		○			
	SP466	円	0.68	0.63	0.37	縄文土器，須恵器				
SB20	SP458	楕円	0.64		0.22	土師器				
	SP464	楕円	0.75	0.36	0.20					
	SP642	円	0.30	0.32	0.21					
	SP1394	楕円	0.57	0.35	0.20		△			
SB21	SP487	円	0.26	0.31	0.27	土師器				
	SP536	円	0.24	0.26	0.10					
	SP548	円	0.31	0.29	0.24	須恵器				
	SP559	円	0.33	0.25	0.12					
	SP564	円	0.42	0.34	0.32		○		45	
	SP1356	円	0.19	0.19	0.12					
	SP1400	円	0.30	0.26	0.08					
	SP1449	円	0.35	0.33	0.28					
	SP1450	円	0.30	0.25	0.15					
SB22	SP537	円	0.36	0.25	0.11					
	SP538	円	0.23	0.34	0.13					
	SP541	円	0.28	0.25	0.06			SP541>SP540・SK542		
	SP549	円	0.26	0.27	0.10					
	SP550	円	0.40	0.30	0.30					
	SP552	円	0.32	0.25	0.10					
	SP553	円	0.30	0.27	0.09					
	SP565	円	0.27	0.30	0.09					
	SP566	円	0.26	0.23	0.07					
	SP567	円	0.27	0.24	0.06					
	SP568	円	0.24	0.27	0.05					
	SP569	円	0.31	0.28	0.06					

第6表　黒河尺目遺跡柱穴一覧（4）

建物番号	遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	柱痕跡	備考	挿図番号	図版番号
			長さ	幅	深さ					
SB22	SP570	円	0.25	0.24	0.09					
	SP571	円	0.20	0.24	0.06					
	SP572	円	0.23	0.27	0.08					
	SP573	円	0.22	0.34	0.11					
	SP574	円	0.36	0.28	0.10					
	SP576	円	0.29	0.29	0.07	須恵器				
	SP577	円	0.29	0.27	0.09					
	SP578	円	0.33	0.26	0.10					
	SP1451	円	0.25	0.25	0.09					
	SP1452	円	0.26	0.26	0.06					
	SP1453	円	0.21	0.27	0.02					
	SP1454	円	0.32	0.23	0.08					
	SP1455	円	0.19	0.15	0.04					
	SP1456	円	0.27	0.21	0.10					
	SP1457	円	0.21	0.18	0.09					
	SP1458	円	0.26	0.21	0.08					
	SP1459	円	0.27	0.24	0.08					
	SP1460	円	0.30	0.25	0.06					
	SP1461	円	0.24	0.22	0.04					
	SP1464	円	0.20	0.20	0.05					
	SP1465	円	0.22	0.28	0.06					
SB23	SP533	円	0.41	0.37	0.21				50	
	SP534	円	0.45	0.52	0.19	縄文土器，須恵器				
	SP539	円	0.37	0.34	0.17					
	SP540	円	0.34	0.34	0.21	須恵器		SP540<SP541		
	SP543	円	0.30	0.34	0.15	縄文土器				
	SP545	円	0.45	0.38	0.26				50	
	SP581	円	0.42	0.34	0.22					
	SP1353	円	0.28	0.28	0.15	縄文土器，土師器				
	SP1354	円	0.30	0.25	0.17	縄文土器				
	SP1466	円	0.53	0.41	0.11					
	SP1468	円	0.24	0.23	0.17					
SB24	SP499	円	0.55	0.40	0.40	縄文土器，磨製石斧	○		49	
	SP501	円	0.61	0.50	0.43	縄文土器，土師器	○		49	
	SP503	楕円	0.73	0.55	0.52	縄文土器	○		49	
	SP528	楕円	1.00	0.55	0.51	縄文土器，須恵器	○		49	
	SP589	円	0.55		0.28	縄文土器，土師器	○		49	
	SP597	円	0.35	0.38	0.28		○			
	SP600	円	0.58	0.61	0.36	縄文土器，土師器	○		49	
	SP608	楕円	0.60	0.54	0.29	縄文土器				
	SP610	円	0.35	0.33	0.36	縄文土器	○		49	
	SP612	円	0.45	0.55	0.37	縄文土器	○	SP612>SK614	49	
	SP621	円	0.54	0.60	0.31	縄文土器				
	SP635	楕円	0.55	0.58	0.51	縄文土器，土師器	○		49	
	SP640	楕円	0.63		0.45	縄文土器，土師器，須恵器		SP640<SK639		
	SP717	楕円	0.63	0.33	0.31	縄文土器				
	SP1506	円	0.45	0.56	0.39					
	SP1548	円	0.78		0.25					
SB25	SP590	円	0.38	0.38	0.20	縄文土器				
	SP607	円	0.42	0.42	0.18					
	SP617	円	0.41	0.35	0.21	縄文土器	△			
	SP629	円	0.70	0.57	0.11	縄文土器				
	SP638	円	0.32	0.32	0.25	縄文土器，須恵器				
SB26	SP594	円	0.37	0.30	0.22			SP594>SK593		
	SP605	楕円	0.52	0.39	0.19	縄文土器				
	SP615	円	0.38	0.36	0.24					
	SP632	円	0.42	0.43	0.34	縄文土器				
	SP637	円	0.40		0.55	縄文土器	○	SP637<SK636	48,75	
	SP720	楕円	0.34	0.34	0.46	縄文土器	○		48	
	SP1476	円	0.28	0.25	0.32	縄文土器				
SB27	SP596	円	0.49	0.39	0.25	縄文土器	○		50	
	SP611	円	0.42	0.46	0.21	縄文土器				
	SP631	円	0.42	0.44	0.36	縄文土器				
	SP637	楕円	0.7		0.22	縄文土器		SP637<SK636		
	SP715	円	0.43	0.48	0.20	土師器	△		50	
	SP718	楕円	0.63	0.49	0.35	縄文土器，土師器			50	
SB28	SP652	円	0.24	0.27	0.13					
	SP676	円	0.30	0.32	0.11					
	SP681	円	0.28	0.28	0.14					
	SP686	円	0.37	0.31	0.21					
	SP689	円	0.21	0.20	0.05					
	SP694	円	0.28	0.30	0.12					
	SP701	円	0.30	0.34	0.23					
	SP791	円	0.28	0.24	0.23					
	SP1470	円	0.28	0.30	0.24					
	SP1471	円	0.30	0.28	0.15					
	SP1472	円	0.24	0.22	0.15					
SB29	SP672	円	0.35	0.33	0.26	土師器	○		51	
	SP677	円	0.30	0.25	0.18					
	SP693	円	0.25	0.22	0.10					
	SP707	円	0.29	0.33	0.13					
	SP708	円	0.28	0.31	0.22					

第6表　黒河尺目遺跡柱穴一覧（5）

建物番号	遺構番号	平面形	規模(m) 長さ	幅	深さ	出土遺物	柱痕跡	備考	挿図番号	図版番号
SB29	SP1355	円	0.27	0.26	0.22		○			
	SP1474	円	0.43	0.28	0.32					
	SP1475	円	0.35	0.35	0.98		△			
SB30	SP28	楕円	0.48	0.36	0.22	土師器				
	SP52	円	0.40	0.34	0.19					
	SP61	円	0.43	0.27	0.18	土師器				
	SP1417	円	0.26	0.28	0.10					
	SP1418	円	0.21	0.21	0.16					
	SP1419	円	0.46	0.34	0.41					
	SP1420	円	0.21	0.24	0.11					
	SP1421	円	0.23	0.23	0.08					
	SP1422	円	0.25	0.26	0.08					
	SP1423	円	0.18	0.15	0.15					
	SP1424	円	0.40	0.25	0.09					
SB31	SP34	円	0.35	0.44	0.26					
	SP35	楕円	0.53	0.32	0.33				52	
	SP36	円	0.54	0.38	0.29	縄文土器，土師器			52	
	SP39	円	0.30	0.30	0.19	土師器			52	
	SP41	円	0.26	0.30	0.20					
	SP64	円	0.38	0.36	0.15					
	SP66	円	0.45	0.37	0.14					
	SP1414	円	0.38	0.36	0.16					
	SP1425	円	0.39	0.31	0.43					
	SP1426	円	0.25	0.19	0.05					
SB32	SP855	円	0.35	0.31	0.63	須恵器	△	SP855>SK856		
	SP860	円	0.48	0.40	0.21				53	
	SP862	円	0.35	0.30	0.24	鉄滓				
	SP866	円	0.30	0.31	0.26	縄文土器			53	
	SP1370	円	0.33	0.33	0.32		○		53	
SB33	SP848	円	0.33	0.33	0.28	土師器				
	SP873	円	0.48	0.39	0.17					
	SP904	円	0.46	0.42	0.31		△		53	
	SP906	円	0.33	0.34	0.34		△		53	
	SP1005	円	0.28	0.24	0.18	縄文土器				
	SP1066	円	0.28	0.28	0.28	縄文土器				
	SP1071	円	0.53	0.39	0.32		△		53	
SB34	SP903	楕円	0.41	0.34	0.17					
	SP905	円	0.48	0.36	0.27		△		55	
	SP907	楕円	0.47	0.32	0.28					
	SP909	楕円	0.40	0.31	0.28				55	
	SP916	円	0.38	0.36	0.23	縄文土器			55	
	SP918	円	0.31	0.34	0.27					
	SP1068	円	0.37	0.33	0.31	縄文土器	○		55	
	SP1485	円	0.28	0.29	0.36					
SB35	SP833	円	0.23	0.21	0.31	縄文土器	△			
	SP839	円	0.34	0.28	0.41		△		54	
	SP1346	円	0.35	0.35	0.27					
	SP1347	円	0.39	0.31	0.36	縄文土器	△		54	
	SP1348	円	0.21	0.29	0.25	縄文土器	○		54	
	SP1488	円	0.37	0.30	0.35					
	SP1489	円	0.35	0.26	0.23					
	SP1490	円	0.56	0.47	0.24					
	SP1491	円	0.26	0.29	0.22					
	SP1492	円	0.37	0.28	0.26		△		54	
	SP1493	円	0.19	0.24	0.15					
	SP1494	円	0.40	0.31	0.36		○		54	
SB36	SP818	円	0.27	0.26	0.17					
	SP928	円	0.24	0.24	0.17					
	SP952	円	0.32	0.30	0.28	縄文土器				
	SP959	円	0.35	0.37	0.25					
SB37	SP944	円	0.38	0.40	0.34	縄文土器，須恵器				
	SP948	円	0.36	0.34	0.29	縄文土器，土師器		SP948>SP949		
	SP977	円	0.29	0.29	0.14					
	SP982	円	0.28	0.23	0.24			SP982>SK983		
	SP985	円	0.31	0.30	0.13	縄文土器			56	
	SP999	円	0.26	0.25	0.14					
	SP1039	楕円	0.42	0.33	0.19					
	SP1048	円	0.38	0.38	0.26		△			
	SP1062	楕円	0.59	0.33	0.31		○		56	
	SP1139	円	0.29	0.28	0.22	縄文土器				
	SP1152	円	0.40	0.37	0.21	縄文土器				
SB38	SP942	円	0.28	0.24	0.37		△			
	SP949	円	0.29		0.26	縄文土器		SP949<SP948		
	SP963	円	0.41	0.38	0.28		△	SP963>SK964		
	SP968	円	0.57	0.40	0.39	縄文土器，土師器		SP968>SK969	56	
	SP976	円	0.43	0.36	0.19					
	SP1000	円	0.39	0.33	0.29					
	SP1032	円	0.53	0.43	0.35	縄文土器	△	SP1032>SK1045	56	
	SP1042	楕円	0.58	0.50	0.52	縄文土器	○			
	SP1148	円	0.38	0.42	0.37	縄文土器，土師器，須恵器	△			
SB39	SP1040	円	0.44	0.37	0.43		○		57	
	SP1138	円	0.28	0.24	0.15	縄文土器	△	SP1138>SD656		

第6表　黒河尺目遺跡柱穴一覧（6）

建物番号	遺構番号	平面形	規模（m）			出土遺物	柱痕跡	備考	挿図番号	図版番号
			長さ	幅	深さ					
SB39	SP1151	円	0.27	0.30	0.41	土師器	△			
	SP1155	円	0.25	0.25	0.22					
	SP1157	円	0.26	0.28	0.21					
	SP1159	楕円	0.60	0.47	0.33	縄文土器，白磁				
	SP1173	円	0.33	0.32	0.24	縄文土器，土師器	△		57	
SB40	SP1056	楕円	0.62	0.49	0.36		○		57	
	SP1060	円	0.37		0.29		△	SP1060<SK1059		
	SP1186	円	0.31		0.17			SP1186<SK1185		
	SP1188	楕円	0.88	0.57	0.36	縄文土器，打製石斧				
	SP1196	楕円	0.88	0.41	0.29	磨製石斧				
	SP1198	楕円	0.48	0.35	0.27	縄文土器，土師器，珠洲			57	
	SP1202	円	0.42	0.33	0.19					
	SP1212	楕円	0.65	0.42	0.27					
	SP1218	円	0.35	0.32	0.19	土師器				
	SP1221	円	0.39		0.29		○	SP1221<SK1220	57	
	SP1229	円	0.51	0.32	0.15					
	SP1479	円	0.55	0.35	0.23			SP1479>SK1210		
SB41	SP1168	円	0.22	0.35	0.17			SP1168>SK1167		
	SP1180	楕円	0.58	0.28	0.28		△		58	
	SP1182	円	0.44	0.32	0.27					
	SP1190	円	0.26	0.25	0.36			SP1190>SK1189		
	SP1197	円	0.39	0.33	0.41		○		58	
	SP1204	円	0.33	0.33	0.22	縄文土器		SP1204>SK1205		
	SP1207	円	0.60	0.64	0.55	縄文土器，土師器，珠洲		SP1207>SK1208	58	
	SP1217	円	0.25	0.25	0.26					
SB42	SP1125	円	0.32	0.36	0.36		△			
	SP1130	円	0.35	0.33	0.20			SP1130>SK1131		
	SP1245	円	0.45	0.46	0.23					
	SP1248	楕円	0.58	0.44	0.35	土師器				
	SP1252	円	0.45	0.44	0.33	縄文土器，土師器				
	SP1255	円	0.44	0.43	0.32	縄文土器，鉄滓	○			
	SP1256	円	0.51	0.36	0.32					
	SP1257	楕円	0.74	0.54	0.39					
	SP1264	円	0.30	0.31	0.18					
	SP1268	円	0.43	0.42	0.31					
	SP1273	楕円	0.85	0.44	0.21					
	SP1274	楕円	0.62	0.41	0.41		○		59	
	SP1275	円	0.42	0.42	0.34					
	SP1278	円	0.49	0.42	0.22					
	SP1281	円	0.43	0.45	0.30					
	SP1286	円	0.41	0.54	0.30					
	SP1293	楕円	0.51	0.43	0.39	土師器	○		59	
	SP1294	円	0.44	0.47	0.34	土師器	○		59	
	SP1299	円	0.48	0.45	0.32		○		59	15
	SP1301	円	0.43	0.47	0.19					
	SP1324	円	0.46	0.44	0.35		○		59	
	SP1325	円	0.38	0.41	0.16					
	SP1480	円	0.40	0.45	0.44					
SB43	SP1258	円	0.34	0.30	0.31	縄文土器	△			
	SP1261	円	0.33	0.34	0.29		△		58	
	SP1269	円	0.35	0.33	0.16					
	SP1276	円	0.34	0.32	0.26				58	
	SP1282	円	0.37	0.44	0.32				58	
	SP1288	円	0.32	0.25	0.14					
	SP1296	円	0.45	0.47	0.35	土師器	○		58	
	SP1300	円	0.35	0.45	0.20	須恵器				
	SP1481	円	0.27	0.28	0.42		○			
SB44	SP1307	円	0.42	0.45	0.41		○		60	
	SP1312	円	0.35	0.37	0.26					
	SP1315	円	0.45	0.45	0.26		○		60	15
	SP1318	円	0.49	0.47	0.28	縄文土器，須恵器				
	SP1331	円	0.37	0.30	0.34		△			
	SP1333	円	0.37	0.27	0.23		○		60	
	SP1338	円	0.34	0.29	0.19					
	SP1509	円	0.23	0.23	0.11					
SA1	A-SP197	楕円	0.57	0.36	0.05					
	A-SP198	円	0.34	0.33	0.09					
	A-SP199	円	0.45	0.40	0.08					
	A-SP200	楕円	0.34	0.33	0.13	縄文土器				
	A-SP201	楕円	0.43	0.37	0.12					
	A-SP202	円	0.43	0.43	0.15					
	A-SP203	円	0.39	0.43	0.11	須恵器				
	A-SP204	円	0.40	0.34	0.12	縄文土器，須恵器				
	A-SP205	円		0.40	0.10			SP205<SP206		
	A-SP207	円	0.34	0.34	0.34					
	A-SP212	円	0.37	0.40	0.09	縄文土器，須恵器，磨製石斧				
	A-SP213	円	0.41	0.35	0.11					
	A-SP214	楕円	0.38	0.43	0.08					
	A-SP215	円	0.29	0.32	0.10					
	A-SP216	円	0.32	0.30	0.06					
	A-SP217	円	0.30	0.35	0.06	縄文土器，須恵器				
	A-SP218	円	0.27	0.27	0.03	縄文土器，須恵器				

第6表　黒河尺目遺跡柱穴一覧（7）

建物番号	遺構番号	平面形	規模(m) 長さ	幅	深さ	出土遺物	柱痕跡	備考	挿図番号	図版番号
SA1	A-SP219	円	0.37	0.35	0.04					
	A-SP221	円	0.41	0.37	0.07	縄文土器				
	A-SP222	円	0.33	0.32	0.07					
	A-SP226	円	0.41	0.39	0.15					
	A-SP227	円	0.44	0.38	0.11					
	A-SP228	円	0.45	0.35	0.11					
	A-SP229	円	0.36	0.36	0.09					
	A-SP230	円	0.28	0.38	0.09					
	A-SP231	円	0.38	0.38	0.09					
	A-SP232	楕円	0.40	0.33	0.05					
	A-SP233	円	0.30	0.27	0.08	縄文土器				
	A-SP235	円	0.37	0.30	0.05	縄文土器，須恵器				
	A-SP237	円	0.28	0.33	0.06					
	A-SP238	円	0.37	0.27	0.38					
	A-SP239	円	0.36	0.36	0.07			SP239>SK332		
	A-SP240	楕円		0.34	0.11			SP240<SP241,SP240>SK332		
	A-SP241	円	0.36	0.36	0.11			SP241>SP240·SK332		
	A-SP242	円	0.35	0.46	0.17	縄文土器				
	A-SP243	円	0.47	0.36	0.07					
	A-SP244	円	0.46	0.43	0.08					
	A-SP245	円	0.27	0.35	0.07					
	A-SP246	円	0.30	0.38	0.06					
	A-SP247	円	0.37	0.40	0.10					
	A-SP248	円	0.34	0.30	0.09	縄文土器				
	A-SP249	円	0.28	0.30	0.06					
	A-SP250	楕円	0.46	0.35	0.08					
	A-SP251	円	0.48	0.35	0.08					
	A-SP252	円	0.37	0.32	0.11					
	A-SP253	円	0.27	0.40	0.12					
	A-SP254	円	0.36	0.32	0.10					
	A-SP255	円	0.30	0.31	0.08					
	A-SP256	円	0.32	0.33	0.08					
	A-SP257	円	0.32	0.37	0.09					
	A-SP258	円	0.37	0.34	0.09					
	A-SP259	円	0.33	0.30	0.27					

第7表　黒河尺目遺跡溝一覧

遺構番号	規模(m) 幅	深さ	出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
SD2	1.6	0.37	縄文土器，土師器，須恵器，珠洲，鉄滓		63	16
SD7	0.62	0.21	縄文土器	SD7＜SK6	63	
SD10	0.96	0.20	須恵器，土師器		63	
SD11	2.4	0.57	縄文土器，土師器，須恵器，珠洲，土錘，磨製石斧，石板	SD11＜SK120・121	62	16
SD330	0.69	0.12	縄文土器，土師器，須恵器，敲石	SD330＜SK356，SD330＞SK369・384・385・406	62	16
SD430	0.53	0.10	縄文土器，土師器，須恵器	SD430＜SP463，SD430＞SK431	73	
SD450	0.62	0.30	縄文土器，土師器，須恵器，石錘		62	
SD488	0.33	0.17			62	
SD656	1.64	0.63	縄文土器，土師器，内黒土器，須恵器，珠洲，八尾，白磁，剥片，磨製石斧，鉄滓	SD656＜SK955・1017・SP1138，SD656＞SK1368	64	16
SD669	0.40	0.13	縄文土器，土師器，須恵器，灰釉	SD669＜SD751，SD669＞SP660・SK661·723	62	
SD722	0.52	0.25	縄文土器，土師器，須恵器		62	
SD751	0.35	0.07		SD751＞SP660・SD669	62	
SD795	1.60	0.44	縄文土器，土師器，須恵器，珠洲，剥片，台石，鉄滓	SD795＜SK1129・1133・1239，SD795＞SK786・858	64	16
SD875	0.87	0.22	縄文土器，土師器，須恵器，珠洲	SD875＜SD876，SD875＞SX1344	62	16
SD876	0.37	0.07	縄文土器，土師器	SD876＜SK953，SD876＞SD875・SK838・SX1344	62	

第8表　黒河尺目遺跡井戸一覧

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SE43	円	1.43	1.42	1.36	土師器，須恵器		67	17
SE165	楕円	0.82	1.09	1.20	縄文土器，土師器，須恵器，砥石		67	17
SE167	不整	1.10	1.27	1.33	縄文土器，土師器，須恵器，珠洲，羽口，鉄滓		67	17
SE260	円	0.92	0.97	1.06	縄文土器，土師器，須恵器，砥石		67	17
SE486	方	0.97	1.13	1.18	縄文土器，土師器，須恵器，珠洲		67	18
SE575	方	1.25	1.18	1.07	縄文土器，土師器，須恵器，鉄滓		67	
SE781	円	1.05	1.00	1.36	縄文土器，土師器，須恵器，珠洲		68	18
SE799	円	0.89	0.92	1.28			68	
SE850	不整	1.53	1.00	1.20	縄文土器，須恵器，珠洲		68	
SE853	円	1.13	1.05	0.83	須恵器，鉄滓	SE853>SK851·852	76	
SE1179	円	1.13	0.93	1.44	縄文土器，土師器，珠洲		68	
SE1327	円	1.02	1.06	0.84	土師器，須恵器		68	
SE1349	円	1.27	0.71	1.19	土師器，須恵器，鉄滓		68	
SE1408	円	0.87	0.92	0.83	土師器，須恵器		68	18

第9表　黒河尺目遺跡古代・中世土坑一覧（1）

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SK3	楕円	3.50	2.80	0.55	縄文土器，土師器，須恵器，白磁		71	
SK4	円	0.62	0.66	0.17	須恵器		71	
SX5	不整	0.88	0.68	0.34				
SK6	楕円	1.14	0.89	0.67	縄文土器，土師器，須恵器	SK6>SD7	71	
SX8	長方	4.20	2.93	0.33	縄文土器，土師器，須恵器，灰釉，羽口，土錘，打製石斧，鉄滓	SX8>SX9・SK420，SX8<SK421	72	18
SK12	円	0.34	0.27	0.41	土師器，須恵器			
SK13	円	0.28		0.24		SK13<SK16		
SK14	円	0.29	0.26	0.10				
SK16	方	1.66	0.86	0.39		SK16>SK13		
SK17	楕円	0.28	0.50	0.20	土師器		71	
SK19	楕円	0.58	0.42	0.32	土師器，鉄滓		71	
SK20	円	0.26	0.31	0.17				
SK21	円	0.35	0.30	0.20	土師器，鉄滓		71	
SK23	円	0.27	0.26	0.14	縄文土器，土師器			
SK24	円	0.30	0.30	0.17	土師器			
SK25	円	0.33	0.28	0.08				
SK26	円	0.25	0.24	0.12				
SK27	円	0.26	0.30	0.24	土師器			
SK29	円	0.22	0.33	0.17		SK29<SP28		
SK30	円	0.27	0.28	0.16	縄文土器，須恵器			
SK31	円	0.30	0.25	0.10				
SK32	円	0.43	0.30	0.13				
SK33	楕円	0.42	0.38	0.16				
SK37	円	0.42	0.43	0.25	土師器			
SK42	楕円	0.29	0.44	0.23	土師器			
SK44	楕円	0.52	0.42	0.30	土師器，須恵器		71	
SK45	円	0.44	0.39	0.22				
SK47	楕円	0.50	0.35	0.21				
SK48	円	0.25	0.26	0.11				
SK49	円	0.34	0.30	0.25				
SK50	楕円	0.90	0.72	0.17	縄文土器，土師器			
SK51	円	0.57	0.50	0.10				
SK54	円	0.36	0.33	0.10				
SK59	円	0.28	0.21	0.15				
SK60	楕円	1.30	0.87	0.76	縄文土器，土師器		71	
SK62	円	0.44	0.31	0.19				
SK63	楕円	0.42	0.31	0.27			71	
SK67	円	0.39	0.38	0.20				
SK70	円	0.63	0.60	0.31	縄文土器，土師器，鉄滓			
SK72	円	0.34	0.34	0.19				
SK74	円		0.32	0.11				
SK76	楕円	0.48	0.42	0.21		SK76>SK77		
SK77	楕円		0.30	0.12		SK77<SK76		
SK78	円	0.27	0.24	0.13				
SK79	不整	0.65	0.27	0.16				
SK81	円	0.23	0.23	0.14				
SK82	円	0.30	0.32	0.14				
SK83	円	0.37	0.27	0.10				
SK84	円	0.30	0.28	0.12	縄文土器			
SK87	円	0.38	0.37	0.12				
SK89	円	0.33	0.26	0.30	縄文土器，土師器，鉄滓			
SK90	円	0.55	0.56	0.20				
SK94	楕円	0.37	0.24	0.06				

第9表　黒河尺目遺跡古代・中世土坑一覧（2）

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SK95	円	0.25	0.23	0.15				
SK96	円	0.20	0.21	0.13				
SK97	円	0.24	0.27	0.16				
SK98	円	0.18	0.18	0.09				
SK99	円	0.34	0.37	0.09				
SK100	円	0.25	0.25	0.11				
SK101	円	0.24	0.22	0.09				
SK102	円	0.24	0.25	0.12				
SK104	円	0.23	0.22	0.10				
SK106	円	0.24	0.23	0.13				
SK107	円	0.23	0.23	0.09				
SK108	円	0.30	0.26	0.08	須恵器			
SK109	円	0.32	0.30	0.08				
SK110	円	0.23	0.20	0.10				
SK111	円	0.31	0.31	0.11				
SK112	円	0.25	0.23	0.10				
SK113	楕円	0.34	0.22	0.16				
SK114	楕円	0.40	0.26	0.19				
SK115	円	0.25	0.19	0.13	土師器，須恵器			
SK116	円	0.21	0.23	0.14				
SK117	円	0.23	0.23	0.09				
SK118	円	0.22	0.21	0.10				
SK119	楕円	0.19	0.18	0.06				
SK120	円	0.24	0.24	0.11				
SK121	円	0.26	0.19	0.05				
SK122	円	0.32	0.24	0.17				
SK123	円	0.24	0.27	0.16				
SK124	円	0.23	0.28	0.15				
SK125	円	0.24	0.29	0.09				
SK126	円	0.19	0.18	0.13				
SK127	不整	0.62	0.49	0.31	須恵器，鉄滓		71	
SK129	楕円	0.48	0.31	0.16				
SK131	円	0.22	0.20	0.04				
SK133	円	0.30	0.29	0.13				
SK134	円	0.21	0.27	0.07				
SK135	円	0.25	0.25	0.15				
SK136	円	0.28	0.30	0.15	土師器，鉄滓			
SK139	円	0.37	0.37	0.25	縄文土器			
SK140	楕円	0.65	0.64	0.19	縄文土器，土師器，須恵器			
SK141	円	0.25	0.25	0.05				
SK142	円	0.34	0.35	0.25	土師器，鉄滓	SK142<SK176		
SK143	円	0.30	0.27	0.18	土師器，鉄滓			
SK144	円	0.32	0.29	0.30				
SK145	円	0.25	0.22	0.26				
SK146	円	0.34	0.37	0.11				
SK147	円	0.20	0.22	0.12				
SK148	円	0.26	0.20	0.16				
SK150	円	0.21	0.19	0.08				
SK152	円	0.49	0.43	0.15				
SK156	円	0.62	0.66	0.30	縄文土器，土師器，須恵器		71	
SK157	楕円	0.63	0.52	0.10	縄文土器，土師器，須恵器			
SK158	円	0.40	0.40	0.15	縄文土器			
SK159	楕円	0.45	0.37	0.14	縄文土器，須恵器		72	
SK162	楕円	0.80	0.53	0.16	縄文土器			
SK164	円	0.55	0.56	0.22				
SK166	楕円	0.47	0.37	0.18	縄文土器			
SK169	円	0.30	0.29	0.17	縄文土器			
SK171	楕円	0.91	0.50	0.13	縄文土器			
SK172	楕円	1.10		0.16	縄文土器			
SK174	楕円	0.87	0.77	0.74	縄文土器，土師器，須恵器		71	
SK175	楕円	0.96	0.66	0.42	縄文土器，土師器，須恵器	SK175>SP175	72	
SK176	円	0.32	0.28	0.31		SK176>SK142		
SK177	円	0.29	0.26	0.08				
SK178	円	0.25	0.24	0.10				
SK179	円	0.30	0.25	0.10				
SK180	円	0.26	0.26	0.13	縄文土器			
SK182	円	0.33	0.27	0.18	縄文土器，土師器			
SK183	不整	0.67	0.48	0.23				
SK184	楕円	0.52	0.42	0.28	縄文土器，須恵器		72	
SK185	円	0.33	0.28	0.10		SK185>SK187		
SK187	円	0.40		0.06		SK187<SK185		
SK188	円	0.41	0.34	0.11				
SK189	楕円	0.45	0.32	0.12				
SK190	円	0.38	0.30	0.14				
SK191	円	0.45	0.48	0.16				
SK192	楕円	0.29	0.45	0.16		SK192>SK193		
SK193	楕円		0.35	0.10		SK193<SK192		
SK194	円	0.31	0.36	0.12	縄文土器，土師器			
SK195	円	0.24		0.14	縄文土器			

第9表　黒河尺目遺跡古代・中世土坑一覧（3）

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SK196	円	0.32	0.31	0.08				
SK210	円	0.33	0.30	0.34				
SK211	円	0.34		0.08				
SK220	円	0.25	0.20	0.05				
SK234	円	0.27	0.30	0.09				
SK240	楕円		0.34	0.11		SK240<SP241		
SK261	楕円	1.24	0.97	0.20	縄文土器			
SK263	円	0.32	0.27	0.06				
SK264	円	0.22	0.26	0.15				
SK265	円	0.34	0.35	0.07	縄文土器			
SK266	円	0.25	0.31	0.07	縄文土器			
SK267	円	0.22	0.33	0.14				
SK268	円	0.25	0.25	0.11				
SK269	円	0.27	0.22	0.14				
SK270	円	0.24	0.24	0.10				
SK271	円	0.30	0.27	0.60				
SK272	円	0.30	0.27	0.33	縄文土器			
SK273	円	0.36	0.35	0.07				
SK274	円	0.27	0.26	0.11	縄文土器			
SK275	円	0.41	0.35	0.08				
SK276	楕円	0.54	0.37	0.10				
SK277	楕円	0.49	0.35	0.05				
SK278	円	0.32	0.26	0.06				
SK279	円	0.28	0.28	0.14	土師器			
SK280	円	0.30	0.29	0.18				
SK282	円		0.24	0.04		SK282<SK283		
SK283	円	0.28	0.25	0.19		SK283>SK282		
SK284	円	0.35	0.24	0.15				
SK285	円	0.24	0.28	0.19				
SK286	円	0.31	0.28	0.13				
SK288	円	0.50	0.24	0.14				
SK290	円		0.60	0.18		SK290<SK291		
SK291	円	0.25	0.27	0.15		SK291>SK290		
SK292	円	0.79	0.87	0.50	縄文土器			
SK293	楕円	0.43	0.32	0.51				
SK294	円	0.24	0.22	0.15				
SK295	円	0.21	0.21	0.13				
SK297	円	0.40	0.41	0.23	縄文土器			
SK298	楕円	0.48	0.33	0.18				
SK300	円	0.44	0.46	0.30	縄文土器，土師器		72	
SK302	円	0.32	0.32	0.16	縄文土器，須恵器			
SK303	楕円	0.96	0.78	0.21	縄文土器	SK303>SK304		
SK304	不整	0.68		0.19	縄文土器，土師器	SK304<SK303		
SK305	楕円	0.81	0.81	0.23	縄文土器	SK305<SK304		
SK306	楕円	0.38	0.34	0.18				
SK307	楕円	0.45	0.33	0.12				
SK308	楕円	0.70	0.52	0.12				
SK309	円	0.37	0.39	0.18				
SK310	円	0.23	0.21	0.15				
SK311	円	0.35	0.26	0.16				
SK312	円	0.15	0.20	0.12				
SK313	円	0.24	0.24	0.14				
SK314	楕円	0.54	0.50	0.25				
SK315	楕円	0.46	0.37	0.31	土師器，須恵器		73	
SK316	円	0.31	0.31	0.45				
SK319	円	0.52	0.40	0.53	土師器			
SK320	円	0.35	0.30	0.20				
SK321	円	0.35	0.27	0.22				
SK322	円	0.35	0.32	0.15				
SK323	円	0.36	0.34	0.22				
SK324	円	0.35	0.33	0.10				
SK325	円	0.20	0.25	0.09				
SK327	円	0.34	0.28	0.13	縄文土器			
SK328	隅丸	0.78	0.50	0.27	縄文土器，須恵器			
SK329	隅丸	0.84	0.65	0.09	縄文土器			
SK332	不整	2.10		0.13		SK332<SP239·SK240·241		
SK334	円	0.32	0.29	0.48				
SK335	円	0.26	0.26	0.26	縄文土器			
SK336	円	0.29	0.30	0.16		SK336>SK337		
SK337	円		0.25	0.15		SK337<SK336		
SK338	楕円	0.64	0.50	0.21		SK338>SK339		
SK339	不整		0.48	0.08		SK339<SK338		
SK340	円	0.30	0.34	0.17	縄文土器			
SK341	楕円	0.55	0.69	0.16				
SK342	円	0.23	0.25	0.15				
SK343	円	0.25	0.24	0.08	縄文土器			
SK345	円	0.25	0.24	0.10				
SK346	円	0.37	0.36	0.12				
SK347	円	0.27	0.27	0.09				

第9表　黒河尺目遺跡古代・中世土坑一覧（4）

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SK348	円	0.24	0.26	0.11				
SK349	楕円	0.74	0.51	0.26	縄文土器，土師器	SK349>SK350		
SK350	楕円		0.42	0.13		SK350<SK349		
SK351	円	0.26	0.26	0.20	縄文			
SK352	円		0.29	0.17				
SK353	楕円	0.45	0.31	0.11				
SK354	円	0.26	0.21	0.10				
SK355	円	0.26	0.31	0.18				
SK356	円	0.29	0.31	0.14		SK356<SD330		
SK357	楕円	1.24	0.41	0.28		SK357>SK358		
SK358	不整	2.00	0.83	0.26	縄文土器	SK358<SK357･359		
SK359	楕円	0.60	0.44	0.23		SK359>SK358		
SX370	不整		1.22	0.40	縄文土器，剥片	SX370<SK371	73	
SK371	隅丸	2.77	2.16	0.44	縄文土器，土師器，須恵器，鉄滓，剥片	SK371>SX370	73	18
SK372	円		0.69	0.12		SK372<SK1364		
SK373	円	0.40	0.34	0.18	縄文土器			
SK375	円	0.49	0.44	0.19				
SK377	円	2.77	2.10	0.44				
SK378	楕円	0.50	0.40	0.31			73	
SK379	楕円	1.02	0.37	0.26	土師器	SK379>SK443	73	
SK380	円	0.27	0.28	0.12				
SK381	円		0.34	0.11		SK381>SK382		
SK382	楕円	0.35	0.60	0.16		SK382<SK381		
SK386	円	0.27	0.24	0.09				
SK387	円	0.21	0.26	0.13	縄文土器			
SK388	不整	1.57	0.95	0.23	縄文土器			
SK389	楕円	1.25	0.96	0.14	縄文土器，土師器，羽口，鉄滓	SK389<SK390		
SK390	円	0.45	0.29	0.12	羽口	SK390>SK389		
SK392	楕円	0.58	0.35	0.10	羽口，鉄滓			
SK395	円	0.27	0.28	0.17	縄文土器			
SK397	円	0.27	0.22	0.09				
SK399	円	0.26	0.33	0.10				
SK400	円	0.39	0.35	0.20				
SK402	円		0.22	0.11	縄文土器，須恵器			
SK403	不整	1.65	1.04	0.58				
SK404	円	0.38	0.36	0.10				
SK405	円	0.26	0.30	0.10				
SK406	円	0.25	0.20	0.13		SK406<SD330		
SK407	円	0.22	0.21	0.11	縄文土器，土師器，須恵器			
SK408	円	0.33	0.28	0.34				
SK409	円	0.29	0.27	0.11				
SK410	円	0.33	0.28	0.19	縄文土器			
SK414	不整	2.77		0.33	縄文土器，土師器，八尾，唐津，磨製石斧，鉄滓		74	
SK416	円	0.37	0.33	0.13				
SK417	楕円	0.98	0.86	0.13	縄文土器，土師器，須恵器		74	
SK418	円	0.42	0.37	0.16	縄文土器			
SK419	円	0.64	0.48	0.37	縄文土器			
SK420	楕円	1.17		0.06	縄文土器	SK420<SX8	72	
SK421	楕円	1.32	1.14	0.63	縄文土器，土師器，須恵器，鉄滓	SK421>SX8	72	18
SK422	楕円	0.63	0.54	0.62	縄文土器，鉄滓		72	
SK423	円	0.24	0.25	0.11				
SK424	円	0.38	0.35	0.27	縄文土器			
SK425	楕円	0.67	0.53	0.15				
SK426	不整	0.75	0.47	0.31				
SK427	円	0.40	0.43	0.34	縄文土器	SK427>SX9		
SK428	円	0.40	0.34	0.31	縄文土器，土師器，須恵器	SK428>SX9	73	
SK431	楕円	1.48	0.92	0.45	縄文土器，土師器，須恵器	SK431>SX9,SK431<SD430	73	
SK433	楕円	0.45	0.25	0.17	縄文土器	SK433>SX9		
SK436	円		0.33	0.31	縄文土器			
SK437	円	0.32	0.29	0.25	縄文土器，土師器	SK437>SP438･SK462	74	
SK440	楕円	0.63	0.42	0.11	縄文土器	SK440<SK462		
SK441	円	0.61	0.59	0.10	縄文土器			
SK442	円	0.38	0.29	0.11	鉄滓			
SK443	不整	1.68	1.32	0.28	縄文土器，土師器	SK443<SK379	73	
SK444	楕円	0.50	0.35	0.27				
SK445	楕円	0.41	0.30	0.16				
SK446	円	0.33	0.34	0.10	縄文土器			
SK447	楕円	0.70	1.33	0.08	縄文土器			
SK448	円	0.29	0.24	0.11	土師器			
SK449	円	0.45	0.39	0.21				
SK451	円	0.52	0.58	0.20		SK451>SK452		
SK453	円	0.25	0.30	0.30				
SK455	円	0.33	0.25	0.07		SK455>SP454		
SK457	楕円	0.57	0.41	0.22				
SK459	円	0.24	0.29	0.18				
SK461	楕円	0.86	0.75	0.12	縄文土器			
SK462	楕円	1.40	0.70	0.25	縄文土器	SK462<SK437,SK462>SK440		
SK465	円	0.26	0.28	0.20	須恵器		74	
SK467	楕円	0.75	0.56	0.10	縄文土器，土師器，須恵器，剥片	SK467>SK513,SK467<SK1350	74	

第9表　黒河尺目遺跡古代・中世土坑一覧（5）

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SK470	不整	1.02	0.81	0.18	土師器		74	
SK471	円	0.35	0.31	0.15	縄文土器			
SK472	楕円	0.65	0.48	0.25	縄文土器，土師器	SK472>SK474·475	74	
SK473	円	0.32	0.31	0.26	須恵器			
SK474	楕円		0.39	0.13		SK474<SK472	74	
SK475	楕円	0.63	0.33	0.26	縄文土器，土師器	SK475<SK472	74	
SK476	楕円	0.49	0.40	0.24	土師器		74	
SK477	円	0.26	0.26	0.10				
SK478	円	0.27	0.27	0.14				
SK479	円	0.32	0.30	0.18				
SK480	円	0.26	0.23	0.21				
SK482	円	0.39	0.32	0.25	縄文土器，土師器		74	
SK489	円	0.22	0.24	0.07		SK489<SE486		
SK490	円	0.25	0.19	0.08				
SK491	円	0.35	0.37	0.17	縄文土器			
SK494	不整	1.04		0.44	縄文土器			
SK495	円	0.44	0.39	0.24				
SK496	円	0.50	0.40	0.35	縄文土器	SK496>SK527		
SK497	不整	0.55	0.46	0.36	縄文土器		74	
SK498	楕円	0.54	0.28	0.17	縄文土器		74	
SK500	楕円	0.59	0.41	0.18				
SK502	円	0.45	0.49	0.29	縄文土器			
SK505	円	0.67	0.64	0.20				
SK506	楕円	1.23	0.66	0.16	縄文土器			
SK507	楕円	0.47	0.24	0.12				
SK508	楕円	0.68	0.45	0.28	縄文土器			
SK509	楕円	0.50	0.30	0.24				
SK510	円	0.39	0.54	0.23				
SK512	不整	1.16	0.78	0.28	縄文土器			
SK516	楕円	0.75	0.58	0.37	縄文土器			
SK517	不整	1.00	0.70	0.19	縄文土器			
SK529	円	0.49	0.48	0.16				
SK530	不整	0.63	0.39	0.17	縄文土器			
SK531	円	0.48	0.54	0.18				
SK532	不整	0.60	0.47	0.12				
SK535	円	0.27	0.30	0.11				
SK542	円		0.33	0.08		SK542<SP541		
SK544	円	0.52	0.42	0.24	縄文土器，須恵器			
SK546	円	0.28	0.26	0.22				
SK551	楕円	0.60	0.33	0.11	須恵器		75	
SK554	不整	1.32	0.65	0.26	縄文土器	SK554>SK555		
SK555	円	0.26	0.19	0.05		SK555<SK554		
SK556	円	0.22	0.28	0.10				
SK557	円	0.22	0.25	0.14				
SK558	円	0.30	0.29	0.10	縄文土器，土師器			
SK560	円	0.27	0.30	0.21	縄文土器			
SK561	円	0.28	0.24	0.20	縄文土器，土師器，鉄滓			
SK562	円	0.30	0.29	0.11	縄文土器，土師器	SK562>SK1411	75	
SK563	楕円	0.90	0.66	0.21	縄文土器	SK563>SP1458		
SK582	楕円	0.44	0.25	0.12				
SK584	楕円	0.59	0.43	0.19				
SK585	楕円	0.53	0.40	0.18	縄文土器，土師器		75	
SK586	円	0.31	0.32	0.09				
SK587	円	0.34	0.40	0.19				
SK588	楕円	0.45	0.39	0.11	縄文土器			
SK591	円	1.04	0.96	0.70	縄文土器，土師器，須恵器，珠洲，鉄滓	SK591>SB24	75	18
SK593	円		0.30	0.11	縄文土器	SK593<SP594		
SK595	円	0.45	0.46	0.33	縄文土器			
SK598	円	0.36	0.32	0.17				
SK599	円	0.27	0.26	0.16	縄文土器			
SK601	円	0.30	0.31	0.16				
SK602	円	0.54	0.59	0.31				
SK603	不整	0.75	0.56	0.20	縄文土器	SK603<SK604		
SK604	円	0.28	0.28	0.18	縄文土器	SK604>SK603		
SK606	楕円	0.40	0.33	0.18	縄文土器			
SK609	円	0.37	0.30	0.13				
SK613	円	0.47	0.39	0.19	縄文土器			
SK614	円	0.30		0.20	縄文土器	SK614<SP612		
SK616	円	0.37	0.36	0.24	縄文土器			
SK618	円	0.43	0.32	0.17	縄文土器			
SK619	楕円		0.27	0.07		SK619<SK620		
SK620	円	0.29	0.29	0.23	縄文土器	SK620>SK619		
SK622	円	0.42	0.35	0.21				
SK623	円	0.40	0.35	0.14	縄文土器			
SK624	楕円	0.52	0.32	0.19				
SK625	円	0.43	0.45	0.16				
SK626	円	0.37	0.32	0.31	縄文土器			
SK627	楕円	0.53	0.43	0.15	縄文土器	SK627>SK630		
SK628	楕円	0.58	0.39	0.59	縄文土器		75	

第9表　黒河尺目遺跡古代・中世土坑一覧（6）

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SK630	不整	1.20		0.40	縄文土器	SK630<SK627,SK630<SP631		
SK633	円	0.37	0.38	0.17	縄文土器			
SK634	円	0.38	0.44	0.28	縄文土器			
SK636	楕円	0.60	0.49	0.24	土師器	SK636>SP637	75	
SK639	円	0.35	0.40	0.20		SK639>SP640		
SK641	円	0.75	0.60	0.12	縄文土器，土師器，須恵器			
SK643	円	0.34	0.39	0.25				
SK644	円	0.22	0.19	0.17	土師器			
SK645	円	0.26	0.29	0.19	縄文土器，土師器，須恵器			
SK646	円	0.40	0.33	0.30	縄文土器，須恵器			
SK647	円	0.49	0.34	0.14		SK647>SP649		
SK651	円	0.23	0.31	0.07				
SK653	円	0.31	0.27	0.13				
SK654	円	0.27	0.26	0.14				
SK655	円	0.23	0.22	0.09				
SK658	円	0.45	0.39	0.24				
SK659	不整	2.17	0.98	0.16	縄文土器，土師器，須恵器		75	
SK661	楕円	0.38		0.13		SK661<SD669		
SK662	円	0.84	0.69	0.37				
SK667	円	0.45	0.46	0.16				
SK668	不整	1.78	0.60	0.34	縄文土器，土師器，近世磁器，鉄滓		75	
SK670	円	0.25	0.26	0.09				
SK671	円	0.35	0.28	0.12				
SK673	円	0.24	0.23	0.08				
SK674	円	0.44	0.39	0.08				
SK675	円	0.25	0.24	0.12				
SK678	円	0.27	0.22	0.15				
SK679	円	0.28	0.31	0.09				
SK680	円	0.29	0.32	0.11				
SK682	楕円	0.52	0.38	0.14	須恵器			
SK683	円	0.21	0.19	0.13				
SK684	円	0.27		0.07	縄文土器，須恵器	SK684<SK685		
SK685	円	0.46	0.34	0.28		SK685>SK684		
SK687	円	0.24	0.22	0.15				
SK688	円	0.24	0.21	0.12				
SK690	円	0.25	0.21	0.07				
SK691	円	0.20	0.20	0.15				
SK692	円	0.31	0.30	0.22				
SK695	円	0.32	0.38	0.14				
SK696	円	0.18	0.19	0.08	縄文土器			
SK697	円	0.28	0.28	0.17				
SK698	円	0.17	0.22	0.12				
SK699	円	0.23	0.32	0.12				
SK700	楕円	0.54	0.36	0.08				
SK702	円	0.34	0.30	0.18				
SK703	円	0.22	0.22	0.12				
SK704	円	0.25	0.28	0.20				
SK705	円	0.25	0.22	0.12				
SK706	円	0.23	0.18	0.14				
SK716	円	0.97	0.83	0.23	縄文土器，土師器			
SK719	楕円	0.65	0.38	0.25	縄文土器			
SK721	円	0.30	0.38	0.22	縄文土器，土師器			
SK723	円	0.51		0.06		SK723<SD669		
SK725	楕円	0.47	0.38	0.08				
SK726	円	0.46	0.49	0.11	土師器			
SK727	円	0.40	0.42	0.09				
SK728	楕円	0.45	0.36	0.14				
SK729	楕円	0.65	0.40	0.25	縄文土器		75	
SK730	円	0.75	0.73	0.14	土師器			
SK731	楕円	0.89	0.73	0.11	土師器			
SK732	楕円	0.87	0.46	0.22	須恵器		75	
SK733	楕円	0.54	0.51	0.24	縄文土器，土師器	SK733>SD795		
SK734	楕円	0.52	0.30	0.14				
SK735	円	0.43	0.32	0.14				
SK736	円	0.32	0.36	0.26				
SK737	円	0.24	0.25	0.11				
SK738	円	0.33	0.36	0.14				
SK739	円	0.35	0.33	0.25		SK739>SP742		
SK740	円	0.40	0.46	0.35		SK740>SP742		
SK741	楕円	0.48	0.35	0.14				
SK752	円	0.33	0.34	0.15	須恵器			
SK753	楕円	0.51	0.26	0.25		SK753>SP746·SX1145		
SK754	円	0.37	0.37	0.10	縄文土器			
SK755	円	0.27	0.29	0.16	縄文土器			
SK756	円	0.45	0.35	0.12				
SK757	円	0.33	0.37	0.24				
SK758	円	0.36	0.32	0.24	縄文土器，須恵器		75	
SK759	円	0.28	0.32	0.19				
SK760	円	0.32	0.33	0.09				

第9表　黒河尺目遺跡古代・中世土坑一覧（7）

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SK761	円	0.40	0.33	0.10				
SK762	楕円	0.67	0.55	0.13				
SK763	円	0.37	0.35	0.17				
SK764	円	0.22	0.25	0.11	縄文土器			
SK765	円	0.21	0.24	0.13				
SK766	円	0.31	0.32	0.16				
SK767	不整	0.80	0.66	0.30				
SK768	楕円	0.45	0.27	0.28				
SK769	楕円	0.44	0.27	0.11				
SK770	楕円	0.60	0.43	0.27				
SK771	円	0.24	0.23	0.19				
SK772	円	0.32	0.32	0.19		SK772>SK774		
SK773	円	0.25	0.30	0.14		SK773>SK775		
SK774	不整	1.24	0.77	0.33	縄文土器，土師器	SK774<SK772,SK774>SK775		
SK775	不整	1.41		0.25		SK775<SK773·774		
SK776	楕円	0.56	0.44	0.09				
SK777	円	0.38	0.36	0.22	須恵器			
SK778	円	0.31	0.34	0.22				
SK779	楕円	0.61	0.75	0.26		SK779>SX1145		
SK780	円	0.24	0.23	0.22				
SK782	楕円	0.54	0.38	0.34	縄文土器，土師器	SK782>SX1035	75	
SK783	円	0.35	0.37	0.15	縄文土器			
SK784	円	0.28	0.30	0.18				
SK785	円	0.34	0.23	0.18				
SK786	不整		1.07	0.31		SK786<SD795		
SK787	円	0.35	0.29	0.10				
SK788	円	0.36		0.17				
SK789	円	0.35	0.28	0.27				
SK790	円	0.43	0.28	0.22				
SK792	不整	2.43		0.37	土師器	SK792<SP1472	76	
SK793	円	0.40	0.25	0.09				
SK794	円	0.28	0.26	0.16				
SK796	円	0.44	0.53	0.22				
SK797	円	0.26	0.28	0.16				
SK798	円	0.26		0.14				
SK800	方	3.00		0.55	縄文土器，土師器，須恵器，珠洲，八尾，打製石斧，磨製石斧，石錘，剥片，鉄滓	SK800>SX1344	76	
SK801	円	0.34	0.26	0.22	土師器			
SK802	円	0.45	0.56	0.07	縄文土器			
SK803	楕円	0.69	0.47	0.24	縄文土器			
SK804	楕円	0.54	0.32	0.28				
SK805	楕円	0.37	0.32	0.13	縄文土器，須恵器			
SK806	円	0.30	0.24	0.18	土師器			
SK807	円	0.28	0.28	0.09				
SK808	円	0.27	0.30	0.05	縄文土器			
SK809	楕円				縄文土器			
SK810	円	0.26	0.26	0.22	縄文土器			
SK811	円	0.27	0.26	0.15	縄文土器，土師器			
SK812	円	0.24	0.19	0.12				
SK813	円	0.23	0.23	0.36				
SK814	楕円	0.37	0.29	0.25	縄文土器			
SK815	円	0.32	0.33	0.22				
SK816	円	0.26	0.27	0.19	縄文土器			
SK817	円	0.30	0.27	0.26	縄文土器			
SK819	円	0.28	0.24	0.21				
SK820	円	0.26	0.26	0.22	縄文土器，土師器			
SK821	楕円	0.80	0.48	0.21				
SK822	円	0.54	0.62	0.25	縄文土器	SK822>SK823		
SK823	円		0.48	0.23		SK823<SK822		
SK824	円	0.26	0.28	0.13			76	
SK825	円	0.25	0.25	0.31	縄文土器，土師器，鉄滓		76	
SK826	円	0.35	0.28	0.12				
SK827	円	0.26	0.21	0.15	縄文土器			
SK828	楕円	0.21	0.59	0.34	縄文土器	SK828>SK846		
SK829	円	0.23	0.27	0.26				
SK830	円	0.34	0.34	0.10	縄文土器			
SK831		0.33	0.29	0.13	縄文土器			
SK832	円	0.27	0.23	0.17				
SK834	円	0.23	0.32	0.18	縄文土器			
SK835	円	0.32	0.30	0.15	縄文土器			
SK836	円	0.34	0.21	0.20				
SK837	楕円	0.55	0.28	0.12	縄文土器			
SK838	円	0.37		0.20	縄文土器	SK838<SD876		
SK840	円	0.33	0.32	0.14		SK840>SK841		
SK841	円	0.81	0.69	0.24	縄文土器	SK841<SK840		
SK842	円	0.28	0.27	0.18	縄文土器	SK842>SK843		
SK843	円		0.37	0.29	縄文土器	SK843<SK842,SK843>SK877		
SK844	円	0.64	0.59	0.19	縄文土器			
SK845	円？	0.88		0.39	縄文土器，土師器		76	

第9表　黒河尺目遺跡古代・中世土坑一覧（8）

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SK846	楕円	0.65		0.31	縄文土器，土師器，珠洲，青磁，鉄滓	SK846<SK828	76	
SK847	楕円	0.48	0.30	0.19	縄文土器			
SK849	円	0.37	0.38	0.24				
SK851	円	0.47		0.22		SK851<SE853		
SK852	円	0.22		0.16	鉄滓	SK852<SE853		
SK854	円	0.32	0.30	0.25	須恵器		76	
SK856	円			0.06		SK856<SK855·857		
SK857	円	0.30	0.32	0.10		SK857>SK856		
SK858	円			0.31		SK858<SK859·SD795		
SK859	円	0.59	0.59	0.13	縄文土器	SK859>SK858		
SK861	円	1.04	0.85	0.15				
SK864	円	0.32	0.28	0.15				
SK865	円	0.28	0.27	0.24				
SK867	円	0.33	0.34	0.18	縄文土器			
SK868	円	0.30	0.30	0.16				
SK869	円	0.34	0.30	0.19		SK869>SD795		
SK870	円	0.41	0.40	0.24				
SK871	円	0.46	0.48	0.33	須恵器			
SK872	楕円	0.66	0.47	0.23				
SK874	円	0.25	0.18	0.11	縄文土器			
SK877	円	0.24		0.08		SK877<SK843		
SK878	円	0.37	0.28	0.25	縄文土器			
SK879	円	0.23	0.26	0.15				
SK880	円	0.43	0.34	0.15				
SK881	円	0.45	0.25	0.15				
SK882	楕円	0.40	0.28	0.16				
SK883	円	0.20	0.22	0.11				
SK884	円	0.25	0.22	0.16				
SK885	円	0.22	0.30	0.12				
SK886	円	0.33	0.40	0.15				
SK887	円	0.24	0.36	0.19				
SK888	楕円	0.35	0.56	0.22	縄文土器			
SK889	円	0.36	0.43	0.17				
SK890	円	0.45	0.36	0.17	縄文土器			
SK891	円	0.26	0.25	0.17				
SK892	円	0.42	0.31	0.23	縄文土器，土師器			
SK893	円	0.43	0.41	0.29		SK893>SK931		
SK894	円	0.40	0.35	0.16	縄文土器			
SK895	円	0.31	0.34	0.29				
SK896	円	0.34	0.35	0.16				
SK897	円	0.77	0.70	0.39	縄文土器，土師器		76	
SK898	円	0.49	0.50	0.30				
SK899	円	0.45	0.39	0.24	縄文土器		76	
SK900	楕円	0.69	0.46	0.19				
SK901	円	0.28	0.28	0.20				
SK902	円	0.33	0.28	0.19				
SK908	円	0.33	0.28	0.16				
SK910	円	0.32	0.29	0.12	縄文土器			
SK911	円	0.29	0.27	0.15	縄文土器			
SK912	円	0.27	0.30	0.21				
SK913	円	0.37	0.30	0.23				
SK914	楕円	0.57	0.47	0.30	縄文土器			
SK915	円	0.33	0.33	0.24				
SK917	円	0.32	0.34	0.35	縄文土器			
SK919	円	0.28	0.32	0.21				
SK920	不整	0.66	0.38	0.19	珠洲			
SK921	楕円	0.54	0.43	0.32				
SK922	不整	0.50	0.36	0.22				
SK923	円	0.42	0.33	0.18				
SK924	円	0.33	0.24	0.31	土師器			
SK925	円	0.31	0.31	0.27	縄文土器			
SK926	円	0.29	0.27	0.20				
SK927	円	0.31	0.23	0.14	縄文土器			
SK929	楕円	0.40	0.34	0.39	縄文土器			
SK930	楕円	0.40	0.32	0.21				
SK931	楕円	0.52	0.27	0.23	縄文土器			
SK932	円	0.37	0.31	0.11				
SK933	円	0.38	0.32	0.18	須恵器		76	
SK934	楕円	0.45	0.32	0.17	縄文土器			
SK935	円	0.35	0.33	0.24				
SK936	円	0.25	0.29	0.18				
SK937	円	0.22	0.27	0.15	縄文土器			
SK938	円	0.27	0.31	0.15				
SK939	円	0.32	0.31	0.23				
SK940	楕円	0.47	0.36	0.22				
SK941	円	0.31	0.33	0.24	縄文土器			
SK943	円	0.32	0.30	0.21	縄文土器，須恵器			
SK945	円	0.30	0.30	0.22				
SK946	円	0.40	0.33	0.17				

第9表　黒河尺目遺跡古代・中世土坑一覧（9）

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SK947	隅丸	0.57	0.34	0.21				
SK950		0.35	0.37	0.21				
SK951	円	0.57	0.52	0.45	縄文土器			
SK953	円	0.30	0.37	0.20	縄文土器，土師器	SK953>SD875		
SK955	円	0.35	0.30	0.28	須恵器	SK955>SD656	76	
SK956	楕円	0.37	0.23	0.35				
SK957	楕円	0.55	0.30	0.44	縄文土器			
SK958	不整	0.85	0.56	0.25	縄文土器，須恵器			
SK960	円	0.43	0.33	0.18	縄文土器	SK960>SK961		
SK961	円	0.40		0.23		SK961<SK960		
SK962	円	0.33	0.32	0.22				
SK964	円	0.33		0.06				
SK965	円	0.36	0.30	0.26				
SK966	円	0.38	0.37	0.25				
SK967	円	0.48	0.41	0.15				
SK969	円	0.26		0.24				
SK970	円	0.29	0.30	0.17	縄文土器			
SK971	円	0.22	0.20	0.12				
SK972	円	0.21	0.21	0.12	縄文土器			
SK973	円	0.28	0.23	0.21				
SK974	楕円	0.33	0.24	0.13				
SK975	円	0.32	0.25	0.20				
SK978	円	0.37	0.30	0.13				
SK979	円	0.34	0.35	0.29				
SK980	円	0.39	0.35	0.24				
SK981	楕円	0.57	0.32	0.29	縄文土器			
SK983	円		0.27	0.09				
SK984	楕円	0.55	0.38	0.24	土師器	SK984>SD656		
SK986	不整	0.66	0.29	0.19		SK986>SK987		
SK987	円	0.27		0.21		SK987<SK986		
SK988	円	0.20	0.15	0.20				
SK989	円	0.29	0.31	0.18	縄文土器			
SK990	円	0.21	0.23	0.02				
SK991	円	0.26	0.21	0.11				
SK992	不整	0.52	0.31	0.18				
SK993	円	0.25	0.21	0.11				
SK994	円	0.37	0.30	0.20	縄文土器			
SK995	円	0.31	0.26	0.15				
SK996	円	0.25	0.30	0.15				
SK997	円	0.28	0.30	0.15				
SK998	円	0.28	0.26	0.17				
SK1001	円	0.27	0.26	0.30				
SK1002	円	0.36	0.35	0.22	縄文土器			
SK1003	楕円	0.47	0.28	0.28				
SK1004	円	0.42	0.36	0.19				
SK1006	円	0.26	0.26	0.09		SK1006>SK1009		
SK1007	円	0.28	0.28	0.15				
SK1008	円	0.28	0.31	0.21	磨石			
SK1009	楕円	0.75	0.50	0.19	縄文土器	SK1009<SK1006		
SK1010	円	0.28	0.28	0.14	縄文土器			
SK1011	円	0.27	0.30	0.04				
SK1012	不整	1.28	0.42	0.33	縄文土器，土師器，須恵器，鉄滓			
SK1013	楕円	0.38	0.36	0.23		SK1013>SK1014		
SK1014	円		0.34	0.17	土師器	SK1014<SK1013		
SK1015	円	0.33	0.28	0.14	土師器			
SK1016	楕円	0.45	0.32	0.24	縄文土器			
SK1017	楕円	0.65	0.35	0.30		SK1017>SD656		
SK1018	円	0.42	0.33	0.19				
SK1019	円	0.27	0.28	0.19				
SK1020	円	0.42	0.38	0.25		SK1020>SK1050		
SK1021	円	0.38	0.38	0.21				
SK1022	楕円	0.24	0.37	0.18	縄文土器			
SK1023	円	0.28	0.36	0.21				
SK1024	楕円	0.55	0.42	0.24	縄文土器			
SK1025	楕円	0.43	0.33	0.24				
SK1026	円	0.37	0.35	0.23				
SK1027	円	0.35	0.30	0.19				
SK1028	円	0.29	0.39	0.16				
SK1029	楕円	0.65	0.44	0.34	縄文土器	SK1029>SK1030		
SK1030	不整	0.76		0.26		SK1030<SK1029		
SK1031	円	0.36	0.36	0.26	縄文土器			
SK1033	円	0.40	0.43	0.22				
SK1034	円	0.33	0.33	0.15	縄文土器			
SK1036	楕円	0.52	0.29	0.17				
SK1037	円	0.23	0.24	0.13		SK1037>SK1038		
SK1038	円	0.40		0.12		SK1038<SK1037		
SK1039	楕円	0.42	0.33	0.19				
SK1041	不整	1.25		0.42	縄文土器，土師器		77	
SK1043	不整	0.44	0.39	0.17				

第9表　黒河尺目遺跡古代・中世土坑一覧（10）

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SK1044	円	0.42	0.37	0.62	縄文土器			
SK1045	円	0.25	0.16	0.12		SK1045<SP1032		
SK1046	円	0.22	0.25	0.19				
SK1047	円	0.30	0.28	0.13				
SK1049	円	0.24	0.35	0.13				
SK1050	円	0.26		0.18		SK1050<SK1020		
SK1051	円	0.31	0.25	0.16				
SK1052	円	0.27	0.27	0.20				
SK1053	円		0.28	0.15		SK1053>SK1054		
SK1054	円	0.33	0.24	0.18		SK1054<SK1053		
SK1055	楕円	0.35	0.27	0.25	縄文土器，須恵器		77	
SK1057	楕円	0.49	0.36	0.32				
SK1058	円	0.28	0.31	0.11				
SK1059	円	0.34	0.37	0.21		SK1059>SP1060		
SK1061	円	0.30	0.32	0.23	縄文土器			
SK1063	円	0.18	0.26	0.17				
SK1064	円	0.28	0.30	0.20				
SK1065	円	0.32	0.30	0.20	縄文土器			
SK1067	楕円	0.52	0.33	0.20	縄文土器			
SK1069	円	0.27	0.28	0.15	土師器			
SK1070	円	0.40	0.29	0.25	縄文土器			
SK1072	円	0.34	0.29	0.16				
SK1073	楕円		0.50	0.21				
SK1074	円	0.22	0.24	0.12				
SK1075	円	0.28	0.30	0.21				
SK1076	円	0.29	0.34	0.17	須恵器			
SK1077	円	0.47	0.51	0.36	縄文土器			
SK1078	円	1.66	1.46	0.46	縄文土器，須恵器，打製石斧		77	
SK1079	円	1.67	1.46	0.46	縄文土器			
SK1080	円	0.43	0.31	0.20	縄文土器			
SK1081	円	0.28	0.28	0.31	縄文土器			
SK1082	円	0.40	0.42	0.14	縄文土器，土師器			
SK1083	円	0.36	0.30	0.22	縄文土器，土師器			
SK1084	楕円	0.39	0.34	0.16	縄文土器			
SK1085	楕円	0.49	0.37	0.22				
SK1086	円	0.26	0.30	0.46	縄文土器			
SK1087	円	0.29	0.29	0.18	縄文土器，土師器			
SK1088	円		0.30	0.24	縄文土器	SK1088<SK1089		
SK1089	円	0.69	0.60	0.29	縄文土器	SK1089>SK1088		
SK1090	楕円	0.51	0.32	0.25				
SK1091	円	0.29	0.28	0.16	土師器			
SK1092	円		0.24	0.17		SK1092<SK1093		
SK1093	円	0.37	0.36	0.20		SK1093>SK1092		
SK1094	円	0.48	0.39	0.33	縄文土器			
SK1095	円	0.36	0.34	9.15				
SK1096	楕円	0.50	0.30	0.20				
SK1097	楕円	0.67	0.54	0.32	縄文土器，珠洲，鉄滓		77	
SK1098	円	0.38	0.39	0.07	縄文土器			
SK1099	楕円	0.45	0.27	0.18	縄文土器			
SK1100	円	0.23	0.18	0.12				
SK1101	円	0.28	0.32	0.16				
SK1102	円	0.30	0.22	0.28	縄文土器			
SK1103	不整	1.77	1.74	0.25	縄文土器			
SK1104	円	0.35	0.37	0.14	縄文土器			
SK1105	円	0.45	0.40	0.32	縄文土器，土師器，須恵器			
SK1106	円	0.28	0.21	0.12				
SK1107	円	0.33	0.28	0.20				
SK1108	楕円	0.28	0.35	0.07				
SK1109	円	0.33	0.28	0.10				
SK1110	円	0.29	0.26	0.16				
SK1111	円	0.34	0.34	0.28				
SK1112	円	0.29	0.32	0.14				
SK1113	円	0.42	0.39	0.18				
SK1114	円	0.28	0.32	0.25	縄文土器			
SK1115	円	0.25	0.29	0.11				
SK1116	円	0.30	0.30	0.15	縄文土器			
SK1117	円	0.29	0.24	0.16				
SK1118	円	0.24	0.28	0.18				
SK1119	円	0.24	0.29	0.12				
SK1120	円	0.25	0.25	0.17	縄文土器			
SK1121	楕円	0.80	0.63	0.26				
SK1122	楕円	1.27	0.96	0.19	縄文土器			
SK1123	楕円	0.30	0.38	0.22	縄文土器，弥生土器			
SK1124	楕円	0.25	0.32	0.18				
SK1126	円	0.38	0.38	0.35			77	
SK1127	楕円	0.35	0.27	0.20				
SK1128	楕円	0.45	0.26	0.24				
SK1129	円	0.33	0.32	0.14				
SK1131	円		0.36	0.24		SK1131<SP1130		

第9表　黒河尺目遺跡古代・中世土坑一覧（11）

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SK1132	円	0.55	0.55	0.15				
SK1133	楕円	0.37	0.25	0.22	縄文土器	SK1133>SD795		
SK1134	楕円	0.38	0.38	0.35	縄文土器	SK1134>SD656·SK1135		
SK1135	円		0.42	0.23	縄文土器，土師器	SK1135<SK1134		
SK1136	円	0.37	0.31	0.17	縄文土器			
SK1137	円	0.32	0.27	0.13	縄文土器			
SK1140	楕円	0.36	0.28	0.21	縄文土器			
SK1141	円	0.30	0.28	0.35		SK1141>SK1142		
SK1142	円		0.31	0.21		SK1142<SK1141		
SK1143	円	0.46	0.46	0.08				
SK1144	円	0.29	0.25	0.11				
SK1147	円	0.22	0.28	0.10	縄文土器，土師器			
SK1149	円	0.30	0.31	0.09				
SK1150	不整	0.51	0.52	0.17				
SK1153	楕円		0.54	0.14	縄文土器	SK1153<SP1152		
SK1154	楕円	0.37	0.26	0.22	縄文土器			
SK1156	円	0.23	0.24	0.12				
SK1158	円	0.27	0.27	0.14	縄文土器			
SK1160	円		0.25	0.10		SK1160<SK1161		
SK1161	円	0.19	0.25	0.12		SK1161>SK1160·1162		
SK1162	楕円	0.56	0.33	0.25	縄文土器	SK1162<SK1161		
SK1163	円	0.22	0.25	0.12				
SK1164	円	0.18	0.18	0.21	縄文土器			
SK1165	楕円	0.45	0.32	0.28	縄文土器，土師器			
SK1166	円	0.38	0.34	0.20				
SK1167	円		0.25	0.21				
SK1169	円	0.34	0.34	0.17	縄文土器			
SK1170	円	0.26	0.28	0.14	縄文土器			
SK1171	円	0.34	0.36	0.25	縄文土器			
SK1172	円	0.36	0.39	0.21	縄文土器			
SK1174	円	0.33	0.34	0.18	縄文土器			
SK1175	円	0.20	0.18	0.11				
SK1176	円	0.23	0.21	0.17				
SK1177	円	0.25	0.28	0.19	縄文土器			
SK1178	円	0.23	0.20	0.14				
SK1181	円	0.28	0.25	0.16	縄文土器			
SK1183	円	0.27	0.25	0.24				
SK1184	円		0.44	0.27	縄文土器			
SK1185	楕円	0.39	0.56	0.22		SK1185>SP1186		
SK1187	円	0.31	0.23	0.13				
SK1189	円		0.29	0.16		SK1189<SP1190		
SK1191	楕円	0.57	0.32	0.20	縄文土器	SK1191<SP1190		
SK1192	円	0.28	0.25	0.20	土師器			
SK1193	楕円	0.48	0.34	0.26	縄文土器，土師器，鉄滓		77	
SK1194	円	0.30	0.33	0.23				
SK1195	円	0.29	0.31	0.21				
SK1199	円	0.50	0.40	0.16				
SK1200	円	0.35	0.27	0.16				
SK1201	円	0.34	0.38	0.21				
SK1203	円	0.25	0.27	0.20				
SK1205	円		0.44	0.03		SK1205<SP1204		
SK1206	円	0.44	0.43	0.17	縄文土器			
SK1208	円		0.28	0.16		SK1208<SP1207		
SK1209	円	0.38	0.30	0.15				
SK1210	不整	1.08	0.96	0.31		SK1210<SP1479	77	
SK1211	円	0.41	0.33	0.21				
SK1213	円	0.38	0.36	0.22				
SK1214	円	0.27	0.30	0.23				
SK1215	楕円	0.33	0.39	0.23				
SK1216	円		0.32	0.22				
SK1219	円	0.25	0.26	0.20				
SK1220	円	0.34	0.29	0.14		SK1220>SP1221		
SK1222	円	0.46	0.39	0.26	縄文土器			
SK1223	円	0.52	0.40	0.18				
SK1224	円	0.33	0.34	0.12				
SK1225	円	0.35	0.33	0.32				
SK1226	円	0.32	0.28	0.26			77	
SK1227	円	0.30	0.26	0.23			77	
SK1228	円	0.34	0.28	0.19	土師器			
SK1230	円	0.40	0.40	0.25				
SK1231	円	0.27	0.24	0.16				
SK1232	円	0.23	0.26	0.15				
SK1233	円	0.59	0.50	0.25				
SK1234	円	0.38	0.40	0.23		SK1234<SK1235		
SK1235	円		0.26	0.17		SK1235>SK1234		
SK1236	楕円	0.53	0.26	0.20				
SK1237	円		0.34	0.24				
SK1238	円	0.36	0.35	0.22				
SK1239	楕円	0.44	0.32	0.09				

第9表　黒河尺目遺跡古代・中世土坑一覧（12）

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SK1240	楕円	0.33	0.23	0.17				
SK1241	楕円	0.41	0.30	0.20				
SK1242	円	0.25	0.19	0.18				
SK1243	円	0.33	0.31	0.18				
SK1244	円	0.31	0.30	0.17				
SK1246	楕円	0.42	0.32	0.26	縄文土器，土師器		77	
SK1247	楕円	0.63	0.36	0.23	縄文土器			
SK1249	円	0.25	0.25	0.20				
SK1250	楕円	0.56	0.48	0.48			77	
SK1251	楕円	0.43	0.26	0.24				
SK1253	円	0.42	0.38	0.27	打製石斧			
SK1254	円	0.30	0.31	0.24				
SK1259	方	2.14	1.57	0.15	縄文土器，土師器，須恵器，鉄滓		77	18
SK1260	楕円	0.77	0.65	0.46	土師器			
SK1262	円	0.25	0.23	0.11				
SK1263	円	0.19	0.24	0.29				
SK1265	円	0.30	0.26	0.27				
SK1266	円	0.38	0.22	0.26				
SK1267	円	0.28	0.24	0.10				
SK1270	円	0.24	0.28	0.15				
SK1271	円	0.50	0.47	0.16				
SK1272	円	0.30	0.36	0.47			77	
SK1277	円	0.32	0.34	0.14				
SK1279	円	0.34	0.33	0.25	須恵器	SK1279>SK1280	77	
SK1280	円	0.35	0.30	0.25		SK1280<SK1279	77	
SK1283	円	0.39	0.34	0.24				
SK1284	円	0.35	0.27	0.07				
SK1285	楕円	0.68	0.48	0.17	須恵器		78	
SK1287	円	0.40	0.35	0.05				
SK1289	楕円	0.36	0.28	0.22	縄文土器，土師器	SK1289>SK1290	78	
SK1290	楕円	0.40		0.29		SK1290<SK1289		
SK1291	円	0.34	0.28	0.16				
SK1292	円	0.44	0.42	0.13				
SK1295	楕円	0.63	0.32	0.15				
SK1297	円	0.30	0.31	0.09				
SK1298	円	0.36	0.32	0.13				
SK1302	楕円	0.48	0.41	0.20				
SK1303	円	0.34	0.34	0.31				
SK1304		0.44	0.39	0.36				
SK1305	楕円	0.68	0.49	0.20				
SK1306	円	0.67	0.58	0.17				
SK1308	円	0.32	0.33	0.19				
SK1309	円	0.30	0.25	0.28				
SK1310	楕円	0.50	0.48	0.23	土師器			
SK1311	円	0.35	0.29	0.17	縄文土器			
SK1314	円	0.38	0.40	0.28				
SK1316	円	0.31	0.28	0.18				
SK1317	円	0.33	0.21	0.30				
SK1319	円	0.32	0.30	0.18				
SK1320	円	0.42	0.39	0.21				
SK1321	円	0.24	0.24	0.09				
SK1322	円	0.36	0.35	0.23				
SK1323	円	0.38	0.32	0.20	須恵器			
SK1326	円	0.40	0.40	0.27			78	
SK1328	不整	1.97	0.93	0.17		SK1328>SK1329	78	
SK1329	楕円	0.78	0.48	0.21		SK1329<SK1328		
SK1330	円	0.25	0.29	0.23	土師器			
SK1332	楕円	0.55	0.41	0.22				
SK1334	円	0.35	0.28	0.18	縄文土器			
SK1335	楕円	0.34		0.07				
SK1336	円		0.25	0.13		SK1336<SK1337	78	
SK1337	円	0.33	0.30	0.30	土師器	SK1337>SK1336	78	
SK1339	不整	1.15		0.29			78	
SK1340	円	0.27	0.28	0.22	縄文土器，土師器			
SK1341	楕円	0.72	0.42	0.10	縄文土器			
SK1342	円	0.33	0.37	0.26				
SK1343	円	0.79	0.71	0.38				
SX1344	方	5.76	3.80	0.36	縄文土器，土師器，須恵器，珠洲，打製石斧，砥石，鉄滓，炉壁	SX1344＜SD875・876，SX1344＞SK800	54	19
SK1345	不整	1.37	0.35	0.14	縄文土器		54	
SK1350	円	0.30	0.30	0.09	縄文土器	SK1350>SK467		
SK1351	円	0.27	0.27	0.16	縄文土器	SK1351>SK1352		
SK1352	円		0.28	0.07		SK1352<SK1351		
SK1357	円	0.27	0.23	0.12				
SK1358	不整	0.88	0.61	0.31	縄文土器，土師器，須恵器		78	
SK1360	円	0.27	0.22	0.21				
SK1361	円	0.29	0.28	0.08				
SK1362	円	0.25	0.22	0.21				
SK1363	円	0.35		0.13		SK1363<SK350		

第9表　黒河尺目遺跡古代・中世土坑一覧（13）

遺構番号	平面形	規模(m)			出土遺物	備考	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ				
SK1364	円	0.33	0.25	0.20		SK1364>SK372		
SK1365	円	0.28	0.19	0.13				
SK1366	円	0.25	0.30	0.18				
SK1367	円	0.42	0.51	0.16				
SK1368	円	0.34		0.14	縄文土器	SK1368<SD656		
SK1369	円	0.25	0.28	0.19	縄文土器			
SK1372	円	0.28	0.31	0.30	縄文土器			
SK1373	円	0.29	0.32	0.17				
SK1375	円	0.28	0.20					
SK1376	円	0.25	0.24	0.14				
SK1380	円	0.24	0.21					
SK1383	円	0.33	0.25	0.25				
SK1384	円	0.25	0.27	0.09				
SK1386	円	0.28	0.28	0.21	縄文土器，土師器			
SK1389	円	0.30	0.24	0.06				
SK1392	円	0.29	0.22	0.19				
SK1395	円	0.72	0.73	0.24				
SK1397	円	0.30	0.26	0.26	土師器			
SK1398	円	0.28		0.15	土師器		78	
SK1399	円	0.28	0.22	0.13				
SK1401	円	0.33	0.30	0.16	土師器			
SK1402	円	0.24	0.25	0.12	須恵器			
SK1403	円	0.33	0.30	0.47		SK1403>SK1411·1412		
SK1404	円	0.45	0.46	0.42	縄文土器			
SK1405	円	0.26	0.28	0.16				
SK1407	楕円	0.48	0.33	0.09				
SK1410	不整		0.56	0.12		SK1410<SK513		
SK1411	楕円		0.64	0.24		SK1411<SK562·1403		
SK1412	不整	1.15		0.31	縄文土器		78	
SK1415	円	0.30	0.29	0.26				
SK1484	円	0.43	0.31	0.29				
SX1486	不整	3.09	2.30	0.25	縄文土器，須恵器，打製石斧		78	
SK1487	円	0.26	0.25	0.14	縄文土器			
SK1496	円	0.25	0.27	0.25	縄文土器			
SK1497	円	0.33	0.23	0.19	縄文土器			
SK1498	楕円	0.45	0.27	0.26	縄文土器，土師器		78	
SK1499	円	0.26	0.30	0.31				
SK1500	円	0.39	0.28	0.21	縄文土器			
SK1501	円	0.33	0.33	0.27				
SK1502	円	0.36	0.24	0.11				
SK1503	円	0.36	0.27	0.24				
SK1504		0.45	0.37	0.15				
SK1505	円	0.60	0.48	0.56				
SK1507	円	0.36	0.27	0.42				
SK1508	楕円	0.73	0.48	0.35				
SK1512	円	0.28	0.28	0.30				
SK1513	円	0.35	0.25	0.33				
SK1514	円	0.68	0.32	0.19	縄文土器			
SK1515	円	0.31		0.25		SK1515<SP718		
SK1516	円	0.25	0.34	0.25	縄文土器			
SK1517	円	0.28	0.30	0.28				
SK1518	円	0.32	0.32	0.31				
SK1519	円	0.19	0.19	0.23	縄文土器			
SK1520	円	0.67		0.25				
SK1521	円	0.30	0.34	0.20	縄文土器	SK1521>SK1520		
SK1522	円	0.40	0.31	0.27				
SK1525	円	0.33	0.34	0.12				
SK1545	円	0.34	0.29	0.32	土師器，須恵器		78	
SK1546	円	0.26	0.23	0.12				

第10表　黒河尺目遺跡土器・土製品一覧（1）

挿図番号	遺物番号	図版番号	遺構番号	建　物	座　標	種　類	器　種	法量(cm)				色調(記号)	色調(和名)	時　期	詳細時期	備　考
								口径	器高	底径	高台径					
15	*1*	23	SX9			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ？	
	2	23	SX9			縄文土器	深鉢					5YR7/6	橙色	後期前葉	気屋	
	3	23	SX9			縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	後期前葉	気屋	
	4	23	SX9			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期中葉	上山田・天神山	
	5		SX9			縄文土器	深鉢					7.5YR8/4	浅黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ？	
	6		SX9			縄文土器	深鉢					2.5Y8/3	淡黄色	中期後葉	串田新Ⅰ？	
	7	23	SX9			縄文土器	深鉢					10YR6/2	灰黄褐色	中期末葉	岩峅野	
	8		SX9			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ？	
	9		SX9			縄文土器	深鉢					2.5Y8/2	灰白色	中期後葉	串田新Ⅱ？	
	10		SX9			縄文土器	深鉢					10YR6/2	灰黄褐色	中期後葉	串田新Ⅱ？	
	11	23	SX9			縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉～中期末葉	串田新Ⅱ～岩峅野	
	12	23	SX9			縄文土器	深鉢					7.5YR8/4	浅黄橙色	後期前葉	気屋	
	13	23	SX9			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	後期前葉	気屋	
	14		SX9			縄文土器	深鉢					10YR6/2	灰黄褐色	中期後葉？		
	15		SX9			縄文土器	深鉢					7.5YR8/4	浅黄橙色	後期前葉	気屋	
	16	23	SX9			縄文土器	浅鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	後期？		
	17		SX9			縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	18	23	SX9			縄文土器	浅鉢？					5YR7/4	にぶい橙色	縄文		
	19	23	SX9			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期前葉？		
	20		SX9			縄文土器	深鉢					10YR8/4	浅黄橙色	中期？		
	21	24	SK262			縄文土器	深鉢		(13.2)	8.0		10YR6/3	にぶい黄橙色	晩期中葉	中屋	
	22	20	SK262			縄文土器	深鉢	36.2	(18.8)			7.5YR5/4	にぶい褐色	晩期中葉	中屋	
	23	20	SK326			縄文土器	浅鉢	22.4	9.8	12.6		10YR7/6	明黄褐色	中期後葉？		
16	*24*	23	SX360			縄文土器	深鉢					10YR6/3	にぶい黄橙色	中期後葉？		
	25	23	SX360			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	26	23	SX360			縄文土器	深鉢					10YR7/2	にぶい黄橙色	中期後葉		
	27	23	SX360			縄文土器	深鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	後期前葉	気屋	
	28	23	SX360			縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	後期前葉	気屋	
	29		SX360			縄文土器	深鉢					10YR7/2	にぶい黄橙色	中期前葉		
	30	23	SX360			縄文土器	浅鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉		
	31	23	SX360			縄文土器	深鉢					10YR6/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	32		SX360			縄文土器	深鉢					10YR7/2	にぶい黄橙色	中期前葉		
	33	20	SX364			縄文土器	深鉢	25.6	25.2	11.6		10R6/8	赤橙色	中期後葉		
	34	20	SX364			縄文土器	深鉢	33.6	33.9	15.2		7.5YR6/4	にぶい橙色	中期後葉		
	35	24	SX364		X183Y74	縄文土器	深鉢	17.8	(9.8)			10YR7/4	にぶい黄橙色	縄文		
	36	24	SX364			縄文土器	浅鉢	13.9	(7.6)			10YR7/4	にぶい黄橙色	縄文		
	37	24	SX364			縄文土器	浅鉢	29.4	(5.5)			5YR7/6	橙色	後期後葉～晩期？		
	38	20	SX364			縄文土器	深鉢					7.5YR5/4	にぶい褐色	中期後葉		
17	*39*	24	SX364		X183Y74	縄文土器	深鉢	26.8	(28.8)			10YR4/2	灰黄褐色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	40		SX364			縄文土器	深鉢					10YR6/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	41	24	SX364			縄文土器	深鉢					10YR6/2	灰黄褐色	中期後葉？		
	42	24	SX364			縄文土器	深鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	43	24	SX364			縄文土器	深鉢					7.5YR8/4	浅黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	44	24	SX364		X183Y74	縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	45	24	SX364			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉？		
	46	24	SX364		X185Y74	縄文土器	深鉢					10YR8/3	浅黄橙色	中期後葉？		
	47	24	SX364			縄文土器	深鉢					10YR5/2	灰黄褐色	中期中葉？		
	48		SX364			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	49	24	SX364			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	50		SX364			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅰ？	
	51	24	SX364			縄文土器	深鉢					10YR8/3	浅黄橙色	中期後葉？		
	52	24	SX364			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	53	24	SX364			縄文土器	深鉢					7.5YR7/6	橙色	中期後葉	串田新Ⅰ？	
	54	24	SX364			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	55	32	SX364			土製品	円板状土製品	3.8	4.3	0.9	15.15	10YR7/3	にぶい黄橙色	縄文		
	56	25	SK366			縄文土器	深鉢					10YR8/4	浅黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	57	25	SK366			縄文土器	深鉢					10YR5/1	褐灰色	中期後葉～中期末葉	串田新Ⅱ～岩峅野	
	58	25	SK366			縄文土器	深鉢					10YR6/2	灰黄褐色	中期後葉		
	59	25	SK366			縄文土器	深鉢					7.5YR7/3	にぶい橙色	中期後葉		
	60	25	SK367			縄文土器	深鉢					10YR8/4	浅黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	

第10表　黒河尺目遺跡土器・土製品一覧（2）

挿図番号	遺物番号	図版番号	遺構番号	建　物	座　標	種　類	器　種	法量(cm)				色調(記号)	色調(和名)	時　期	詳細時期	備　考
								口径	器高	底径	高台径					
18	61	25	SK368			縄文土器	深鉢					10YR8/4	浅黄橙色	中期後葉？		
	62	25	SK368			縄文土器	深鉢					10YR8/3	浅黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	63	21	SK369			縄文土器	深鉢	(27.2)	(30.5)	9.8		10YR7/2	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ(大杉谷)	
	64	21	SK369			縄文土器	深鉢		(27.0)	10.9		10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	65	25	SK369			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	66	25	SK369			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	67		SK369			縄文土器	深鉢		(6.8)	9.9		10YR6/3	にぶい黄橙色	中期後葉？		
	68		SK369			縄文土器	深鉢		(2.3)	9.6		7.5YR6/4	にぶい橙色	中期後葉？		
	69	25	SK369			縄文土器	深鉢					2.5Y5/1	黄灰色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	70	25	SK369			縄文土器	深鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	中期後葉？		
	71	25	SK369			縄文土器	深鉢					2.5Y7/2	灰黄色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	72	25	SK369			縄文土器	深鉢					10YR6/2	灰黄褐色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	73	25	SK369			縄文土器	深鉢					10YR6/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	74	25	SK369			縄文土器	深鉢					2.5Y6/1	黄灰色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	75	25	SK369			縄文土器	深鉢					7.5YR6/3	にぶい褐色	中期後葉？		
	76	25	SK369			縄文土器	深鉢					10YR7/2	にぶい黄橙色	中期後葉		
	77		SK369			縄文土器	深鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	78	25	SK369			縄文土器	深鉢					7.5YR5/3	にぶい褐色	中期末葉	岩崎野？	
	79	25	SK369			縄文土器	深鉢					10YR5/1	褐灰色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	80	25	SK369			縄文土器	深鉢					10YR6/2	灰黄褐色	中期後葉？		
	81	25	SK369			縄文土器	深鉢					10YR5/1	褐灰色	中期後葉	串田新Ⅱ？	
	82	25	SK369			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	83		SK369			土製品	土器片錘	(5.0)	6.3	0.7	12.3	10YR5/2	灰黄褐色	縄文		
19	84		SK384			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉		
	85		SK384			縄文土器	深鉢					7.5YR8/4	浅黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	86	25	SK384			縄文土器	深鉢					10YR3/2	黒褐色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	87		SK384			縄文土器	浅鉢					7.5YR8/4	浅黄橙色	中期後葉？		
	88	25	SK384			縄文土器	深鉢					2.5Y7/3	浅黄色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	89	25	SK384			縄文土器	浅鉢					10YR8/2	灰白色	中期後葉？		
	90	25	SK384			縄文土器	深鉢					10YR6/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	91	23	SK411			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	92		SK481			縄文土器	深鉢					10YR5/2	灰黄褐色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	93		SK481			縄文土器	深鉢		(16.6)	11.6		10YR4/2	灰黄褐色	中期後葉		
	94		SK481			縄文土器	深鉢		(7.7)	14.6		7.5YR5/2	灰褐色	中期後葉		
	95		SK481			縄文土器	深鉢		(22.4)	13.4		10YR6/3	にぶい黄橙色	中期後葉		
	96		SK481			縄文土器	深鉢					10YR6/3	にぶい黄橙色	中期後葉		
	97		SK481			縄文土器	深鉢					10YR5/3	にぶい黄褐色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	98	23	SK952			縄文土器	浅鉢？					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ？	
20	99	20	SX1035			縄文土器	浅鉢？		(6.0)	7.0		7.5YR6/4	にぶい橙色	中期後葉		
	100	26	SX1035			縄文土器	深鉢					10YR4/2	灰黄褐色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	101	26	SX1035			縄文土器	壺					10YR5/3	にぶい黄褐色	後期後葉？		
	102	26	SX1035			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期末葉	岩崎野	
	103	21	SX1145			縄文土器	台		(8.6)	17.7		7.5YR6/8	橙色	中期後葉？		
	104	26	SX1145			縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	中期中葉		
	105	26	SX1146			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期末葉	岩崎野	
	106	26	SX1146			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	107	26	SX1146			縄文土器	深鉢					10YR8/4	浅黄橙色	中期中葉		
	108		SX1146			縄文土器	深鉢		(3.5)	11.4		7.5YR6/6	橙色	中期後葉？		
	109	26	SX1146			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期中葉		
	110		SX1146			縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	111	26	SX1523			縄文土器	深鉢					10YR6/2	灰黄褐色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	112		SX1523			縄文土器	深鉢					10YR8/4	浅黄橙色	中期後葉～中期末葉	串田新Ⅱ～岩崎野	
	113	26	SK1524			縄文土器	深鉢	27.6	(9.9)			10YR8/2	灰白色	中期後葉～中期末葉	串田新Ⅱ～岩崎野	
	114	26	SK1524			縄文土器	深鉢					7.5YR6/3	にぶい褐色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	115	26	SK1526			縄文土器	深鉢					10YR5/2	灰黄褐色	中期後葉	串田新Ⅱ	116と同一個体か
	116	26	SK1526			縄文土器	深鉢					10YR5/2	灰黄褐色	中期後葉	串田新Ⅱ	115と同一個体か
	117		SK1526			縄文土器	深鉢					10YR8/3	浅黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	118	26	SK1526			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期中葉？		
	119	26	SK1527			縄文土器	深鉢					10YR8/3	浅黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	120	26	SK1527			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期前葉		

第10表　黒河尺目遺跡土器・土製品一覧（３）

挿図番号	遺物番号	図版番号	遺構番号	建　物	座　標	種　類	器　種	法量(cm)				色調(記号)	色調(和名)	時　期	詳細時期	備　考
								口径	器高	底径	高台径					
20	*121*		SK1527			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉？		
	122		SK1527			縄文土器	深鉢					2.5Y8/2	灰白色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	123	26	SK1527			縄文土器	深鉢					7.5YR6/6	橙色	中期末葉	岩峅野	
	124		SK1527			縄文土器	深鉢					5YR7/6	橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	125	26	SK1527			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ？	
	126		SK1527			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	127		SK1527			縄文土器	浅鉢		(2.4)	7.5		10YR6/2	灰黄褐色	中期後葉		
21	*128*	26	SK1526			縄文土器	浅鉢					7.5YR8/4	浅黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	129	26	SK1527			縄文土器	深鉢					7.5YR6/3	にぶい褐色	中期後葉	串田新Ⅱ	内面煤付着
	130	26	SK1527			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	131	32	SK1527			土製品	円板状土製品	3.3	3.3	0.7	9.10	10YR5/3	にぶい黄褐色	縄文		
	132	21	SX1528			縄文土器	深鉢	27.25	28.75	11.3		2.5YR5/8	明赤褐色	中期後葉		
	133		SX1528		X219Y87	縄文土器	深鉢		(15.7)	10.7		10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉		
	134		SX1528		X208Y88	縄文土器	深鉢		(7.0)	9.2		7.5YR7/6	橙色	中期後葉		
	135	32	SX1528		X209Y86	土製品	円板状土製品	2.75	3.4	0.8	8.17	7.5YR6/6	橙色	縄文		
	136	32	SX1528		X208Y89	土製品	円板状土製品	3.45	3.6	1.0	12.94	10YR7/4	にぶい黄橙色	縄文		
	137	32	SX1528		X208Y88	土製品	円板状土製品	4.0	4.5	1.0	21.58	2.5Y7/4	浅黄色	縄文		
	138	21	SX1528			縄文土器	深鉢	32.0	(18.2)			7.5YR7/4	にぶい橙色	中期末葉	岩峅野	
	139	22	SX1528		X205Y88 X208Y89 X209Y94	縄文土器	深鉢		(18.6)	11.0		10YR6/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	140	28	SX1528			縄文土器	浅鉢	13.0	(5.8)			2.5Y5/1	黄灰色			
	141		SX1528		X209Y91	縄文土器	深鉢		(10.1)	9.4		10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉？		底部網代痕
	142		SX1528		X210Y87	縄文土器	深鉢		(1.7)	13.6		10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉？		底部網代痕
	143		SX1528			縄文土器	深鉢		(7.4)	12.4		10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉？		
	144		SX1528		X210Y87	縄文土器	深鉢		(3.5)	9.2		10YR6/3	にぶい黄橙色	中期後葉？		
	145		SX1528		X210Y90	縄文土器	深鉢		(2.2)	10.5		7.5Y7/4	にぶい橙色	中期後葉？		
22	*146*	27	SX1528		X208Y89	縄文土器	深鉢					10YR6/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	147	28	SX1528		X210Y91	縄文土器	深鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	中期中葉	上山田・天神山Ⅲ～Ⅳ	
	148	28	SX1528		X209Y88	縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	149	28	SX1528			縄文土器	深鉢					7.5YR4/1	褐灰色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	150	27	SX1528			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	151	27	SX1528		X208Y88	縄文土器	深鉢					7.5YR6/6	橙色	中期後葉？		
	152	27	SX1528		X210Y88	縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	153		SX1528		X210Y87	縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ？	
	154	28	SX1528			縄文土器	深鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	中期後葉～中期末葉	串田新Ⅱ～岩峅野	骨針
	155	27	SX1528		X210Y87	縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉		
	156	27	SX1528		X210Y88	縄文土器	深鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	157	27	SX1528		X210Y88	縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	158		SX1528		X210Y90	縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	159	27	SX1528		X210Y87	縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	160	27	SX1528		X210Y87	縄文土器	深鉢					7.5YR7/6	橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	161	28	SX1528			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉～中期末葉	串田新Ⅱ～岩峅野	
	162	27	SX1528		X208Y88	縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ？	
	163	27	SX1528		X210Y90	縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉～中期末葉	串田新Ⅱ～岩峅野	
	164		SX1528		X210Y88	縄文土器	深鉢					10YR4/2	灰黄褐色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	165	27	SX1528		X209Y88	縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ？	
	166	27	SX1528		X210Y88	縄文土器	深鉢					7.5YR7/6	橙色	中期後葉	串田新Ⅰ？	
	167	27	SX1528		X210Y87	縄文土器	深鉢					10YR5/3	にぶい黄褐色	後期前葉	気屋	
	168	27	SX1528		X209Y89	縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	後期前葉	気屋	
	169	27	SX1528		X209Y86・87	縄文土器	深鉢					10YR8/4	浅黄橙色	中期中葉		
	170		SX1528		X208Y88	縄文土器	深鉢					10YR6/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	171	27	SX1528		X208Y89	縄文土器	深鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	172		SX1528		X210Y91	縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ？	
23	*173*	27	SX1528		X210Y86	縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	174	27	SX1528		X210Y38	縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉？		
	175		SX1528		X210Y86	縄文土器	深鉢					2.5Y6/3	にぶい黄色	中期後葉？		
	176		SX1528		X210Y86	縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ？	
	177		SX1528		X208Y89	縄文土器	深鉢					2.5Y8/3	淡黄色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	178	27	SX1528		X208Y89	縄文土器	浅鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉		
	179	27	SX1528		X210Y88	縄文土器	浅鉢					7.5YR7/3	にぶい橙色	中期後葉		
	180		SX1528		X209Y89	縄文土器	浅鉢					10YR6/3	にぶい黄橙色	中期中葉		

第10表　黒河尺目遺跡土器・土製品一覧（4）

挿図番号	遺物番号	図版番号	遺構番号	建　物	座　標	種　類	器　種	法量(cm)				色調(記号)	色調(和名)	時　期	詳細時期	備　考
								口径	器高	底径	高台径					
23	*181*		SX1528		X210Y88	縄文土器	深鉢					2.5Y6/2	灰黄色	中期中葉		
	182		SX1528		X208Y87	縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	183	27	SX1528		X216Y86	縄文土器	深鉢					7.5YR7/6	橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	184	27	SX1528		X209・210Y86	縄文土器	深鉢					10YR6/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	185	27	SX1528		X210Y87	縄文土器	深鉢					10YR6/4	にぶい黄橙色	中期後葉		
	186	27	SX1528		X210Y86	縄文土器	深鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅱ？	
	187		SX1528			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉～中期末葉	串田新Ⅱ～岩峅野	
	188	27	SX1528		X208Y88	縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	189		SX1528		X210Y87	縄文土器	深鉢					10YR6/2	灰黄褐色	中期後葉～中期末葉	串田新Ⅱ～岩峅野	
	190	28	SX1528			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	191	27	SX1528		X210Y87	縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	192	27	SX1528		X209Y86	縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	中期前葉		
	193		SX1528		X209Y89	縄文土器	深鉢					7.5YR7/6	橙色	中期後葉		
	194	27	SX1528		X210Y87	縄文土器	深鉢					5YR7/6	橙色	中期中葉　新		
	195		SX1528		X210Y86	縄文土器	深鉢					2.5Y6/3	にぶい黄色	中期前葉		
	196	27	SX1528		X208Y88	縄文土器	深鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	中期前葉		
	197	28	SX1528		X210Y90	縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期中葉		
	198	27	SX1528		X210Y90	縄文土器	浅鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	中期末葉～後期前葉	岩峅野～気屋	
	199		SX1528		X210Y88	縄文土器	深鉢					10YR6/3	にぶい黄橙色	中期後葉		
	200		SX1528		X210Y88	縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉		
	201		SX1528		X210Y90	縄文土器	有孔鍔付土器					7.5YR6/6	橙色	中期中葉？		粗製
	202	29	SK1529			縄文土器	浅鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉？		
	203	29	SK1529			縄文土器	深鉢					10YR6/3	にぶい黄橙色	中期後葉？		
	204	29	SK1529			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉		
	205	29	SK1529			縄文土器	深鉢					10YR6/3	にぶい黄橙色	中期後葉		
	206	29	SK1529			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	207	29	SK1529			縄文土器	深鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	208	29	SK1529			縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	中期中葉　新		
	209		SK1529			縄文土器	深鉢					10YR6/3	にぶい黄橙色	中期前葉	新保・新崎Ⅴ～Ⅵ	
	210	29	SK1529			縄文土器	深鉢					2.5Y7/2	灰黄色	中期前葉		
24	*211*	29	SK1529			縄文土器	深鉢	22.0	(21.6)			10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	212		SK1529		X208Y90	縄文土器	深鉢		(15.2)	12.0		10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉？		
	213	30	SK1529			縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	214	34	SK1529			土製品	土偶	2.7	3.0	1.2	9.56	7.5YR8/6	浅黄橙色	中期後葉		
	215	32	SK1529			縄文土器	深鉢		(6.9)	4.4		10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉？		
	216	21	SK1529			縄文土器	深鉢		(6.5)	13.0		10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	217	22	SK1530			縄文土器	深鉢		(21.3)	9.8		10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	218	22	SK1530			縄文土器	台付鉢？		17.8	12.8		10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	219	28	SK1531			縄文土器	深鉢					10YR6/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	220	28	SK1531			縄文土器	深鉢					10YR6/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅰ	
	221	28	SK1532			縄文土器	深鉢					7.5YR7/6	橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	222		SK1532			縄文土器	深鉢		(7.9)	10.8		7.5YR7/4	にぶい橙色	中期後葉		
	223	28	SK1532			縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期前葉？		
	224	28	SK1534			縄文土器	深鉢					7.5YR7/4	にぶい橙色	中期？		
	225	28	SK1534		X205Y94	縄文土器	深鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	226	28	SK1534			縄文土器	深鉢					10YR8/4	浅黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	227	28	SK1533			縄文土器	深鉢					7.5YR7/6	橙色	中期後葉		
	228	22	SK1535			縄文土器	鉢	8.9	7.8	5.7		7.5YR6/6	橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	小型
25	*229*	29	SK1537		X210Y88	縄文土器	深鉢	23.8	(31.8)	12.6		10YR7/3	にぶい黄橙色	晩期？		
	230	28	SK1538			縄文土器	深鉢					2.5Y8/3	淡黄色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	231	28	SK1538			縄文土器	深鉢					10YR7/4	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	232	28	SK1538			縄文土器	深鉢					7.5YR7/6	橙色	中期後葉		
	233		SK1538			縄文土器	深鉢					10YR5/2	灰黄褐色	中期中葉		
	234	29	SK1539		X209Y90	縄文土器	深鉢					10YR5/3	にぶい黄褐色	中期後葉	串田新Ⅱ	
	235		SK1539			縄文土器	深鉢		(11.3)	9.8		10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉？		
	236	29	SK1539		X209Y90	縄文土器	深鉢					7.5YR6/4	にぶい橙色	中期前葉　新		
	237	29	SK1539		X209Y90	縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期後葉	串田新Ⅱ？	
	238	29	SK1539		X209Y90	縄文土器	深鉢					10YR7/3	にぶい黄橙色	中期前葉　新		
	239	28	SK1547			縄文土器	深鉢					7.5YR7/6	橙色	中期中葉	上山田・天神山Ⅲ？	
27	*251*		SX8			縄文土器	深鉢	23.2	(3.6)			10YR7/3	にぶい黄橙色	中期末葉	岩峅野	